

誰一人取り残さない教育
—日本語指導が必要な子どもたちの日本語習得への学習支援と、
それらの取組を通じた自己肯定感の涵養—

2026年3月

松阪市子ども支援研究センター

長期研修員 佐波 允友

はじめに

国連は、2024年時点の国際移住者を約3億400万人（世界人口の約3.7%）と推計しています。国境を越える移動の広がりは日本の地域社会にも及び、在留外国人数は2024年末に376万8,977人と過去最高を更新しました。学校は、異なることばを携えた子どもたちの学びを支える場としても役割を増しており、公立学校で日本語指導が必要な児童生徒は69,123人にのぼります。文部科学省は、施策の充実に加え、組織的・体系的な指導体制と、教育委員会・関係機関の連携の必要性を示しています。こうした課題は全国に共通しますが、進路や学びの継続には地域の実態が色濃く反映されます。三重県でも、外国籍生徒の高校中途退学率が県内の全高校生平均を上回ることが報告されており、義務教育段階の学びを次へつなぐ仕組みづくりは重要です。松阪市では、初期適応支援教室「いっぼ」を拠点に、来日して間もない児童生徒が在籍校に籍を置いたまま通室できる仕組みを生かし、日本語初期指導と学校生活への適応を着実に支えています。自己実現をめざす児童生徒の主体的な学びが途切れず広がっていくよう、いっぼ教室での指導と在籍校（国際教室等）での支援をつなぐ連携・引継ぎを、より一層充実させていくことが重要です。

本研究は、「誰一人取り残さない教育」の実現に向けて、日本語指導が必要な児童生徒の日本語習得を支え、その過程でいかに自己肯定感の涵養を図れるか、そのための教育的アプローチを明らかにすることを目的としました。

「学びの連続性」を取組の柱として据え、児童生徒が「学習の見通し」（次に学ぶこと／身につく力／現在地）をもつことで主体的に学びやすくなり、意欲の低下を防いで自己肯定感の涵養につながるという仮説を設定しました。仮説の検証では、初期教材の改善、成功体験の設計、自己学習環境の整備を組み合わせた実践により、児童生徒が「次に何を学ばよいか」を理解した上で学習に向かい、達成を積み重ねる姿が見られました。日本語使用の成功体験は主体性・自己効力感の向上に関わることを示唆され、さらに「型」の提示はアウトプットへの見通しを支え、学びの連続性を補助する可能性も示唆されました。今後は、初期教材の改善を進めつつ、全市で「見通し」を共有して支援の連続性を強め、学校全体で多文化共生の学びを育てていきます。

本研究の知見が、初期適応支援から在籍校での教科学習、将来の進路形成へと切れ目なくつながる環境づくりの一助となり、すべての子どもが学びをあきらめない学校の実現に資することを願っております。末筆ながら、本研究の推進にあたりご理解とご協力を賜りました関係各位に、心より感謝申し上げます。

令和8年3月
松阪市教育委員会事務局
子ども支援研究センター
所長 中西 祐司

目次

I 研究主題と目的

- 1 研究主題 ----- 1
- 2 日本語指導が必要な児童生徒の現状と研究の目的 ----- 1
- 3 研究主題の設定理由と研究の仮説 ----- 4

II 研究に対する基本的な考え方

- 1 日本語指導について ----- 5
- 2 初期適応支援教室「いっぽ」の役割と現状 ----- 6
- 3 国際教室の現状 ----- 7
- 4 児童生徒に学習の見通しをもたせる実践の具体的方法 ----- 8

III 実践と考察

- 1 学習の見通しがもてる日本語初期指導教材への改良 ----- 11
- 2 校外学習を通じた成功体験の積み上げと文化体験 ----- 15
- 3 学習言語の習得と進学を見据えた自己学習環境の整備 ----- 20

IV 研究のまとめ

- 1 成果と課題 ----- 22
- 2 終わりに ----- 24

参考・引用文献 ----- 26

巻末資料 ----- 28

I 研究主題と目的

1 研究主題

誰一人取り残さない教育

—日本語指導が必要な子どもたちの日本語習得への学習支援と、
それらの取組を通じた自己肯定感の涵養—

2 日本語指導が必要な児童生徒の現状と研究の目的

1990年の「出入国管理及び難民認定法」改正以降、海外からの労働者数は増加の一途をたどり、家族での来日も珍しいことではなくなった。文科省調査によると外国人児童生徒数は令和6年に過去最多を更新しており、かつては考えられなかったほど、学校には様々な言語や多様な文化的背景をもつ子どもたちが共に学ぶ状況が生まれた。

多様な文化的背景をもつ児童生徒の在籍には学校間での偏りはあるものの、教師の様々な働きかけを通して、子どもたちの学びがより豊かなものへと発展していく可能性が増したのは事実である。異文化に触れる機会が増えたことで、児童生徒の相互理解や国際的な視野が広がったという多文化共生教育の成果も報告されている(石森ほか, 2024)。

こうした多文化共生の推進は、国の政策でもあり、総務省の「地域における多文化共生推進プラン(改訂)」(2021)では、「外国人住民との連携・協働を図ることで、地域の活性化やグローバル化に貢献することが期待される」と述べられており、学校教育における多文化交流の価値が示されている。

また、文部科学省「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」(2021)においても、「日本人の子供を含め、多様な価値観や文化的背景に触れる機会を生かし、多様性は社会を豊かにするという価値観の醸成やグローバル人材の育成など、異文化理解・多文化共生の考え方に基づく教育に更に取り組むべきである」と述べられており、多様な言語的・文化的背景をもつ児童生徒が共に学ぶことは、社会全体の多様性理解を促進するものであると示されている。

これらの背景を踏まえると、外国人児童生徒の増加と母語の多様化は、短期的には指導の手立てや工夫、教材開発等、学校・教員側に負荷がかかるが、長期的

には学校・教員の教育力を高め、すべての児童生徒が多文化共生社会の担い手として成長するための絶好の機会であるとも言える。

しかし一方で、依然として課題も大きい。文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」（2024）では、日常会話に支障があるなど「日本語指導が必要」とされた中学生の高校進学率は90.3%であり、2014年度の約87.5%と比較すると改善しているものの、全体平均より約10ポイント低い水準にある。これは、約1割の生徒が高校に進学できていない状況とも捉えられ、日本語習得の困難さが進学を阻む大きな要因の一つであると考えられることもできる。

また、高校進学後においても学習言語としての日本語習得の未熟さから授業を十分に理解できない困難さにぶつかることも多い。授業についていけなくなった子どもたちの中には、学校外に居場所を求め、アルバイト等に時間を費やすようになり、結果として留年や中途退学に至るケースもある。前述の調査によれば、日本語指導が必要な子どもの高等学校中途退学率は8.5%となっており、これは全高校生平均の約8倍にあたる。なお、こうした傾向は三重県内においても見られ、三重県教育委員会「自立と社会参画に向けた外国人児童生徒教育について」（2019）において外国籍生徒の高等学校中退率が全高校生平均の約6倍にあたるというデータが掲載されている。

文部科学省が示した「外国人の子供の就学促進及び就学状況の把握等に関する指針」（2020）では、日本語指導を必要とする児童生徒について、「将来にわたって我が国に居住し、共生社会の一員として今後の日本を形成する存在である」と明記されている。そのような生徒たちの高等学校中途退学率が高いという現状は、社会全体にとって大きな損失であると言える。

松阪市では、来日して間もない児童生徒への支援として、「外国人児童生徒のための初期適応支援教室『いっぽ』」（以下「いっぽ教室」という。）において、日本語初期指導がおこなわれている。教室で学ぶ子どもたちは意欲的に学習に取り組んでおり、その姿からは、高等学校中途退学に至る割合の高さを想像することは難しい。しかし、実際には一部の生徒が何らかの事情により高等学校中途退学を決断している。

「松阪市人権施策基本方針（第三次改訂）」（2024）には、「様々な外国人住民の人権が尊重され、市民誰もがいきいきと生活し、多文化が共生する社会づくりを推進していく必要」があると示されている。この方針がめざす多文化共生社会の実現には、日本語指導が必要な児童生徒が学校生活の中で安心して学び、自らの力を発揮できる環境を整えることが必要になってくる。その実現に向けて、日本語指導が必要な児童生徒への教育的支援は、重要な役割を果たしている。

日本語指導が必要な児童生徒が、自分の可能性を信じ、継続して学び、自己実現を果たせるよう支援をしていくことは、松阪市の豊かな社会の創造につながり、ひいては市内すべての児童生徒への教育的支援の充実にも寄与すると考えられる。

ここで、母語以外の言語習得について話を変える。一括りに外国語の習得といっても、習得すべき言語は「生活言語」と「学習言語」に分けられ、それぞれ習得への時間数が大きく異なることは大前提として知っておかねばならない。文部科学省の「外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議」資料（2025）には、「生活言語能力の発達（1～2年）言語以外の情報を利用して、対面で日常的な口頭コミュニケーションができる」「学習言語能力の発達（～5～7年）言語で思考活動ができる（口頭コミュニケーション+読み書きの力）」と記載されており、これは日常生活に必要な生活言語は1～2年で習得可能である一方、教科内容を理解するために必要な学習言語は、定着までに少なくとも5年を要するということである。

そのため、生活場面では大きな支障がなく過ごせている子どもでも、学習場面においては言語的な困難を抱えている場合が少なくない。こうした背景から、義務教育段階において子どもたちが学習に必要な日本語力を身につけられるよう、計画的かつ継続的な学習支援を行うことが重要であると考えられる。しかしながら、児童生徒によって来日時期はそれぞれ異なり、義務教育最終段階である中学3年期の来日も珍しいことではない。学習言語の習得支援に注力したいが、学校には計画的な支援策を講じるほどの時間的余裕がないのが現状である。

そこで本研究では、義務教育段階において日本語指導が必要な児童生徒を対象に、日本語習得、特に生活言語能力の育成に向けた学習支援の手立てを整理するとともに、その取組を通して、今後も継続して日本語（主に学習言語）を習得していくための自己肯定感の涵養をめざした教育的アプローチを検討することを目的とする。

3 研究主題の設定理由と研究の仮説

本研究では、外国人児童生徒の学習意欲の低下を招く要因のひとつとして、日本語習得に至るまでの道筋が不明瞭であり、自らの成長を認識する手立てが不足していることが影響しているのではないかと考えた。日本語指導が必要な子どもたちは、来日時期や来日してからの日本語習得力に大きな個人差があり、特に教科内容を理解するために必要な学習言語の習得には長い年月を要する。その一方で、日常生活に支障のない程度の生活言語が身につくことで、周囲からは「日本語を理解している」と捉えられやすく、学習上の困難さを周囲に認識されないまま教科学習が進んでしまうことが少なくない。このような状況では、学習に必要な支援が十分に行き届かないまま教科学習が進んでしまうこととなり、児童生徒は学習上の困難さを抱えた状態で学習に取り組まざるを得ない。その結果、学習場面でのつまづきを何度も経験し、「何がわからないのかわからない」「何ができればいいのかわからない」という状態に陥り、学習意欲の低下につながっている可能性がある。

そこで本研究では、日本語指導が必要な児童生徒が日本語習得に向けて主体的に学び続けるためには、どのような学習支援が有効であるのかという問いを設定した。

この問いに対し、次の仮説を設定する。

日本語指導が必要な児童生徒に学習の見通しをもたせることは、主体的な学習行動を促し、ひいては学習意欲の低下を防ぎ、自己肯定感の涵養につなげることができるだろう。

以上の仮説を検証するために、実践の手立てを検討するが、次の2点については絶対条件とする。一つ目は、日常生活の基盤となる生活言語能力の育成において、児童生徒が学習の見通しをもてるよう、学習の段階や到達度を示すこと、二つ目は、将来的な学習言語の習得に向け、児童生徒が学習の見通しをもって主体的に学びを継続していくための道筋を示すことである。

なお、ここでいう見通しとは、「次に何を学ばばよいのか」「どのような力が身につけばよいのか」ということが、子ども自身にわかる状態を指す。また、主体的とは、教師からの指示を待つのではなく、自ら進んで学習に取り組もうとする行動や姿勢と捉える。さらに、本研究における自己肯定感とは、子どもたちが日本語を学ぶ過程

において「やればできる」「これからも学び続けることができる」という感覚をもち、今後の学習に前向きに取り組もうとする気持ちを指すものとする。

Ⅱ 研究に対する基本的な考え方

Ⅰ 日本語指導について

本研究において、日本語初期指導とは、来日直後の児童生徒が日本の学校生活に円滑に適応できるよう、集中的に行われる指導と捉える。これは単なる言語習得の段階ではなく、児童生徒にとって未知の世界である日本の学校における心理的安全性を確保し、学習の基盤を築くための重要な段階である。

初期指導において中心となるのは、いわゆる「サバイバル日本語」、つまり生活言語である。これは、体調が悪い、トイレに行きたいといった生理的な訴えや、挨拶、許可を得るといった、日々の生活を生き抜くために必要な言葉を指す。

児童生徒が自分の意思を日本語で伝え、相手の反応を得られるようになることは、単なる情報の伝達ではなく、「自分は日本でも生活していける」という安心感につながる。この「サバイバル日本語」を習得することが、その後の学習言語習得への長い道のりの第一歩となる。

本研究では、日本語習得を「知識の獲得」としてのみ捉えるのではなく「自己肯定感を涵養する手段」として位置づける。児童生徒が日本語を身につけ、それを用いて周囲と関わることで、以下の3点が得られると考える。

(1) 自己効力感(自信)の獲得

学んだ言葉が通じたという成功体験が、「自分は新しい環境に適応する力を持っている」という自信を育てる。

(2) 主体性の発揮

言葉を理解できることで、自分の状況を理解することができるため、周囲の指示を待たなくても自ら行動できるようになる。

(3) 居場所の確立

周囲とのコミュニケーションが取れるようになることで、教室内での孤立を防ぐことができ、「自分はここにいていいのだ」と思えることで自己肯定感が育まれる。

以上のように、日本語指導を通じて「わかる」「できる」経験を積み重ねさせることが、今後困難な状況に直面しても自分を大切に思い、学び続けていく力を育てることにつながると考える。

2 初期適応支援教室「いっば」の役割と現状

松阪市における初期適応支援教室「いっば」は、来日して間もない外国人児童生徒を対象に、日本の学校生活への円滑な適応を目的として2007年に開設された。約3か月程度の集中的な通室期間で、在籍校への円滑な適応を見据えた支援がおこなわれている。

いっば教室の大きな役割は、前節で述べた「サバイバル日本語」の習得と、学校生活への適応を両立させることにある。具体的には、挨拶や教室での行動、授業の受け方等、日本の学校生活における基本的なルールを日本語学習と結びつけながら指導している。これらの指導は、児童生徒が学校生活に不安を感じることなく参加できるようにするための重要な基盤となっている。

また、いっば教室には専任の指導者（外国人児童生徒教育コーディネーター、日本語指導員）に加え、日本語指導ボランティアが関わっており、複数の大人が児童生徒一人ひとりの様子を見取りながら支援を行っている。異なる文化的・言語的背景をもつ子どもたちが安心して学べるよう、個々の状況に応じた丁寧な関わりがなされている点も、いっば教室の大きな特徴である。

いっば教室授業風景



一方で、いっば教室での指導は、主に生活言語の習得や学校生活への初期適応を目的としているため、学習言語の習得については十分な時間を確保することが難しいという課題も抱えている。いっば教室で一定の日本語力を身につけた後、

在籍校に戻った児童生徒の中には、教科学習に必要な日本語の理解が十分でないまま授業に参加することもあり、学習面での困難さを感じる場合も少なくない。いっぽ教室修了後、在籍校での学習言語習得という長期的なプロセスへとつなげていくためには、国際教室での支援が重要となってくる。そのため、いっぽ教室と在籍校との強固な連携が求められてくる。

3 国際教室の現状

まず、市内中学校の国際教室を訪問し、いっぽ教室修了生を含む生徒の学習状況を観察した。そこから見えてきた現状と課題は、以下の3点に集約される。

(1) 学習言語の壁による教科学習の困難さ

国際教室での個別指導においては、既習の語彙や翻訳アプリを用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとしたり、高校受験に向けて熱心に面接練習に取り組んだりする前向きな姿があった。一方で、教科学習においては困難さが生じていることがわかった。英語の定期テストで高得点を獲得できた生徒がいる一方、国語や数学では設問の日本語が理解できないために、本来持っている思考力を発揮できず、点数に結びつかない実態があった。これは、「生活言語」と「学習言語」の習得レベルに乖離があることを示している。

(2) アウトプットの困難さ

普段の授業においても、生徒は大きな困難に直面している。特に自分の考えを表現する場面では、自分の考えを日本語の文章としてどのように書けばよいかわからず、困ることが多いとのことだった。国際教室担当教員からは、「中学校では授業の振り返り(記述)を成績に加味することが多いため、授業内容を理解できていたとしても日本語の文章がうまく書けないことによって評価が低迷し、それが学習意欲及び自己肯定感の低下に影響を及ぼしていることも考えられる」との指摘があった。

(3) 評価の不一致がもたらす自己肯定感の低下

最も大きな課題は、こうした学習上の困難が、自己肯定感の低下につながっている可能性があるという点である。日本語の壁によって本人の能力や努力が評価として可視化されておらず、このことが生徒に「自分にはできない」という無力感を与えてしまう要因のひとつとなっているのかもしれない。

こうした現状から、単なる語彙の習得だけでなく、自分の考えを形にするための支援や、学習のプロセスを肯定できるような「見通し」をもたせるための手立てが、国際教室において求められていると言える。

4 児童生徒に学習の見通しをもたせる実践の具体的方法

(1) 学習の見通しがもてる日本語初期指導教材への改良

本研究の取組として、まず日本語初期指導の充実を図る。具体的には、現在「いっぽ教室」で使用されている教材の改良である。現行の教材は、指導カリキュラムが体系的に整備されており、長年指導に携わる者がその運用に熟知しているという利点がある。また、これまで多くの児童生徒に対して日本語初期指導を行い、円滑な学校生活への適応を支えてきたという確かな実績も有している。

しかし、実際には以下の3点において改善の余地があることがわかった。

第一に、「視覚的な不明瞭さ」である。挿入されているイラストからは実際の会話場面や状況が想起しづらい箇所があり、日本語が未習得の状態では、会話場面の理解に余分な負荷がかかるという課題があった。そのため、児童生徒が「この課で何を学ぶのか」という学習の見通しをもちにくいことがあった。

第二に、「イラストを含む、教材全体のアップデート」である。教材内に登場する事物が令和の生活様式と合致しておらず、来日したばかりの児童生徒が日常生活で目にしないものが登場する会話場面を学習しているという状況がみられた。

第三に、「活用範囲の制約」である。現行教材は外部の著作物であり、許可を得て複製利用している段階にある。そのため、自由な配付や自宅への持ち出しが難しく、復習に活用できないことが課題であった。

これらの課題を解決するため、現行教材の良さを継承しつつも、生成AI等のデジタル技術を活用し、松阪市の児童生徒の実態に即した教材を開発することとした。

その際、特に児童生徒に学習の見通しをもたせることを重視し、以下の3つの手立てを講じる。

まず、「見通しがもてる目次」の作成である。教材の付録としてカラーの目次を配置し、すごろくのようなデザインを採用する。各単元が終わるごとにひとつずつシールを貼るまたはスタンプを押す仕組みにすることで、自分が今どこにいて、修了まであとどれくらいの学習があるのかを、楽しみながら把握できるようにする。また、親しみやすいイラストを添えることで、学習への興味・関心を高める。

次に、「学習目的の要約と多言語併記」である。各単元の導入部分に、何を学ぶのか、どのような力を身につけることをねらいとしているのかという学習目的の要約を、英語、タガログ語、中国語、ベトナム語の4か国語で付記する。これにより、日本語能力が十分でない段階の児童生徒であっても、「その単元を終えることで、何ができるようになるのか」という学習の見通しを、母語等を通じて把握することが可能となる。

そして、「わかりやすいイラストへの刷新」である。状況を把握しやすい鮮明なイラストに刷新することで、言葉が分からない段階でも、今からどのような場面の学習をするのかを直感的に理解できるようになると考える。

このように、学習の見通しをもたせ、自ら学べる環境を整えることは、児童生徒が自分のペースで学び直せるという安心感を生み、主体的に日本語学習と向き合う土台を築くことにつながる。この経験が、困難な学習状況においても「自分は学び続けることができる」という自己肯定感を育てる一助となると考える。

さらに、教材の質を向上させる手立てとして、いっば教室での日本語指導に実際に携わりながら、指導の中で見えてくる課題や改善点を整理することも重視する。そのうえで、視覚的に理解しやすく、動作化しやすい教材を中心とする。作成していく過程で、いっば教室の指導者からの助言を得て、それらを教材開発に生かす。教材作成にあたっては生成AIを活用し、使用したプロンプトを蓄積することで、今後修正が必要になった場合も柔軟に対応できるようにする。

(2) 校外学習を通じた成功体験の積み上げと文化体験

いっば教室の子どもたちに対し、公共の場での体験学習を取り入れ、日本文化に触れる活動や、初期指導段階で学んだ簡単な日本語表現を実際に使用する機会を設ける。行き先は松阪市の象徴的な歴史文化拠点である松坂城跡、御城番屋敷、本居宣長記念館を設定する。訪問前には行き先の簡単な紹介とともに、現地で使う挨拶や感想等のフレーズを学習する事前指導を行い、児童生徒の期待感と学習意欲を高める。

また、母語スタッフの同行に加え、見学先の担当者と事前に打ち合わせを行い、やさしい日本語を使って話してもらうことや、児童生徒が発する日本語を温かく受け入れ、応答してもらう環境を整える。こうした意図的な環境設定により、「日本語が通じた」という成功体験を得させ、さらなる学習意欲の向上を目指す。

(3) 学習言語の習得と進学を見据えた自己学習環境の整備

日本語初期指導期間の終了後においても、児童生徒が在籍校での教科学習に取り組み、将来の進路実現を目指せるよう、主体的な学習行動を促す環境を以下のように整備する。

第一に、学習言語への円滑な移行を目指した教材開発をおこなう。これは、どの教科においても、児童生徒が自分の考えを文章化しやすい文型を取り入れたものにする。このことにより、国際教室の現状でみられた「内容は理解できても、日本語の文章として記述できない」という課題に対し、具体的な書き方の手がかりを示すことができる。自分の考えを文章化できることで、学習意欲の維持を図る。

第二に、地域学習の理解を助ける松阪市資料集の作成である。在籍校での総合的な学習の時間や地域交流において、児童生徒が自ら情報を収集し、発信できるよう、松阪市の歴史や特産品、主要な名所に関する資料をまとめた独自の資料集である。これにより、地域社会の一員としての帰属意識を涵養し、連帯感を育む。

第三に、個別最適な学びを実現するデジタルリンク集の整備である。GIGAスクール構想によって配備されたタブレット端末を活用し、放課後や家庭でも自ら学習できる環境を構築する。具体的には英語や母語での解説がある多言語学習サイトや、日本語学習コンテンツ等を精選し、日本語及び母語での概要を付したリンク集を作成する。

さらに、上述した三つの教材資料を活用し、児童生徒が自らの頑張りを実感するための手立てとして、「達成度シート(日本語マスターへの道)」を導入する。本シートはテストのような他者評価ではなく、児童生徒本人による自己評価を重視する。児童生徒が自らの頑張りを可視化することで、「自分は着実に力をつけている」「やればできる」という自信につなげ、自己肯定感を育てることを目指す。

これらの取組の有効性については、以下のように検証する。

・初期指導教材

いっば教室担当者による教材使用後の評価や、子どもたちの学習時の様子、簡単な聞き取りアンケートを通して検証する。

・体験学習

いっば教室担当者や母語スタッフからの評価を受けることと、児童生徒の振り返りを分析することにより検証する。

・自己学習

国際教室担当者から教材の使用感について評価を受けることと、児童生徒への聞き取り調査をすることにより、学習の見通しが主体的な行動につながっているか、またその結果として日本語学習に対する前向きな意識や自己肯定感が育まれているかを検証する。

Ⅲ 実践と考察

Ⅰ 学習の見通しがもてる日本語初期指導教材への改良

(1) 日本語初期指導教材の改良

本教材の改良にあたっては、いっぽ教室のコーディネーターや指導員と計7回にわたるプロジェクト会議を実施した。会議では、長年の指導経験をもつ現場の知見を基盤としつつ、他自治体のカリキュラムとの比較検討を重ねた。特に、児童生徒が「自分はどれだけの学習をしなくてはならず、今ほどの段階か」「この単元で、何を学ばよいか」という学習の見通しをもって取り組むことができるようにすることを重視し、以下の観点から教材の再編成をおこなった。

①カリキュラムの精選と再編成

従来のカリキュラムを見直し、今の児童生徒にとって本当に必要と考えられる内容に再構成した。この新しいカリキュラムを、前述の「見通しをもてる目次」として児童生徒に提示する。そうすることで児童生徒が学習の全体像と自分の現在地を常に把握し、見通しをもてるようにすることが狙いである。まず、類似項目の統合と、実態に合わなくなった項目や初期指導の段階では難しすぎる設問の削除をおこなった。具体的には、スマートフォンの普及によって使用機会の減った「電話のかけ方」や、難解な立体図形の問題などである。特に、情報量過多であった単元については、「サバイバル日本語として必要か」という視点に立ち戻り、精選を図った。

一方で、今の学校生活で欠かせない内容は新たに追加した。友だちとの「ペア学習」を導入したほか、総合的な学習の時間などで役立つよう、松阪市の名所や偉人、特産品を写真付きで掲載した。また、一日の流れがわかるよう、校時表も導入した。

さらに、学校で特によく使うと想定される言葉や単語といった、児童生徒にとって優先的に必要と考えられるものを早期に学べるよう、項目の入れ替えもおこなった。

②視覚情報の最適化

日本語指導教材の課題であった「視覚的な不明瞭さ」を解消するため、生成AIを活用して教材内のイラストを視覚的にわかりやすいものへと刷新した。作成にあたっては、プロジェクト会議において「場面が直感的に伝わるか」「児童生徒が取り組みやすいか」といった観点から、一つひとつ検討を重ねた。

まず、会話場面の明確化である。日本語が未習得の状態でも、どのような場面での会話なのかを直感的に想起できるよう、具体的かつ明瞭なイラストを作成した。場面を理解する際の負担を軽減することで、児童生徒が安心感と見通しをもって学習に取り組めるよう配慮した。

次に、事物の現代化である。現行の教材に見られた「黒電話」や「箱型テレビ」といった、現在の児童生徒には馴染みの薄いものを、現代の家庭や学校生活で日常的に目にするものへと差し替えた。学習内容と実際の生活が直結することで、児童生徒にとって学ぶ内容がわかりやすくなるようにした。

③発達段階に応じた分冊化

これまで日本語初期指導の教材は全学年一律であり、小学校4年生以上の指導においては、既存のカリキュラムに沿って必要な単元をピックアップして実施していた。そこで、今回の改良では発達段階に応じて使い分けられるよう、「小学校3年生以下向け」と「小学校4年生以上向け」の二冊に分冊した。

小学校3年生以下を対象とした教材は、現行教材の良さをベースに、日常生活や学校生活において必須となる内容を網羅し、時間をかけて丁寧に学べる構成とした。文字の習得よりも「話す・聞く」といった学習活動を重視し、会話練習や動作化を多く取り入れることで、日本語によるやり取りの楽しさを実感しながら基礎を固めることに重点を置いた。

一方の小学校4年生以上を対象とした教材は、サバイバル日本語の習得を早め、より高度な学習内容へと速やかに移行できるよう、単元を精選し、再構成した。次の段階で学習する重複内容は削除し、書く作業をあえて減らすことで学習効率を上げた。

このように、教材を学年に応じて分冊したことにより、児童生徒にとって自分に取り組むべき範囲が明確になり、学習進度やゴールをより正確に把握できるようになった。

④指導の平易化と音声支援の導入

母語スタッフや保護者でも活用できるよう、指示の文章を平易な表現に改め、すべての漢字にルビを付した。さらに、主体的な学習行動を促すため、全単元に二次元コードを配置し、児童生徒が各自のタブレット端末でいつでも会話の音声を確認できる仕組みを整えた。

(2) 改良した教材を用いての実践と考察

本実践は日本語初期指導が必要な中学1年生の生徒1名を対象に実施したが、教材完成後の日本語初期指導対象者が1名であったため、定量的・多角的な検証には至っていない。また、小学校3年生以下を対象とした教材についても、該当する児童が不在のため実際の運用による検証は未実施である。そのため、本検証は中学生1名への実践記録と、指導者による教材の有効性及び期待感に基づくものとする。なお、教材の妥当性を検証するため、旧教材での指導経験が豊富な指導員が指導を担当した。

①児童生徒の変容

本項では、複数の児童生徒に対して新旧の教材を使い分けた比較ではなく、長年同じ単元を指導してきた指導員が、旧教材を使用していた過去の指導経験と、今回の指導を対比させることで、その変容を考察した。

指導員からは、旧教材では場面説明に時間を要したり、指導が難しかったりする場面があったために、児童生徒が受動的になりがちだったという指摘があった。しかし、改良教材を用いた今回の指導では、以下の2点について前向きな変容がみられた。

まず、学習の見通しと達成感の共有である。目次にシールを貼って進捗を可視化したことで、生徒が「半分できた」「あと少し」と喜び、指導者と学習状況を共有しながら意欲的に取り組む姿がみられた。

次に、場面判断の迅速化である。現代的でわかりやすいイラスト、特に学校生活に即した内容を充実させたことで、日本語が未習得の状態でも場面を即座に判断し、自らフレーズを発話しようとする姿勢がみられた。

このことから、児童生徒にとってわかりやすく、学習の見通しがもてるように教材を改良したことで、児童生徒の学習への前向きな変容を引き出したことが推察される。

改良した教材を用いた学習の様子



②指導者からの評価

いっば教室の指導者への聞き取りにより、教材の構成及び運用面において、以下の2点について評価が得られた。

まず、指導の平易化と効率性の向上である。分冊化により学習箇所が明確になり、指示も平易なため、「誰でも指導しやすい」との評価を得た。多言語表記とイラストの刷新は、説明時間の短縮と生徒の理解促進に直結しており、児童生徒が学習の見通しをもつことに対しても効果的だと期待されている。また、ペア学習の導入についても効果が見込まれるとの評価を得た。

次に、教材の携行性と愛着である。生徒の様子から、新教材に対して興味を持っていることが見て取れるため、自分のテキストとして持ち帰れるということに喜びを感じ、学習のモチベーション維持に寄与することが期待できるとされた。

③今後の課題

内容を精選したため、学習のテンポは向上したが、定着にはさらなる反復練習が必要であるという課題も見えた。これを受け、教材のイラストや類似のイラストを用いた練習プリント等の副教材も開発し、指導の厚みを確保した。教材のイラストを用いた副教材はフレーズの反復練習、類似のイラストを用いた副教材は別場面への応用を目的とし、学習の定着を補助するものとした。ただし、この副教材については開発途上であり、今後も実践と検証、協議を重ねながらより良いものへと変えていかなければならない。

2. 校外学習を通じた成功体験の積み上げと文化体験

(1) 校外学習の実施

公共の場での体験学習として、松阪市の歴史文化拠点である松坂城跡、御城番屋敷、本居宣長記念館への訪問を実施した。

対象は、いっば教室に通う小学校3～6年生の児童5名(3年生1名、4年生2名、5年生1名、6年生1名)である。

① 事前指導と環境整備

体験学習に先立ち、本居宣長記念館の担当者と打ち合わせをおこない、日本語初期指導段階の児童生徒でも現地の雰囲気を十分に味わえるよう、視覚的にわかりやすい展示物の活用や説明内容の精選を依頼した。

いっば教室での事前指導では、児童の興味を喚起するため、写真や動画を中心としたスライドショーを作成し、提示した。テレビで紹介されたり映画のロケがおこなわれたりした場所だという話題を交えながら、親しみやすい解説をおこなうとともに、現地で活用できる挨拶や自己紹介、「おもしろかったです」「すこしおもしろかったです」といった感想のフレーズを練習させた。また、スライドで現地の写真を見せると、児童から「ここ知ってる」といった声上がり、身近な風景が学習対象であることに関心を示していた。さらに、松坂城跡の写真を見せた際には、「どうして今はお城がないのですか」といった疑問が自発的に出された。

指導者からは、「児童らがスライドの写真や動画に見入っており、見学地に対して強い関心を示していた」「教えた日本語のフレーズを一生懸命に覚えようとする姿がみられた」という評価が得られた。日本語習得が十分でない段階において、視覚情報に訴えた事前指導をおこなったことは、児童が「どこで、どんなものを見て、どんなことを言えばいいのか」という具体的な見通しをもつために有効であった。このことから、ここでしっかりとしたイメージをもたせたことが、現地での主体的な学習活動を支える要因のひとつとなったといえる。

事前指導の様子



②当日の活動

当日は、事前指導で練習した日本語を、実際の場面で主体的に活用しようとする姿が随所にみられた。

まず、本居宣長記念館の館長に対して、児童らは一人ずつ自己紹介をおこなった。緊張しながらも、一生懸命に練習した日本語を使い、自分の名前や挨拶を相手に届けようとする姿がみられた。

続く館内の見学において、児童らは館長による「やさしい日本語」での解説をしっかり聞いて理解しようとしていた。内容が難しい場面では、自ら母語スタッフに質問して補足を得るなど、主体的な学習態度がみられた。展示物への関心も高く、館長が絵を示して「これは誰ですか？」と問いかけると「のりながさん」と答えたり、展示物の名前が書かれた札を読み上げたりしていた。中には、本居宣長の師である賀茂真淵の名前まで熱心に覚えようとする児童もおり、知的好奇心の高まりが感じられた。また、本居宣長の顔はめパネルを楽しんだり、来館記念スタンプを喜んで押したりして、楽しみながら地域の文化に親しむことができた。

鈴屋の見学では、事前指導で写真として見せたもの（昔のお風呂）を実際に見つけた児童が、「これは何ですか？」と自発的に質問する場面があった。写真という視覚情報から得ていた情報が、実物を見つけたことで身近なものとなり、学んだ日本語を使おうという主体的な学習行動を引き出したことが確認できた。

さらに、本居宣長が使用していた薬箱と同じ重さの箱を持つ体験では、その重さに対して「重い」と言う児童や「軽い」と言う児童がおり、互いの感覚の違いを笑いあうような和やかな場面もみられた。他にも、畳の部屋に上がると「落ち着く」と話したり、鈴の音色を聴いて「リラックスできる」と発言したりするなど、日本の伝統的な空間を五感で心地よく受容している様子が窺えた。

見学の最後には、全員が日本語でお礼を伝えることができた。館長からの「どうでしたか？」という問いかけに対し、「おもしろかったです」と学習したフレーズで感想を返せた児童もあり、教室内での学びが公共の場での生きた交流へとつながった様子が確認できた。

いっぽ教室に戻ってからは、今回の校外学習について「いいなと思ったこと」や「わかったこと」に関する振り返りを書かせた。記述にあたっては、自分の思いを正確に表現できるよう、母語を使用してもよいことを伝えたが、児童全員が日本語で書くことを希望した。

実際の記述場面では、一部でどうしても英単語を使用する児童もみられたが、母語スタッフや指導者の支援を受けながら、全員が日本語で振り返りを書くことができた。このことから、公共の場で日本語が使えたという成功体験が、「日本語をもっと使いたい、書きたい」という意欲につながった理由のひとつと考えられる。

当日の様子



(2) 本活動の有効性に関する考察

本活動の有効性について、いっぽ教室指導員と母語スタッフによる行動観察評価と、児童生徒による振り返りシートの記述分析の2つの観点から考察する。

① いっぽ教室指導者と母語スタッフからの評価（行動面）

いっぽ教室指導者と母語スタッフからは、児童らが日本語初期指導の段階にあっても、「日本語を少しでも理解し、使おうとする意識」をもって参加していたことが評価された。

具体的には、緊張しながらも1人ずつ自己紹介をやり遂げた姿や、館長の説明を真剣に聞き、学習内容を少しでも覚えて、「これはだれですか？」などの問いかけに答えようとする主体的な姿勢である。

また、学習効果の面では、事前指導で人物名や物の名前をあらかじめ押さえたことが、現地での理解を助け、確実な学習効果につながったという指摘もあった。「本居宣長」という人名や、「畳」「地図」といった語彙が実体験と結びついたことで、その意味を理解した上で口にすることができていたからである。

さらに、鈴を鳴らす体験や鈴屋を見学する様子から、「日本文化への親しみを肌で感じている様子が伝わってきた」という評価もあり、五感を通じた実体験が児童の心を動かしたということが確認できた。

②児童の振り返りの分析（心理面）

活動後に実施した振り返りシートからは、児童の意識において以下の3点において肯定的な変容が認められた。

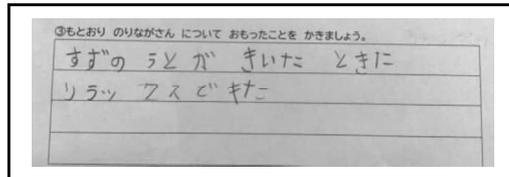
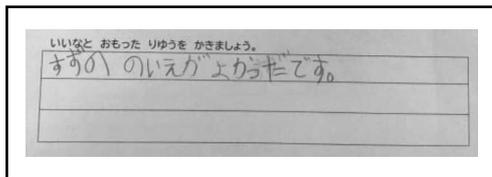
第一に、「自己効力感の向上」である。「日本語を話せましたか」という項目において、5段階（5がよくてきた）で自己評価をつけさせたところ、以下のような結果となった。

自己評価	5	4	3	2	1
人数(人)	2	1	2	0	0

最高評価をつけた児童は、自ら積極的に発話し、自分の日本語が相手に伝わったという経験を得ることができていた。また、評価「4」の児童も、館長からの「見学はどうでしたか」との問いかけに「楽しかったです」と日本語で返答できたことが自信につながったと考えられる。最も来日歴が浅い、評価「3」の児童らは「わからない」とつぶやく場面が何度か見られたが、自己紹介やお礼を確実に伝えられたことが自信につながったと考えられる。全員が「公共の場で自分の日本語が通じた」という成功体験を得たことは、日本語学習に対する確かな自信（自己効力感）へとつながった。

第二に、「多文化受容と地域への愛着」である。児童の振り返りに、以下のような記述がみられた。なお、児童の記述はほぼすべて日本語でおこなわれたが、児童の感想をすべて表現しきれないと考えられたため、さらに聞き取りをおこなった。聞き取りでわかったことを（ ）内に記述した。

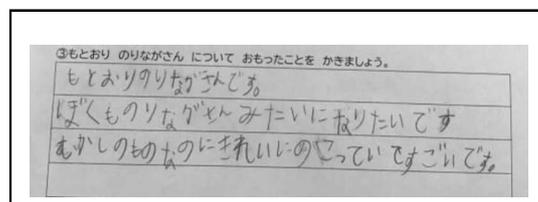
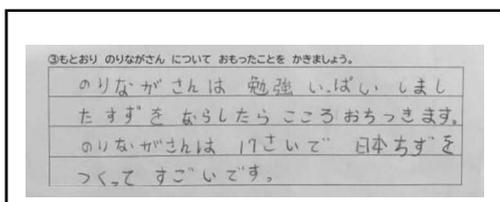
- ・いしがきが とても きれいでした。(形の異なる岩がきれいに積み上げられていてすごいと思った。石垣を横から見ると、角のところがまっすぐになっていてきれいだった。)
- ・けしきが きれい 山も きれいです。(天守閣跡から見る松阪の町が美しいと思った。松阪は山が多く、きれいな土地だと思う。)
- ・すずののいえが、よかったです。(鈴屋はきれいですてきな家でした。)
- ・すずの おとが きいた ときに、リラックスできた。(鈴を鳴らしてみたら、心がリラックスしたので、宣長さんの気持ちがわかりました。鈴屋の雰囲気が好きです。)



これらの記述から、児童らにとって「よく知らない場所」が「美しく身近な場所」へと変容したことがわかる。松阪市の文化遺産を肯定的に受け止めることは、そのまま自分の生活圏を受け入れることにつながり、地域社会との心理的な距離が近付いたと言える。

第三に、「知識の定着と知的好奇心の発生」である。本居宣長について学習した感想の中に、以下のような記述がみられた。

- ・のりながさんは 勉強いっぱい しました。
- ・のりながさんは 17さいで 日本ちずをつくって すごいです。
- ・ぼくも のりながさんみたいに なりたいです。(宣長さんは勉強をたくさんして、何百年も残る素晴らしいものを残したのがわかったので、ぼくもたくさん勉強をしたいです。)
- ・むかしのものなのに、きれいにのこっていてすごいです。
- ・ちずがおもしろかったです。



事前指導で提示した写真や言葉が、実体験と結びつくことで、知的好奇心へと変化した。昔のお風呂を見て「これはなんですか?」と尋ねたり、自画像を見て「宣

長さん!」と発言したりするなど、知識が単なる暗記ではなく実体験を伴った情報として定着した。

特に、本居宣長の生き方に触れたことで、その偉大さに関する記述や感想がみられたことは特筆すべき成果といえる。偉人の功績への驚きが、言葉の壁を越えて「自分ももっと学びたい」という主体的な探求心を引き出すきっかけとなった。

3. 学習言語の習得と進学を見据えた自己学習環境の整備

(1) 中学校国際教室との連携による実践と検証

日本語初期指導期間の終了後も、生徒たちが在籍校での教科学習に意欲的に取り組み、主体的な進路実現を目指せるよう、中学校の国際教室と連携した取組をおこなった。本研究期間内では、日本語指導が必要な生徒たちが学習の見通しをもって授業に臨めるよう、特に教科学習の土台となる「振り返り」の支援に重点を置いた。

①教科学習における振り返り(記述)を支える文型教材の導入

国際教室の担当者や在籍校の教員と全3回にわたる協議を重ね、日本語習得が不十分な生徒が直面する「学習の振り返りが十分に書けない」という課題の解決を図った。その結果、以下の5つの要素からなる汎用的な文型教材を作成した。

- | |
|--|
| (ア) 何を勉強したか
(イ) わかったこと
(ウ) 自分の考え・感想
(エ) わからなかったこと
(オ) 次にがんばりたいこと・今後の課題 |
|--|

運用面では、(ア)と(オ)を基本とし、(イ)～(エ)の中から書けるものを1つ以上選択する形をとることで、生徒の負担感を軽減しつつ、必要な文章を書けるような手立てとした。

②地域学習を助ける「松阪市資料集」の提案

松阪市の歴史や特産品、名所をまとめた独自の資料集を作成し、国際教室担当者や数名の教員へ配付した。これは、総合的な学習の時間や、校外学習の事後学習等において、生徒自ら情報を調べ、自分の住む地域について発信するため

の参照ツールとしたものであるが、実際の生徒への試用には至らなかった。しかし、教員からは、「子どもたちが松阪市について興味を持ち、知るための有効なツールである」との肯定的な評価を得ることができた。

③自己学習を促進する「デジタルリンク集」と「達成度シート」の提案

生徒たちの自己学習を促進する目的で、タブレット端末からアクセスできるデジタルリンク集（英語や母語での解説がある多言語学習サイトや、日本語学習コンテンツ等を精選し、日本語及び母語での概要を付したものを）を整備した。

さらに、上述した3つの教材を活用することで自らの学習の進捗がわかる「達成度シート」を作成した。これにより、生徒が自らの学びを可視化することができ、これまでの学びを振り返りつつ、今後何ができるようになれば良いのかという学習の見通しをもてるようにした。

これらについても、実際の試行には至らなかったが、「子どもたちの自己学習を促進し、学習の見通しを立てるための有効なツールである」との評価が得られた。

（2）実践を通しての考察

①振り返り記述への意欲の喚起

作成した文型教材を国際教室の生徒に試行したところ、成果がみられた。一定の学習言語が身につけている生徒は、型に沿うことで淀みなく振り返りを述べることができた。また、普段は翻訳機に頼る場面があり、授業時間内に振り返りを提出できずにいた生徒においても変容がみられた。文型という「書き方の手がかり」があることで、自力で複数の文章を構成し、振り返りを提出することができたことである。この成功体験は生徒の学習意欲を強く刺激し、「これ（教材）、もらっていいですか」と嬉しそうな表情で口にする姿がみられた。これは、今回の支援が生徒の「書きたい」「学びたい」という主体性を引き出したということだといえる。

②指導者と母語スタッフによる評価

実際に指導にあたった教員や支援をおこなった母語スタッフからも、「構成がシンプルで使いやすい」「振り返りが書きやすい」との評価を得た。共通の枠組みで指導できる点において、指導者側の負担軽減にもつながることが示唆された。

③今後の課題

今回の実践は期間が限られていたため、考察のための十分な材料を揃えるまでには至らなかった。また、文型教材そのものも開発途上であり、今後は各教科特有の重要語彙をヒントとして提示するなど、各教科でより活用しやすい仕組みへの改良が必要である。

今後は、今回評価が得られた「松阪語彙集」や「達成度シート」の実装も含め、初期指導から在籍校での教科学習へとスムーズにつながる「学びの連続性」を担保する環境整備を継続していきたい。

IV 研究のまとめ

I 成果と課題

本研究では、日本語指導が必要な児童生徒に対して、「学習の見通し」をもてる環境を整えることが、主体的な学習態度と自己肯定感の涵養にどのような影響を与えるかを検証してきた。その成果と課題を以下にまとめる。

(1) 成果

本研究の成果は、「見通し」がもたらす変容という観点から、大きく以下の3点に集約される。

第一に、学習状況の可視化による主体性の向上である。中学1年生の生徒への実践からは、日本語初期指導教材を刷新したことで、生徒が学習の見通しをもてるようになり、ひいては主体的な学習態度につながることを確認した。また、児童生徒の場面理解に要する負荷が軽減されたことにより、日本語未習得の段階からでも「自分にもできそうだ」という安心感を抱かせ、日本語生活をより円滑にスタートできる支援の実現が示唆された。

第二に、日本語活用への自信の醸成である。校外学習という日本語を使う「本番」の場面を設定し、事前指導と実体験とを結び付けたことで、いっぽ教室での学びが公共の場で通用するという成功体験を創出した。特に、視覚情報に訴えた事前指導をおこない、フレーズの練習をさせたことで、児童は「どこへ行き、誰に、どのような日本語を使えばよいのか」という活動の具体的な見通しをもって、本番に臨むことができた。この見通しに基づく成功体験は、「自分は学習した日本語を用いて意思疎通を図ることができた」という自己効力感の獲得に寄与した。

第三に、思考を言語化するための「型」を示したことによる学びの継続性への補助である。中学校国際教室の実践において、振り返りのための文型教材を導入した。書き方の「型」というアウトプットへの見通しを提示したことで、表現方法に苦慮していた生徒が、自力で考えを言語化できたという達成感を得ることができた。この経験は、学習言語の習得という困難な状況においても、主体的に学び続けられるという自己肯定感を支える重要な基盤となった。

(2) 課題

まず、新教材のさらなる運用と継続的改良である。今年度は教材の刷新に注力したが、本年度後半の来日児童生徒数が限られていたため、中学生1名の実践にとどまった。そのため、小学校3年生以下向けの教材については実際の運用による検証が未実施である。今後來日する児童生徒に対してさらに新教材を運用していくことで、教材のさらなる改良や副教材の充実を図る必要がある。

次に、市内全小中学校への普及と学びの連続性の確保である。具体的には、本研究で得られた「見通し」を支える手立てを、松阪市内の小中学校と共有し、学びの連続性を確保していくことが大きな課題である。どの小中学校においても日本語指導が必要な児童生徒を迎え入れる可能性があるため、一部の担当者だけでなく、学校全体での受け入れ体制の整備が必要であると考え。「もしも」の場合に備えて、平時から意識や体制を整えておくということは決して容易でないことは理解しているが、日本語指導が必要な児童生徒がいつどの学校へ来ても、戸惑うことなく学校生活を始められる環境は、児童生徒の安心感を支える大きな基盤となるはずである。また、必要な時にはいっば教室のコーディネーターからの助言が得られる環境・体制があること、日本語学習教材等についてはすでにデータで共有できる仕組みがあることを積極的に周知していく必要がある。

最後に、多文化共生社会を見据えた意識の醸成である。すべての児童生徒たちは将来、多様な言語や文化をもつ人々と出会い、協働する可能性が高い。特定の対象者の有無に関わらず、すべての学校において多文化共生の視点を養う取組を継続することが、これからの多文化共生社会を支える基盤になると考える。そのためにも、教師は日本語指導が必要な児童生徒の抱える困難さを正しく把握し、市内で展開されている支援の取組について共通理解をもつことが必要になってくる。そのうえで、子どもたちが将来出会う多様な人々と尊重しあいながら協働できるよう、出会い学習や多文化共生教育の実践にさらに組織的に取り組んでいくことが課題と考える。

具体的には、教師がしばしば教室への視察見学をおこない、市内の日本語初期指導の現状や、そこで学ぶ児童生徒の学習状況をより深く知る機会を設けることである。教師はそこで得た学びや気づきを自校で還流することで、多くの教職員と共有することができる。日本語指導が必要な児童生徒たちがどのような環境で、どのように学んでいるのかを多くの教職員が正しく理解することは、学校全体の受け入れ体制を整える上で極めて重要であると考えられる。

この他には、日本語指導が必要な児童生徒が在籍していない学校においても、母語スタッフを招いた多文化共生学習を実施することである。母語や母国の文化を教わるだけでなく、これまで母語スタッフがどのような生活を送ってきたのかを直接聞くことで、児童生徒が多文化共生の視点を養うためである。

さらに、日本語指導が必要な児童生徒が在籍している学級においては、その児童生徒が自らの思いを語り、自身の強みを活かして活躍できる授業を構成する。周囲の児童生徒が、日本語指導が必要な児童生徒を正しく理解し、互いに尊重しあえる関係性を築くことが、誰一人取り残さない教育の基盤となると考えるからである。

2 終わりに

来日直後の児童生徒にとって、言葉も文化も異なる環境での生活は、自己肯定感を喪失しやすい極めて不安定な状況にある。しかし、本研究を通じて明らかになったのは、適切な学習の「見通し」を提示し、小さな成功体験を積み重ねる環境が整えば、児童生徒は自らの力で前向きに学ぼうとする強さをもっているということである。

教材を刷新し、地域で日本語を使って学習し、主体的な学びの仕組みを整備するという一連の試みは、単なる日本語習得の手法ではない。それは、児童生徒一人ひとりが「自分は学び続けることができる存在である」という自信を持ち、日本社会の一員としての新しい自己像を構築していくプロセスであるといえる。

また、本研究で得られた「見通しをもたせることで主体的な学習行動を促す」という知見は、決して日本語指導が必要な児童生徒に限ったことではない。学習の目的や現在地を可視化し、児童生徒一人ひとりに寄り添った指導をおこなうことは、すべての子どもたちに共通して求められる教育の本質であろうと考える。そのため、本研究で得られた手立てをすべての子どもたちの学びに広げ、個々の可能性を大きく引き出す実践へとつなげていきたい。

たとえ今、身近に外国籍の児童生徒がいない環境であっても、すべての児童生徒が将来、多様な言語や文化をもつ人々と共に生き、協働していく可能性は高い。

そのため、本取組から得られた知見を共有し、多様性を尊重する感性を育むことは極めて重要である。それは、児童生徒たちが互いのちがいを認めあい、豊かな多文化共生社会を共に築いていく力を養うだけでなく、自らの人生をより豊かにしていくことにもつながるからである。

今後も、すべての児童生徒が自らの可能性を信じ、互いのちがいを豊かさとして認め合いながら学校生活を送れるよう、よりよい教育実践を追求していきたい。

【参考・引用文献】

- ◇ 石森広美,阿部始子,東優也『地球市民育成を目指した小学校外国語科の授業による児童の学びと変容』小学校英語教育学会誌／2024年
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jesjournal/24/01/24_226/_article/-char/ja/
- ◇ 文部科学省『外国人児童生徒教育の現状と課題』／2025年
https://www.mext.go.jp/content/20250425-mxt_kyokoku-000041756_005.pdf
- ◇ 総務省『地域における多文化共生プラン(改訂)』／2021年
https://www.soumu.go.jp/main_content/000706218.pdf
- ◇ 文部科学省『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す,個別最適な学びと,協働的な学びの実現～(答申)』／2021年
https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_2-4.pdf
- ◇ 文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」／2024年
https://www.mext.go.jp/content/20240808-mxt_kyokoku-000037366_4.pdf
- ◇ 三重県教育委員会「自立と社会参画に向けた外国人児童生徒教育について」／2019年
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000923926.pdf>
- ◇ 文部科学省「外国人の子供の就学促進及び就学状況の把握等に関する指針」／2020年
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/004/1415154_00003.htm
- ◇ 「松阪市人権施策基本方針(第三次改訂)」／2024年
<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/jinken/jinkenhoushin3.html>
- ◇ 文部科学省「外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議」資料／2025年
https://www.mext.go.jp/content/20250425-mxt_kyokoku-000041756_07.pdf

- ◇ 愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム「がっこうせいかつ ことばワーク」／2025年
<https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/03/%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%B0%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AFHP%E7%94%A8-%E3%80%90%E8%A6%8B%E9%96%8B%E3%81%8D%E7%94%A8%E3%80%91.pdf>
- ◇ 文部科学省「外国人児童生徒等のことばの力のアセスメント」／2014年
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2014/03/20/1345383_3.pdf
- ◇ 文部科学省「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のための対話型アセスメント DLA」／2025年
https://www.mext.go.jp/content/20250620-mxt_kyokoku-000042838_01.pdf
- ◇ 鹿島恵・石川博子「みえこさんのにほんご」三重県国際交流財団／2007年
- ◇ 川上 郁雄『日本語を学ぶ子どもたちを育む「鈴鹿モデル」』明石書店／2021年
- ◇ 斎藤ひろみ・池上摩希子・近田由紀子『外国人児童生徒の学びを創る授業実践』くろしお出版／2015年
- ◇ 齋藤ひろみ『小学校「JSL 社会科」の授業作り』スリーエーネットワーク／2005年

【巻末資料】

いっば教室 校外学習 学習指導案

令和8年2月17日(火)

指導者 佐波 允友

1. 題材名「松阪とつながろう～学んだ日本語を活用して～」

2. 本時の目標

- ・松阪市の歴史的史跡や建造物を訪問し、日本の伝統的な文化や地域への関心を高める。
- ・いっば教室で学んだ日本語を実際に地域で使うことで、学習意欲を高める。
- ・集団行動を通して、公共の場でのマナーやルールを学ぶ。

3. 事前指導(日時:2月16日(月)10:15～10:45 場所:いっば教室)

準備物:スライド(写真、動画)、タブレット端末、TV、ワークシート

学習活動	主な発問と 予想される児童の反応	指導上の留意点
1. 校外学習 の概要をおさ える。	○いっしょに読みましょう。 「ごじょうばんやしき」 「もとおり のりなが きね んかん」 「まつさかじょう あと」 ○歩く道をたしかめましょ う。 ○気をつけることを たし かめましょう。	・タブレット端末の画面をミラーリングし、視 覚情報に訴えながら実施したい。 ・簡単な日本語を平仮名で書くことで、初 期指導段階の児童でも読めるようにする。 日付、めあて、行き先を子どもに読ませるこ とで、学習意欲を高めさせたい。 ・母語スタッフの協力を得ながら、大事な ことを伝えていきたい。 ・地図を画面上でなぞりながら、経路を確 認させる。
2. 御城番屋 敷がどんなと ころかを知る。	○知っていますか? ・しってる ・わからない ・きれい	・写真を提示し、興味を持たせる。 ・外観と内装それぞれを見せる。 ・写真を見せながら、畳、障子、襖という言 葉を教える。 ・テレビで紹介されていた様子や、るろうに 剣心の映画撮影がおこなわれていた様子

<p>3. 本居宣長記念館で何を学ぶのかを知り、日本語のフレーズを練習する。</p>	<p>○挨拶の練習をしましょう。 「おはようございます。○ ○しょうがっこう △ねんせい の □□です。よろしくお ねがいします。」</p> <p>○感想を言う練習をしましょう。 「おもしろかったです。」 「すこしわかりました。」 「またきたいです。」 「すこしむずかしかったです。」 「べんきょうになりました。」</p>	<p>を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本居宣長が人物名であることをおさえ、それに関わるものを見学するということを教える。 ・テンプレートを記載したワークシートを配付する。見ずに話せる子どもは伏せるようにさせる。 ・個別に練習させた後、全体場で発表させる。 ・フレーズ練習を終えたら、見学順路に沿って写真を提示しながら簡単に説明する。 ・トイレの場所を伝えておく。 ・鈴屋の説明をした後、感想のフレーズを練習する。母語スタッフの協力を得て、それぞれのフレーズがどんな意味なのかを教えたい。 ・さらに、「今日はありがとうございました」というお礼を言う練習もさせる。
<p>4. 松坂城跡とはどんな所かを学ぶ。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・テレビで紹介されていた様子を提示しながら、蒲生氏郷の城があった土地だということを教える。 ・天守閣跡に登り、景色を見ることを伝え、期待感をもたせたい。

4. 本時の指導

準備物：タブレット端末、来館記念スタンプ台紙

学習活動	主な発問と 予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1. 簡単に復習する。 2. 出発する。</p>	<p>○どこへ行きますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の決まりや挨拶についても確かめさせたい。 ・トイレを済ませ、整列させる。指導者が列の

事前学習資料

しゃかい けんがく

なまえ

がつ にち

①あいさつ

「おはよう ございます。」

「 しょうがっこう 小学校 ねんせい 年生の
 です。」

「よろしく おねがいします。」

②「かんそうを おしえてください。」と いわれたら

「おもしろかった です。」

「すこし わかりました。」

「また きたい です。」

「すこし むずかしかった です。」

「べんきょうに なりました。」

※ほかにも あれば・・・

③おれい

「きょうは ありがとう ございました。さようなら。」

しゃかいけんがく /

にちじ
2がつ 17にち
かようび 2

★めあて★
にほんごを つかおう！
にほんの よさを みつけよう！

ぼしよ
①ごじょうばん やしき
②もとおりのりなが
きねんかん
③まつさかじょう あと

あるく みち


きを つける こと
・こうつう あんぜん
・1れつに ならぶ
・かっぺに さわらない

①ごじょうばん やしき

まつさかじょうを
まもっていた
さむらいが
すんでいた
いえ。
かそくも
すんでいた。

そと


なか


しっていますか？

るろうに けんしん

まいがが さつえい されました


しゃしん あります！

さわらない！

②もとおりのりなが きねんかん
もとおりのりながさんの
ぺんきょうが
できます。

かかひの ひとと みます。
★あいさつを しょう★
「おはよう ございます。
〇〇しようがっこう
△ねんせいの □□です。
よろしく おねがいします。」

①テレビで つかったもの
のりながさんは
テレビにも
できました。


(2)ねんびょう
のりながさんが
うまれたときから
なくなるまでの
ことが
かいてあります。


(3)にほん ちず
のりながさんが
かきました。


(4)じがそう
のりながさん
です。


(5)むかしの どうく
むかしのものを
たくさん
みましよう。


※トイレ

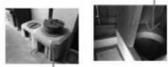


「すずのや」へ いこう！

のりながさんの いえ


くつを
ぬく
み
ぐ
い

だんきがない


これは なに？


2かいは そとから みよう！


**しょうがくせい の さくひんを
みよう！**


★かんそうを いおう★
「おもしろかった です。」
「すこし わかりました。」
「また きたい です。」
「すこし むずかかった
です。」
「ぺんきょうに なりました。」

★おれいを いおう★
「きょうは ありがとう
ございました。さようなら。」

②まつさかじょう あと

がもう うじさと さんの、
おしろが あった。

なに？

おしろ
[むかしは あった]
いまは、...
ない！



ふりかえり

①にほんごを はなせましたか。すうじに ○を つけましょう。

できた

できなかった



5 4 3 2 1

②いちばん いいなと おもったところは どこですか。□に ○を かきましょう。

ごじょうばん やしき

もとおりのりなが きねんかん

まつさか じょう あと

いいなと おもった りゆうを かきましょう。

③もとおりのりながさん について おもったことを かきましょう。

にほんご
みち
日本語マスターへの道

ステージ1 かんたんな会話ができる

- あいさつができる
- 自分の名前・好きなものが言える
- 指さしで言いたいことを伝えられる

ステージ2 学校生活ができる

- 先生の指示が少しわかる
- 友だちと少し話せる
- ひらがな、かたかなを読んだり書いたりできる
- 漢字は○年○年生のものまで書ける

ステージ3 授業に参加できる

- 話す: 自分の考えが言えて、質問ができる
- 聞く: 話を聞いて、メモがとれる
- 読む: 文章を読んで、書いてあることが言える
- 書く: 自分の考えが一文書ける

ステージ4 自分でなんでもできる

- 話す: 自分の考えをすべて言える
- 聞く: ペアやグループでの話し合いができる
- 読む: 書いてあることが全部わかる
- 書く: 作文が一人で書ける

My Manabi

M. Matsusaka

にほんごをまなぼう

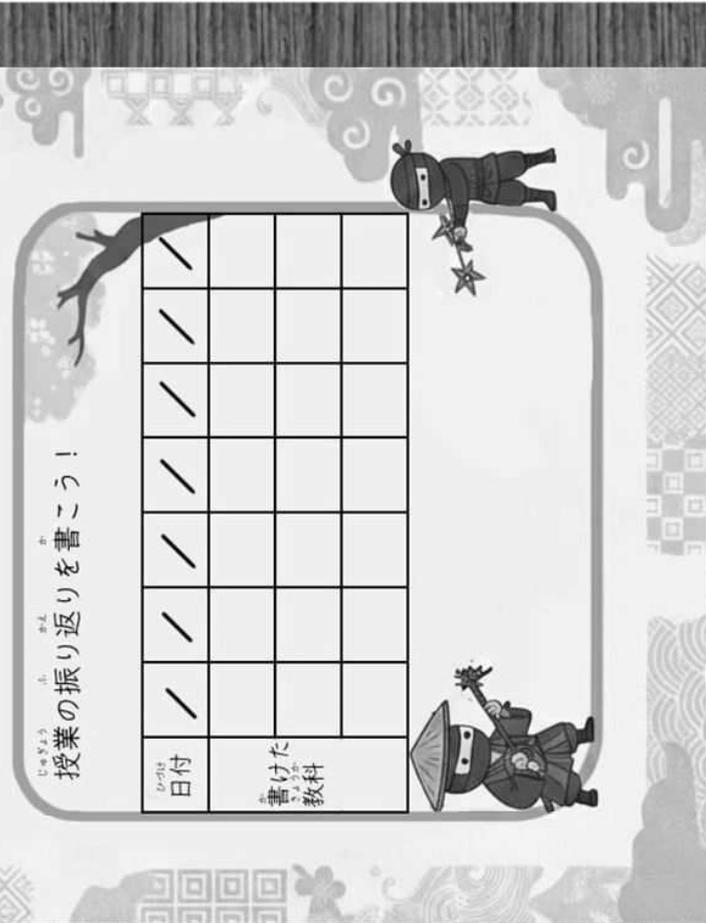
使った日付	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/

My Matsusaka

使った日付	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/

授業の振り返りを書こう!

日付	/	/	/	/	/
書けた教科					



にほんごをまなぼう!

①にじげんコードをよみます
 ②えや どうがをみます
 ③こえをききます
 ④できそうなところからはじめます
 ※わからないことは、せんせいに、ききます

(1)Scan the two-dimensional code
 (2)Watch pictures or videos
 (3)Listen to the sound
 (4)Start from what you can do
 ※If you don't understand, ask the teacher

Level 1 せいいかつの ことば (いつほの ふくしゅう)

①たのしい がっこう
 24の げんごで
 みる ことが
 できます。

②がっこう せいいかつ ことば ワーク
 にほんご だけで
 かがれて います。

Level 2 がくしゅう の ことば

③さんすう・すうがく どうが
 高校までの がくしゅう
 を いろいろな げんご
 で みる ことが
 できます。

④中学校の ことば
 じゅぎょうで つかう
 ことばの いみを
 しらべる ことが
 できます。

⑤あや と むさし の がくしゅうちょう
 こくご さんすう・
 すうがく シャカイ
 りかの がくしゅうが
 できます。

⑥こくご・さんすう
 小学1~3年生の
 こくごを さんすうの
 がくしゅうが
 できます。

Level 3 もっと にほんご

⑦やさしい ことば ニュース
 まいにちの ニュースを やさしい にほんごで
 みる ことが できます。
 たいじな ことも たくさん あるので、
 すこしでも わかるように なりましょう。

⑧エリンが ちょうせん! にほんご できます。
 いろいろな ばめんに あわせた どうがが
 たくさん あります。
 はなす れんしゅうに つかいましょう。
 中學生~高校生むけ です。

⑨アニメ・マンガの にほんご
 アニメや マンガに でてくるような、
 にほんごの いろいろな はなしかたが
 まなべます。
 ともたちや せんせいと にほんごで はなせる
 ひとは やってみましょう。

⑩つなひろ
 じっさいに はなせる、つかえる にほんごが
 まなべます。
 どうがを みながら にほんごを おぼえる
 ことが できます。

My Matsusaka 1

◇松原市には、地域のために立派なことをした人がたくさんいます。
 • Matsusaka City is home to many remarkable people who did great things for their community.
 ◇松原市の小・中学校では、こういった「偉人」とよばれる人々を学習します。
 • In local elementary and junior high schools, students learn about these "great figures."
 ◇特に、この4人はどの学校でも学習します。
 • In particular, these four individuals are studied at every school.
 ◇まだ学習していない人や、もう終わったという人、今ちょうど学習している人、どんな人でも使えます。
 • This information is for everyone—whether you're about to learn about them, have already finished, or are studying them right now.



本居 宣長 (ほんけのりなが)

『キーワード』
 『古事記伝』を書いた。
 仕事は『医者』と『研究者』。
 日本人の心を『ものあはれ』と
 いった。

副読本

↓見たことあるかな？
 松原駅の跡
 マンホールの跡

↓学校にあるかな？
 田平跡(住んでいた場所) 新屋(勤務した部屋)

QRコード

本居宣長記念館

松浦 武四郎 (まつら たけしろう)

『キーワード』
 『北海道』の名付け親。
 北海道の『探検家』。
 『アイヌ』の人々と、なかよくし
 た。

副読本

↓学校にあるかな？
 生家(生まれた家)
 武四郎さんがかいた
 北海道の地図

↓見たことあるかな？
 たけちゃんのマンホール

QRコード

松浦武四郎記念館

蒲生 氏郷 (かもう うちさと)

『キーワード』
 『松坂城』の城主。
 『松原開府の祖』とよばれる。
 『青割排水』という、水が流
 れる道を作らせた。

副読本

↓学校にあるかな？
 松原開府の碑
 青割排水(たくさんあります)
 氏郷まつり

QRコード

歴史民俗資料館

三井 高利 (みつい たかとし)

『キーワード』
 『越後屋』を開いた。
 商売の方法は、
 『箱組(金)掛け値なし』と、
 『店前売り』

副読本

↓学校にあるかな？
 ポケットパークのライオン像
 のれん印

QRコード

三井家発祥地

My Matususaka 2

たくさん
しらべよう!!

たくさん
しらべよう!!

たくさん
しらべよう!!

◆ Matususaka City has many delicious foods and wonderful places.
◆ In local elementary and junior high schools, students learn about these "wonderful things about our community."
◆ This is just a small part of what the city has to offer, so please explore and find out more!

★名所(自然・体験)★
香肌

ベルファーム

道の駅 茶倉

中部台公園

森林公園

★名所(歴史)★
旧長谷川治郎兵衛家

御城番屋敷

宝塚古墳公園

松阪市文化財センター

國分家

食べる、飲む

松阪牛

松阪茶

釜つま

芋サブ

松阪赤菜

鳥焼肉

か

ふりかえりを書けるようになろう

★①～⑤の文章を書いていきましょう。

<p>なに <small>べんきょう</small> 何を勉強したか</p>	<p>① <small>きょう</small>今日は <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> <small>べんきょう</small>を勉強しました。</p>
<p>わかったこと</p>	<p>② <input style="width: 200px; height: 25px;" type="text"/> だと わかりました。 (大事なことは、<input style="width: 80px; height: 25px;" type="text"/> だと わかりました。)</p>
<p>じぶん <small>かんが</small> <small>かんそう</small> 自分の考え(感想)</p>	<p>③ <small>わたし</small>私は <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/> <small>おも</small>だと思いました。</p>
<p>わからなかったこと</p>	<p>④ <input style="width: 100px; height: 25px;" type="text"/> は、<small>むずか</small>難しかったです。 (<input style="width: 100px; height: 25px;" type="text"/> は、わかりません。)</p>
<p><small>つぎ</small> 次にかんばりたいこと (課題)</p>	<p>⑤ <small>つぎ</small>次は <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/> したいです。</p>

※ ①と⑤は かなら必ず書きましょう。

※ ②、③、④は書けるものを1つ以上 いじょうまん選んで書きましょう。

か ふりかえりを書けるようになろう

きょうしろう
教師用

★①～⑤の文章を書いていきましょう。

なに <small>べんきょう</small> 何を勉強したか	①今日は <input type="text"/> を勉強しました。
	<small>「めあて」を見て書きます。</small>
	<small>今日の授業でわかった言葉について書きます。</small>
わかったこと	② <input type="text"/> だとわかりました。
	(大事なことは、 <input type="text"/> だとわかりました。)
	<small>②について思ったことを書きます。</small>
じぶん <small>かんが</small> 自分の考え(感想)	③私は <input type="text"/> だと思いました。
	<small>今日の授業でわからなかった言葉を書きます。</small>
わからなかったこと	④ <input type="text"/> は、難しかったです。
	(<input type="text"/> は、わかりません。)
	<small>次の授業でがんばりたいことを書きます。</small>
つぎ <small>たごい</small> 次がんばりたいこと (課題)	⑤次は <input type="text"/> したいです。

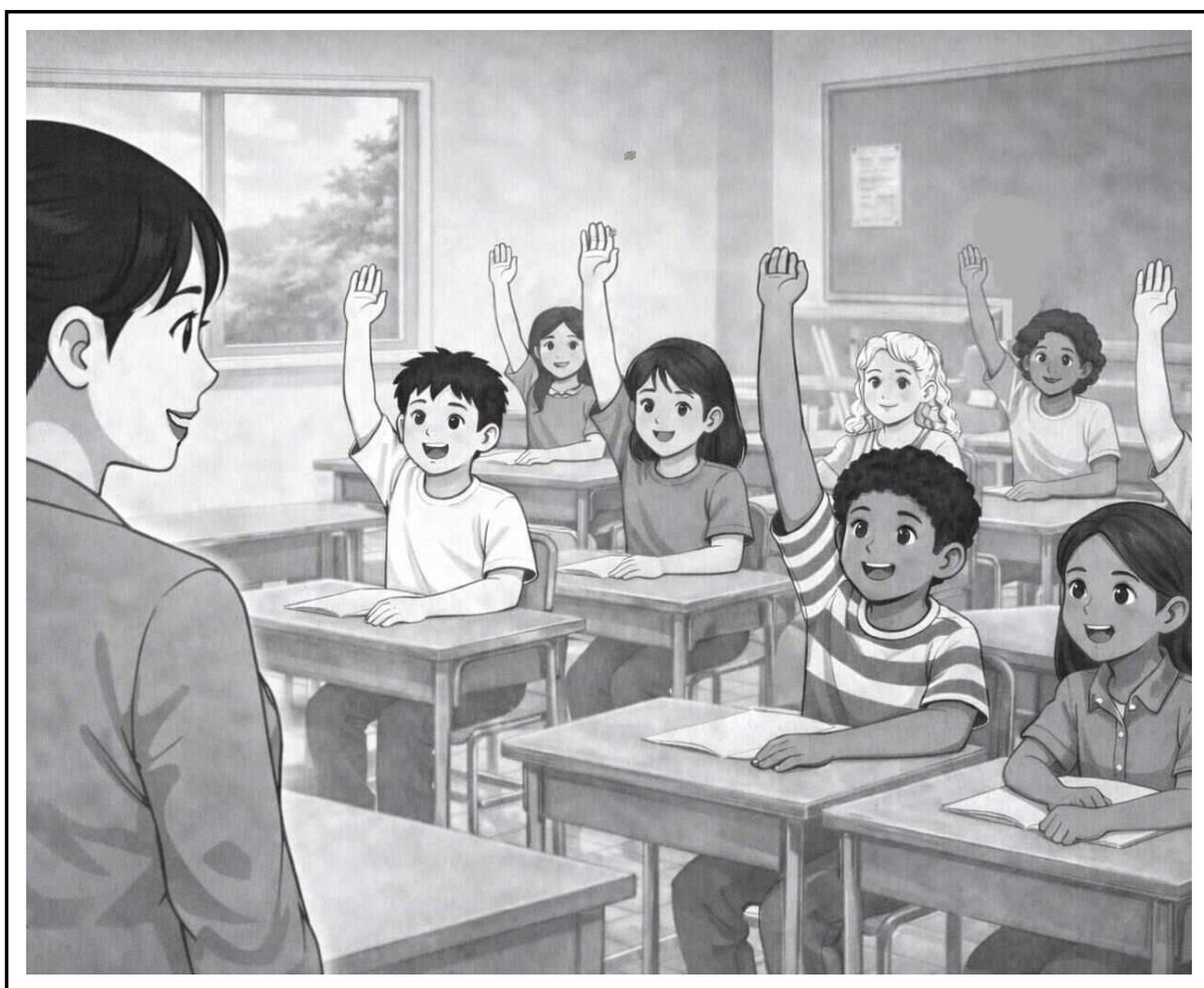
※ ①と⑤は必ず書きましょう。

※ ②、③、④は書けるものを1つ以上選んで書きましょう。

はじめての いっぽ



M-Survival



松阪市子ども支援研究センター

外国人児童生徒のための初期適応支援教室「いっぽ」

「はじめの いっぱ」(M-Survival) カリキュラム

※ページ欄に△をつけたときは、後日終わったら△の上から○をつける。

※理解度は1・2・3のいずれかに○をつける。1は不十分、2は合格、3はよくできる。

※イラストを見せたり、ペア学習や指導者との会話練習をさせたりしてすすめていくようにする。

なまえ
名前

No. (課)	教材	目標	指導上の留意点	ページ				理解度		
				(終わった○、途中△)				1	2	3
1	あいさつ 1	場面に応じた、基本的なあいさつができる。	イラストの内容とあいさつが対応していることを理解させる。会話の練習を意識させる。	2	3					
2	いい・だめ	してもいいこと、いけないことの意味表示ができる。	母国と異なる場面もある可能性があるが日本での基本的なルールを理解させる。	4	5	6	7			
3	かず (1~5)	1から5までの数について理解するとともに、計算ができる。	数字を書く練習もさせていく。「たす」「ひく」「は」も読みながらできるようにさせる。	8	9					
4	もちもの	学習に使う道具の名称がわかる。	実物を用いてやりとりをするようにする。	10	11					
5	かず (6~10、0)	6から10までの数および0について理解するとともに、計算ができる。	2課と同様にすすめていく。数順を昇順・降順どちらでも言えるようにさせる。	12	13					
6	ある・ない	「ある・ない」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	3課の学習を想起させながら、「○○ある？」などと問う。子どもにも問わせる場面を作る。	14	15					
7	かず (11~19)	11から19までの数について理解するとともに、10+○の計算ができる。	4課と同様にすすめていく。	16	17					
8	わかる・わからない	「わかる・わからない」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	「わかる・わからない」の使い分けができるように、何度も練習させる。	18	19					
9	かず (20・30… 90)	10の倍数を90まで理解し、十の位の加減計算ができる。	イラストで学習した後、お金の模型を用いて何度も練習させる。	20	21					
10	いたい (からだ)	体の部位の名前が言える。体調不良の伝え方がわかる。	体の部位を学習させた後、「○○がいたい」と「きもちがわるい」を言えるようにさせる。「どうしたの？」という問いかけもさせる。	22	23					
まとめ①	1~10課	※定着度を測る。	診断テストでどの程度定着しているかを確認する。不十分なところは追試をする。							
11	かず (21・22… 99)	20から100までの数について理解し、値段や年齢を言うことができる。	数がたくさんあるのでどんどんすすめていく。お金の数え方と自分の年齢については言えるようにする。	24	25					
12	きて・みて・ かいて・よんで ・かいて	「きいて・みて・よんで・かいて」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	イラストに対応する言い方を教えた後、指示の出し合いをして、体験的に学習させる。	26	27					
13	こう・ちがう ・そう	「こう・ちがう・そう」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	ジェスチャーを交えながら、対話形式での学習を中心としてすすめていく。	28	29					
14	これ、だれの? (わたし)	「これ、だれの?」という問い方と答え方がわかる。	一人称については「わたし」で統一しておし教える。	30	31					

15	ここ・どこ・あそこ	「ここ・どこ・あそこ」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	「職員室」など、場所の名前を交えて練習させる。	32	33				
16	うえ・した・みぎ・ひだり	「うえ・した・みぎ・ひだり」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	クイズを交えながら、方向の言い方をいえるようにさせる。出題者と回答者、どちらも経験させる。	34	35				
17	まえ・うしろ・まんなか	「まえ・うしろ・まんなか」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	15課と同様にすすめていく。	36	37				
18	かず (100・200… 900)	100の倍数を900まで理解し、100の位の加減計算ができる。	300の「びやく」、600と800の「びやく」に注意して指導する。	38	39				
19	いる・いない	「いる・いない」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	テキストのイラストを見て、「いる・いない」という言葉が使えるようにする。	40	41				
20	おなじ・ちがう	「おなじ・ちがう」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	テキストのイラストを見て、「おなじ・ちがう」という言葉が使えるようにする。	42	43				
まとめ②	11～20課	※定着度を測る。	診断テストでどの程度定着しているかを確認する。不十分なところは追試をする。						
21	あいさつ2	場面に応じた挨拶ができる	1課と同様にすすめていく。	44	45				
22	おおきい・ちいさい	「おおきい・ちいさい」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	テキストのイラストを見て、「おおきい・ちいさい」という言葉が使えるようにする。	46	47				
23	べんきょう	教科の名前を理解し、「〇〇の先生」「〇〇室」「〇〇の本」などの使い方ができる。	学年によって教科が異なるため、学年に応じたものを教える。	48	49	50	51		
24	なんにち・なんようび	日付と曜日の言い方がわかり、その言葉を使うことができる。	カレンダーや時間割表を見ながら、いつ何があるかを言えるよう練習させる。	52	53				
25	きのう・きょう・あした	「きのう・きょう・あした」の読み方や言い方がわかり、話すことができる。	「きょう」を基準に「きのう」と「あした」を教えていく。「あした〇〇がある」という言い方も教える。	54	55				
26	なんじ?	「なんじ・なんじはん」の読み方や言い方がわかり、話すことができる。	時計の模型を用いるとよい。学年に応じて、「〇分」も教える。	56	57				
27	いる・いない	「いる・いない」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	テキストのイラストを見て、「いる・いない」という言葉が使えるようにする。	58	59				
28	わすれた・かして・ありがとう	もちものを忘れたときの話し方がわかり、言うことができる。	先生への伝え方だけでなく、友だちへの伝え方も練習させる。貸す立場と貸してもらった立場の両方を練習させる。	60	61				
29	たべる・のむ	「たべる・たべない・のむ・のまない」の意味がわかり、その言葉を使うことができる。	テキストのイラストを見て、「たべる・たべない・のむ・のまない」という言葉が使えるようにする。	62	63				
まとめ③	21～29課	※定着度を測る。	診断テストでどの程度定着しているかを確認する。不十分なところは追試をする。						

はじめの いっぽ (M-Survival) もくじ 目次

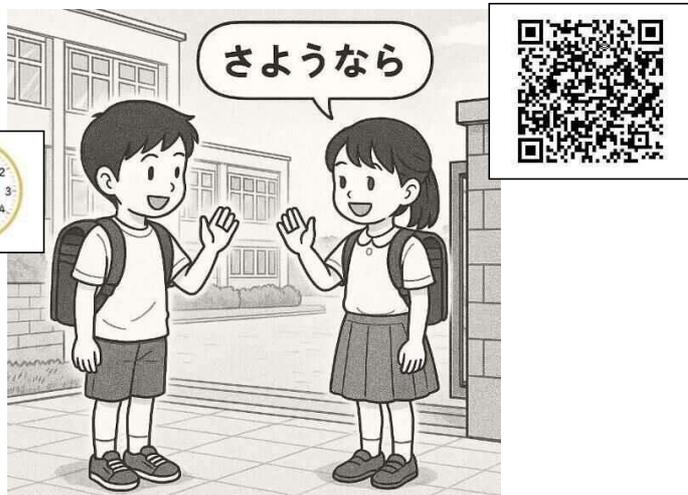
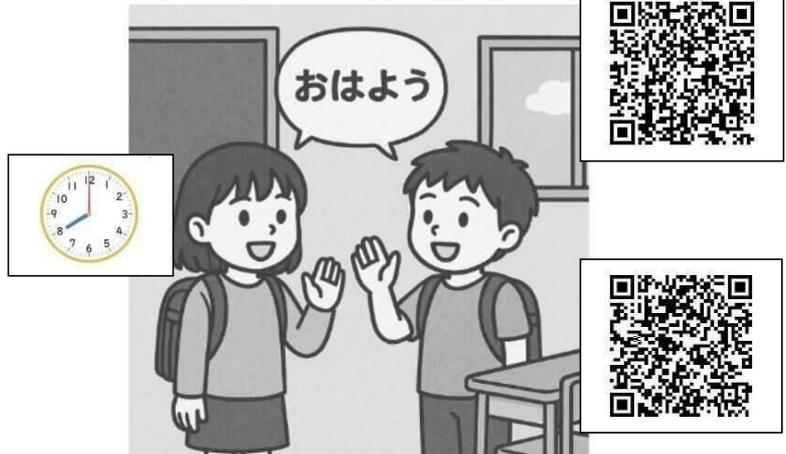
カリキュラム No.	だいざい 題材	ページ
1	あいさつ1	2,3
2	いい・だめ	4,5,6,7
3	かず(1~5)	8,9
4	もちもの	10,11
5	かず(6~10と0)	12,13
6	ある・ない	14,15
7	かず(11~19)	16,17
8	わかる・わからない	18,19
9	かず(20・30・・・90)	20,21
10	いたい(からだ)	22,23
まとめ①		まとめ①—1,2
11	かず(21・22・・・99)	24,25
12	きて・みて・きいて・よんで・かいて	26,27
13	こう・ちがう・そう	28,29
14	これ、だれの?(わたし)	30,31
15	ここ・どこ・あそこ	32,33
16	うえ・した・みぎ・ひだり	34,35
17	まえ・うしろ・まんなか	36,37
18	かず(100・200・・・900)	38,39
19	いる・いない	40,41
20	おなじ・ちがう	42,43
まとめ②		まとめ②—1,2
21	あいさつ2	44,45
22	おおきい・ちいさい	46,47
23	べんきょう	48,49,50,51
24	なんにち・なんようび	52,53
25	きのう・きょう・あした	54,55
26	なんじ?	56,57
27	いる・いない	58,59
28	わすれた・かして・ありがとう	60,61
29	たべる・のおむ	62,63
まとめ③		まとめ③—1,2
かんまつしりょう 巻末資料	まつさか	64,65
	しょうがっこうの いちにち	66
	きょうか	67
	がっこう	68

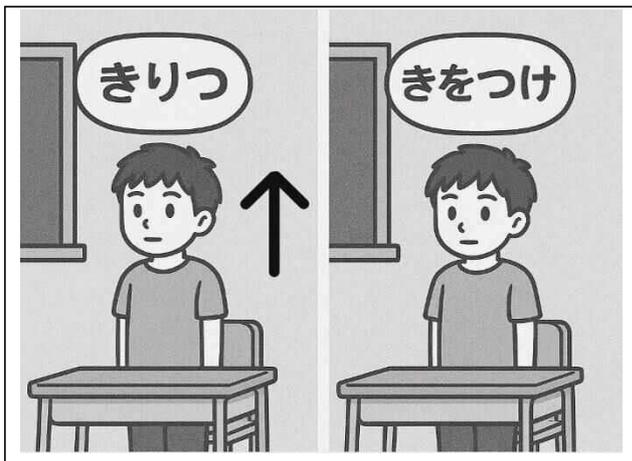
※子どもどうして、しゅつだいしゃ出題者・かいとうしゃ回答者の立場を入れかえながらおこなえるものには「ペアOK」とまきさい記載してあります。

①あいさつ

Let's practice greetings.
Magpraktis tayo ng pagbati.
让我们练习打招呼的方法。
Chúng ta hãy luyện tập chào hỏi.

1. 言い方を覚えさせたら、「指導者と子ども」または「子どもどうし」でペアトークをします。





各ページについている二次元コードを読み取ると、音声をお聴くことができます。自主学習に活用してください。※Microsoft へのサインインが必要です。

You can listen to the audio by scanning the two-dimensional code on each page. Please use it for self-study. ※Sign-in to Microsoft is required.

Kapag i-scan ang two-dimensional code sa bawat pahina, maaari kang makinig sa audio.

Gamitin ito sa sariling pag-aaral. ※Kailangan ang pag-sign in sa Microsoft.

阅读每一页上的二维码，就可以听到声音。请在自己学习的时候使用。※需要登录 Microsoft。

Khi quét mã hai chiều ở mỗi trang, bạn có thể nghe âm thanh. Hãy sử dụng để tự học. ※Cần đăng nhập vào Microsoft.

② いい、だめ

まようしつ
教室のルール



Let's decide whether it is OK or not OK.
Tukuyin natin kung 'okay' o 'hindi okay.'
让我们判断是‘可以’还是‘不可以’。
Hãy xác định xem là ‘tốt’ hay ‘không tốt.’

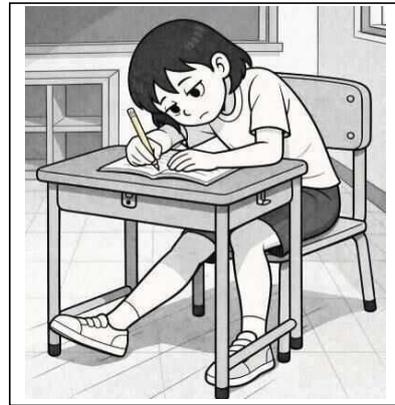
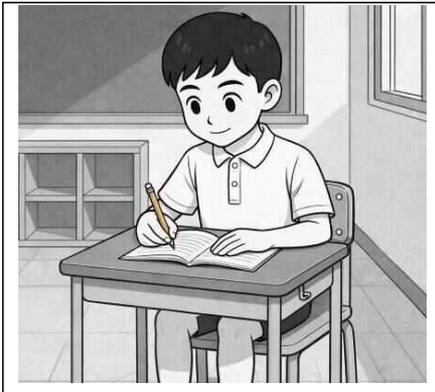
1. イラストをひとつずつ指さして、それぞれ「いい」「だめ」と言って教えます。

子どもが意味を理解したら、「いい？だめ？」と尋ねて答えさせます。

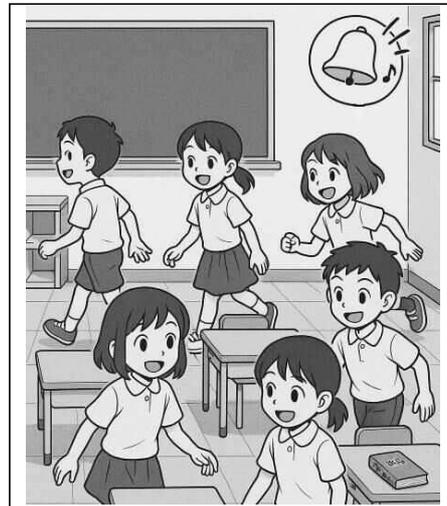
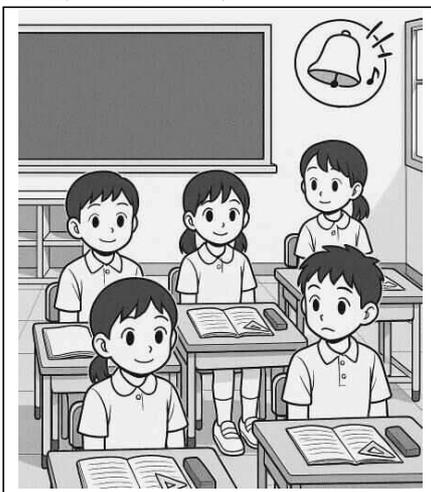
① 話を聞くときの姿勢



② 文字を書くときの姿勢



③ チャイムが鳴った時には席についている



がっこうせいふつ
学校生活

2. イラストを^{ゆび}指さしながら「いい?」「だめ?」と^{たず}尋ね、^い言わせます。

① トイレのスリッパをそろえる



② ^{ろうか}廊下は^{ある}歩く



③ ^{かいだん}階段は^{ある}歩いて^お降りる



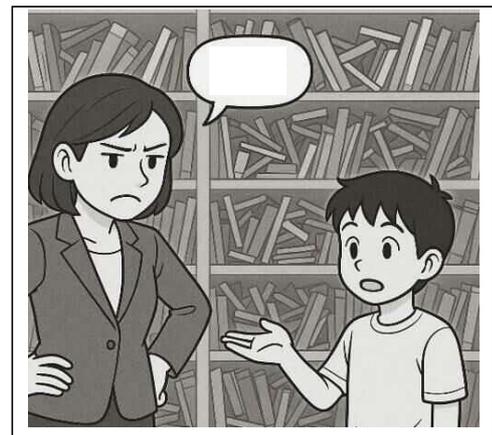
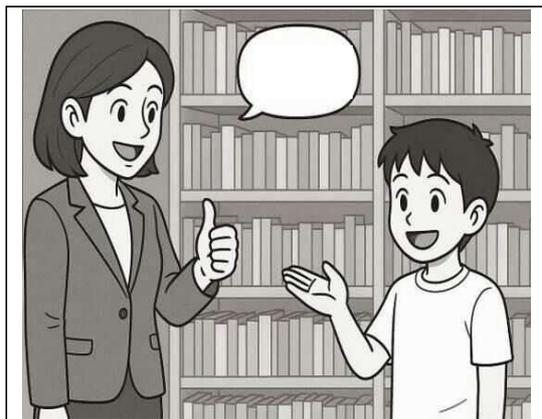
ものの扱い

3. イラストを指さしながら「いい?」「だめ?」と尋ね、言わせます。
書ける子どもは、吹き出しの中に「いい」か「だめ」を書かせます。

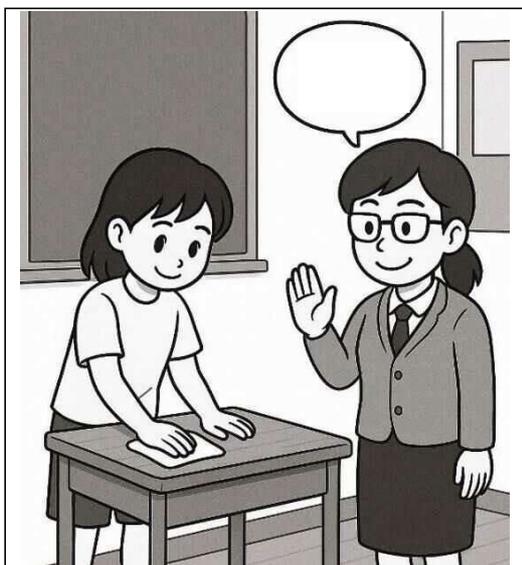
①ごみはごみ箱へ



②本をそろえる



③机を丁寧に拭く



④机には座らない



にほん
日本のルール

4. ^{ひだり}左ページと同様に指導します。

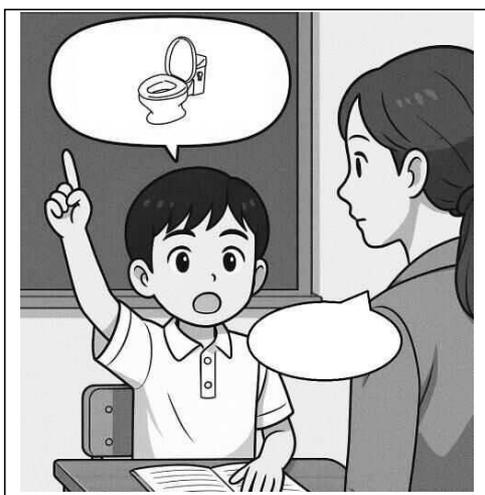
① ^{うわぐつ}上靴に履き替える



② ^{がっこう}学校でジュースを飲んだり、^{お菓子}お菓子を食べたりしてはだめ



③ ^{せんせい}先生に言うてからトイレに行く



④ アクセサリー^{きんし}禁止

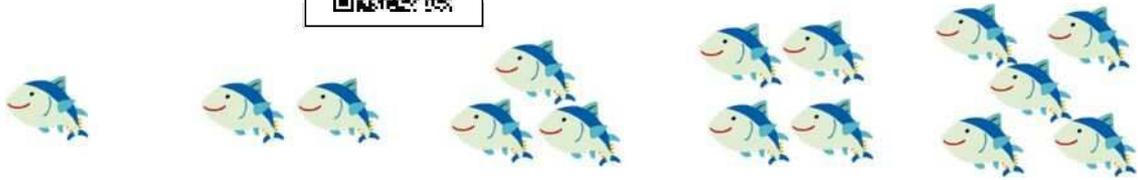


③かず (1 ~ 5)

Let's read and write the numbers from 1 to 5.
Basahin at isulat natin ang mga bilang mula 1 hanggang 5.
让我们读和写从1到5的数字。
Hãy đọc và viết các số từ 1 đến 5.



1. 順番じゅんばんに読よませます。



1

2

3

4

5

ichi

ni

san

shi(yon) go

1

2

3

4

5

1

2

3

4

5

2. 指導者しどうしやが指ゆびさした数かずを読よませます。

子どもどうして、出題者しゅつだいしや・回答者かいとうしやの立場たちばをいいかかえながらおこなうこともできます。

1

2

3

4

5

3. 順番じゅんばんに読よませます。



+

tasu

—

hiku

=

wa

$$1 + 2 = 3$$

ichi tasu ni wa san

$$5 - 4 = 1$$

go hiku yon wa ichi

4. 声こゑに出だして読よみながら、計けい算ざんをさせます。

$$1 + 2 = \square$$

$$5 - 4 = \square$$

$$2 + 3 = \square$$

$$4 - 1 = \square$$

$$4 + 1 = \square$$

$$3 - 2 = \square$$

$$3 + 1 = \square$$

$$5 - 3 = \square$$

$$2 + 1 = \square$$

$$5 - 2 = \square$$

④もちもの



Let's learn the names of things.
Tandaan natin ang mga pangalan ng mga bagay.

让我们记住物品的名称。

Hãy ghi nhớ tên của các đồ vật.

1. 物の名前を言わせます。

①



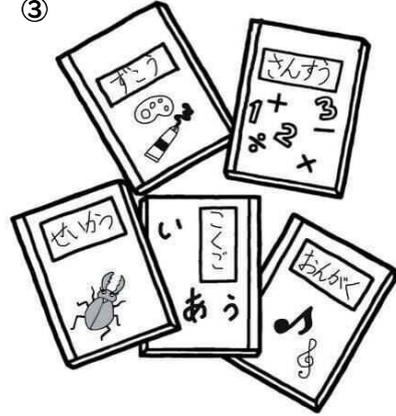
えんぴつ

②



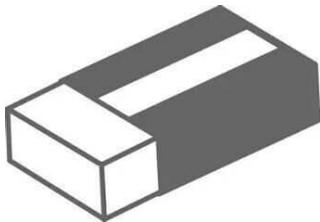
ふでばこ

③



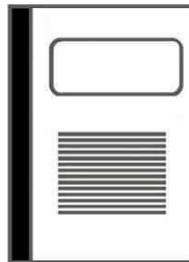
きょうかしょ

④



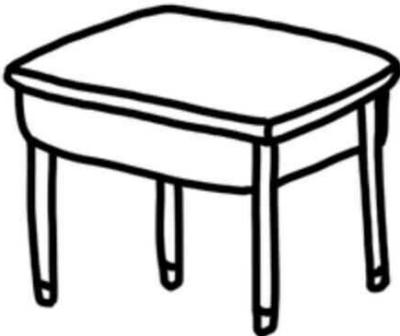
けしごむ

⑤



のうと
(ノート)

⑥



つくえ

⑦



いす

⑧



らんどせる
(ランドセル)

★こたえ★

①enpitsu ②fudebako ③kyôkasyo ④keshigomu

⑤nôto ⑥tsukue ⑦isu ⑧randoseru

2. 上のイラストを使って、先生が指さした物の名前を言わせます。

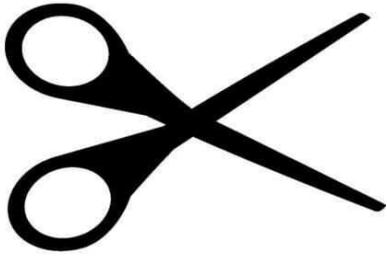
または、実物を使って、先生が言った物を持ったり触らせたりします。

【ペア OK】

3. その他、^た学校生活で使う物^がの名前^を、^{ひだり}左ページと^{おな}同じように^{おし}教えます。

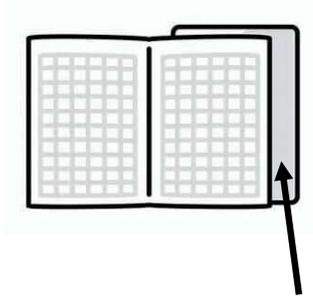


①



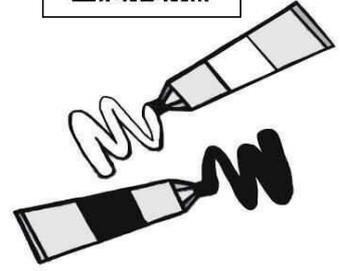
はさみ

②



したじき

③



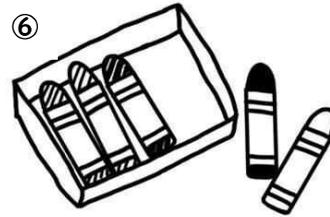
えのぐ

④



じょうぎ

⑥



くれぱす
(クレパス)

⑤



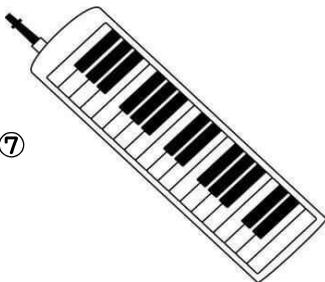
たいそうふく

⑨



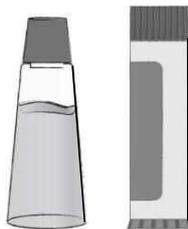
かさ

⑦



けんばんはあもにか
(けんばんハーモニカ)

⑧



のり

★こたえ★

①hasami ②shitajiki ③enogu ④jyôgi ⑤taisô fuku

⑥kurepasu ⑦kenban hâmonika ⑧nori ⑨kasa

⑤かず



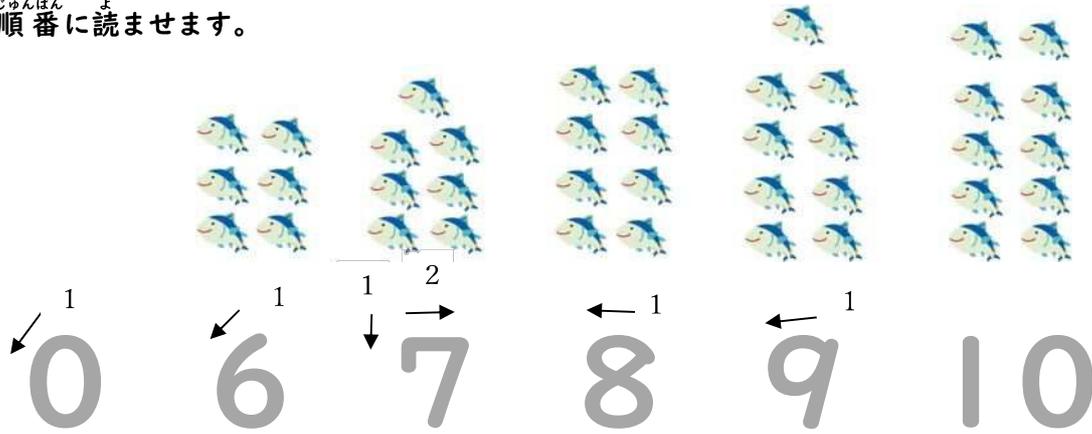
(0、6～10)

Let's read and write the numbers 0 and 6 to 10.
Basahin at isulat natin ang mga bilang 0 at 6 hanggang 10.

让我们读和写数字0以及6到10。

Hãy đọc và viết các số 0 và từ 6 đến 10.

1. 順番じゆんばんに読よませます。



zero(rei) roku shichi hachi ku(kyû) jyû
(nana)

0 6 7 8 9 10

0 6 7 8 9 10

2. 指導者しどうしゃが指ゆびさした数かずを読よませます。

【ペア OK】

0

6

7

8

9

10

3. □に入る数を書かせながら、左から順番に読みませます。

①

1		3		5		7		9	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

②

6		8		10
---	--	---	--	----

③

	9	8		6	
--	---	---	--	---	--

④

10		8		6		4		2	
----	--	---	--	---	--	---	--	---	--

⑤

6	5	4			1	
---	---	---	--	--	---	--

⑥

	1	2			5		
--	---	---	--	--	---	--	--

4. 声に出して読みながら、計算をさせます。

$$7 + 0 = \square$$

$$6 - 5 = \square$$

$$3 + 4 = \square$$

$$8 - 6 = \square$$

$$9 + 1 = \square$$

$$10 - 7 = \square$$

$$8 + 2 = \square$$

$$8 - 5 = \square$$

$$0 + 8 = \square$$

$$9 - 9 = \square$$

⑥ある・ない

We will learn to say whether something is there or not.
Pag-aaralan natin kung paano sabihin kung mayroong isang bagay o wala.

让我们学会说物品‘有’或‘没有’。

Chúng ta sẽ học cách nói rằng có hoặc không có một đồ vật.

1. 一方の手に消しゴムを握り、「ある」と「ない」を教えます。

※「ない」から教えます。

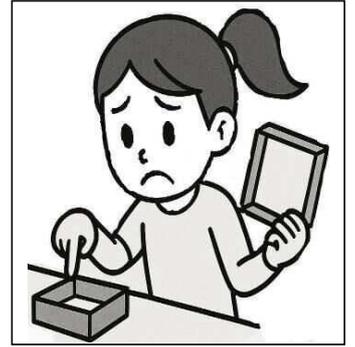


2. 上のようにして、子どもと一緒に「ある」「ない」クイズをします。

※消しゴム以外の身近なもの（おはじきやコインなど）も使ってみてください。

【ペア OK】

3. イラストを指さしながら「ある？ない？」と聞いて、答えさせます。



4. 指導者が「〇〇ある？」と聞いて、子どもはあれば「ある」と言ってそれを見せます。なければ「ない」と言います。

※実物を見せるとよいです。

5. イラストを指さして、「〇〇ある？」の〇〇の部分^{ぶぶん}を教えます。

【ペア OK】

次に、人物を一人ずつ指さして、「〇〇ある？」と聞いて、答えさせます。

薄い文字をなぞり書きさせ、書ける子には吹き出しに書かせます。



ほん
ある
ない



かさ
ある
ない



⑦かず



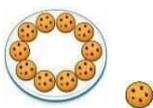
Let's read and write the numbers from 11 to 19.
Basahin at isulat natin ang mga bilang mula 11 hanggang 19.

让我们读和写从11到19的数字。

Hãy đọc và viết các số từ 11 đến 19.

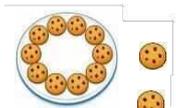
(11~19)

1. 順番に読ませます。



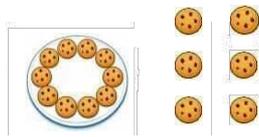
11

jyûichi



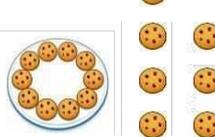
12

jyûni



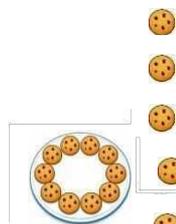
13

jyûsan



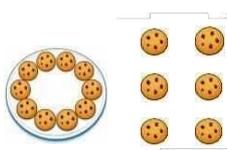
14

jyûshi (yon)



15

jyûgo



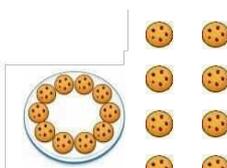
16

jyûroku



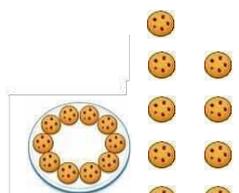
17

jyûshichi
(nana)



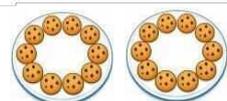
18

jyûhachi



19

jyûku(kyû)



20

nijyû

2. 指導者が指さした数を読ませます。

【ペア OK】

11

12

13

14

15

16

17

18

19

3. □に入る数を書かせながら、ひだり左からじゅんばん順番に読ませます。

①

11		13		15		17		19
----	--	----	--	----	--	----	--	----

②

	16		18	
--	----	--	----	--

③

	18	17		15	
--	----	----	--	----	--

④

19		17		15		13		11	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

⑤

16	15	14			11	
----	----	----	--	--	----	--

⑥

	11	12			15		
--	----	----	--	--	----	--	--

4. こゑ声を出してよ読みながら、けいざん計算をさせます。

$$7 + 10 = \square \quad 16 - 5 = \square$$

$$13 + 4 = \square \quad 15 - 6 = \square$$

$$9 + 11 = \square \quad 19 - 7 = \square$$

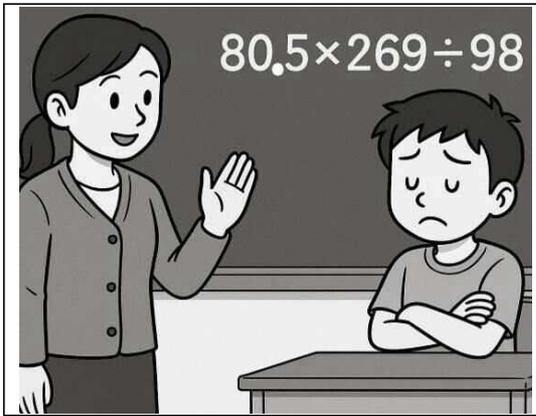
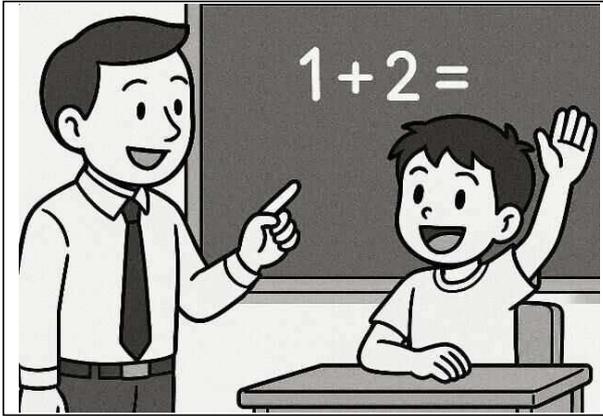
$$18 + 1 = \square \quad 18 - 8 = \square$$

$$12 + 8 = \square \quad 20 - 9 = \square$$

⑧わかる・わからない

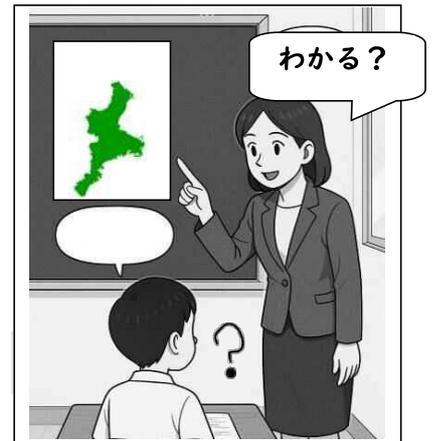
Let's use 'I know' and 'I don't know'."
 Gamitin natin ang 'alam ko' at 'hindi ko alam'.
 让我们学会区分并使用‘明白’和‘不明白’。
 Hãy dùng 'tôi biết' và 'tôi không biết'.

1. イラストを指さしながら、「わかる」「わからない」と言って意味を理解させます。



2. 指導者はイラストを指さしながら、「わかる？」と聞きます。

子どもは吹き出しに入ることばを「わかる」か「わからない」で答えさせます。



3. 指導者は、イラストを指さしながら「わかる？」と尋ねます。

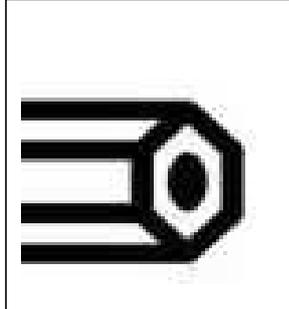
子どもは、わかるときは「わかる、○○」、わからないときは「わからない」と答えるようにさせます。

※子どもが「わからない」ときは、答えを教えてあげてください。

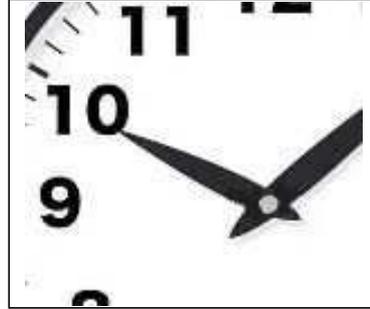
①



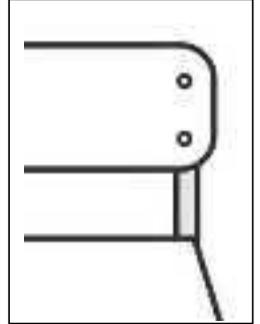
②



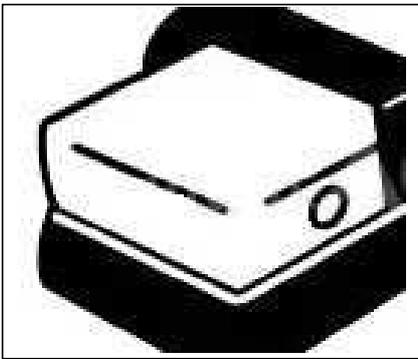
③



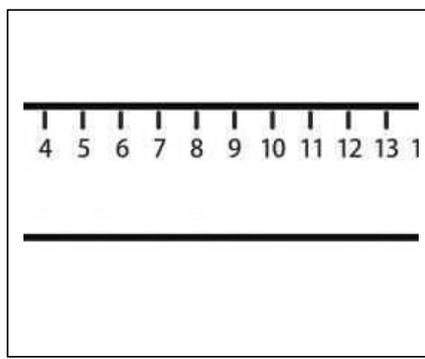
④



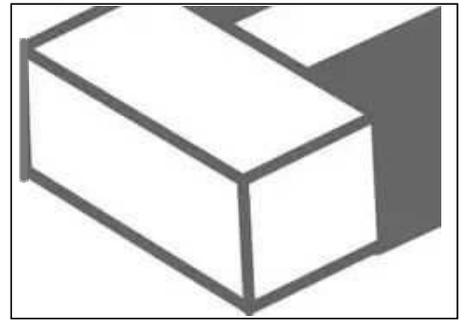
⑤



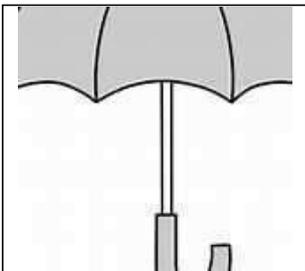
⑥



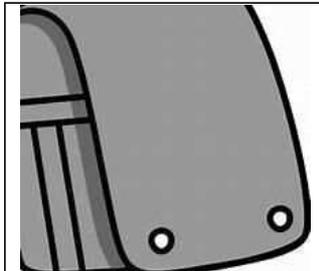
⑦



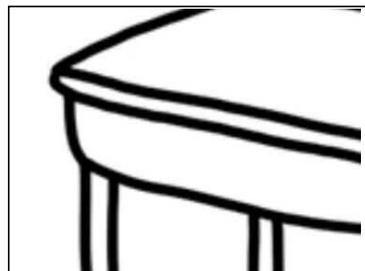
⑧



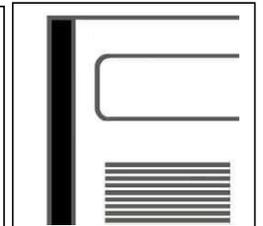
⑨



⑩



⑪



★答え★

①はさみ (hasami) ②えんぴつ (enpitsu) ③とけい (tokei) ④いす (isu)

⑤こくばんけし (kokubankeshi) ⑥じょうぎ (jyôgi) ⑦けしごむ (keshigomu)

⑧かさ (kasa) ⑨ランドセル (randoseru) ⑩つくえ (tsukue) ⑪ノート (nôto)

4. 文房具等の実物やカードを見せて「わかる？」クイズをします。

Let's read and write the numbers 20, 30 ... up to 90.
Basahin at isulat natin ang mga bilang 20, 30 ... hanggang 90.
让我们读和写 20、30……一直到 90 的数字。
Hãy đọc và viết các số 20, 30 ... đến 90.

⑨かず

(20、30・・・90)



1. 順番じゅんばんに読よませます。

20

30

40

50

ni jyû

san jyû

shi(yon) jyû

go jyû

60

70

80

90

roku jyû

shichi(nana) jyû

hachi jyû

kyû jyû

2. 指導者しどうしゃが指ゆびさした数かずを読よませます。

【ペア OK】

10

20

30

40

50

60

70

80

90



3. まず、10円、20円・・・の言い方を教えます。

次に、お金の模型を使って、20と12、13と30・・・のちがいを教えます。

19と91まで終わったら、「全部で何円？」と尋ねながら以下の問題を解かせます。

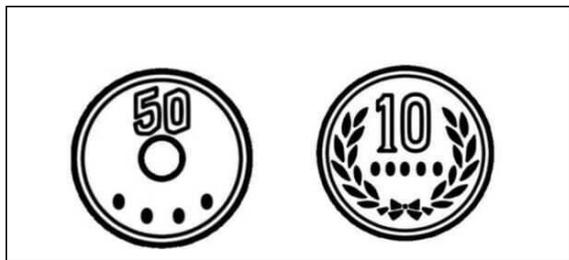
①



②



③



④



⑤



⑥



4. 指導者がお金の模型を見せ「何円？」と尋ねます。

【ペア OK】

5. 声に出して読みながら、計算をさせます。

$$10 + 10 = \square$$

$$60 - 20 = \square$$

$$50 + 30 = \square$$

$$90 - 40 = \square$$

$$30 + 40 = \square$$

$$70 - 20 = \square$$

⑩ いたい (からだ)

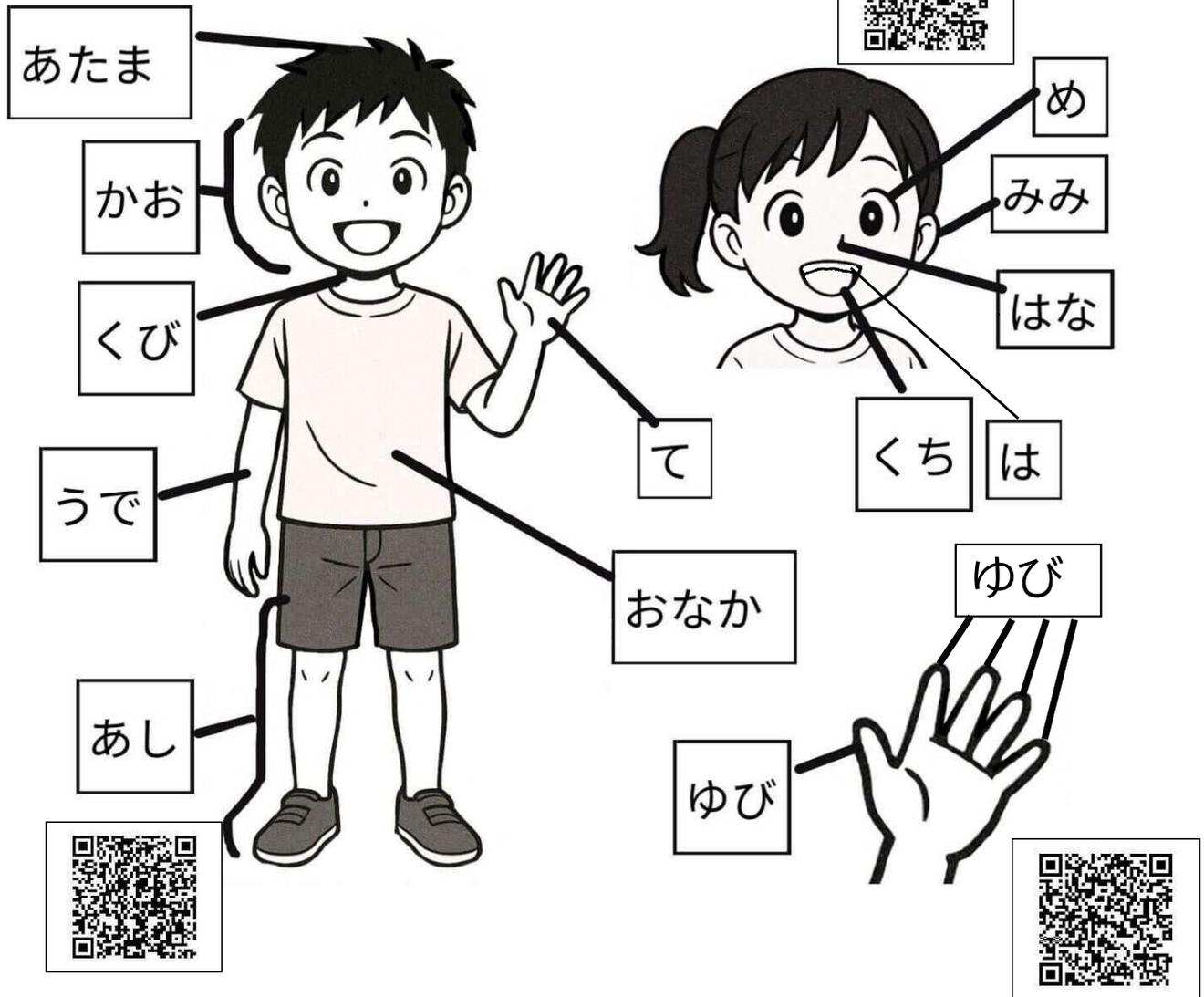
Let's learn the names of body parts and how to talk about feeling unwell.

Alamin natin ang mga bahagi ng katawan at kung paano sabihin kapag masama ang pakiramdam.

让我们学习身体部位的说法,并能说出身体不舒服的情况。

Hãy học cách gọi tên các bộ phận cơ thể và cách nói khi cảm thấy không khỏe.

1. 体の部位を言えるようにします。



2. イラストをランダムに指さし、体の部位の名前を言わせます。

※慣れてきたら、指導者が自分の体を指さして「なに？」と尋ねます。

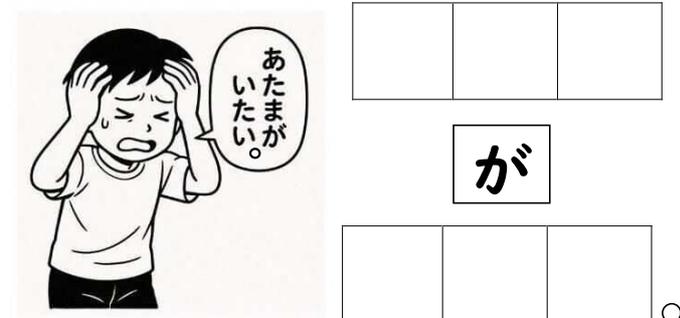
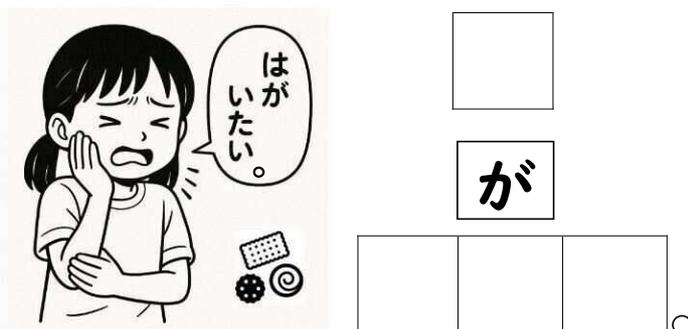
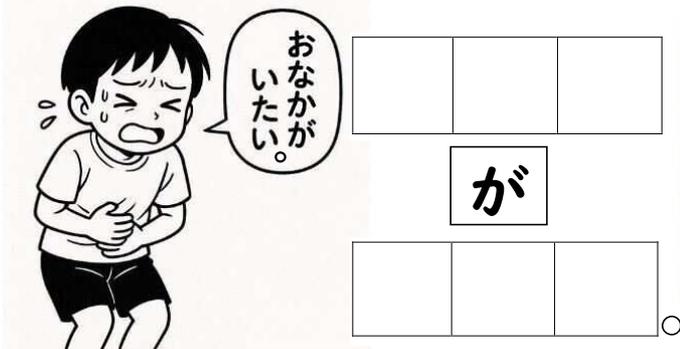
※次に、指導者が体の部位の名前を言い、子どもが自分の体の該当箇所を指さすようにさせます。

【ペア OK】

3. 体の部位とセットで「〇〇がいたい」「きもちがわるい」という言い方を教えます。

次に、□内にはまる言葉を書かせます。

※見た目で分かりづらい不調を優先して教えます。



4. 指導者は、体の部位を押さえて、体調不良のふりをします。

子どもに「どうしたの?」と尋ねさせ、「〇〇がいたい」または「きもちがわるい」と答えます。

子どもが取り組み方を理解したら、交代しておこないます。

【ペアOK】

まとめ①

1～10課

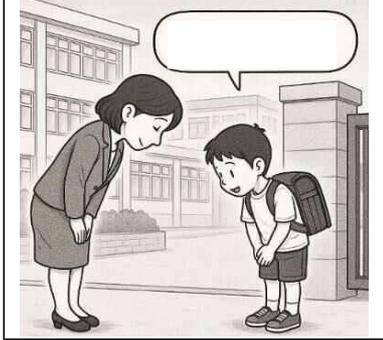
Let's say the words that go in the speech bubbles.
 Sabihin natin ang mga salitang ilalagay sa speech bubble.
 让我们说出写在对话框里的话。
 Hãy nói những từ sẽ viết vào ô lời thoại.

1. イラストを指さしながら、吹き出しに入る言葉を言わせてください。指導者は必要に応じてセリフを言ったりジェスチャーを加えたりして会話の場面を設定してください。

① 廊下で先生や友達に会ったとき



② 学校から帰るとき



③ 授業のあいさつ



2. イラストを指さし、物の名前を言わせます。

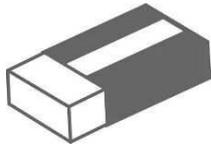
①



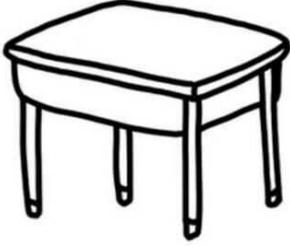
②



③



④



⑤



⑥



3. お金の模型を提示しながら、以下の順番で「〇円」と言わせます。

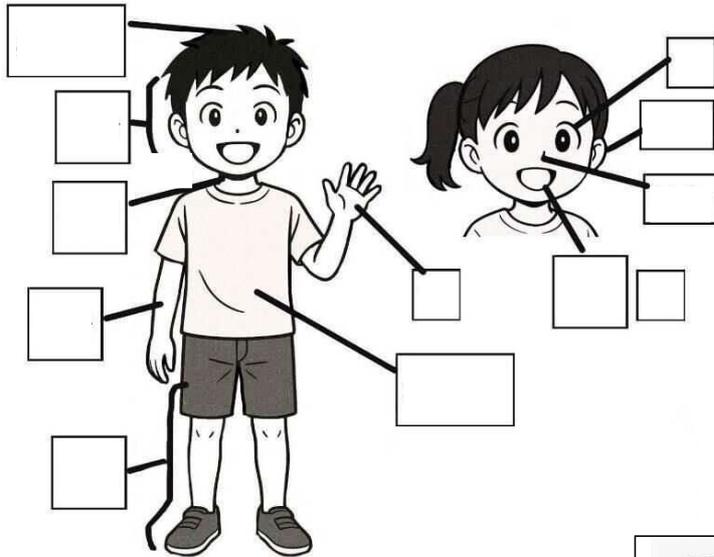
- ① 10までの数
- ② 20までの数
- ③ 10の倍数

それぞれ3問ずつします。
 必要に応じて増やしていただくのは構いません。

4. イラストを指さし「いい?だめ?」と尋ね、^{たず}ね、「いい」か「だめ」かを^{こた}えさせます。



5. ^{からだ}体の^{ぶい}部位を^い言わせてください。



6. 以下の吹き出しに入る^い言葉^{ことば}を^い言わせてます。



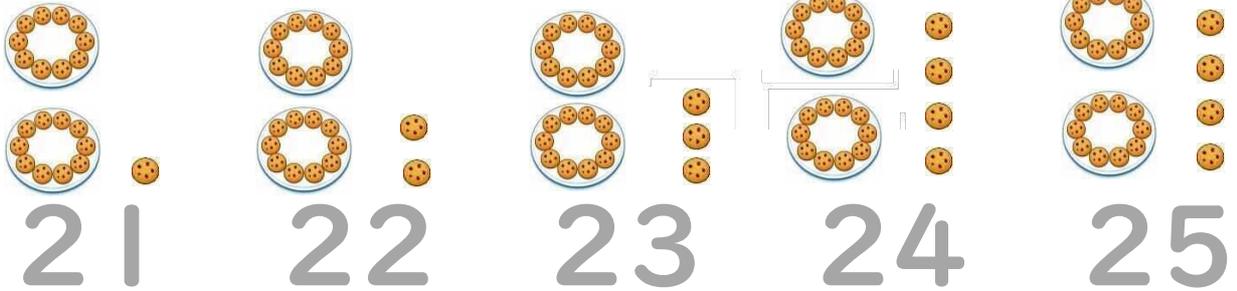
Let's read and write the numbers 21, 22 ... up to 99.
 Basahin at isulat natin ang mga bilang 21, 22 ... hanggang 99.
 让我们读和写 21、22……一直到 99 的数字。
 Hãy đọc và viết các số 21, 22 ... đến 99.

㊦かず

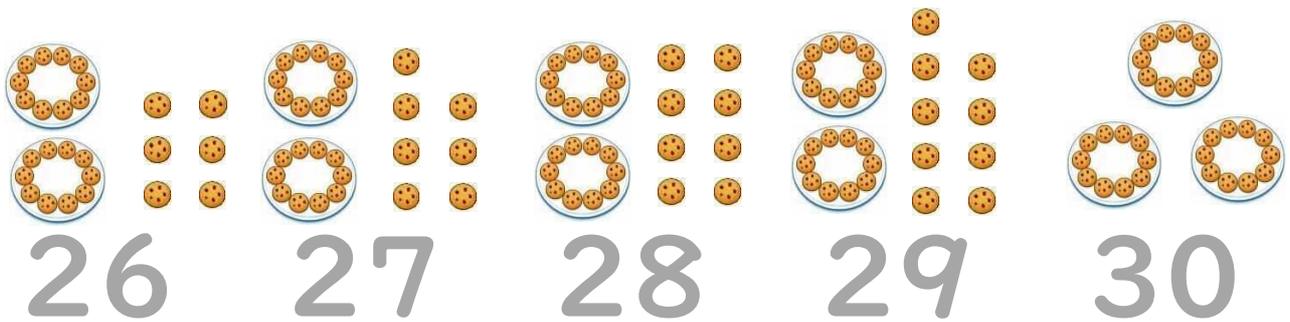
(21、22・・・99)



1. 順番じゅんばんに読よませます。「にじゅういち」をおさえます



21 nijyûichi 22 nijyûni 23 nijyûsan 24 nijyûshi (yon) 25 nijyûgo



26 nijyûroku 27 nijyûshichi (nana) 28 nijyûhachi 29 nijyûku (kyuu) 30 sanjyû

2. 順番じゅんばんに読よませます。その後、指導者しどうしやが指さした数かずを読よませます。

【ペアOK】

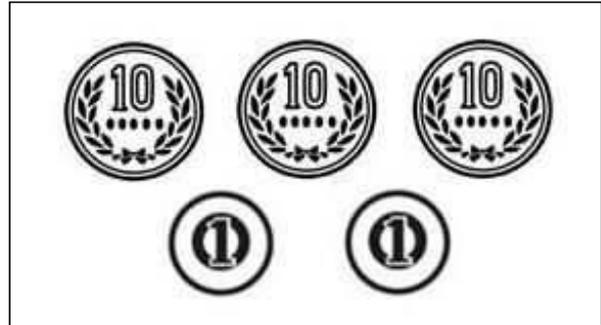
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

3. 「全部で何円？」と尋ねて、以下の問題を解かせます。

①



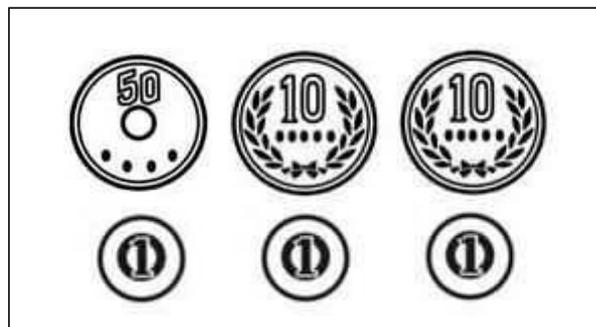
④



②



③



⑤



4. 指導者がお金の模型を見せ「全部で何円？」と尋ね、答えさせます。【ペア OK】

5. 年齢の言い方（〇〇才）を教えます。

「わたし、〇さい」を言えるようにさせてから、イラストを見て練習させます。

最後に、自分の家族の年齢を言わせます。

おとうさん、37さい

おねえさん、10さい

おかあさん、35さい

おとうと、5さい

⑫ きて・みて・きいて・よんで・かいて

Let's understand and use the words 'come,' 'look,' 'listen,' 'read,' and 'write.'
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'halika,' 'tingnan,' 'makinig,' 'bumasa,' at 'sumulat.'

让我们理解并使用‘来’‘看’‘听’‘读’和‘写’这些词。

Hãy hiểu và sử dụng các từ ‘đến đây,’ ‘nhìn,’ ‘nghe,’ ‘đọc,’ và ‘viết.’

1. 下のイラストを使い、ジェスチャーも交えながら、それぞれの意味と言い方を教えます。
 書ける子どもには□内も書かせてください。

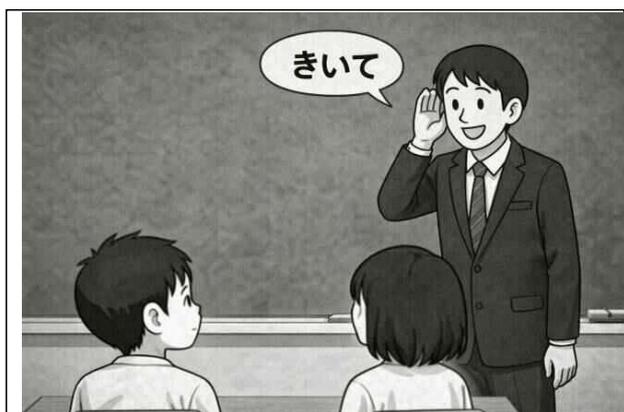


きて

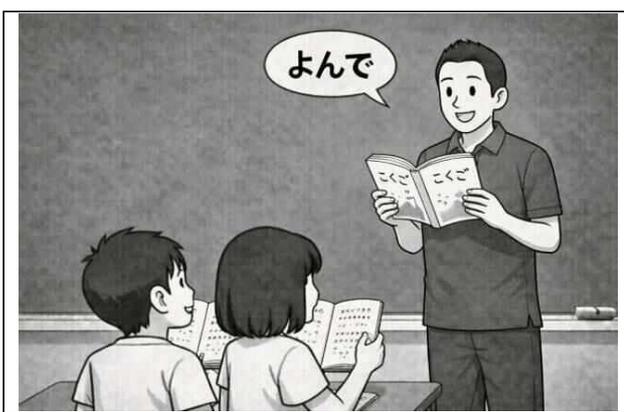


みて

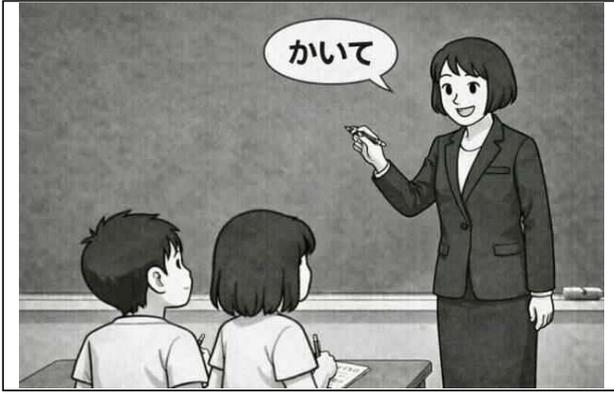
※「きて」について、手招きのジェスチャーは国により異なります。ここでは日本の場合として、手の甲を上に向けておこないます。



きいて



よんで



かいて

2. ジェスチャーによる練習をします。

(1) 指導者が言ったことのジェスチャーを子どもにさせます。
 例えば、指導者が「見て」と言ったら、子どもは「見て」のジェスチャーをします。

(2) 指導者は、ジェスチャーをひとつし、子どもは、そのジェスチャーが何なのかを言います。
 例えば指導者が「書く」ジェスチャーをしたら、子どもは「かいて」と言います。

ペア OK

3. 以下のイラストについて、吹き出しに入る言葉を言わせます。
 そのあと、ランダムに言わせます。
 書ける子どもは、□内に言葉を書かせます。











⑬ こう・ちがう・そう

Let's understand and use the words 'like this,' 'different,' and 'yes.'
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'ganito,' 'iba,' at 'oo.'
 让我们理解并使用'这样' '不一样' 和'对'。
 Hãy hiểu và sử dụng các từ 'như thế này,' 'khác,' và 'đúng.'

1. 下のイラストを使って、「そう」「ちがう」を教えます。



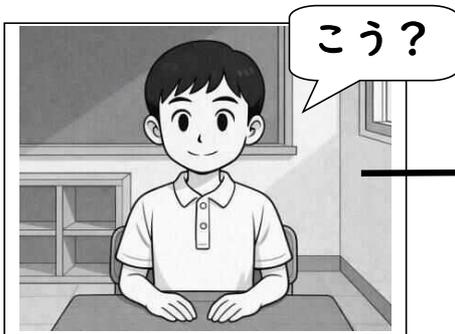
そう



ちがう

2. 下のイラストを使って、「こう?」→「そう」、「こう?」→「ちがう、こう」の会話を教えます。

①

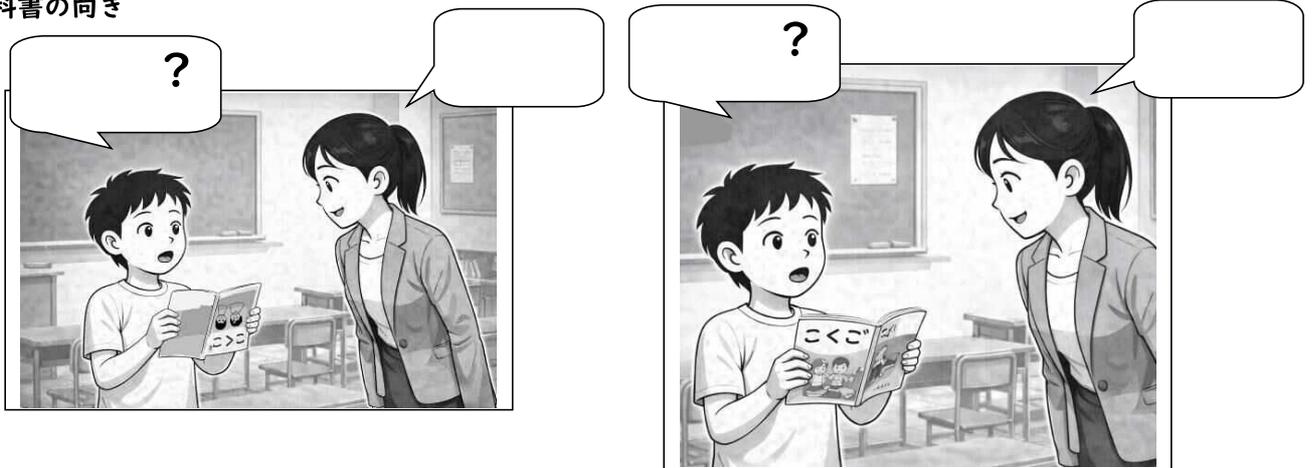


②

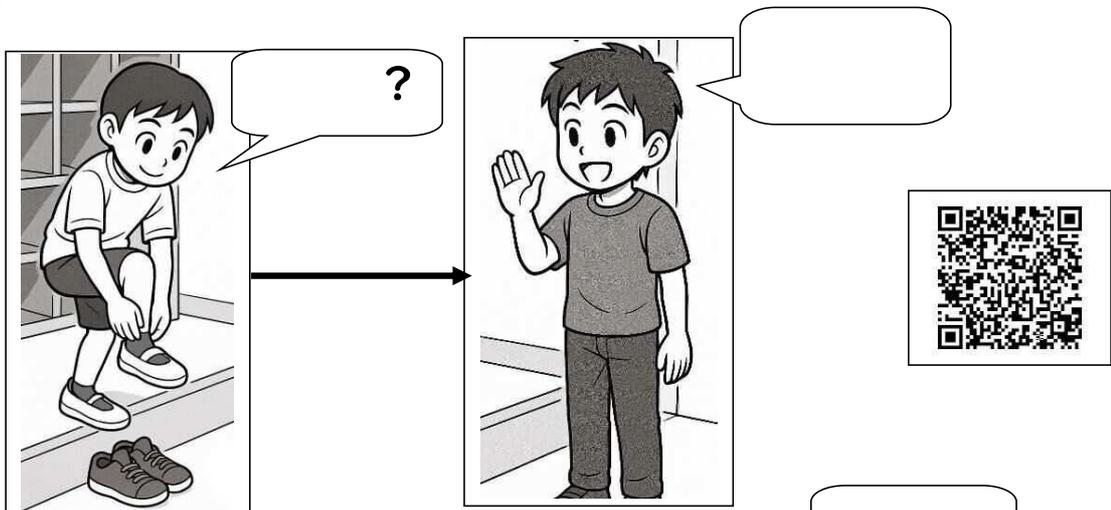


3. 吹き出しに入る言葉を言わせてください。書ける子どもには書かせます。

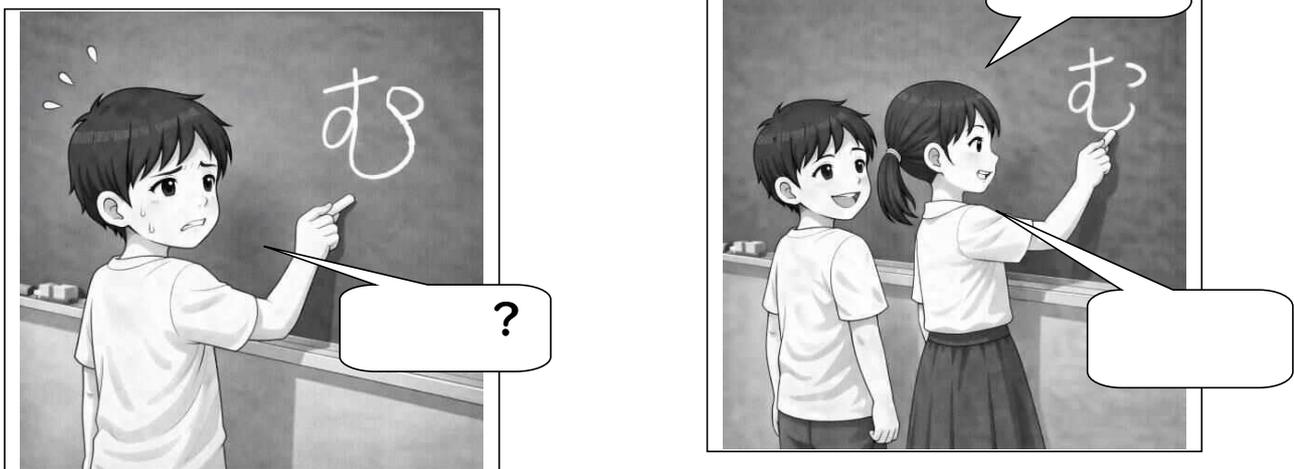
①教科書の向き



②くつのはき方



③ひらがなの形



4. 指導者と子どもで、ジェスチャーを交えて「こう?」→「そう」または「こう?」→「ちがう、こう」のやり取りをします。

(例) 椅子の座り方、鉛筆の持ち方、下敷きの敷き方、本を上下反対に持ってみる、間違った文字を書いてみる・・・など。

ペア OK

⑭ これ、だれの？ (わたし)

Let's ask whose thing it is.
Magtanong tayo kung kanino ang gamit.
让我们学会询问是谁的物品。
Hãy hỏi đồ vật này là của ai.

- イラストを指さし、「わたし」と教えます。
次に、指導者は自分を指さし、「わたし」と言い、子ども自身にも同様にさせます。
最後に、なぞりと書き取りをさせます。



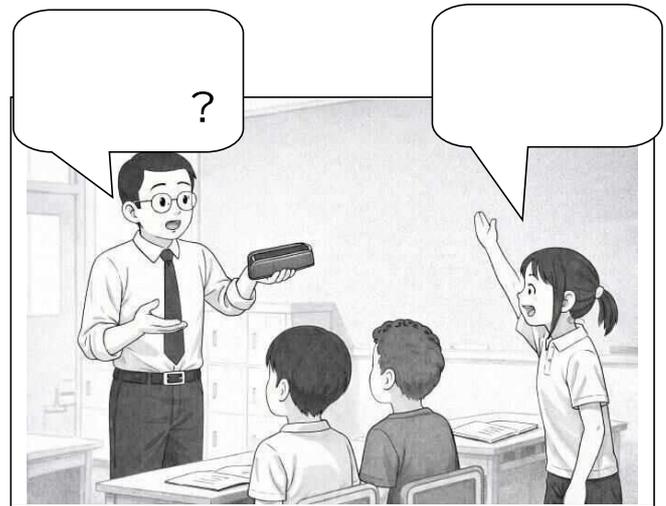
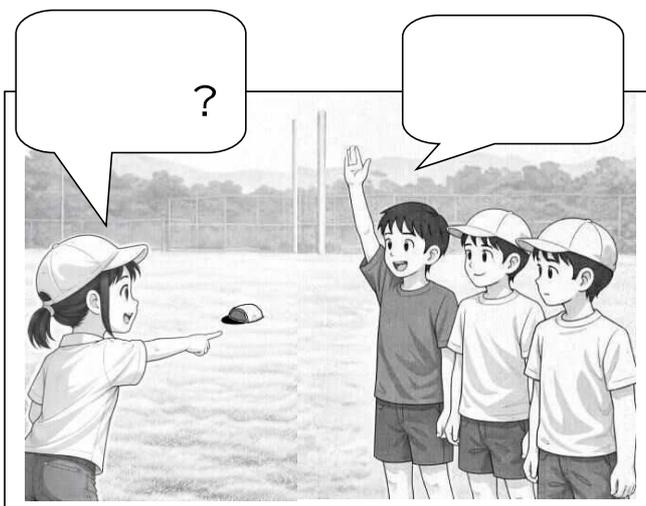
- イラストを指さして「これ」「だれの？」「わたしの」を言いながら、場面の様子を教えます。他の言葉は極力使わないようにしてください。



3. イラストを使って、「これ」と「あれ」の違いを教えます。
 (理解が不十分であれば、実際に持ち物を使って教えてください。)
 その後、「あれ」「だれの?」「わたしの」を言わせます。



4. イラストを使いながら、吹き出しに入る言葉を言わせてください。



5. 実際に、指導者や子どもの持ち物を使って「これ、だれの?」「あれ、だれの?」の会話練習をさせてください。

ペア OK

⑮ ここ・どこ・あそこ

Let's understand and use the words 'here,' 'where,' and 'over there.'
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'dito,' 'saan,' at 'doon.'
 让我们理解并使用‘这里’‘哪里’和‘那里’。
 Hãy hiểu và sử dụng các từ ‘ở đây,’ ‘ở đâu,’ và ‘ở kia.’

1. イラストを使って「ここ」「あそこ」「どこ？」を教えます。



ここ



あそこ



どこ？

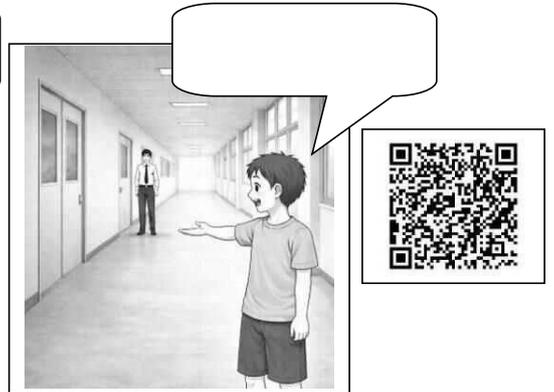
2. イラストの吹き出しに入る言葉を言わせてください。書ける子どもには書かせます。



or



or





3. 教室を見回して、指導者は「〇〇どこ？」と尋ねます。
 子どもは、近くに行って「ここ」と言うか、席から指さして「あそこ」というようにさせます。
 「どこ」も言わせるために、立場を交代しておこないます。

ペア OK

①6 うえ、した、みぎ、ひだり

Let's understand how to say directions like up, down, right, and left. Unawain natin kung paano sabihin ang mga direksyon tulad ng itaas, ibaba, kanan, at kaliwa.

让我们理解‘上、下、右、左’等方向的说法。

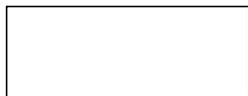
Hãy hiểu cách nói các hướng như trên, dưới, phải và trái.



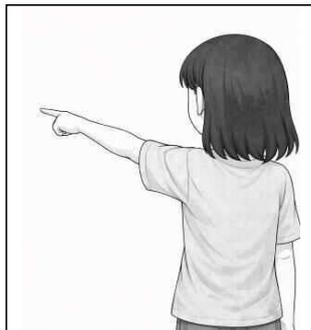
1. イラストを使って「うえ」「した」「みぎ」「ひだり」の意味を教えます。
その後、□内の文字をなぞらせたり、書かせたりします。



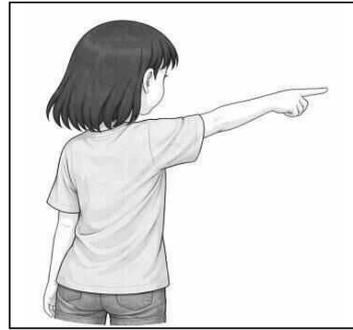
うえ



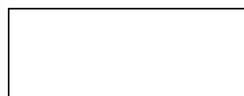
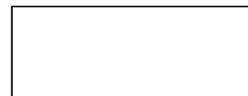
した



ひだり



みぎ



2. 指導者は実際に4方向を指さし「これは？」と尋ねます。(子どもから見た方向です)
次に、「あっち向いてホイ」を教えます。

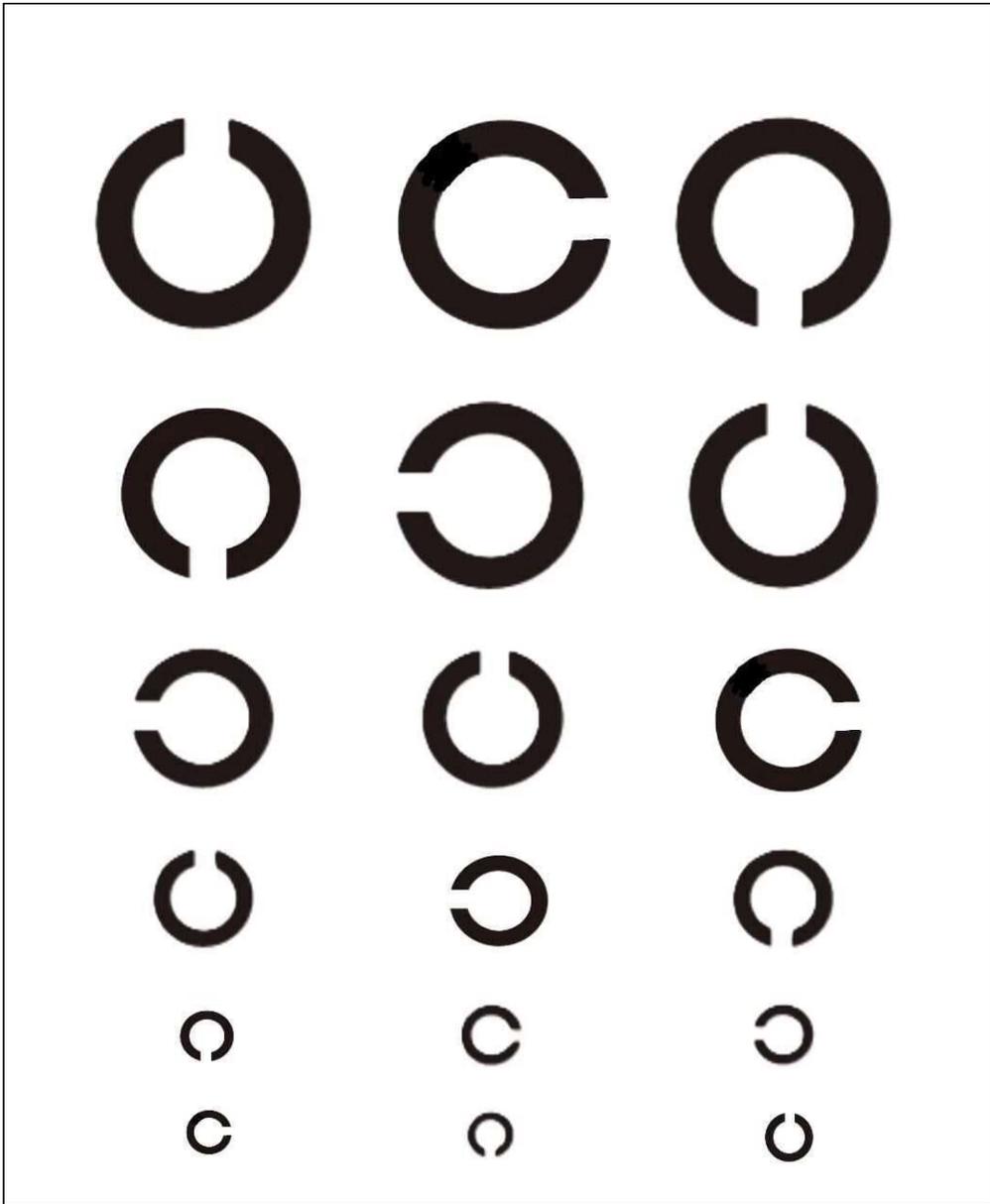
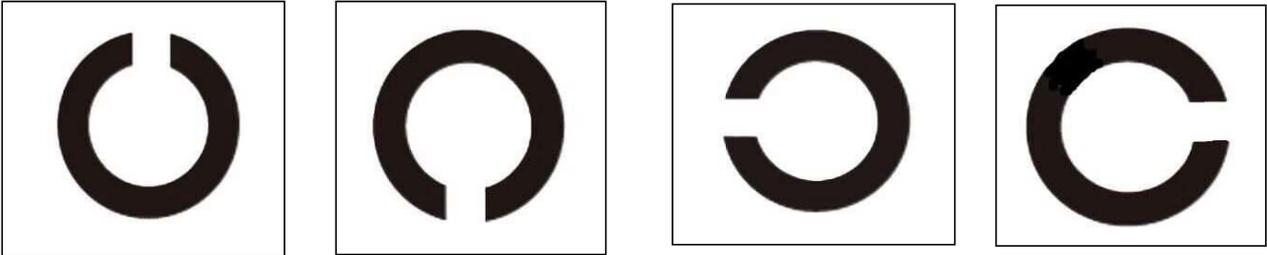
3. 視力検査の表を使って、方向を言わせます。

まず、下のイラストを使ってそれぞれの方向を一緒に言います。

意味を理解したら、大きい表をランダムに指さして言わせます。

その後、指導者がこの表を持ったまま少し離れたところに立ち、「これは？」と尋ねます。

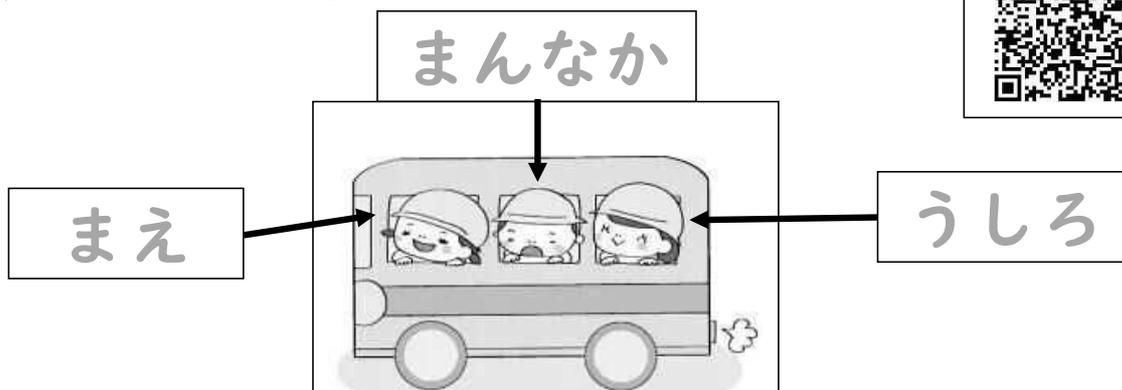
ペア OK



⑰ まえ・うしろ・まんなか

Let's understand and use the words 'front,' 'back,' and 'middle.'
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'harap,' 'likod,' at 'gitna.'
 让我们理解并使用‘前面’‘后面’和‘中间’。
 Hãy hiểu và sử dụng các từ 'phía trước,' 'phía sau,' và 'ở giữa.'

1. 下のイラストを^{つか}って「まえ」「うしろ」「まんなか」の^い意味を^{おし}教えます。
 その後、^な口内の^も文字を^しなぞらせます。

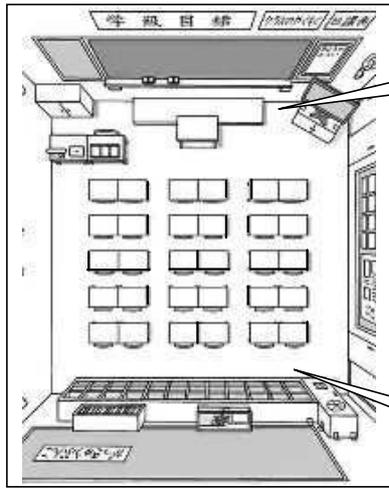


2. 下のイラストを^{つか}います。指導者はそれぞれ子どもを^{ゆび}指さし「まえ？うしろ？まんなか？」と^{たず}尋ねます。
 子どもが^な慣れてきたら^{たず}尋ね方を「これは？」に^か変えます。

ペア OK



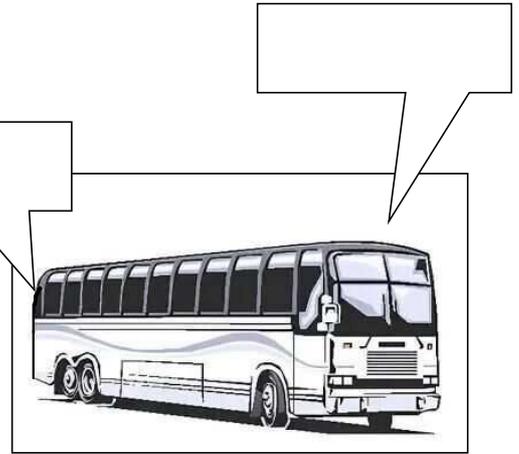
3. □内にあてはまる言葉を言わせます。その後、文字を書かせます。



□

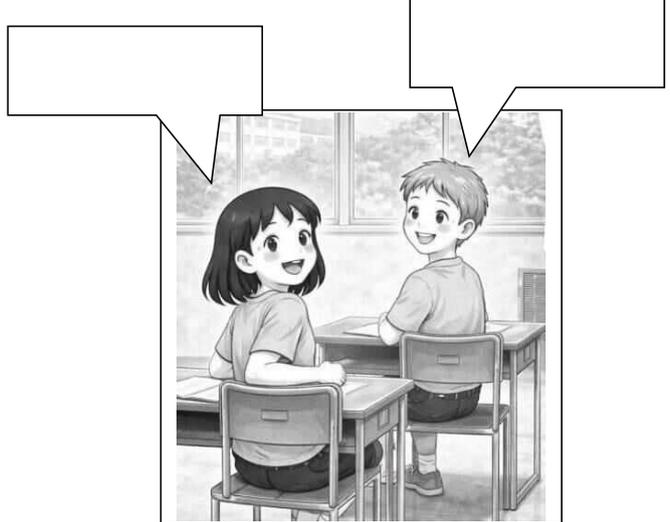
□

□



□

最後尾

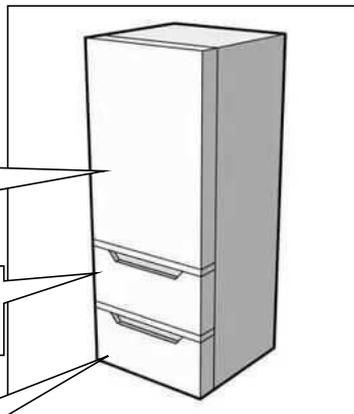


□

□

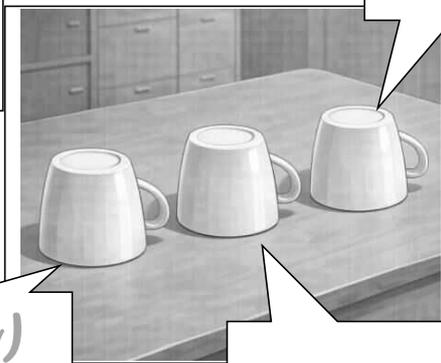
4. 「うえ」「した」「みぎ」「ひだり」にも「まんなか」が使えることを教えます。

「うえ」「した」または「みぎ」「ひだり」と言ったあと、「まんなか」を指さして言わせてください。



うえ

した



みぎ

ひだり

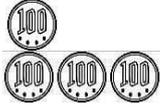
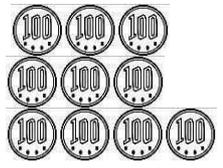
Let's read and write the numbers 100, 200 ... up to 900.
 Basahin at isulat natin ang mga bilang 100, 200 ... hanggang 900.
 让我们读和写100、200……一直到900的数字。
 Hãy đọc và viết các số 100, 200 ... đến 900.

⑱かず

(100、200・・・900)



1. 順番じゅんばんに読よませます。(「びやく」「ぴやく」に注意ちゅういしてください)

				
100	200	300	400	500
hyaku	ni hyaku	san byaku	yon hyaku	go hyaku
				
600	700	800	900	1000
roppyaku	nana hyaku	happyaku	kyû hyaku	sen

2. 指導しどうしや者が指ゆびさした数かずを読よませます。

【ペアOK】

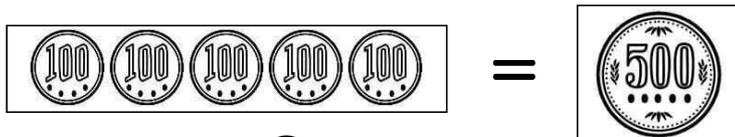
100 200 300

400 500 600

700 800 900

1000

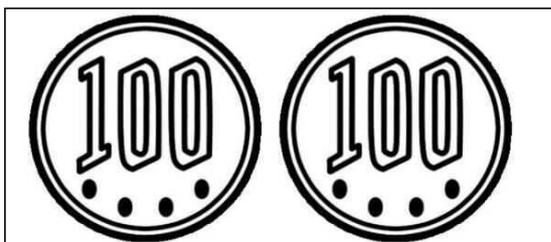
3. お金の模型を使って学習させます。「100円=500円」について教えた後、イラストを見せながら「全部で何円？」と尋ねます。子どもには「〇えん」と答えさせます。



①



②



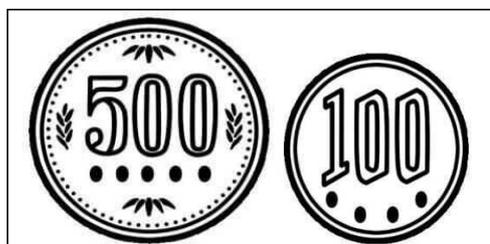
③



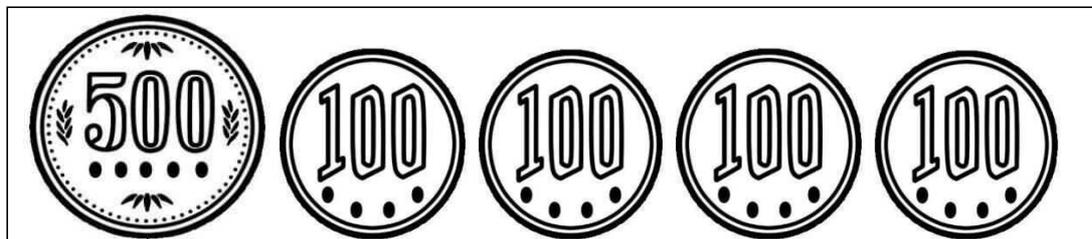
④



⑤



⑥



4. 指導者がお金の模型を見せ「全部で何円？」と尋ね、答えさせます。

【ペアOK】

5. 声に出して読みながら、計算をさせます。

$$100 + 100 = \square$$

$$600 - 200 = \square$$

$$500 + 300 = \square$$

$$900 - 400 = \square$$

$$700 + 200 = \square$$

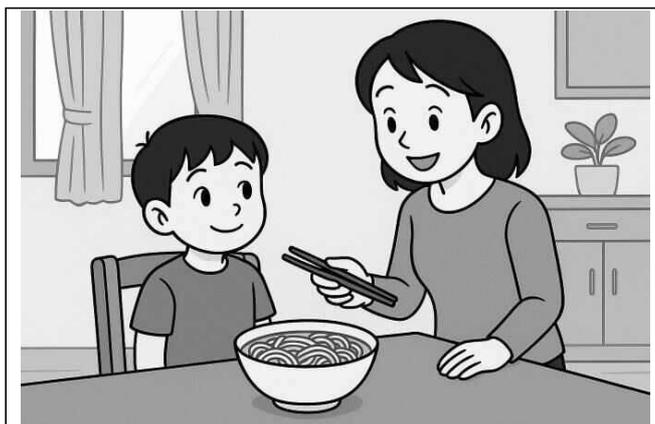
$$1000 - 500 = \square$$

①9 いる・いない

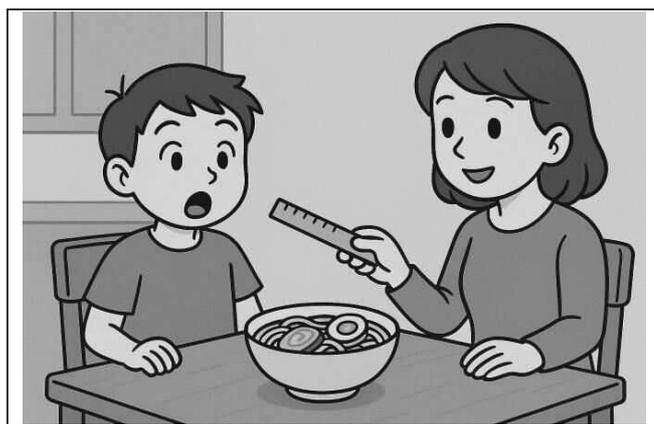


Let's say whether we need something or don't need it.
 Sabihin natin kung kailangan o hindi kailangan ang isang bagay.
 让我们学会判断并说出物品是‘需要’还是‘不需要’。
 Hãy nói xem chúng ta có cần hay không cần một đồ vật.

1. 下の2枚のイラストをそれぞれ指さしながら、「いる」と「いない」を覚えさせます。

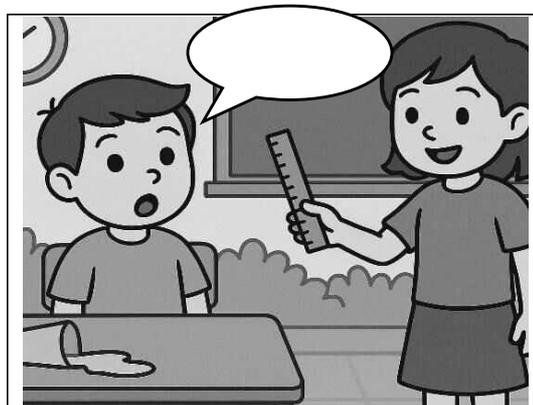


いる



いない

2. イラストを指さして「いる？いない？」と尋ねます。子どもには「いる」か「いない」かで答えさせます。その後、吹き出しに「いる」か「いない」を書かしてください。





3. 下のイラストで、それぞれの吹き出し内のイラストを指さして「いる？」と尋ねます。子どもは「いる」か「いない」かを答えます。
その後、□内に「いる」か「いない」かを書かせます。



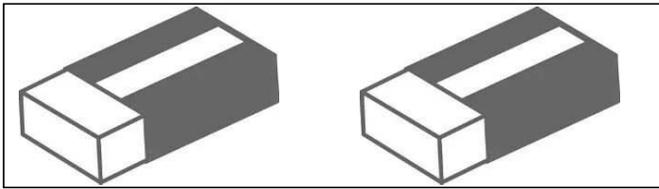
②おなじ・ちがう



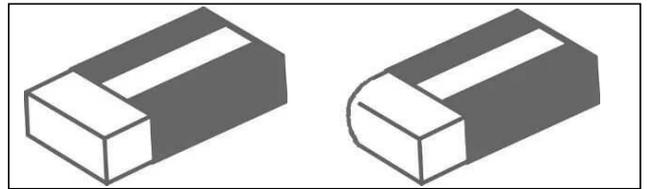
Let's look at the pictures and say 'same' or 'different'.
 Tingnan natin ang mga larawan at sabihin kung 'pareho' o 'hindi pareho.'
 让我们看插图, 说出'一样'和'不一样'。
 Hãy nhìn tranh và nói 'giống' hay 'khác'.

1. ①のイラストを指さして「おなじ」、②のイラストを指さして「ちがう」と言い、意味を理解させます。

①

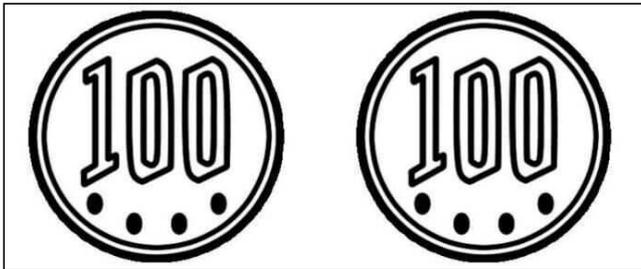


②



2. イラストを見せながら、それぞれ「おなじ?ちがう?」と尋ね、子どもに答えさせます。

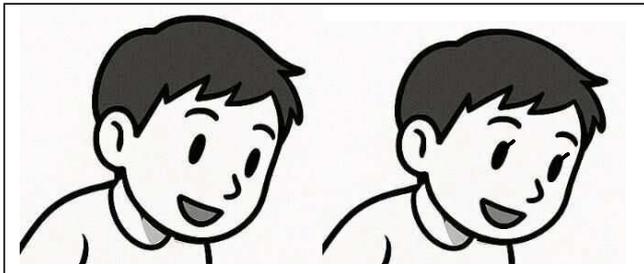
①



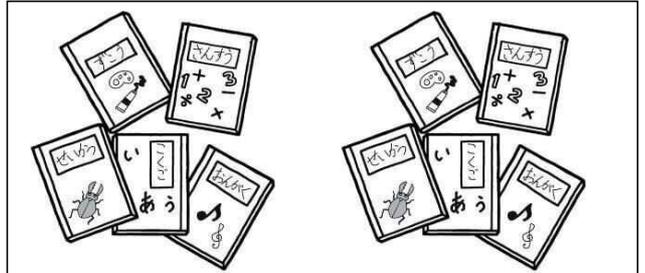
②



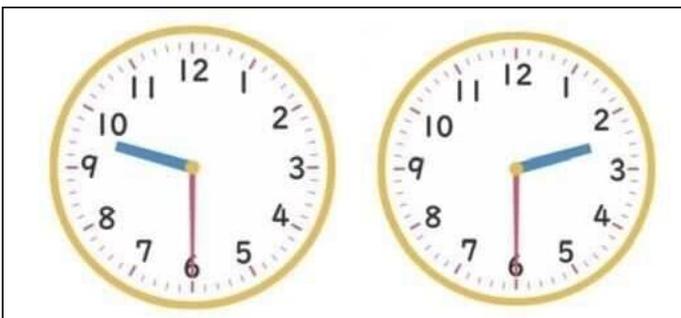
③



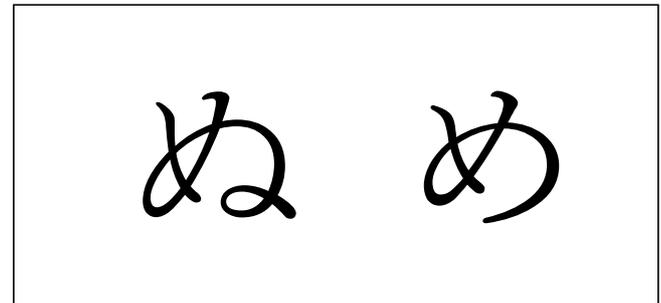
④



⑤



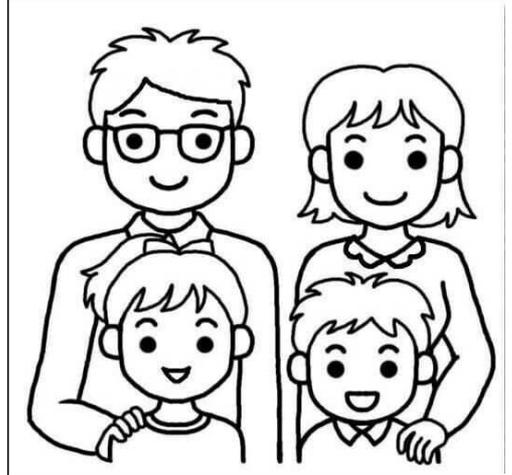
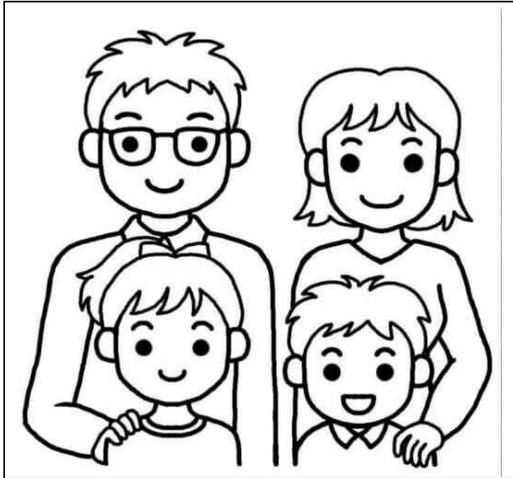
⑥



3. 指導者は「みて」と言って①の絵を交互に指さします。そして「ちがう」と言って右の絵の女の子の口元に○印をつけます。子どもは、やり方がわかったら、ちがうところを見つけ、「ちがう」と言って、右側のイラストの該当箇所に○印をつけていきます。それぞれ3か所ずつあります。

3つずつ ちがう

①



②



③



まとめ②

11～20課

Let's say the words that go in the speech bubbles.
 Sabihin natin ang mga salitang ilalagay sa speech bubble.
 让我们说出写在对话框里的话。
 Hãy nói những từ sẽ viết vào ô lời thoại.

1. イラストを指さしながら、吹き出しに入る言葉を言わせます。指導者は必要に応じてセリフを言ったりジェスチャーを加えたりして会話の場面を設定します。

① 友だちを呼ぶ



② 音楽を勧める



③ サインを書いて欲しい



④ 椅子の座り方を教える



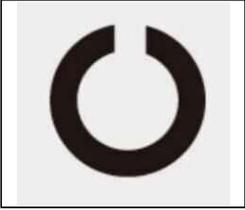
⑤ 誰のものか尋ねる



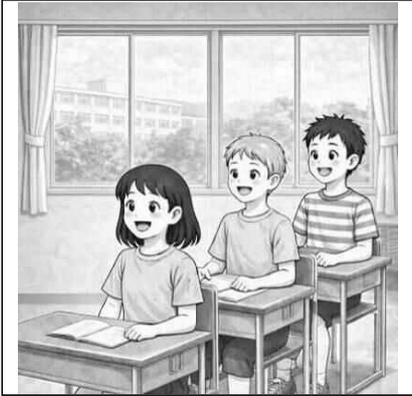
⑥



2. 方向を言わせます。



3. イラストを指さし、「まえ」「まんなか」「うしろ」を言わせます。

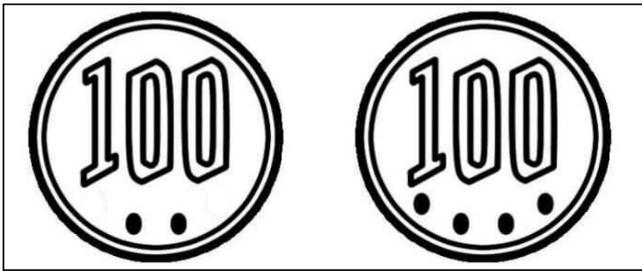


4. 「いる」か「いない」かを言わせます。



5. 「おなじ」か「ちがう」かを言わせます。

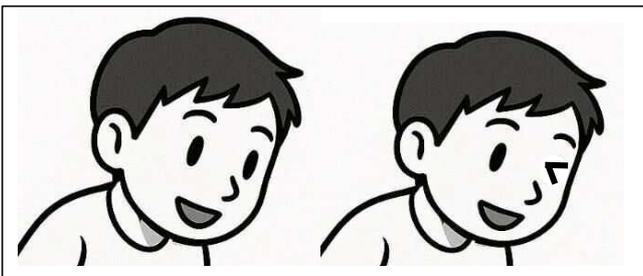
①



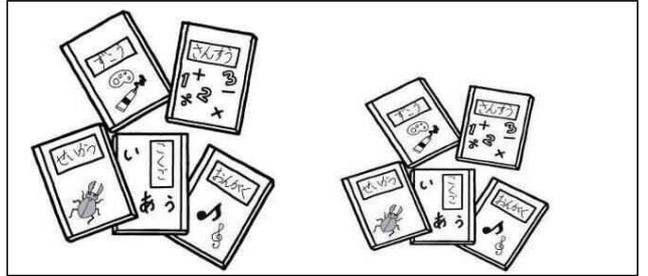
②



③



④



6. お金の模型を提示しながら、以下の順番で「〇円」と言わせます。

- ① 10の倍数
- ② 21~99までの整数
- ③ 100の倍数

それぞれ5問ずつします。
必要に応じて増やしていただくのは構いません。

② あいさつ 2



Let's practice greetings.
Magpraktis tayo ng pagbati.
让我们练习打招呼的方法。
Chúng ta hãy luyện tập chào hỏi.

1. 言い方を覚えさせたら、「指導者と子ども」または「子どもどうし」でペアトークをさせます。





★職員室（しょくいんしつ）で つかう あいさつ

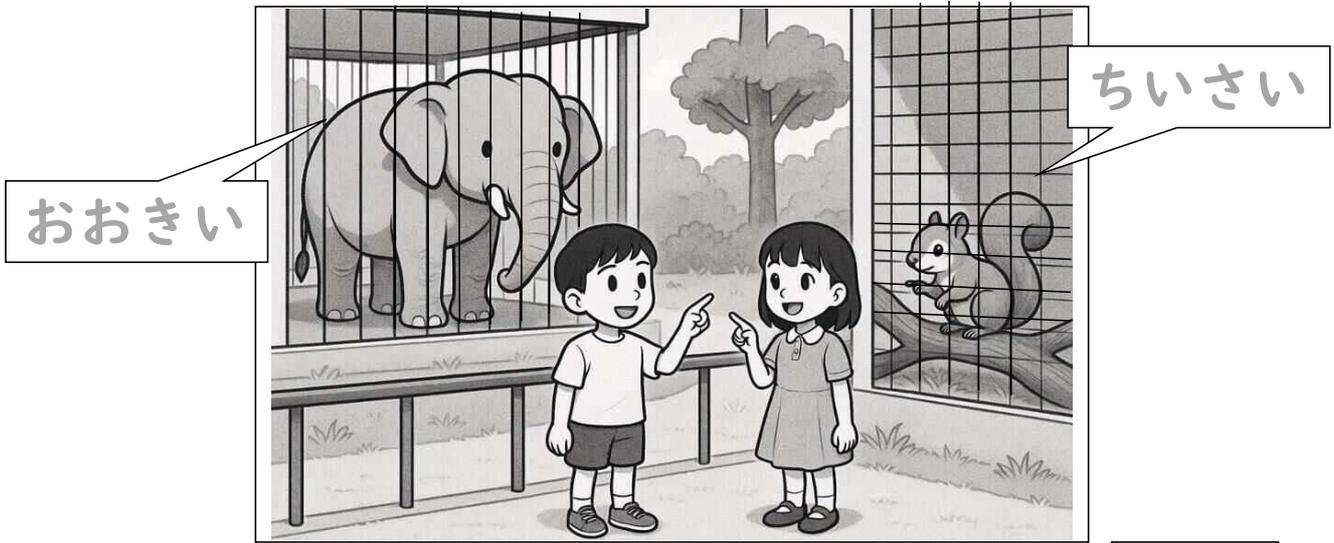


② おおきい・ちいさい



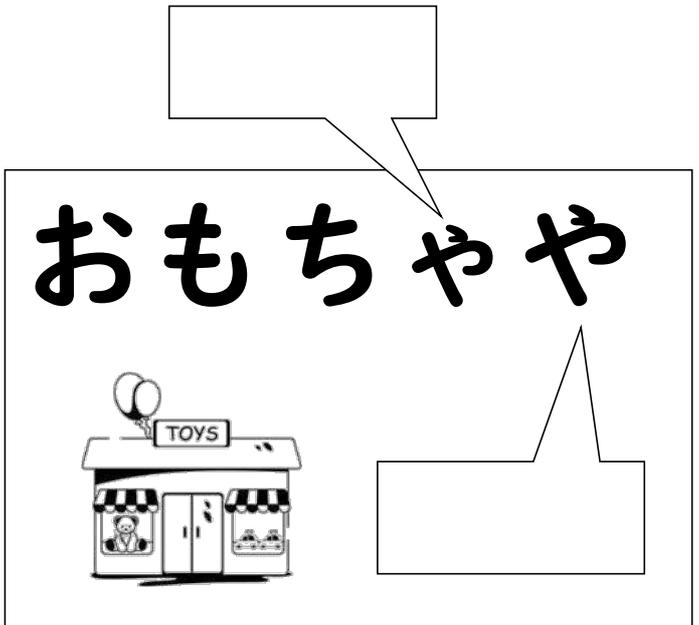
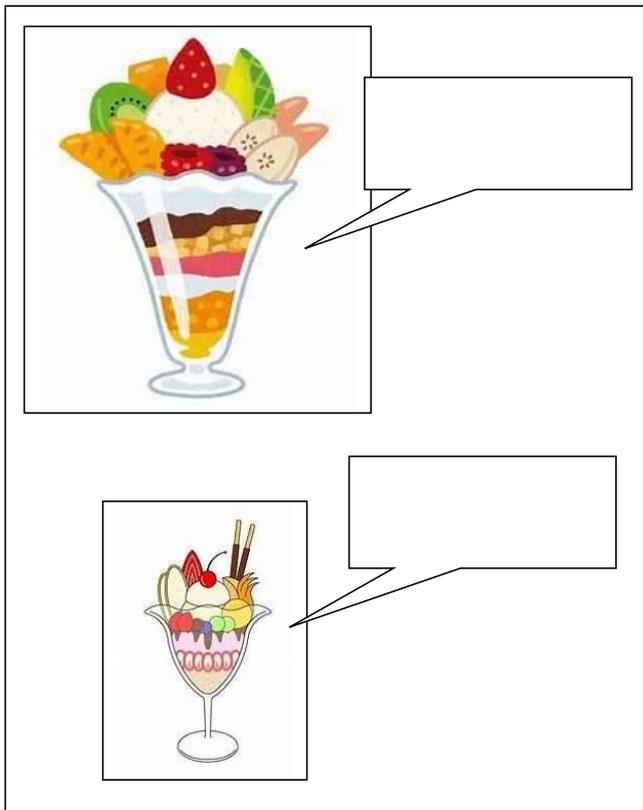
Let's learn the meaning of 'big' and 'small'.
 Alamin natin ang kahulugan ng 'malaki' at 'maliit'.
 让我们理解‘大’和‘小’的意思。
 Hãy hiểu nghĩa của ‘to’ và ‘nhỏ’.

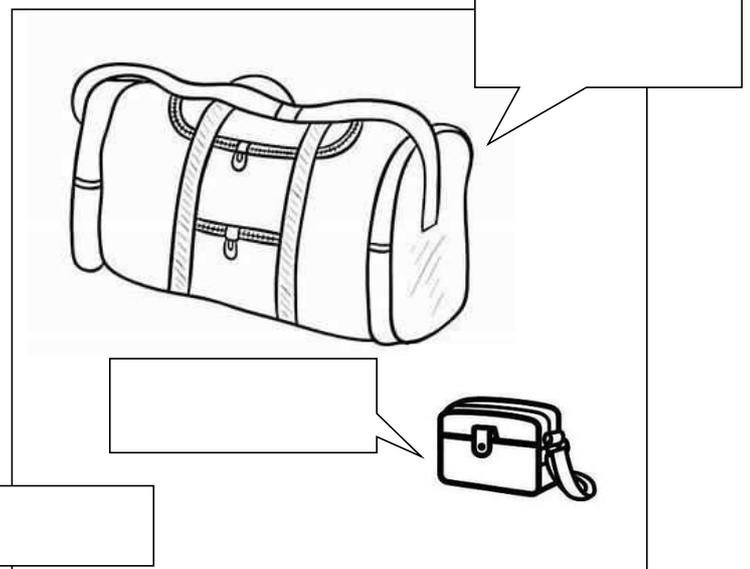
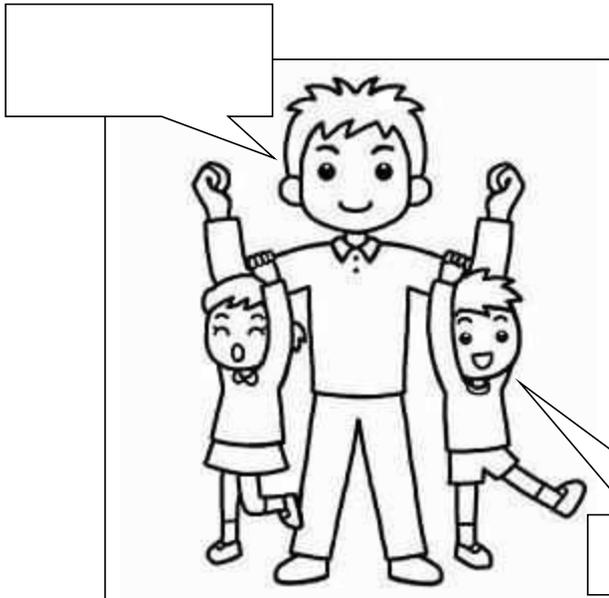
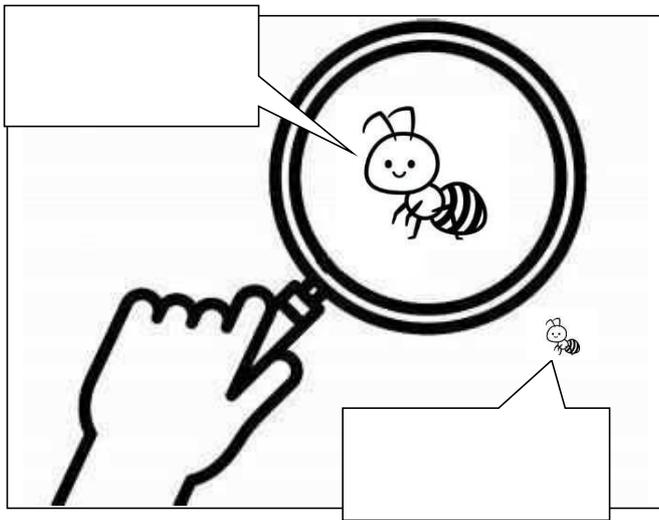
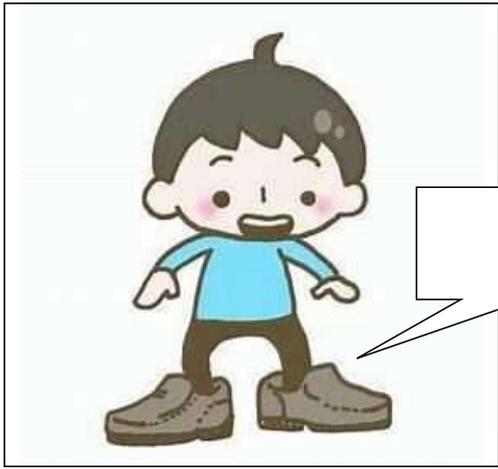
1. 下の2枚のイラストをそれぞれ指さしながら、「おおきい」と「ちいさい」を覚えさせます。



2. イラストを順番に指さしながら「おおきい？ちいさい？」と尋ね、言わせます。
 その後、空欄に「おおきい」「ちいさい」を書かせます。

ペア OK





3. 実物じつぶつを用いて学習がくしゅうします。同じものでおおきさのちがうもの(例: 大きい消しゴムおおきけしゴムと小さい消しゴムちいけしゴム)を用意よういし、両方見せながら片方を示し、りょうほうみ「おおきい? ちいさい?」と尋ね、かたほうしめ言わせます。たず

ペア OK

23 べんきょう

Let's look at the pictures and say the subject names.
 Tingnan natin ang mga larawan at sabihin ang pangalan ng asignatura.
 让我们看图片, 说出学科的名称。
 Hãy nhìn tranh và nói tên các môn học.



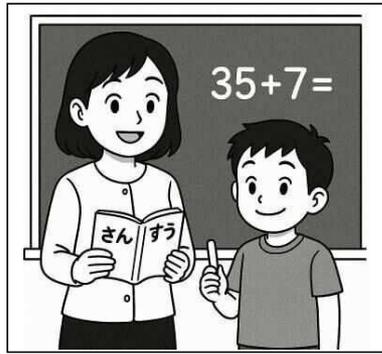
1. イラストを指さしながら、一通り教科の名前を言わせます。

①



こくご

②



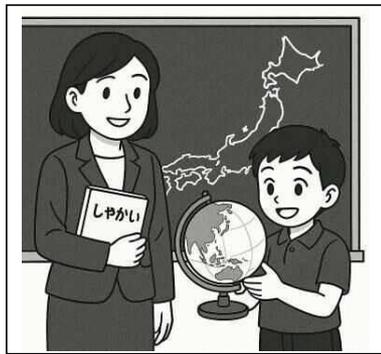
さんすう

③ 1~2年生 ねんせい



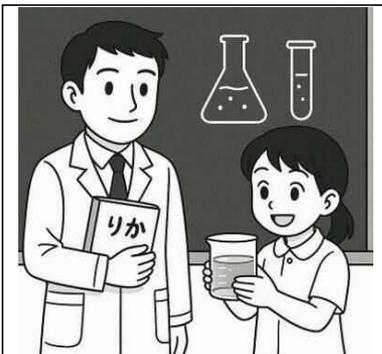
せいかつ

④ 3年生 ねんせい



しゃかい

⑤ 3年生 ねんせい



りか

⑥



おんがく

⑦



ずこう

⑧



たいいく

⑨



しよしゃ

ていがくねん
⑩ 低学年



どくしょ

⑪



えいご

⑫



どうとく

ねんせい
⑬ 3年生



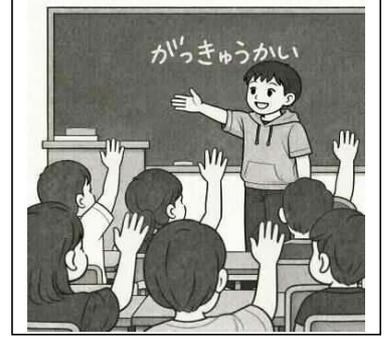
ほけん

ねんせい
⑭ 3年生



そうごう

⑮



がっこうかい

2. 以下のように進めます。

まず、学年に応じて使わない教科のイラストに斜線を引きます。

(1) もういちど教科の名前を言わせていく。

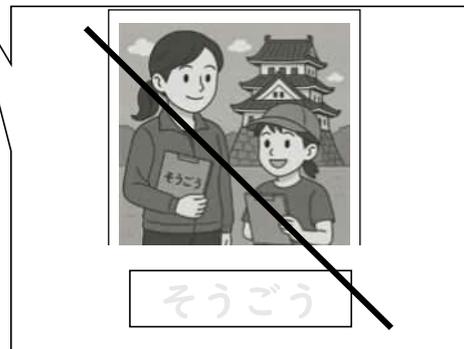
※ひとつずつイラストを指さしながら、
「なんの べんきょう？」と尋ねます。
その後、文字をなぞらせます。

(2) 「〇〇の本」(可能なら「〇〇の教科書」と言わせていく。

※⑩⑭⑮以外

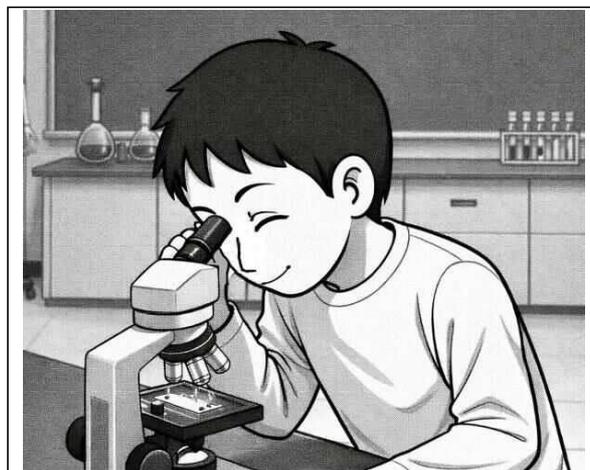
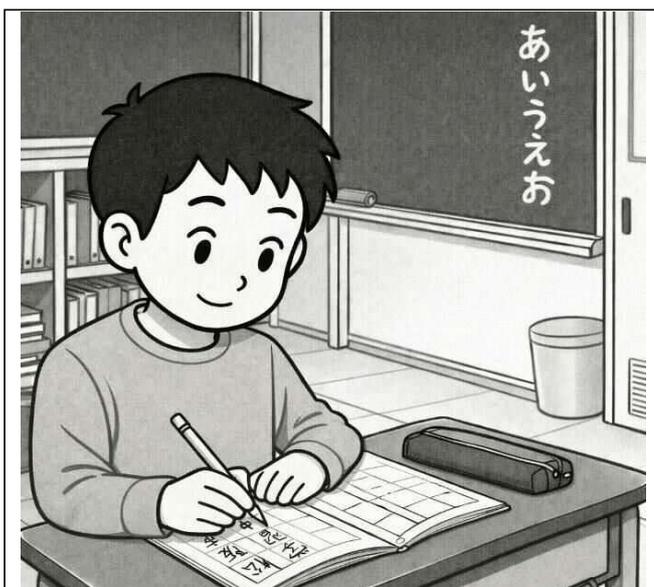
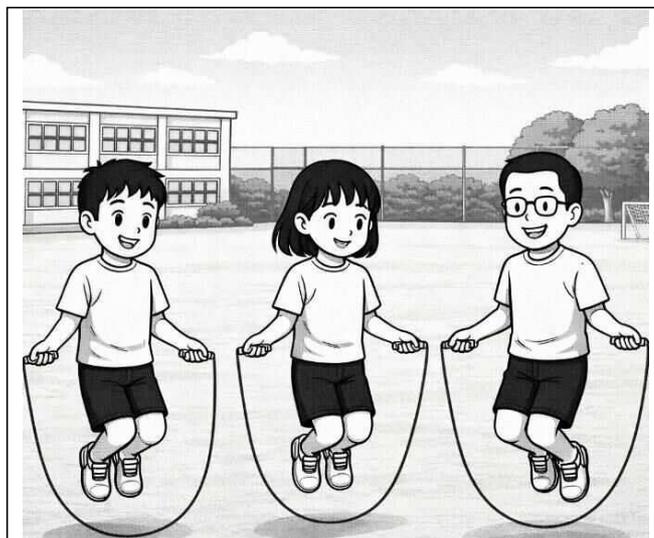
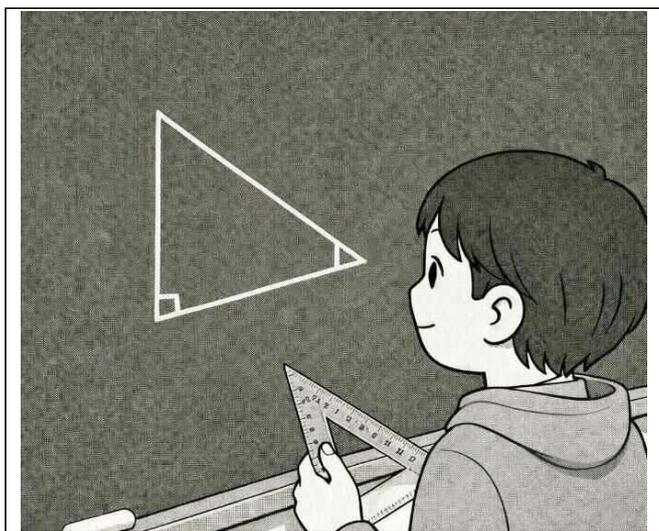
(3) 「〇〇の先生」と言わせていく。

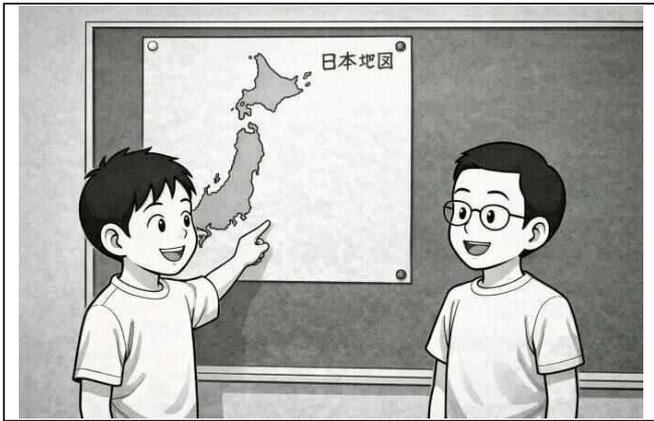
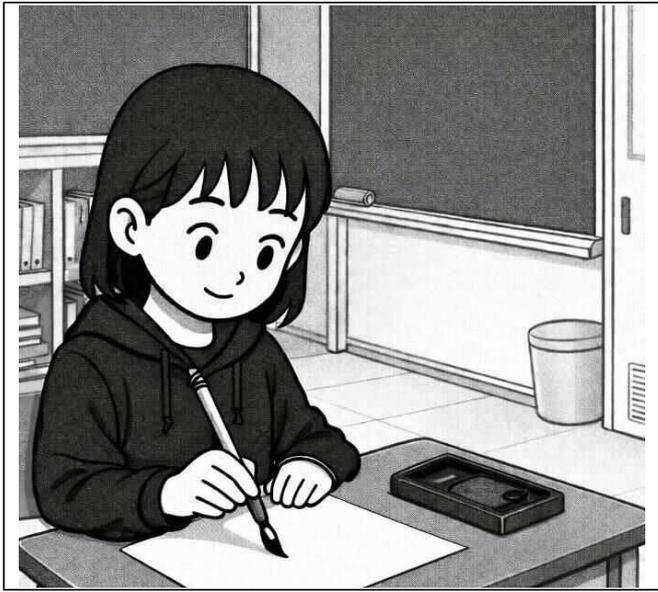
※(1)~(3)それぞれ、一通り言わせてから、ランダムに言わせていきます。



そうごう

3. イラストを一つずつ指さしながら、「なんの ^{ひと}べんきょう？」と聞いていきます。
 子どもは ^{まようか}教科の名前を答えます。
 すべて言えたら、イラスト内の、^{しゅぎょう}授業で使う ^{つか}小物（^{ぶつ}筆など）も ^{おし}教えます。





②④ なんにち、なんようび



Let's learn how to say the date and the days of the week.
Tandaan natin kung paano sabihin ang petsa at mga araw ng linggo.
让我们学习日期和星期期的说法。
Hãy học cách nói ngày tháng và các thứ trong tuần.



1. 下のカレンダーを見ながら、「にちようび」から「どようび」までを言わせてください。
覚えてきたら、「なんようび?」と尋ね、ランダムに言わせてください。

2. 次に、「ついたち」から「とおか」までを1と同様に練習させてください。



(「なんにち?」と尋ねてください)

覚えてきたら、11日から31日まで進めてください。「はつか」は多めに言わせてください。

一通り言えたら指導者は数字をひとつ指さして「なんにち、なんようび?」と尋ねてください。子どもは「〇にち、〇ようび」と言うようにさせてください。

SUN にちようび nichi youbi	MON げつようび getsu youbi	TUE かようび ka youbi	WED すいようび sui youbi	THU もくようび moku youbi	FRI きんようび kin youbi	SAT どようび do youbi
		1 ついたち tsuitachi	2 ふつか futsuka	3 みっか mikka	4 よっか yokka	5 いつか itsuka
6 むいか muika	7 なのか nanoka	8 ようか youka	9 このか kokonoka	10 とおか tooka	11	12
13	14 じゅうよっか jyuu yokka	15	16	17	18	19
20 はつか hatsuka	21	22	23	24 にじゅうよっか nijyuu yokka	25	26
27	28	29	30	31		

3. 実際のカレンダーを見せ、数字を指さしながら「〇にち、〇ようび」と言わせてください。

4. 下の時間割表を使います。

子どもの学年に忘じたものを使ってください。

もし子どもが持っていれば、各自の時間割表を使ってください。

まず、「こくご、なんようび？」と尋ね、「○ようび、○ようび・・・」と言わせてください。

やり方を理解させたら、いろいろな教科を尋ね、言わせてください。

ペア OK

しょうがっこうていがくねん
小学校低学年

	げつ ようび	か ようび	すい ようび	もく ようび	きん ようび
1	こくご	こくご	さんすう	こくご	こくご
2	さんすう	さんすう	こくご	さんすう	せいかつ
3	たいいく	おんがく	ずこう	たいいく	せいかつ
4	どうとく	しょしゃ	ずこう	おんがく	さんすう
5	こくご	たいいく	がっかつ	せいかつ	どくしょ
6				せいかつ	

しょうがっこうちゅうがくねん
小学校中学年

	げつ ようび	か ようび	すい ようび	もく ようび	きん ようび
1	こくご	こくご	さんすう	こくご	こくご
2	さんすう	さんすう	こくご	さんすう	さんすう
3	りか	おんがく	ずこう	たいいく	そうごう
4	りか	しょしゃ	ずこう	しゃかい	そうごう
5	こくご	たいいく	がっかつ	えいご (がいこくご)	しゃかい
6		りか		どうとく	おんがく

②⑤きのう・きょう・あした

Let's understand the meaning of 'yesterday,' 'today,' and 'tomorrow,' and talk about days of the week and plans.

Unawain natin ang kahulugan ng 'kahapon,' 'ngayon,' at 'bukas,' at sabihin ang araw ng linggo at mga plano.

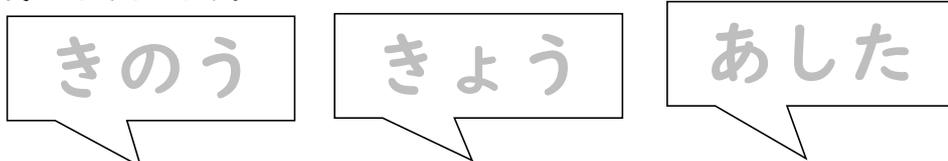
让我们理解‘昨天’‘今天’和‘明天’的意思，并能说出星期和计划。

Hãy hiểu nghĩa của 'hôm qua,' 'hôm nay,' và 'ngày mai,' và nói được thứ trong tuần và kế hoạch.

1. まず、昨日、今日、明日の日付を入れさせます。

その後、「きょう」「きのう」「あした」の順に日付を指さしながら、意味を教えてください。

最後に、文字をなぞらせませす。



がつ	にち	にち	にち
	ようび	ようび	ようび

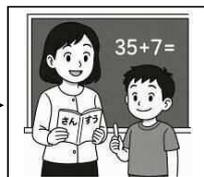
2. 上の表を見せながら、以下の質問をして答えさせます。□内も記入させます。

- ① 「きょう なんようび？」 →
- ② 「きのう なんようび？」 →
- ③ 「あした なんようび？」 →
- ④ 「きょう なんにち？」 →
- ⑤ 「きのう なんにち？」 →
- ⑥ 「あした なんにち？」 →

3. 時間割について、以下の質問をします。
 (下の時間割表を見ながら実施してください。)

ペア OK

① 「きょう さんすう ある？ない？」



② 「あした たいいく ある？ない？」



③ 「あした おんがく ある？ない？」

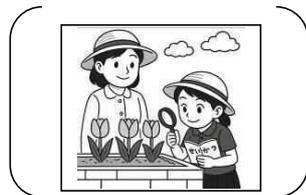


④ 「きょう ずこう ある？ない？」



⑤ 「きょう りか (せいかつ) ある？ない？」

※3年生は「りか」、1～2年生は「せいかつ」です。



しょうがっこうていがくねん
 小学校低学年

しょうがっこうちゅうがくねん
 小学校中学年

	げつ ようび	か ようび	すい ようび	もく ようび	きん ようび
1	こくご	こくご	さんすう	こくご	こくご
2	さんすう	さんすう	こくご	さんすう	せいかつ
3	たいいく	おんがく	ずこう	たいいく	せいかつ
4	どうとく	しょしゃ	ずこう	おんがく	さんすう
5	こくご	たいいく	がっかつ	せいかつ	どくしょ
6				せいかつ	

	げつ ようび	か ようび	すい ようび	もく ようび	きん ようび
1	こくご	こくご	さんすう	こくご	こくご
2	さんすう	さんすう	こくご	さんすう	さんすう
3	りか	おんがく	ずこう	たいいく	そうごう
4	りか	しょしゃ	ずこう	しゃかい	そうごう
5	こくご	たいいく	がっかつ	えいご (がいこくご)	しゃかい
6		りか		どうとく	おんがく

②⑥ なんじ？



Let's learn how to say the time, like 'What time?' and 'Half past'.
 Pag-aralan natin kung paano sabihin ang oras, tulad ng 'Anong oras?' at 'Kalahating oras.'
 让我们学习'几点'和'几点半'的说法。
 Hãy học cách nói giờ, như 'Mấy giờ?' và '... giờ rưỡi.'

1. 1時間ごとの言い方を教えます。

○内は数字で！

ひとつずつ時計のイラストを指さしながら読み、子どもに復唱させていきます。

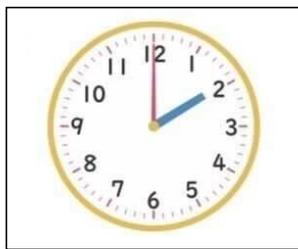
その後、ランダムに指さして読ませます。最後に、□内に「○じ」と書かせます。

※「よじ」「しちじ」「くじ」においては、「よんじ」「ななじ」「きゅうじ」とならない

よう注意してください。



1じ



□



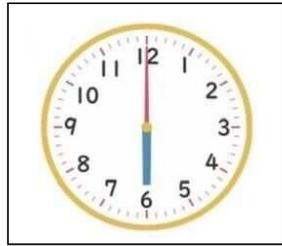
□



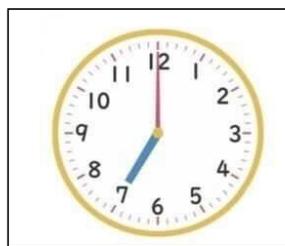
□



□



□



□



□



□



□



□



□

2. 時計の模型を使って、「○時」に合わせた後、「なんじ？」と聞いて答えさせます。

また、指導者が「○時」と言い、子どもがその時刻に時計の針を合わせるようにさせます。

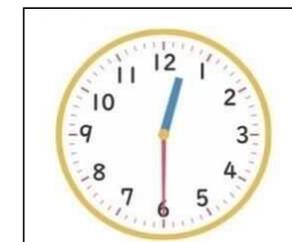
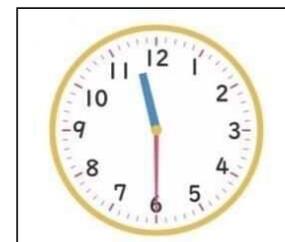
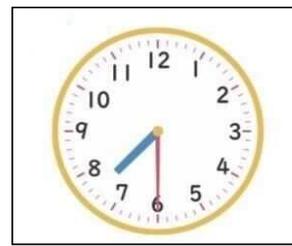
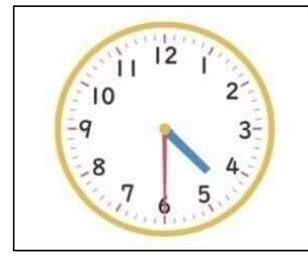
ペア OK



3. 左ページと同様にして「〇じはん」を教えます。



1じはん



4. 時計の模型を使って、「〇時半」に合わせた後、「なんじはん？」と聞いて答えさせます。

また、指導者が「〇時半」と言い、子どもがその時刻に時計の針を合わせるようにさせます。

5. ここまで学習したら、学年や到達度に応じ、「〇時〇分」を教えます。

ペア OK

※時計の模型を用いて、自盛りを「いっぶん、にぶん・・・」と一緒に読んであげてください。

2 (に)	5 (ご)
7 (なな)	8 (はち)
9 (きゅう)	

ぶん

1 (いっ)	3 (さん)
4 (よん)	6 (ろっ)
8 (はっ)	
10 (じゅっ)	(じっ)

ぶん



27 いる・いない

Let's say whether a person is there or not.
 Sabihin natin kung may tao o wala.
 让我们学会判断并说出人等是否‘在’或‘不在’。
 Hãy nói xem có người hay không có người.

1. 下の2枚のイラストをそれぞれ指さしながら、「いる」と「いない」を覚えさせます。



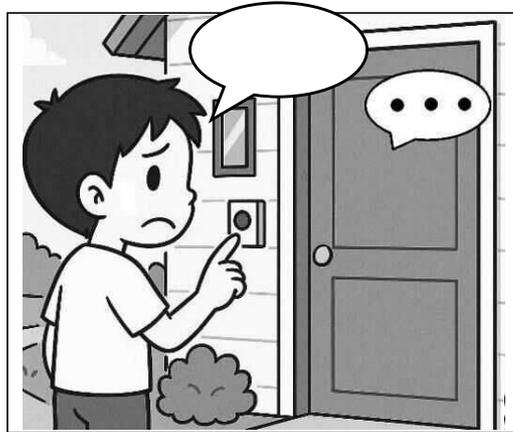
いる



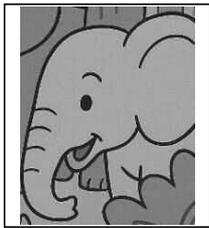
いない

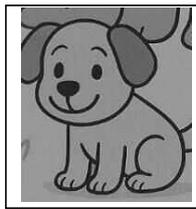


2. イラストを指さして「いる？いない？」と尋ねます。
 子どもには「いる」か「いない」かで答えさせます。
 吹き出しには「いる」か「いない」を書かせます。

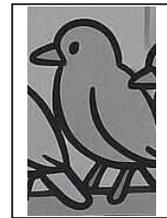


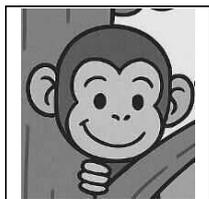
3. 大きいイラストから、小さいイラストの動物を探させます。指導者は、小さいイラストをひとつずつ指さし、「〇〇いる？いない？」と尋ねます。子どもは見つけたら「いる」と言って大きいイラストの該当箇所を指さすようにさせ、いない場合は「いない」と言わせます。
□内には「いる」か「いない」かを書かせます。

















② わすれた・かして・ありがとう

Let's learn how to ask to borrow something when we forget our things.
Alamin natin kung paano humiram kapag nakalimutan ang gamit.

让我们学习忘记带物品时，如何说借用的话。

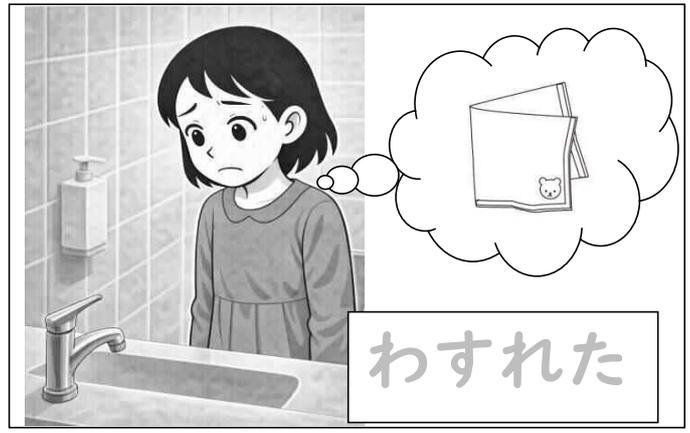
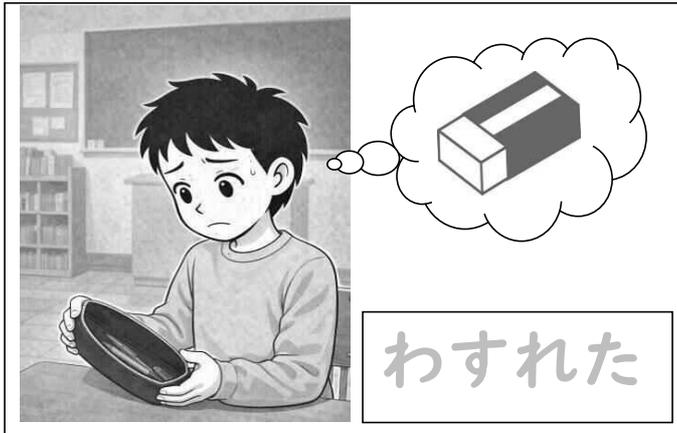
Hãy học cách nói để mượn đồ khi quên mang theo đồ dùng.



1. イラストを^ま使って、「わすれた」の意味を^お教えます。

まず、指導者が「わすれた」と言い、子どもにリピートさせます。

次に指導者はイラストを^さ指さしながら「〇〇わすれた」と言い、子どもにリピートさせます。



2. 次に、実物を見せ、「〇〇わすれた」と言わせます。

例えば、鉛筆を見せたら「えんぴつ わすれた」と言わせます。

ペア OK



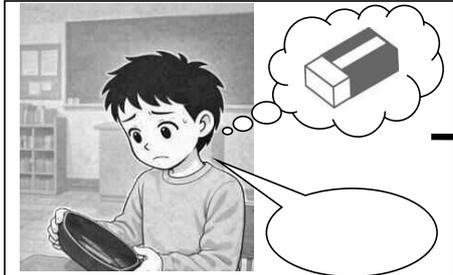
3. イラストを見せながら「かして」の意味を^お教えます。

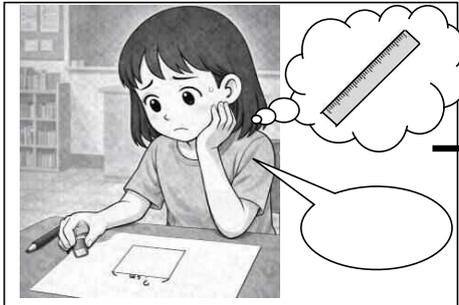


4. 子どもが意味を^り理解したら、上のイラストを見せながら「〇〇かして」の^い言い方を^お教えます。

5. イラストを使って「〇〇わすれた」「〇〇かして」「ありがとう」の言い方を教えます。

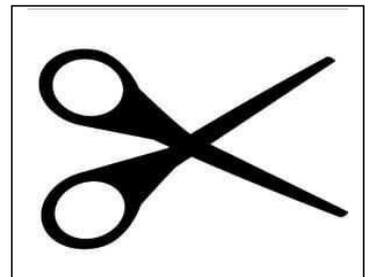
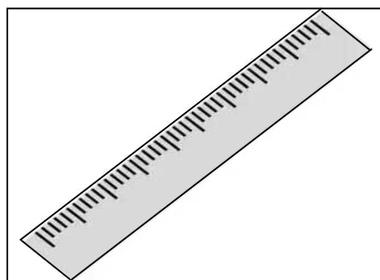
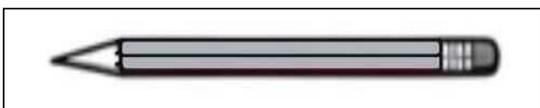
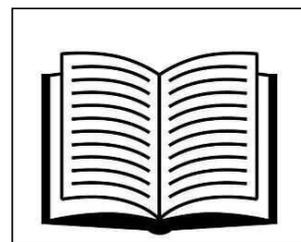
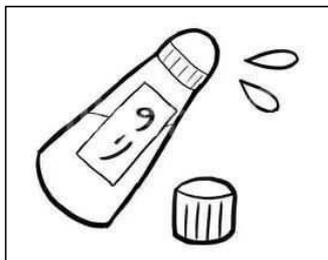
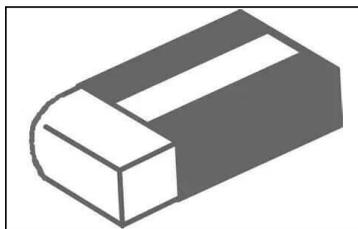


		
けしごむ わすれた	けしごむ かして	ありがとう

		
じょうぎ わすれた	じょうぎ かして	ありがとう

6. 言い方を理解できたら、実物を使って会話練習をします。
 子どもが「〇〇かして」と言ったあと、指導者は実物を渡すときに「どうぞ」と言います。
 慣れてきたら、立場を交代します。

ペア OK



29 たべる・のむ

Let's understand and use the words 'eat' and 'drink'.
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'kumain' at 'uminom'.
 让我们理解并使用‘吃’和‘喝’这两个词。
 Hãy hiểu và sử dụng các từ ‘ăn’ và ‘uống’.

1. イラストを使って、「たべる」「たべない」の意味を教えます。



2. 下の食べ物のイラストを指さして「たべる？」と尋ね、子どもに答えさせます。
 文字もなぞらせます。



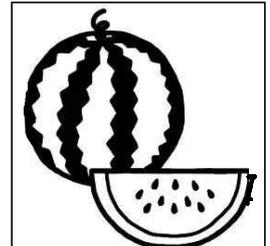
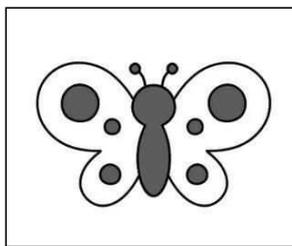
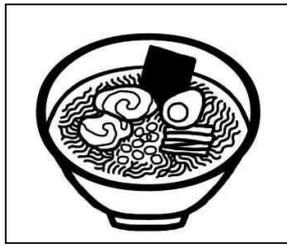
たべる

たべない

3. 指導者は「たべる？」と尋ね、答えさせます。

可能であれば、□内に言葉を「たべる」か「たべない」かを書かせます。

※ 宗教その他の理由により、「たべる」「たべない」が子どもによって異なる可能性があります。



4. イラストを使って、「のむ」「のまない」の意味を教えます。



5. コップに入った水のイラストを指さして「のむ?」と尋ね、子どもに答えさせます。
文字もなぞらせます。



のむ

のまない

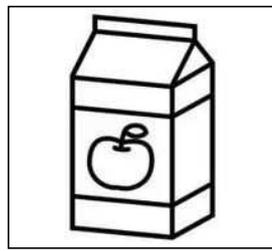
6. 指導者は「のむ?」と尋ね、答えさせます。

□内には「のむ」か「のまない」かを書かせます

※アレルギー等の理由により、「のまない」可能性があります。









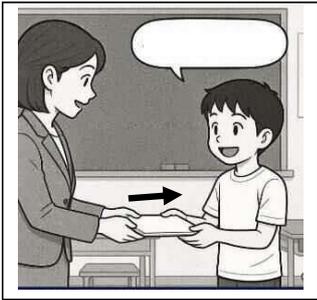
まとめ③

21～29課

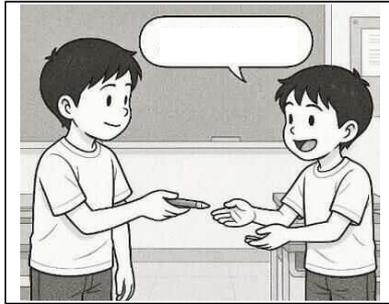
Let's say the words that go in the speech bubbles.
 Sabihin natin ang mga salitang ilalagay sa speech bubble.
 让我们说出写在对话框里的话。
 Hãy nói những từ sẽ viết vào ô lời thoại.

1. イラストを指さしながら、吹き出しに入る言葉を言わせます。指導者は必要に応じてセリフを言ったりジェスチャーを加えたりして会話の場を設定します。

① ノートを返してもらった



② 鉛筆を借りた



③ 窓を割ってしまった



④ 服を汚してしまった



⑤ 食前



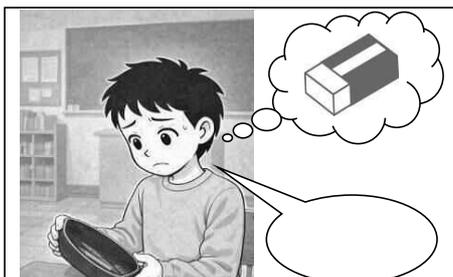
⑥ 食後



⑦ いる・いない

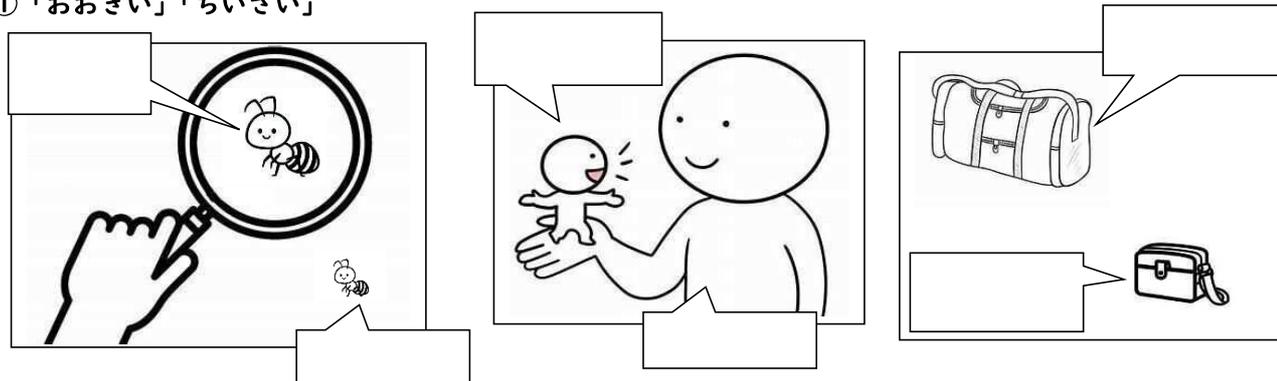


⑧ 消しゴムを忘れて、借りたい



2. □に合う言葉を言わせます。

① 「おおきい」「ちいさい」



② 「たべる」「たべない」「のむ」「のまない」



3. 「今日は○月○日○曜日」「明日は○月○日○曜日」「昨日は○月○日○曜日」を言わせます。

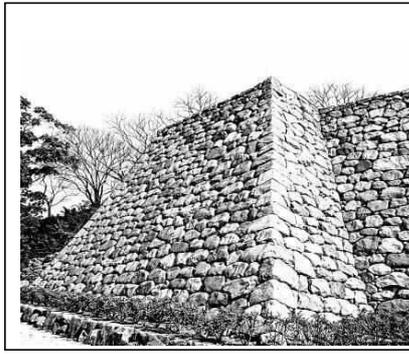
4. 時計の模型を使って、「○時」「○時半」に合わせた後、「なんじ?」「なんじはん?」と聞いて答えさせます。また、指導者が「○時」「○時半」と言い、子どもがその時刻に時計の針を合わせるようにさせます。

★まつさか★

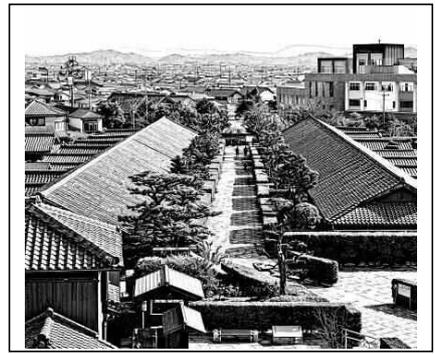
Let's learn about famous places and important people in Matsusaka City.
Alamin natin ang mga tanyag na lugar at mahahalagang tao sa Lungsod ng Matsusaka.
让我们了解松阪市的旅游景点和伟人的名字。
Hãy tìm hiểu các địa điểm nổi tiếng và những nhân vật tiêu biểu của thành phố Matsusaka.



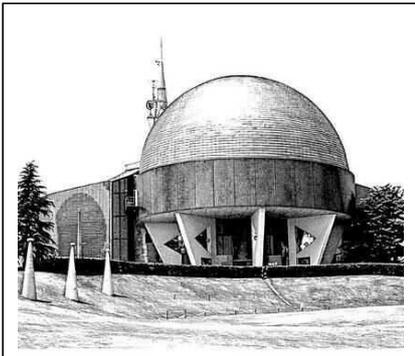
まつさかえき
Matsusaka station



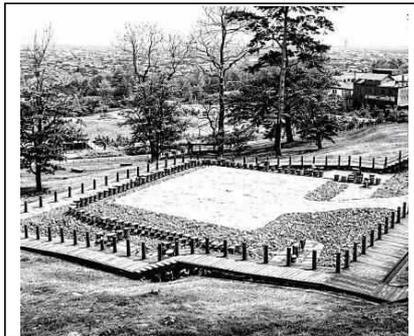
まつさかじょうし
Matsusaka castle site



ごじょうばんやしき
castle guards residence



みえこどものしろ
castle for children



たからづかこふん
ancient burial mound



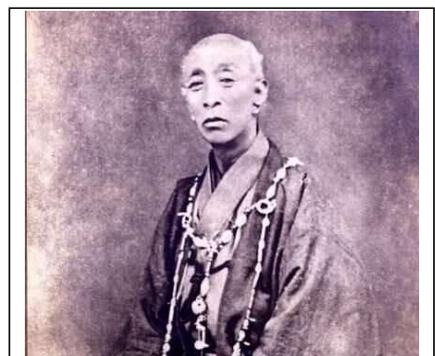
ベルファーム
Bell farm park



すずのもりこうえん
Suzunomori park



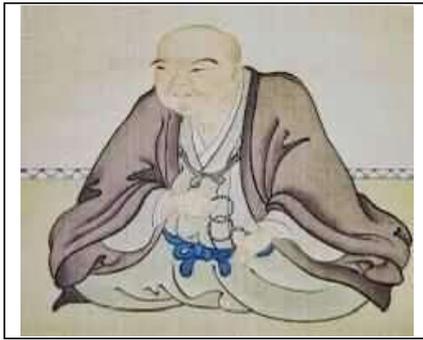
もとおりのりなが
japanese scholar



まつうら たけしろう
explorer



がもう うじさと
castle lord



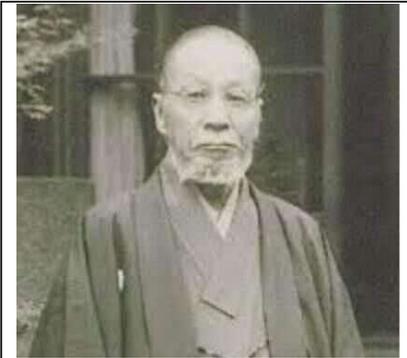
みつい たかとし
merchant



おおたに かへえ
merchant / politician



たけがわ ちくさい
merchant



はらだ じろう
businessman



おづ やすじろう
film director



まつさかうし
Matsusaka beef



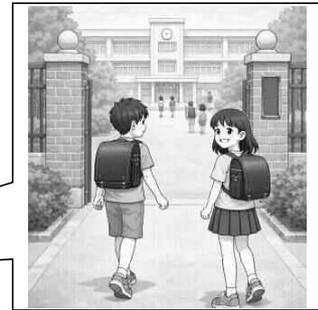
まつさかもめん
Matsusaka cotton



ぎおんまつり
gion festival

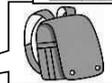
★しょうがっこうのいちにち★

Let's learn the school day schedule.
 Alamin natin ang daloy ng isang araw sa paaralan.
 让我们记住学校一天的流程。
 Hãy học trình tự một ngày ở trường.



1. 言葉の意味を、一緒に確認します。

	とうこう あさやすみ	けんこう かんざつ
8:30~8:40	あさのかい	
8:40~9:25	1げんめ (1じかんめ)	
9:25~9:30	5ふんやすみ	
9:35~10:15	2げんめ (2じかんめ)	
10:15~10:35	20ぷんやすみ	
10:35~11:20	3げんめ (3じかんめ)	
11:20~11:25	5ふんやすみ	
11:25~12:10	4げんめ (4じかんめ)	
12:10~12:50	きゅうしょく	
12:50~1:15	ひるやすみ	
1:15~1:35	そうじ	
1:35~2:20	5げんめ (5じかんめ)	
2:20~2:25	5ふんやすみ	
2:25~3:10	6げんめ (6じかんめ)	
3:10~3:20	かえりのかい	
	げこう	
	ほうかご	



★きょうか★

しょうがっこう (小学校)

Let's learn the kanji and meanings of school subjects.
Alamin natin ang kanji at kahulugan ng mga asignatura.

让我们学习各科目的汉字和意思。

Hãy học chữ Hán (kanji) và ý nghĩa của các môn học.

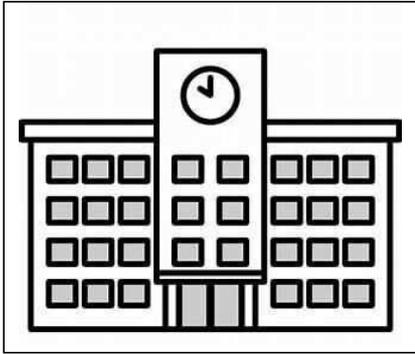
漢字 (かんじ)	よみかた	意味 (いみ)
国語	こくご	Japanese
算数	さんすう	Mathematics
生活	せいかつ	Life Subjects
音楽	おんがく	Music
図工	ずこう	Arts & Crafts
体育	たいいく	P.E
保健	ほけん	Health Education
書写	しょしゃ	Calligraphy
読書	どくしょ	Reading Books
道徳	どうとく	Moral Education
英語 (外国語)	えいご (がいこくご)	English
総合 (3年)	そうごう	Integrated studies
学活	がっかつ	Class Activities

★がっこう★

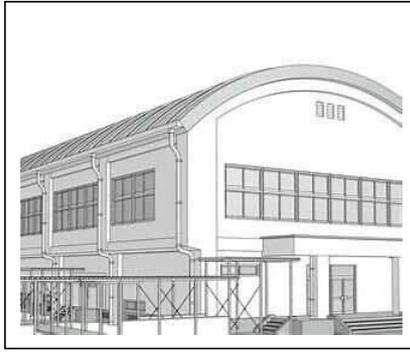
Let's learn what places there are in the school.
Unawain natin kung anong mga lugar ang mayroon sa paaralan.

让我们了解学校里有哪些地方。

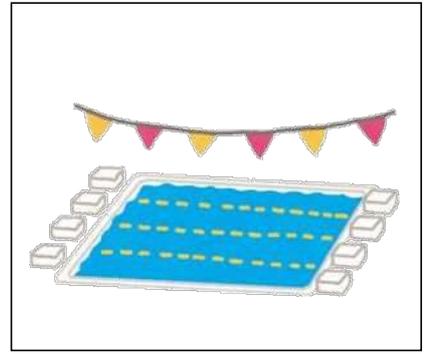
Hãy hiểu trong trường học có những nơi nào.



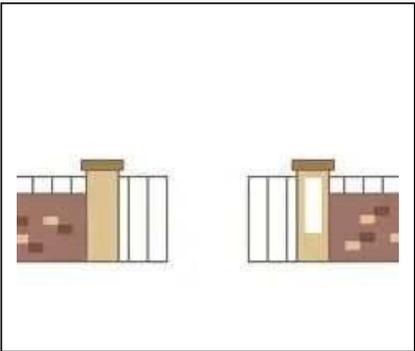
こうしゃ



たいいくかん



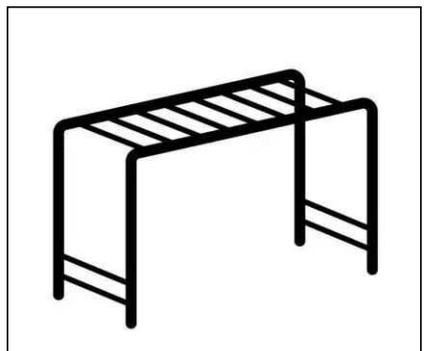
プール



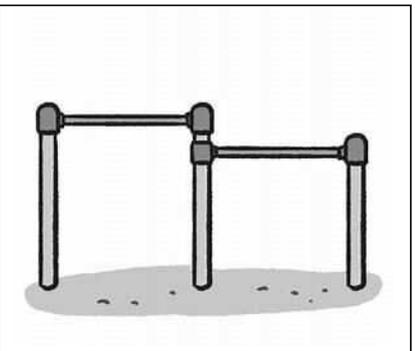
こうもん



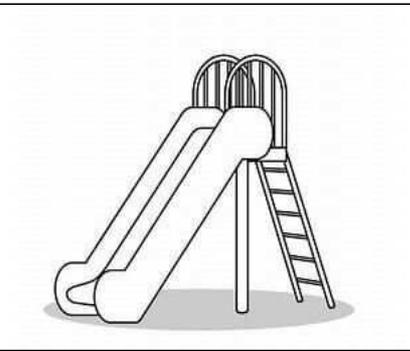
うんどうじょう



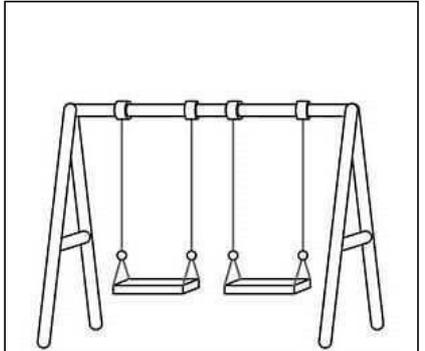
うんてい



てつぼう



すべりだい



ぶらんこ

松阪市 外国人児童生徒のための初期適応支援教室「いっぽ」
サバイバル日本語 学習教材 「はじめの いっぽ (M-Survival)」
2026年3月 初版発行

執筆

佐波 允友 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 長期研修員)

指導

中西 祐司 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 所長)

辻本 泰介 (松阪市教育委員会事務局 学校支援課 人権教育係指導主事)

編集

小筆 邦昭 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター
外国人児童生徒教育コーディネーター)

中川 千明 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

馬場 文子 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

小南 利子 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

大久保 美登里 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

島田 佐有理 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

ジルマ エリ 矢崎 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 母語スタッフ)

中尾 アルマ アンペル (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 母語スタッフ)

※本教材の著作権は、松阪市子ども支援研究センターに帰属します。

無断での転載・改変・再配付を禁じます。



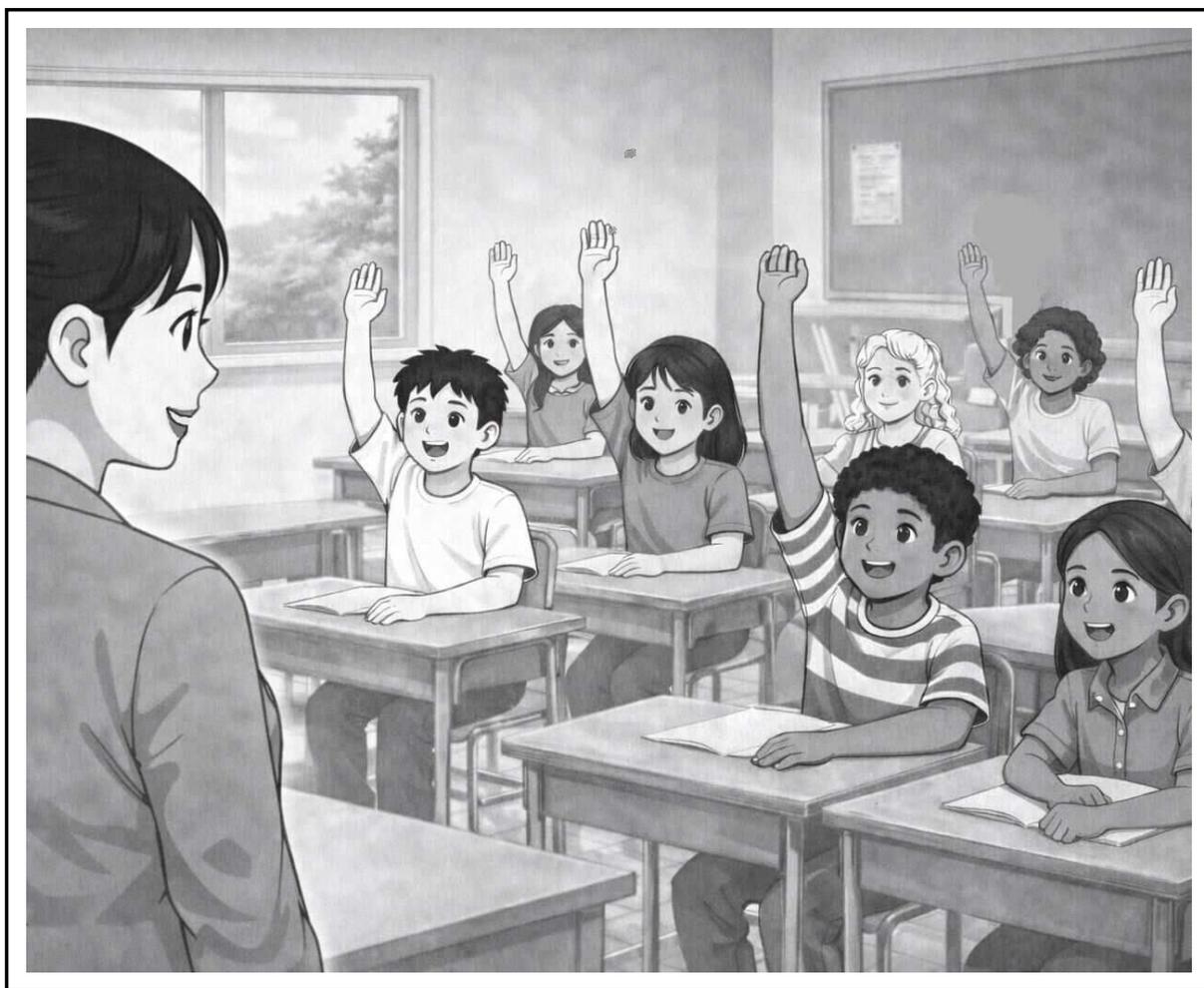
なまえ

はじめの いっぽ



M-Survival

小学4年生以上



松阪市子ども支援研究センター

外国人児童生徒のための初期適応支援教室「いっぽ」

にほんご がんばり マップ

スタート!

1 **あいさつ** (挨拶) →

2 **いい・だめ** (いい・だめ) →

3 **かず (1~5)** (かず) →

4 **もちもの** (もちもの) →

5 **かず (6~10と0)** (かず) →

6 **ある・ない** (ある・ない) →

7 **わかる・わからない** (わかる・わからない) →

8 **いたい (からだ)** (いたい) →

9 **まとも①** (まとも) **きて・みて・きいて** (きて・みて・きいて) **よんで・かいて** (よんで・かいて) →

10 **まとも②** (まとも) **たべる・のむ** (たべる・のむ) →

11 **これ、だれの? (わたし)** (これ、だれの?) →

12 **いる・いらない** (いる・いらない) →

13 **おなじ・ちがう** (おなじ・ちがう) →

14 **わすれた・かして・ありがとう** (わすれた・かして・ありがとう) →

15 **ゴール!** →

Additional illustrations: A unicorn, a frog, a branch with blueberries, a dragon, a panda, a bear, a fishbowl, and cherry blossoms.

「はじめの いっぽ」 (M-Survival) 4年生～ カリキュラム

※ページ欄に△をつけたときは、後日終わったら△の上から○をつける。

※理解度は1・2・3のいずれかに○をつける。1は不十分、2は合格、3はよくできる。

※イラストを見せたり、ペア学習や指導者との会話練習をさせたりしてすすめていくようにする。

なまえ 名前

No. (課)	だいたい 題材	もくひょう 目標	しどうじょう りゅういてん 指導上の留意点	ページ				りかいど 理解度		
				(終わった○、途中△)				1	2	3
1	あいさつ 1	ばめん おう きほんてき 場面に応じた、基本的な あいさつができる	イラストの内容とあいさつが対応して いることを理解させる。会話の練習を 意識させる。	2	3	△	△			
2	いい・だめ	してもいいことと、いけない ことの意味表示ができる。	ほこく こと ばめん かうせい 母国と異なる場面もある可能性がある が、日本での基本的なルールを理解 させる。	4	5	6	7			
3	かず (1～5)	1から5までの数について 理解するとともに、計算が できる。	すうじ か れんしゅう 数字を書く練習もさせていく。「たす」 「ひく」「は」も読みながらできるよう にさせる。	8	9	△	△			
4	もちもの	がくしゅう つか どうぐ めいしゅう 学習に使う道具の名称が わかる。	じつぶつ もち 実物を用いてやりとりをするように する。	10	11	△	△			
5	かず (6～10、0)	6から10までの数および0 について理解するとともに、 計算ができる。	か どうよう 2課と同様にすすめていく。 教順を昇順・降順どちらでも言える ようにさせる。	12	13	△	△			
6	ある・ない	「ある」「ない」の意味がわ かり、その言葉を使うことが できる。	か がくしゅう そうき 3課の学習を想起させながら、「○○ ある？」などと問う。 子どもにも問わせる場面を作る。	14	15	△	△			
7	わかる・ わからない	「わかる」「わからない」の 意味がわかり、その言葉を使 うことができる。	「わかる・わからない」の使い分けが できるように、何度も練習させる。	16	17	△	△			
8	いたい (からだ)	からだ ぶい なまえ い 体の部位の名前が言える。 たいちょうふりょう つた がた 体調不良の伝え方が わかる。	からだ ぶい がくしゅう あと 体の部位を学習させた後、「○○が いたい」と「きもちがわるい」を言える ようにさせる。「どうしたの？」という 問いかけもさせる。	18	19	△	△			
まとめ①	1～8課	ていちゃくと ほか ※定着度を測る。	しんだん ていどていちゃく 診断テストでどの程度定着しているかを 確認する。不十分なところは追試をする。	△	△	△	△			
9	きて・みて・ きて・よんで ・かいて	「きて・みて・よんで・ かいて」の意味がわかり、 その言葉を使うことができ る。	イラストに対応する言い方を教えた後、 指示の出し合いをして、体験的に学習 させる。	20	21	△	△			
10	こう・ちがう ・そう	「こう・ちがう・そう」の意味 がわかり、その言葉を使う ことができる。	ジェスチャーを交えながら、対話形式 での学習を中心としてすすめていく。	22	23	△	△			

11	これ、だれの？（わたし）	これ、だれの？」という問い がた ことば がた 方と答え方ができる。	いちにんしやう 一人称については「わたし」で統一して おし 教える。	24	25					
12	いる・いない	「いる」「いない」の意味 がわかり、その言葉を使う ことができる。	テキストのイラストを見て、「いる・ いない」という言葉が使えるように する。	26	27					
13	おなじ・ちがう	「おなじ」「ちがう」の意味 がわかり、その言葉を使う ことができる。	テキストのイラストを見て、「おなじ ・ちがう」という言葉が使えるように する。	28	29					
14	わすれた・ かして・ ありがとう	もちものを忘れたときの はな がた がわかり、言うことが できる。	せんせい つた がた とも 先生への伝え方だけでなく、友だちへの 伝え方も練習させる。貸す立場と か たちば 貸してもらった立場の両方を練習 させる。	30	31					
15	たべる・のむ	「たべる・たべない・のむ ・のまない」の意味がわかり、 その言葉を使うことが できる。	テキストのイラストを見て、「たべる・ たべない・のむ・のまない」という言葉 が使えるようにする。	32	33					
まとめ②	9～17課	ていちゃくど ほか ※定着度を測る。	しんだん 診断テストでどの程度定着しているかを かくじん 確認する。不十分なところは追試をする。							

はじめの いっぽ (M-Survival) 4年生～ もくじ 目次

カリキュラム No.	<small>だいざい</small> 題材	ページ
1	あいさつ	2,3
2	いい・だめ	4,5,6,7
3	かず (1～5)	8,9
4	もちもの	10,11
5	かず (6～10と0)	12,13
6	ある・ない	14,15
7	わかる・わからない	16,17
8	いたい (からだ)	18,19
まとめ①		まとめ①—1,2
9	きて・みて・きいて・よんで・かいて	20,21
10	こう・ちがう・そう	22,23
11	これ、だれの? (わたし)	24,25
12	いる・いない	26,27
13	おなじ・ちがう	28,29
14	わすれた・かして・ありがとう	30,31
15	たべる・のむ	32,33
まとめ②		まとめ②—1,2
<small>かんまつしりょう</small> 巻末資料	まつさか	34,35
	しょうがっこうの いちにち	36
	ちゅうがっこうの いちにち	37
	きょうか1 (しょうがっこう)	38
	きょうか1 (ちゅうがっこう)	39
	きょうか2 (しょうがっこう)	40,41,42,43
	きょうか2 (ちゅうがっこう)	44,45,46,47
	がっこう	48

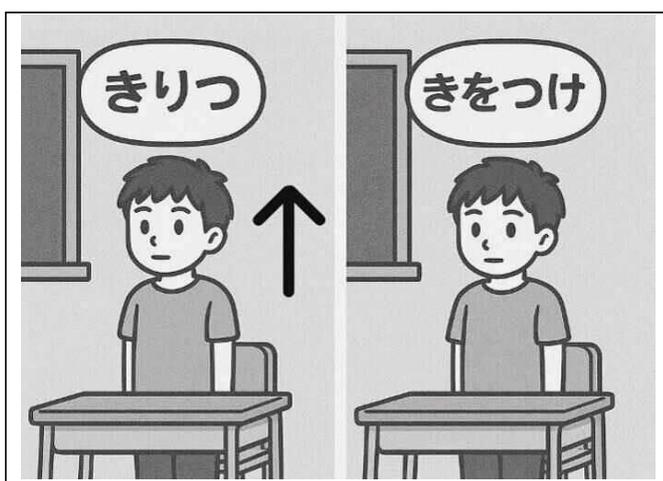
※子どもどうして、しゅつだいしや 出題者・かいとうしや 回答者の立場を入れかえながらおこなえるものには「ペアOK」と記載してあります。
 ※書くところは、きほんてき 基本的にとばしていただいて構いません。

①あいさつ

Let's practice greetings.
Magpraktis tayo ng pagbati.
让我们练习打招呼的方法。
Chúng ta hãy luyện tập chào hỏi.

1. 言い方を覚えさせたら、「指導者と子ども」または「子どもどうし」でペアトークをさせます。





各ページについている二次元コードを読み取ると、音声を聴くことができます。自主学習に活用してください。
 ※Microsoftへのサインインが必要です。

You can listen to the audio by scanning the two-dimensional code on each page.
 Please use it for self-study. ※Sign-in to Microsoft is required.

Kapag i-scan ang two-dimensional code sa bawat pahina, maaari kang makinig sa audio.
 Gamitin ito sa sariling pag-aaral. ※Kailangan ang pag-sign in sa Microsoft.

阅读每一页上的二维码，就可以听到声音。请在自己学习的时候使用。※需要登录 Microsoft。

Khi quét mã hai chiều ở mỗi trang, bạn có thể nghe âm thanh. Hãy sử dụng để tự học.
 ※Cần đăng nhập vào Microsoft.

② いい、だめ

教室のルール



Let's decide whether it is OK or not OK.
Tukuyin natin kung 'okay' o 'hindi okay.'
让我们判断是‘可以’还是‘不可以’。
Hãy xác định xem là ‘tốt’ hay ‘không tốt.’

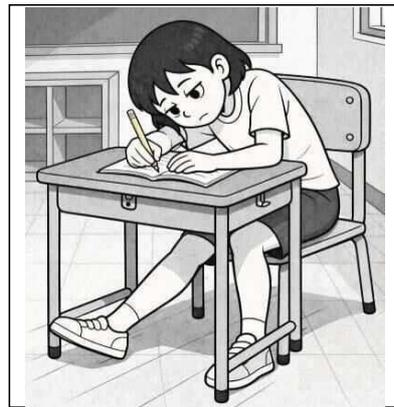
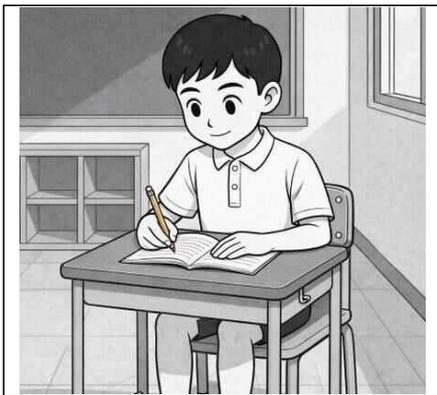
1. イラストをひとつずつ指さして、それぞれ「いい」「だめ」と言って教えます。

子どもが意味を理解したら、「いい？だめ？」と尋ねて答えさせます。

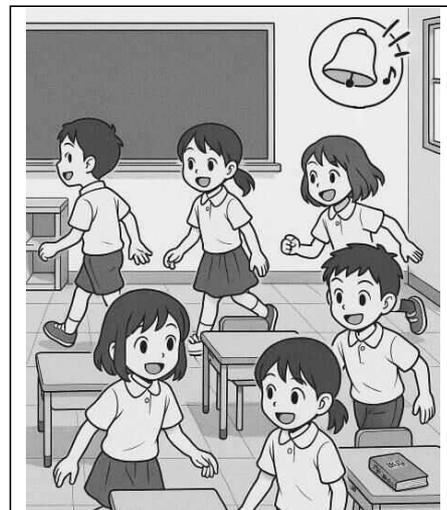
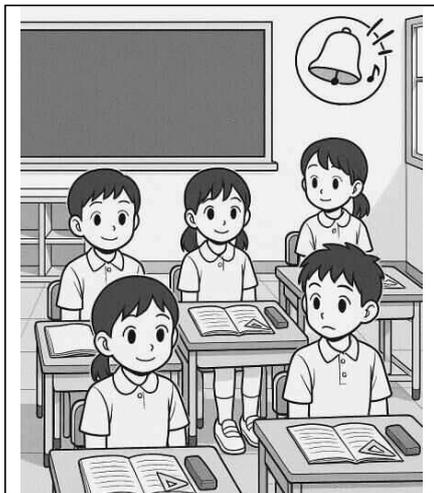
① 話を聞くときの姿勢



② 文字を書くときの姿勢



③ チャイムが鳴ったときには席についている



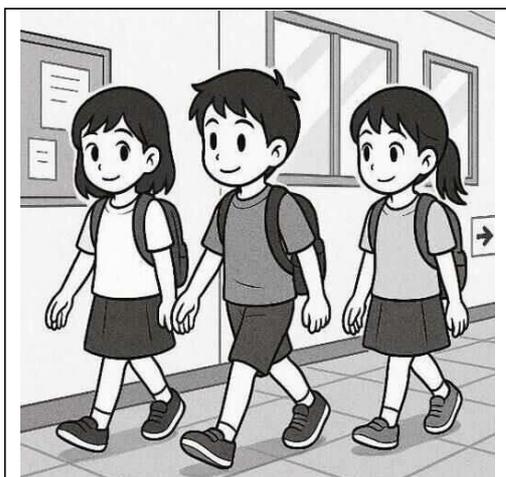
がっこうせいかつ
学校生活

2. イラストを指さしながら「いい?」「だめ?」と尋ね、^{たず}言わせます。

① トイレのスリッパをそろえる



ろうかある
② 廊下は歩く



かいだんある
③ 階段は歩いて降りる



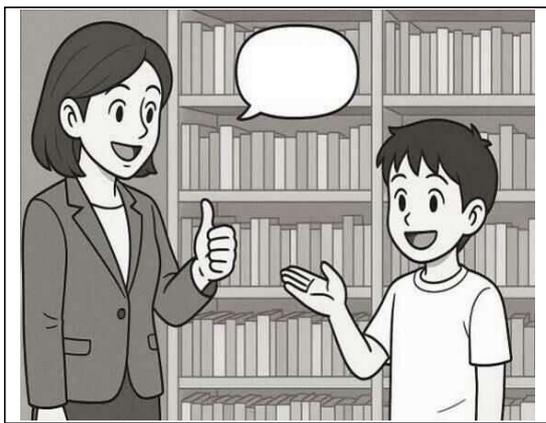
ものの扱あつかい

3. イラストを指ゆびさしながら「いい?」「だめ?」と尋たずね、言いわせます。

① ごみはごみ箱ばこへ



② 本ほんをそろえる



③ 机つくえを丁寧ていねいに拭ぬぐく



④ 机つくえには座すわらない



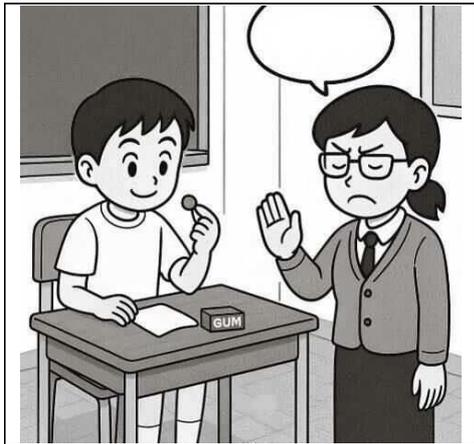
日本のルール

4. 左ページと同様に指導します。

① 上靴に履き替える



② 学校でジュースを飲んだり、お菓子を食べたりしてはだめ



③ 先生に言ってからトイレに行く



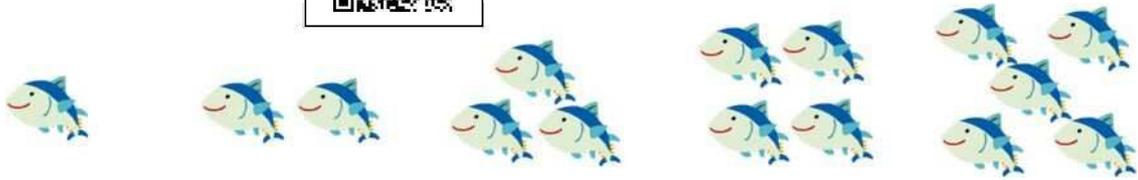
④ アクセサリー禁止



③かず (1 ~ 5)

Let's read and write the numbers from 1 to 5.
 Basahin at isulat natin ang mga bilang mula 1 hanggang 5.
 让我们读和写从1到5的数字。
 Hãy đọc và viết các số từ 1 đến 5.

1. 順番じゅんばんに読よませます。



1

2

3

4

5

ichi

ni

san

shi(yon) go

1

2

3

4

5

1

2

3

4

5

2. 指導者しどうしゃが指ゆびさした数かずを読よませます。

ペア OK

1

2

3

4

5

3. 順番じゅんばんに読よませます。



+

tasu

-

hiku

=

wa

1 + 2 = 3

ichi tasu ni wa san

5 - 4 = 1

go hiku yon wa ichi

4. 声こゑに出だして読よみながら、計けい算ざんをさせます。

$1 + 2 = \square$

$5 - 4 = \square$

$2 + 3 = \square$

$4 - 1 = \square$

$4 + 1 = \square$

$3 - 2 = \square$

$3 + 1 = \square$

$5 - 3 = \square$

$2 + 1 = \square$

$5 - 2 = \square$

④もちもの



Let's learn the names of things.
Tandaan natin ang mga pangalan ng mga bagay.
让我们记住物品的名称。
Hãy ghi nhớ tên của các đồ vật.

1. 物の名前を言わせます。

①



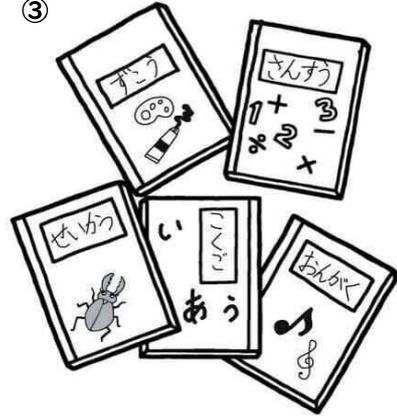
えんぴつ

②



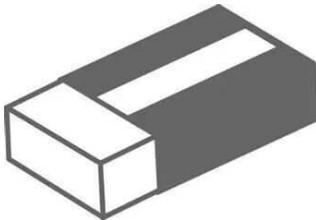
ふでばこ

③



きょうかしよ

④



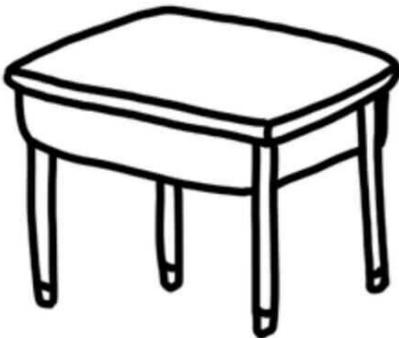
けしごむ

⑤



のうと
(ノート)

⑥



つくえ

⑦



いす

⑧



らんどせる
(ランドセル)

★こたえ★

①enpitsu ②fudebako ③kyôkasyo ④keshigomu

⑤nôto ⑥tsukue ⑦isu ⑧randoseru

2. 上のイラストを使って、先生が指さした物の名前を言わせます。

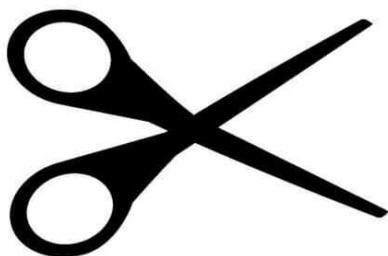
または、実物を使って、先生が言った物を持ったり触らせたりします。

【ペア OK】

3. その他、学校生活で使う物の名前を、左ページと同じように教えます。

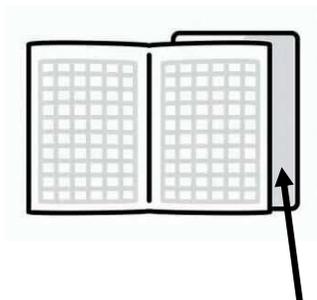


①



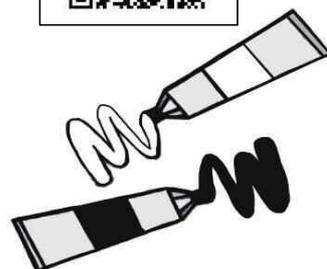
はさみ

②



したじき

③



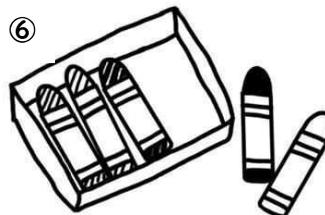
えのぐ

④



じょうぎ

⑥



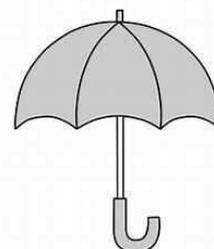
くればす
(クレパス)

⑤



たいそうふく

⑨



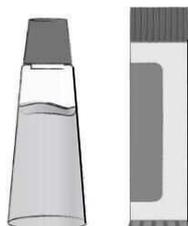
かさ

⑦



けんばんはあもにか
(けんばんハーモニカ)

⑧



のり

★こたえ★

①hasami ②shitajiki ③enogu ④jyôgi ⑤taisô fuku

⑥kurepasu ⑦kenban hâmonika ⑧nori ⑨kasa

⑤かず



Let's read and write the numbers 0 and 6 to 10.
 Basahin at isulat natin ang mga bilang 0 at 6 hanggang 10.
 让我们读和写数字 0 以及 6 到 10。
 Hãy đọc và viết các số 0 và từ 6 đến 10.

(0、6 ~ 10)

1. 順番じゆんばんに読よませます。

zero(rei) roku shichi hachi ku(kyû) jyû
 (nana)

0 6 7 8 9 10

0 6 7 8 9 10

2. 指導者しどうしゃが指ゆびさした数かずを読よませます。

【ペア OK】

0 6

7 8

9 10

3. □に入る数を考えさせながら、左から順番に読みさせます。

①

1		3		5		7		9	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

②

6		8		10
---	--	---	--	----

③

	9	8		6	
--	---	---	--	---	--

④

10		8		6		4		2	
----	--	---	--	---	--	---	--	---	--

⑤

6	5	4			1	
---	---	---	--	--	---	--

⑥

	1	2			5		
--	---	---	--	--	---	--	--

4. 声に出して読みながら、計算をさせます。

$$7 + 0 = \square$$

$$6 - 5 = \square$$

$$3 + 4 = \square$$

$$8 - 6 = \square$$

$$9 + 1 = \square$$

$$10 - 7 = \square$$

$$8 + 2 = \square$$

$$8 - 5 = \square$$

$$0 + 8 = \square$$

$$9 - 9 = \square$$

⑥ある・ない

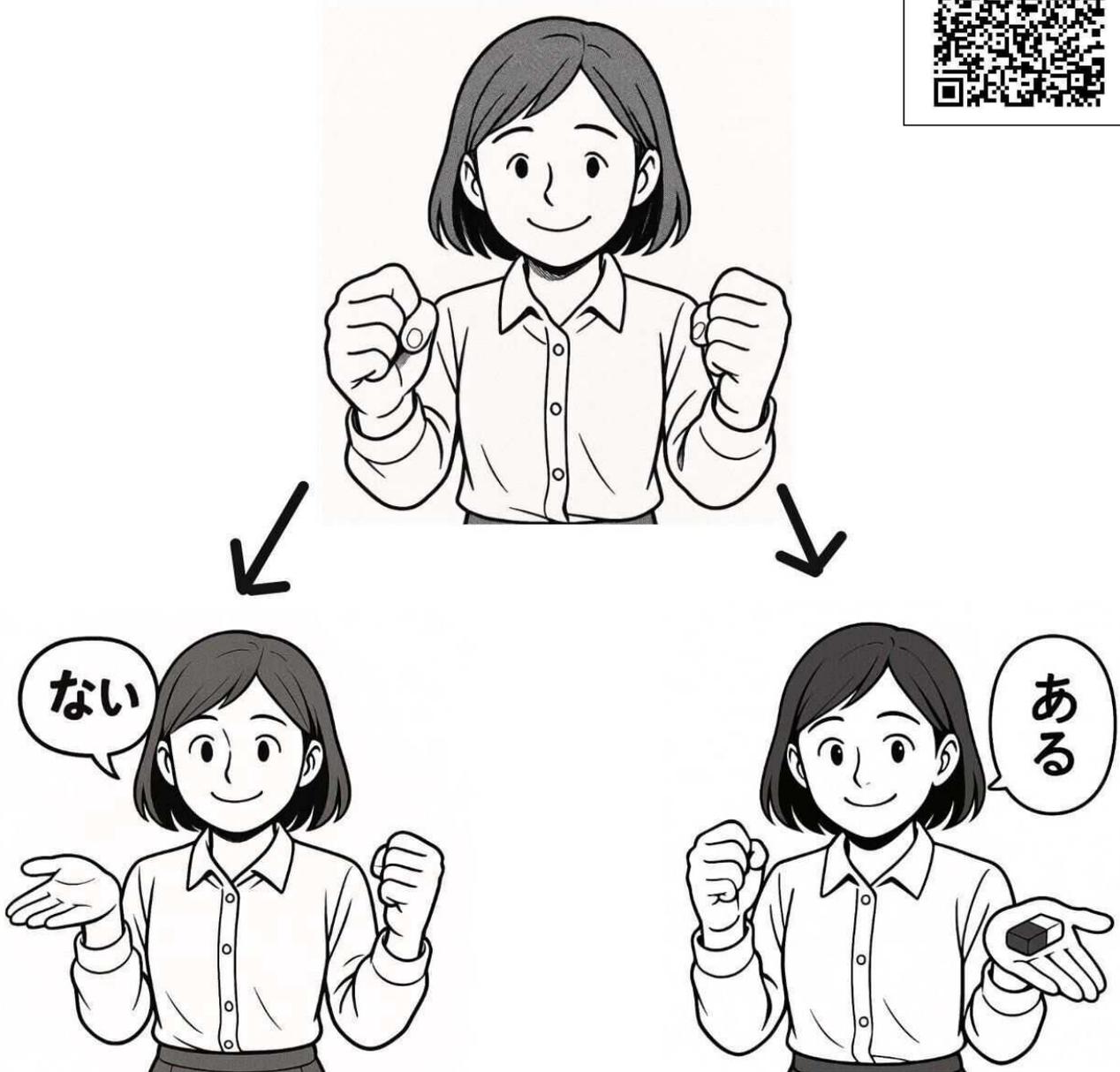
We will learn to say whether something is there or not.
Pag-aaralan natin kung paano sabihin kung mayroong isang bagay o wala.

让我们学会说物品‘有’或‘没有’。

Chúng ta sẽ học cách nói rằng có hoặc không có một đồ vật.

1. 一方の手に消しゴム等を握り、「ある」と「ない」を教えます。

※「ない」から教えます。



2. 上のようにして、子どもと一緒に「ある」「ない」クイズをします。

※消しゴム以外の身近なもの（おはじきやコインなど）も使ってみてください。

【ペア OK】

3. イラストを指さしながら「ある？ない？」と聞いて、答えさせます。



4. 指導者が「〇〇ある？」と聞いて、子どもはあれば「ある」と言ってそれを見せます。なければ「ない」と言います。必要に応じて「えんぴつ」「けしごむ」など、物の名前を教えます。
※実物を見せるとよいです。

5. イラストを指さして、「〇〇ある？」の〇〇の部分^{ぶぶん}を教えます。

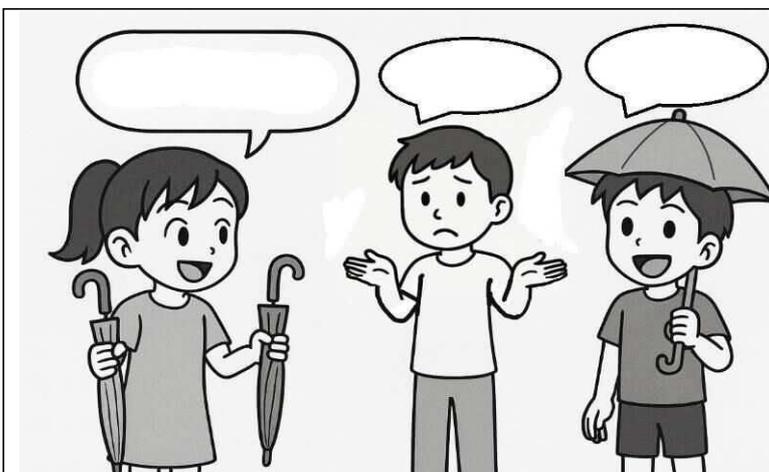
【ペア OK】

次に、人物を一人ずつ指さして、「〇〇ある？」と聞いて、答えさせます。

ほん
本



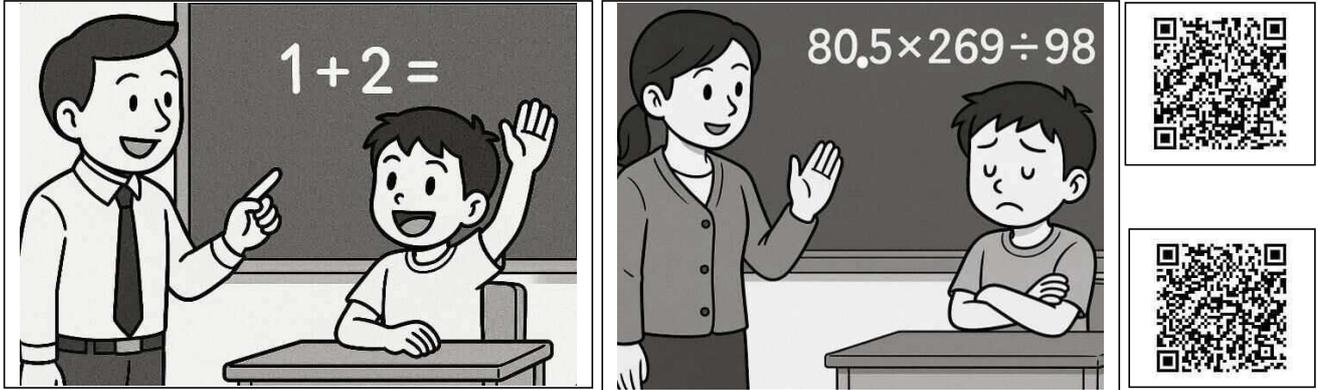
かさ
傘



⑦ わかる・わからない

Let's use 'I know' and 'I don't know'."
 Gamitin natin ang 'alam ko' at 'hindi ko alam'.
 让我们学会区分并使用‘明白’和‘不明白’。
 Hãy dùng 'tôi biết' và 'tôi không biết'.

1. イラストを指さしながら、「わかる」「わからない」と言って意味を理解させます。



2. 指導者はイラストを指さしながら、「わかる？」と聞きます。

子どもは吹き出しに入ることばを「わかる」か「わからない」で答えるようにさせます。

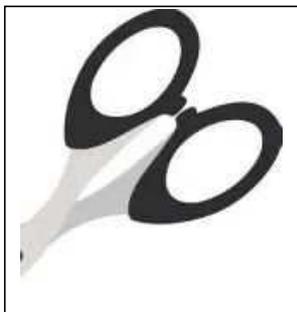


3. 指導者は、イラストを指さしながら「わかる？」と尋ねます。

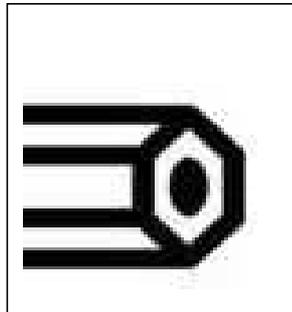
子どもはわかるときは「わかる、〇〇」、わからないときは「わからない」と答えるようにさせます。

※子どもが「わからない」ときは、答えを教えてあげてください。

①



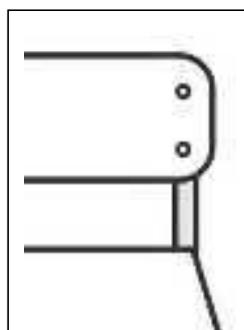
②



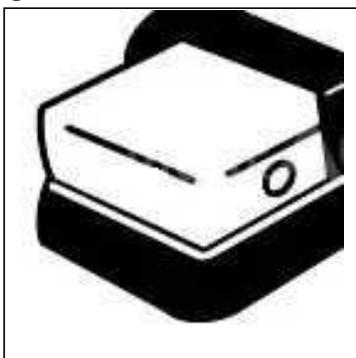
③



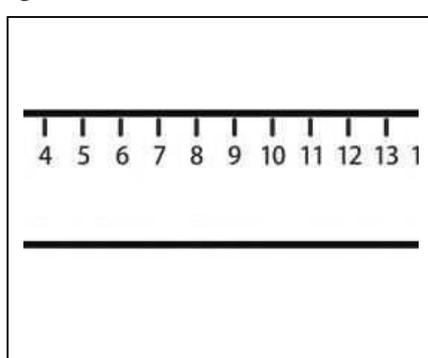
④



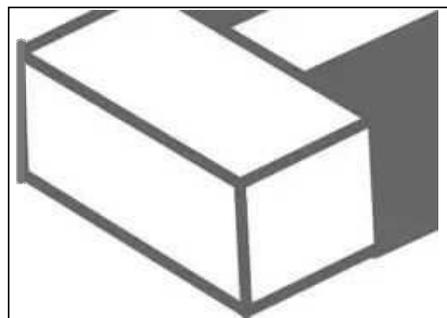
⑤



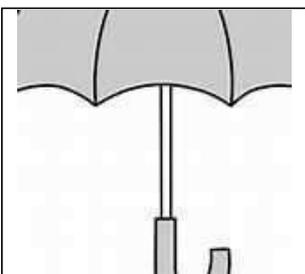
⑥



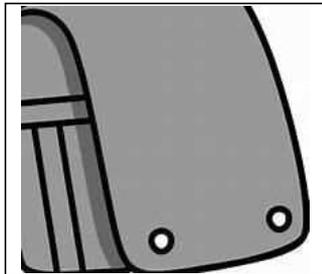
⑦



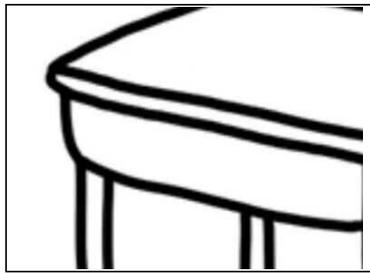
⑧



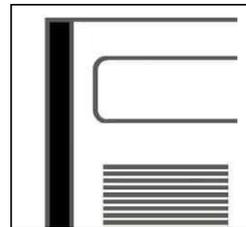
⑨



⑩



⑪



★答え★

①はさみ (hasami) ②えんぴつ (enpitsu) ③とけい (tokei) ④いす (isu)

⑤こくばんけし (kokubankeshi) ⑥じょうぎ (jyôgi) ⑦けしごむ (keshigomu)

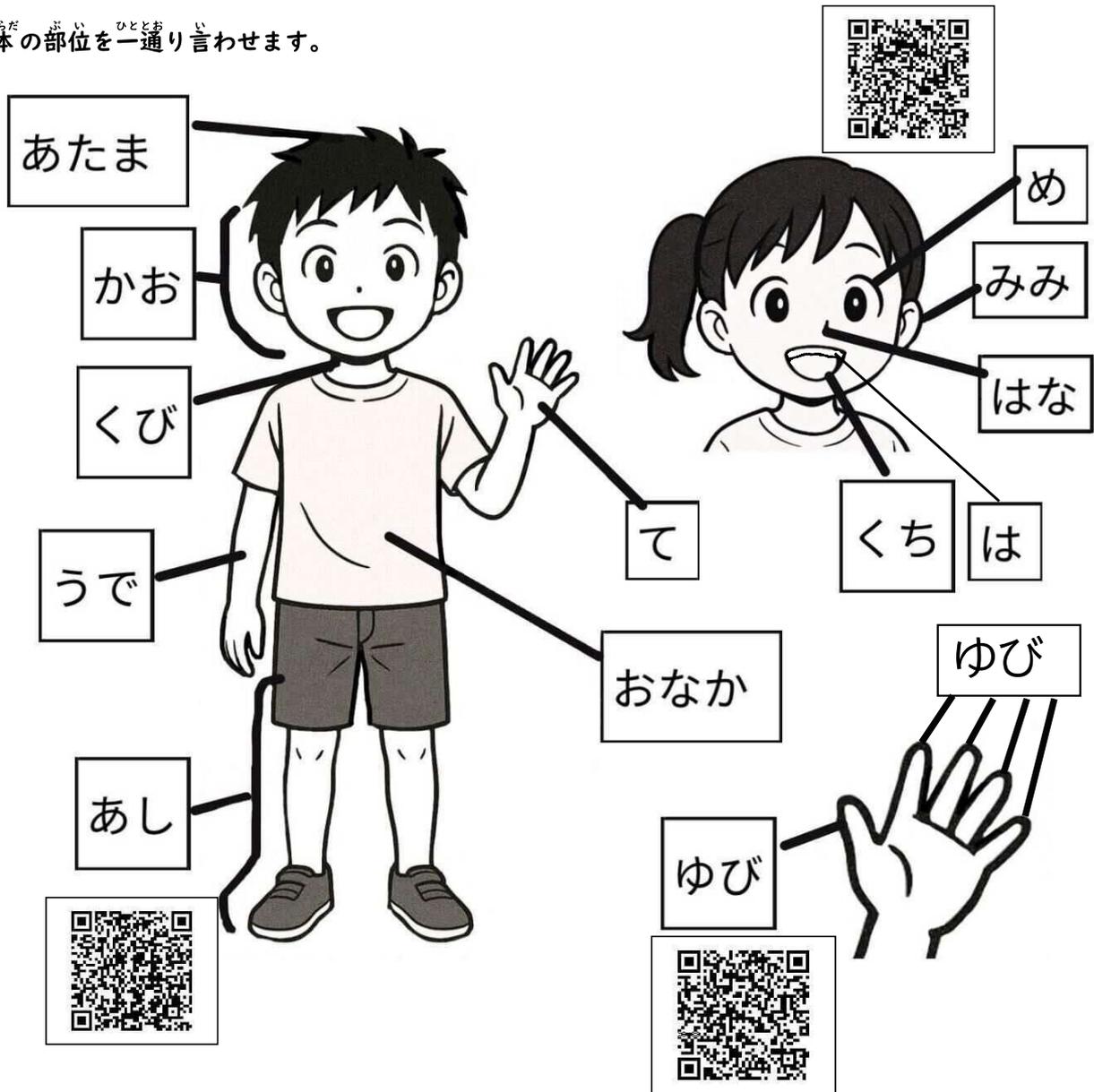
⑧かさ (kasa) ⑨ランドセル (randoseru) ⑩つくえ (tsukue) ⑪ノート (nôto)

4. 文房具等の実物やカードを見せて「わかる？」クイズをさせます。

⑧ いたい (からだ)

Let's learn the names of body parts and how to talk about feeling unwell.
 Alamin natin ang mga bahagi ng katawan at kung paano sabihin kapag masama ang pakiramdam.
 让我们学习身体部位的说法,并能说出身体不舒服的情况。
 Hãy học cách gọi tên các bộ phận cơ thể và cách nói khi cảm thấy không khỏe.

1. 体の部位を一週り言わせます。



2. イラストをランダムに指さし、体の部位の名前を言わせます。

※慣れてきたら、指導者が自分の体を指さして「なに?」と尋ねます。

※次に、指導者が体の部位の名前を言い、子どもが自分の体を指さすようにさせます。

【ペアOK】

3. 体の部位とセットで「〇〇がいたい」「きもちがわるい」という言い方を教えます。

次に、□内にあてはまる言葉を書かせます。

※見た目で分かりづらい不調を優先して教えます。

① 



おなか
が
いた
い。

□	□	□
---	---	---

が

□	□	□
---	---	---

② 



め
が
いた
い。

□

が

□	□	□
---	---	---

③ 



は
が
いた
い。

□

が

□	□	□
---	---	---

④ 



の
ど
が
いた
い。

□	□
---	---

が

□	□	□
---	---	---

⑤ 



あ
た
ま
が
いた
い。

□	□	□
---	---	---

が

□	□	□
---	---	---

⑥ 



き
も
ち
が
わ
る
い。

□	□	□
---	---	---

が

□	□	□
---	---	---

4. 指導者は、体の部位を押さえて、体調不良のふりをします。

子どもに「どうしたの?」と尋ねさせ、「〇〇がいたい」または「きもちがわるい」と答えます。

子どもが取り組み方を理解したら、交代しておこないます。

【ペアOK】

まとめ①

か 1～8課

Let's say the words that go in the speech bubbles.
 Sabihin natin ang mga salitang ilalagay sa speech bubble.
 让我们说出写在对话框里的话。
 Hãy nói những từ sẽ viết vào ô lời thoại.

1. イラストを指さしながら、吹き出しに入る言葉を言わせます。指導者は必要に応じてセリフを言ったりジェスチャーを加えたりして会話の場面を設定します。

① 廊下で先生や友達に会ったとき



② 学校から帰るとき



③ 授業のあいさつ



2. イラストを指さし、物の名前を言わせます。

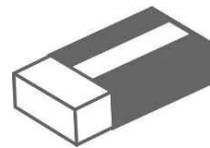
①



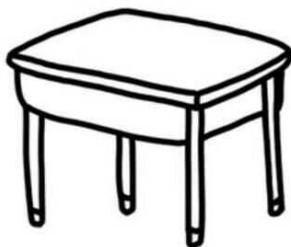
②



③



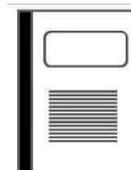
④



⑤



⑥

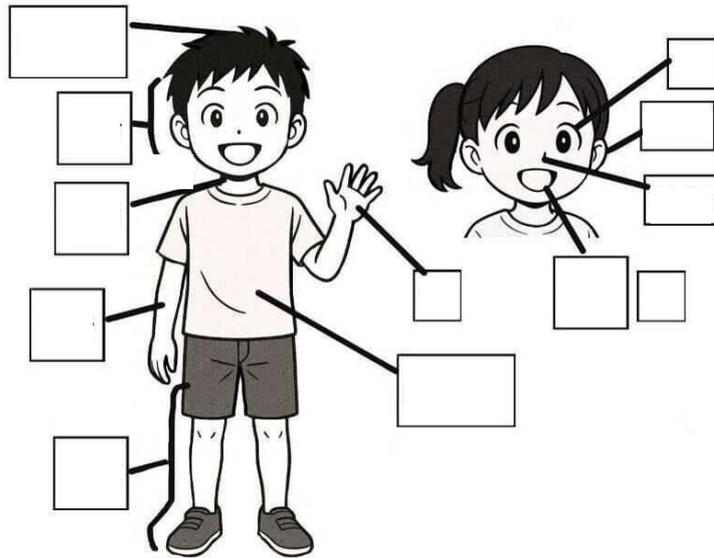


3. 数字カードを提示しながら、数の読み方を言わせます。(0から10まで)
 順番に言えたら、ランダムに言わせます。

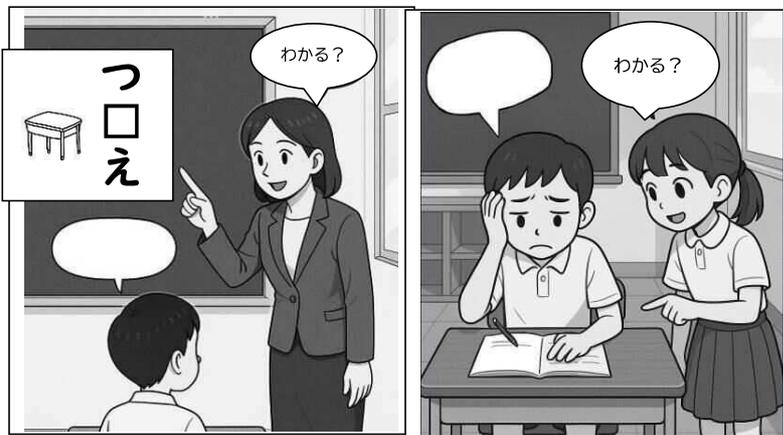
4. イラストを指さし「いい?だめ?」と尋ね、「いい」か「だめ」かを答えさせます。



5. 体の部位を言わせます。



6. 以下の吹き出しに入る言葉を言わせます。



⑨ きて・みて・きいて・よんで・かいて

Let's understand and use the words 'come,' 'look,' 'listen,' 'read,' and 'write.'
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'halika,' 'tingnan,' 'makinig,' 'bumasa,'
 at 'sumulat.'

让我们理解并使用‘来’‘看’‘听’‘读’和‘写’这些词。

Hãy hiểu và sử dụng các từ ‘đến đây,’ ‘nhìn,’ ‘nghe,’ ‘đọc,’ và ‘viết.’

1. 下のイラストを使い、ジェスチャーも交えながら、それぞれの意味と言い方を教えます。

※書ける子どもには口内も書かせます。



きて



みて

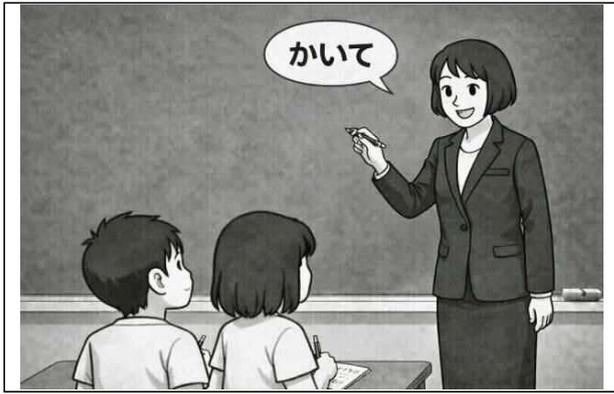
※「きて」について、手招きのジェスチャーは国により異なります。ここでは日本の場合として、手の甲を上に向けておこないます。



きいて



よんで



かいて

2. ジェスチャーによる練習をします。

(1) 指導者が言ったことのジェスチャーを子どもにさせます。

例えば指導者が「みて」と言ったら、子どもは「みて」のジェスチャーをします。

(2) 指導者はジェスチャーをひとつし、子どもはそのジェスチャーが何なのかを言います。

例えば指導者が「書く」ジェスチャーをしたら、子どもは「かいて」と言います。

ペア OK

3. 以下のイラストについて、吹き出しに入る言葉を言わせます。

ひとりひとりおこなったあと、ランダムに言わせます。

書ける子どもには、口内に言葉を書かせます。



⑩ こう・ちがう・そう

Let's understand and use the words 'like this,' 'different,' and 'yes.'
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'ganito,' 'iba,' at 'oo.'
 让我们理解并使用'这样' '不一样' 和'对'。
 Hãy hiểu và sử dụng các từ 'như thế này,' 'khác,' và 'đúng.'

1. 下のイラストを用いて、「そう」「ちがう」を教えます。



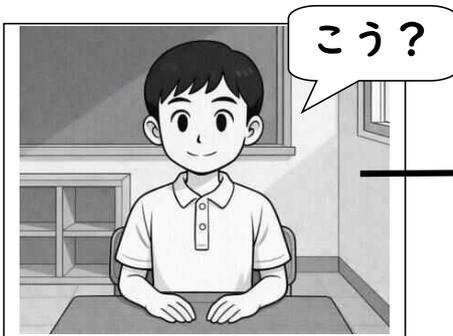
そう



ちがう

2. 下のイラストを使って、「こう?」→「そう」、「こう?」→「ちがう、こう」の会話を教えてください。

①

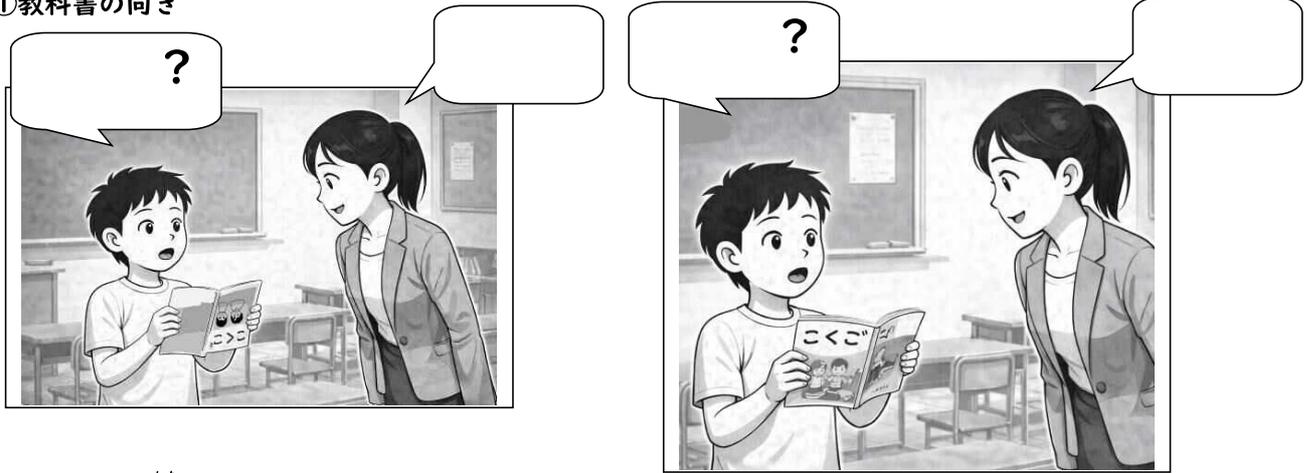


②

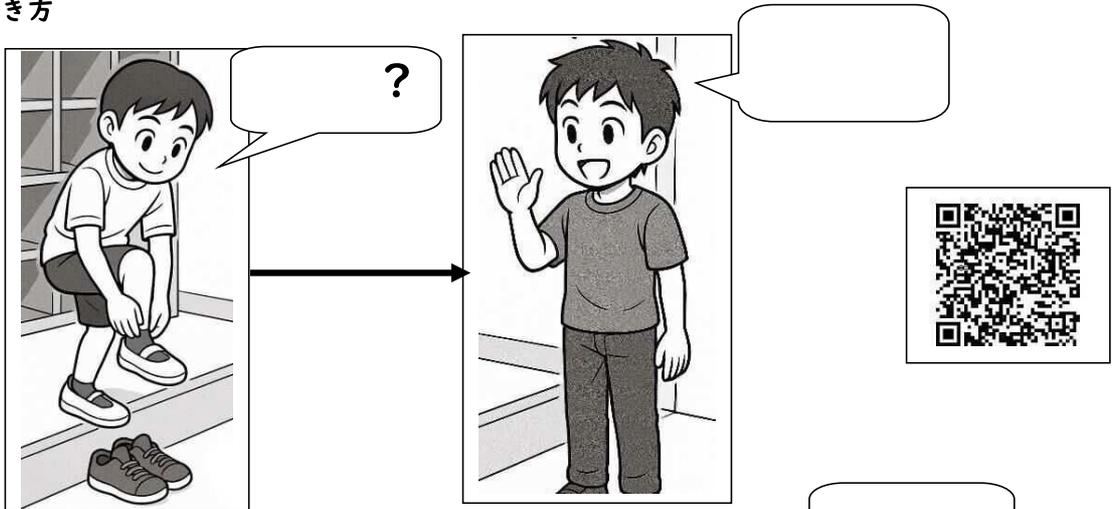


3. 吹き出しに入る言葉を言わせます。

①教科書の向き



②くつのはき方



③ひらがなの形



4. 指導者と子どもで、ジェスチャーを交えて「こう？」→「そう」または「こう？」→「ちがう、こう」のやり取りをしてください。

(例) 椅子の座り方、鉛筆の持ち方、下敷きの敷き方、本を上下反対に持ってみる、間違った文字を書いてみる・・・など。

ペア OK

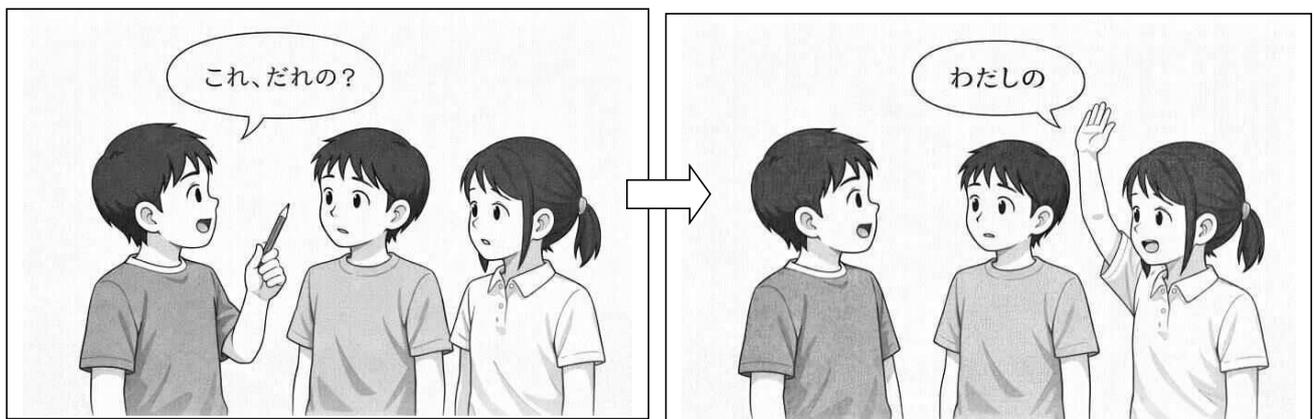
② これ、だれの？ (わたし)

Let's ask whose thing it is.
Magtanong tayo kung kanino ang gamit.
让我们学会询问是谁的物品。
Hãy hỏi đồ vật này là của ai.

- イラストを指さし、「わたし」と教えます。
その後、指導者は自分を指さし、「わたし」と言います。
最後に、子ども自身にさせます。



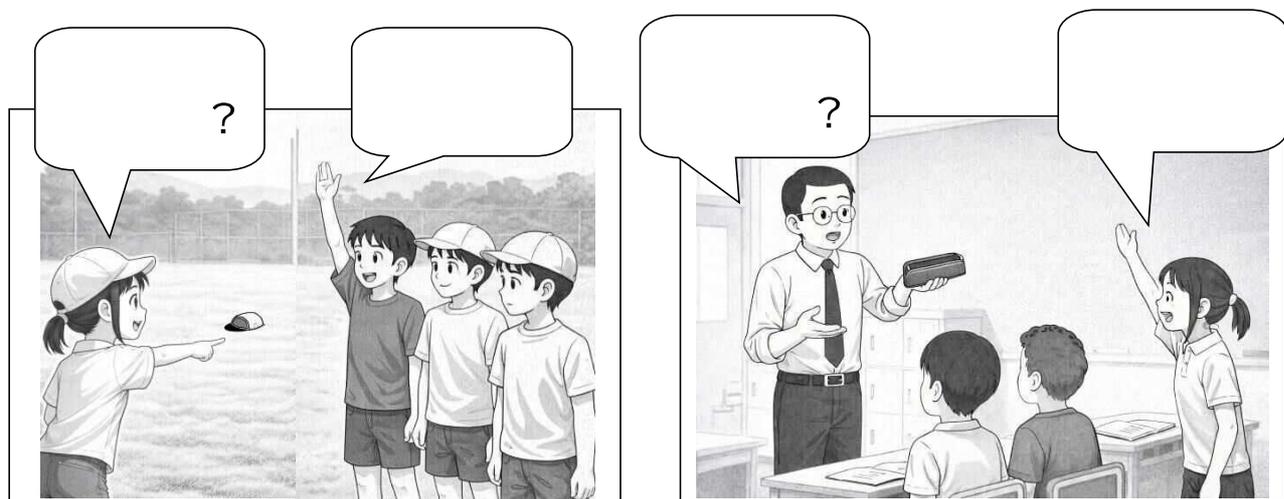
- イラストを指さして「これ」「だれの？」「わたしの」を言いながら、場面の様子を教えます。
※他の言葉は極力使わないようにします。



3. イラストを使って、「これ」と「あれ」の違いを教えます。
 (理解が不十分であれば、持ち物を使って教えます。)
 その後、「あれ」「だれの?」「わたしの」を言わせます。



4. イラストを使いながら、吹き出しに入る言葉を言わせます。



5. 実際に、指導者や子どもの持ち物を使って「これ、だれの?」「あれ、だれの?」の会話練習をさせます。

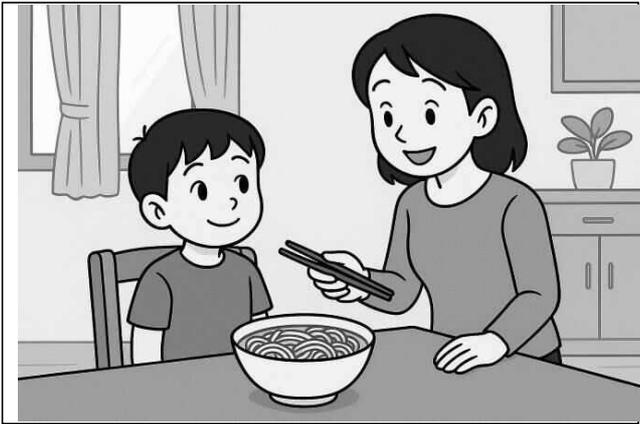
ペア OK

⑫ いる・いない

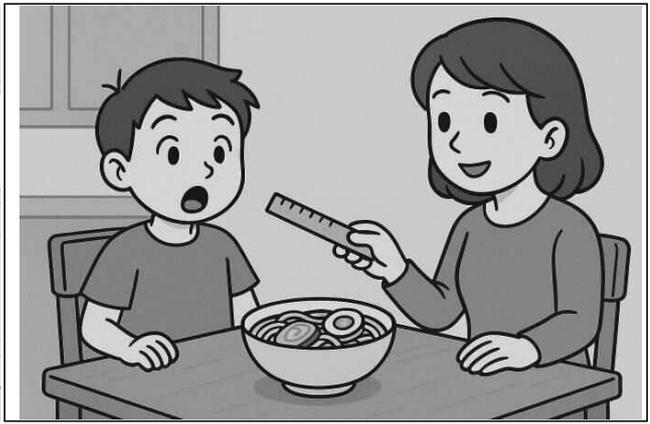


Let's say whether we need something or don't need it.
 Sabihin natin kung kailangan o hindi kailangan ang isang bagay.
 让我们学会判断并说出物品是‘需要’还是‘不需要’。
 Hãy nói xem chúng ta có cần hay không cần một đồ vật.

1. 下の2枚のイラストをそれぞれ指さしながら、「いる」と「いない」を覚えさせます。

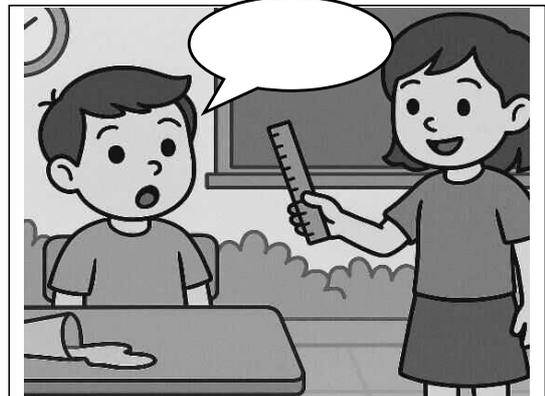
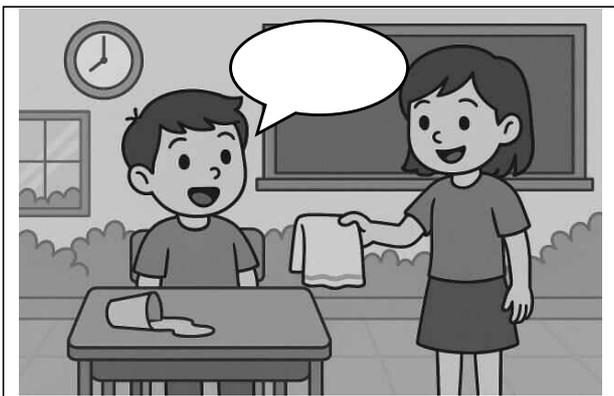


いる



いない

2. イラストを指さして「いる？いない？」と尋ねます。子どもには「いる」か「いない」かで答えさせます。





3. 下のイラストで、それぞれの吹き出し内のイラストを指さして「いる?」とたずねます。子どもは「いる」か「いない」かを答えるようにします。



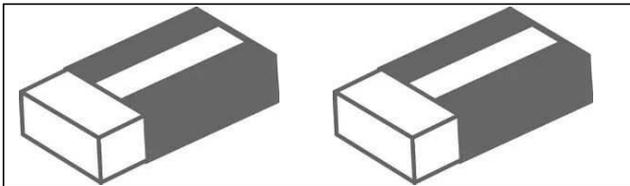
⑬おなじ・ちがう



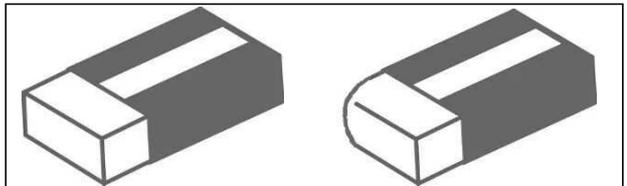
Let's look at the pictures and say 'same' or 'different'.
 Tingnan natin ang mga larawan at sabihin kung 'pareho' o 'hindi pareho.'
 让我们看插图, 说出'一样'和'不一样'。
 Hãy nhìn tranh và nói 'giống' hay 'khác'.

1. ①のイラストを指さして「おなじ」、②のイラストを指さして「ちがう」と言い、意味を理解させます。

①

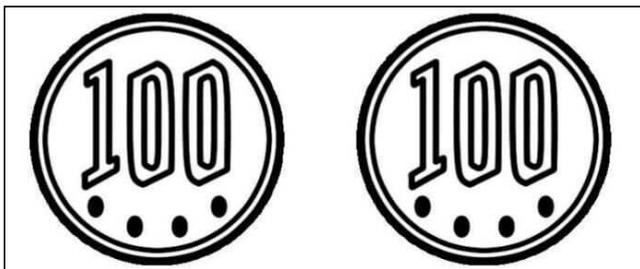


②



2. イラストを見せながら、それぞれ「おなじ?ちがう?」と尋ね、子どもに答えさせてください。

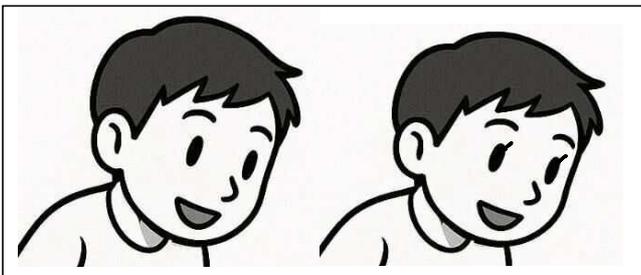
①



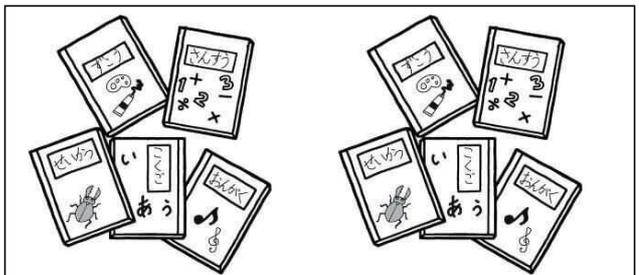
②



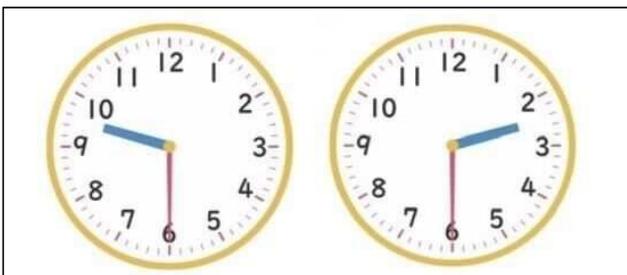
③



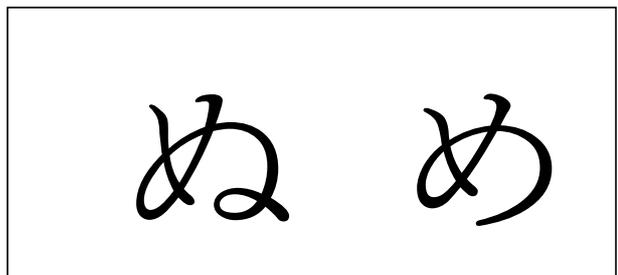
④



⑤



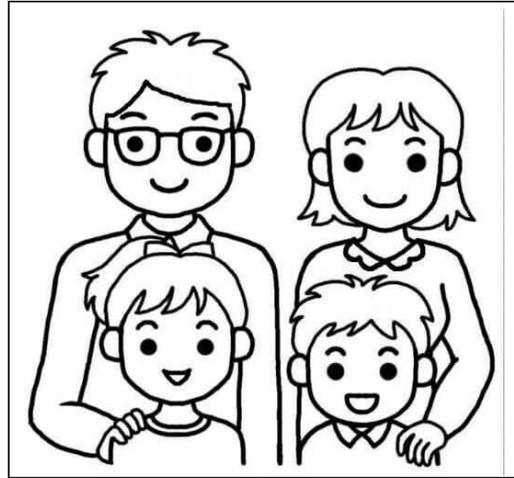
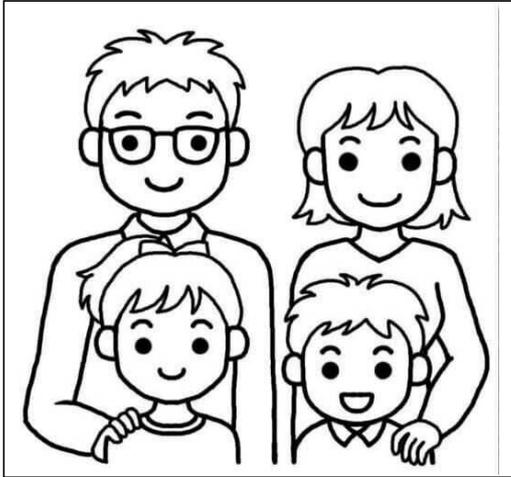
⑥



3. 指導者は「みて」と言って①の絵を交互に指さします。そして「ちがう」と言って右の絵の女の子の口元に○印をつけます。子どもはやり方がわかったら、ちがうところを見つけ、「ちがう」と言って、右側のイラストの該当箇所に○印をつけていきます。それぞれ3か所ずつあります。

3つずつ ちがう

①



②



③



⑭ わすれた・かして・ありがとう

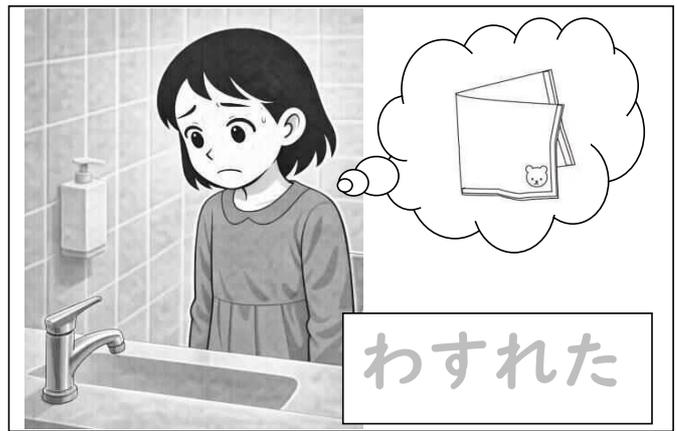
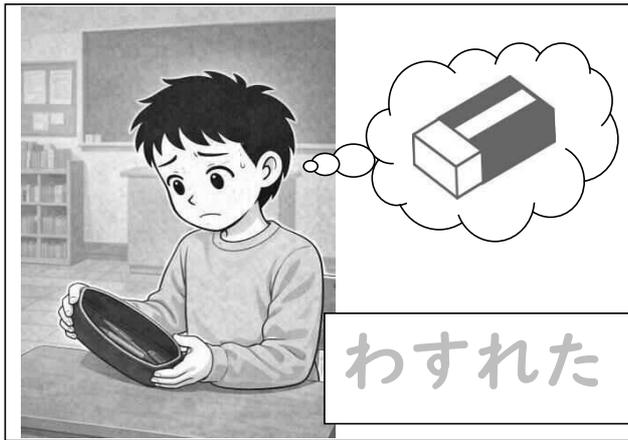
Let's learn how to ask to borrow something when we forget our things.
 Alamin natin kung paano humiram kapag nakalimutan ang gamit.
 让我们学习忘记带物品时, 如何说借用的话。
 Hãy học cách nói để mượn đồ khi quên mang theo đồ dùng.



1. イラストを使って、「わすれた」の意味を教えます。

まず、「わすれた」と言わせます。

次に指導者はイラストを指さしながら「〇〇わすれた」と言い、子どもにリピートさせます。



2. 実物を見せて「〇〇わすれた」と言わせます。

例えば、鉛筆を見せたら「えんぴつ わすれた」と言わせます。

ペア OK

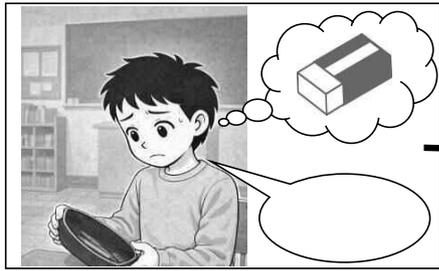


3. イラストを見せながら「かして」の意味を教えます。



4. 子どもが意味を理解したら、上のイラストを見せながら「〇〇かして」の言い方を教えます。

5. イラストを使って「〇〇わすれた」「〇〇かして」「ありがとう」の言い方を教えます。



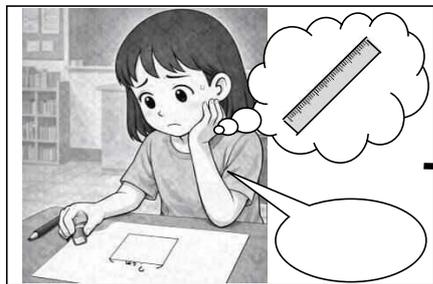
けしごむ わすれた



けしごむ かして



ありがとう



じょうぎ わすれた



じょうぎ かして



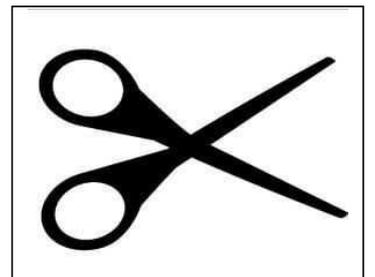
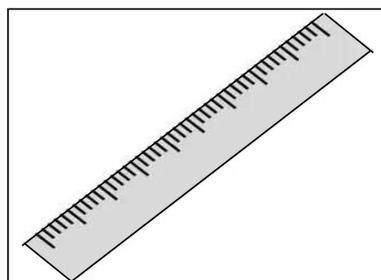
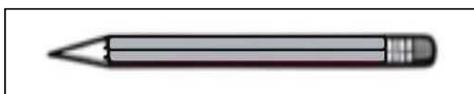
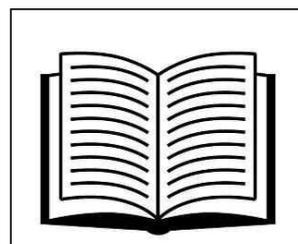
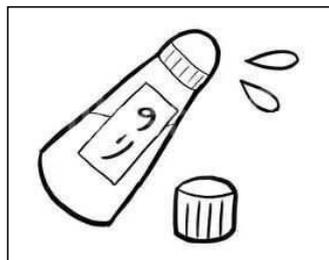
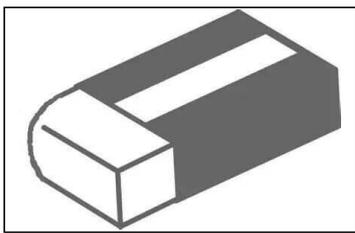
ありがとう

6. 言い方を理解できたら、実物を使って会話練習をします。

子どもが「〇〇かして」と言ったあと、実物を渡すときに「どうぞ」と言います。

慣れてきたら、立場を交代します。

ペア OK



⑮ たべる・のむ

Let's understand and use the words 'eat' and 'drink'.
 Unawain at gamitin natin ang mga salitang 'kumain' at 'uminom'.
 让我们理解并使用‘吃’和‘喝’这两个词。
 Hãy hiểu và sử dụng các từ ‘ăn’ và ‘uống’.

1. イラストを使って、「たべる」「たべない」の意味を教えます。



2. ケーキのイラストを指さして「たべる？」と尋ね、子どもに答えさせます。

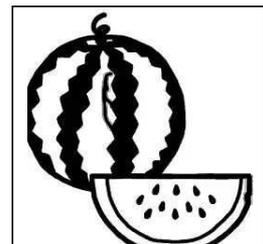
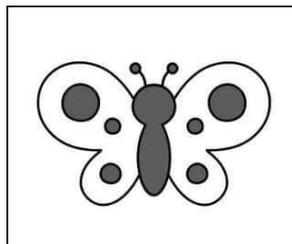
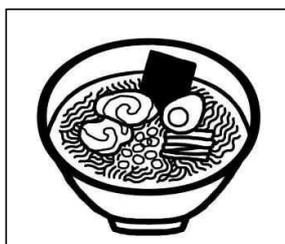
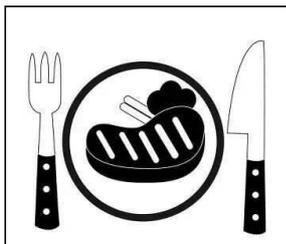


たべる

たべない

3. 指導者は「たべる？」と尋ね、答えさせます。

※ 宗教その他の理由により、「たべる」「たべない」が子どもによって異なる可能性があります。



4. イラストを使って、「のむ」「のまない」の意味を教えます。



5. コップに入った水のイラストを指さして「のむ?」と尋ね、子どもに答えさせます。

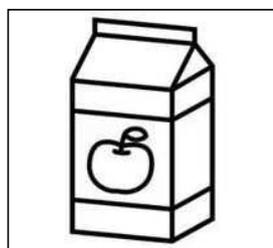


のむ

のまない

6. 指導者は「のむ?」と尋ね、答えさせます。

※アレルギー等の理由により、「のまない」可能性があります。



まとめ②

9～15課

Let's say the words that go in the speech bubbles.
 Sabihin natin ang mga salitang ilalagay sa speech bubble.
 让我们说出写在对话框里的话。
 Hãy nói những từ sẽ viết vào ô lời thoại.

1. イラストを指さしながら、吹き出しに入る言葉を言わせます。指導者は必要に応じてセリフを言ったりジェスチャーを加えたりして会話の場面を設定します。

① 友だちを呼ぶ



② 音楽を勧める



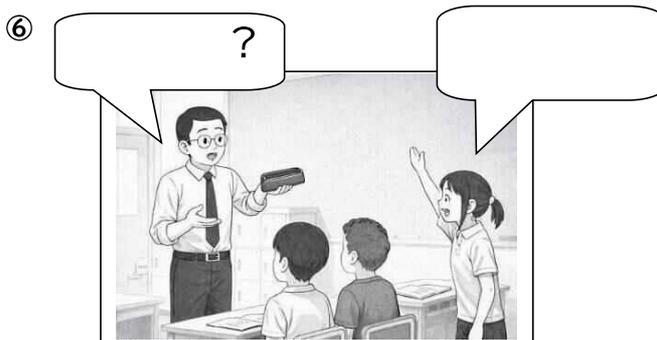
③ サインを書いて欲しい



④ 椅子の座り方を教える



⑤ 誰のものが尋ねる

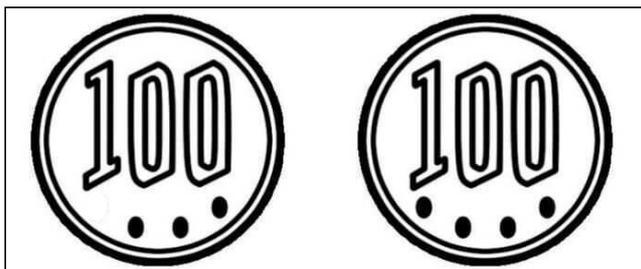


2. 「いる」か「いない」かを言わせます。



3. 「おなじ」か「ちがう」かを言わせます。

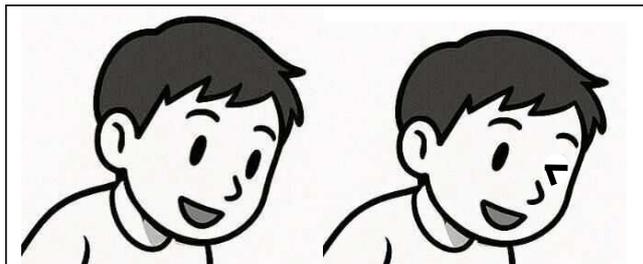
①



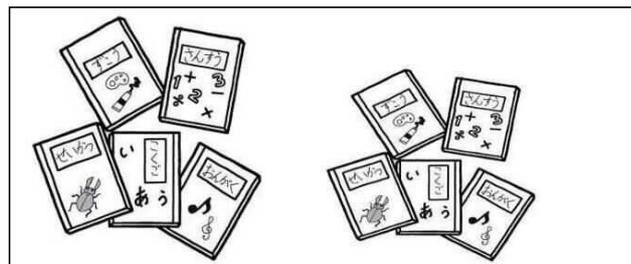
②



③

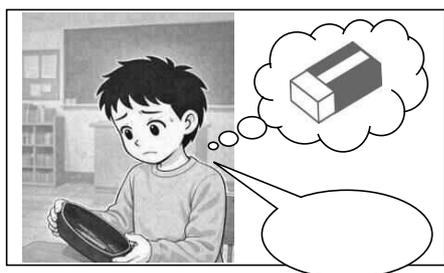


④



4. 吹き出しにあう言葉を言わせます。

① 消しゴムを忘れて、借りたい



② 「たべる」「たべない」「のむ」「のまない」



★まつさか★

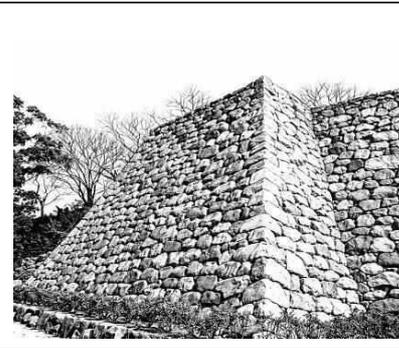
Let's learn about famous places and important people in Matsusaka City.
Alamin natin ang mga tanyag na lugar at mahahalagang tao sa Lungsod ng Matsusaka.

让我们了解松阪市的旅游景点和伟人的名字。

Hãy tìm hiểu các địa điểm nổi tiếng và những nhân vật tiêu biểu của thành phố Matsusaka.



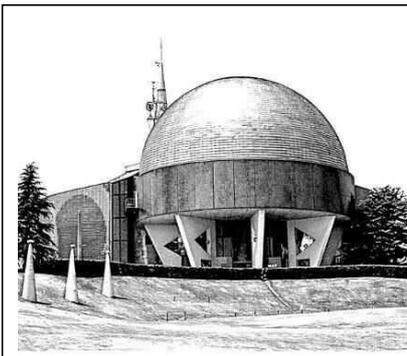
まつさかえき
Matsusaka station



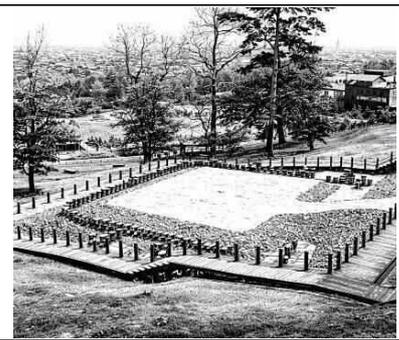
まつさかじょうし
Matsusaka castle site



ごじょうばんやしき
castle guard's residence



みえこどものしろ
castle for children



たからづかこふん
ancient burial mound



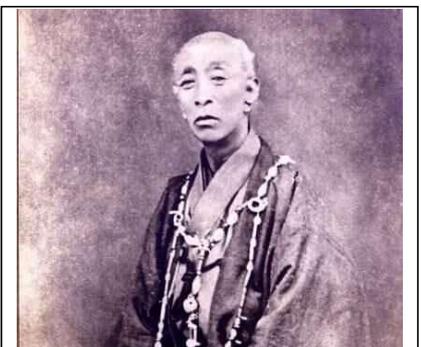
ベルファーム
Bell farm park



すずのもりこうえん
Suzunomori park



もとおりのりなが
japanese scholar



まつうら たけしろう
explorer



がもう うじさと
castle lord



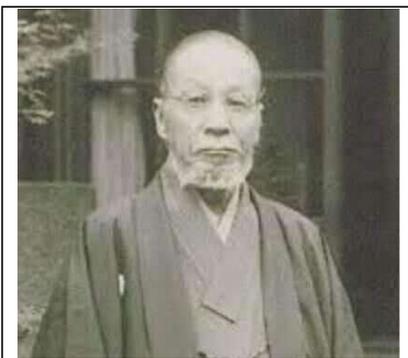
みつい たかとし
merchant



おおたに かへえ
merchant / politician



たけがわ ちくさい
merchant



はらだ じろう
businessman



おづ やすじろう
film director



まつさかうし
Matsusaka beef



まつさかもめん
Matsusaka cotton



ぎおんまつり
Gion festival

★しょうがっこうのいちにち★

Let's learn the school day schedule.
 Alamin natin ang daloy ng isang araw sa paaralan.
 让我们记住学校一天的流程。
 Hãy học trình tự một ngày ở trường.



1. 言葉の意味を、子どもと一緒に確認します。

	とうこう あさやすみ	けんこう かんざつ
8:30~8:40	あさのかい	
8:40~9:25	1げんめ (1じかんめ)	
9:25~9:30	5ふんやすみ	
9:35~10:15	2げんめ (2じかんめ)	
10:15~10:35	20ふんやすみ	
10:35~11:20	3げんめ (3じかんめ)	
11:20~11:25	5ふんやすみ	
11:25~12:10	4げんめ (4じかんめ)	
12:10~12:50	きゅうしょく	
12:50~1:15	ひるやすみ	
1:15~1:35	そうじ	
1:35~2:20	5げんめ (5じかんめ)	
2:20~2:25	5ふんやすみ	
2:25~3:10	6げんめ (6じかんめ)	
3:10~3:20	かえりのかい	
	げこう	
	ほうかご	



★ちゅうがっこうのいちにち★

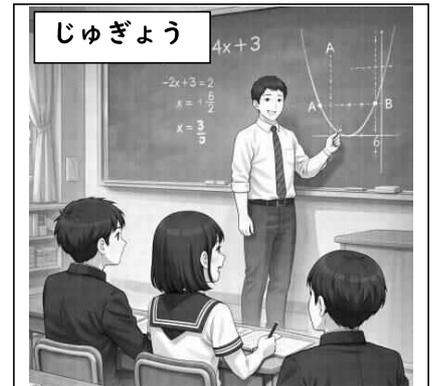
Let's learn the school day schedule.
 Alamin natin ang daloy ng isang araw sa paaralan.
 让我们记住学校一天的流程。
 Hãy học trình tự một ngày ở trường.



1. 言葉の意味を、子どもと一緒に確認します。

	とうこう
8:25~8:35	あさがくしゅう
8:35~8:40	あさがかつ
8:50~9:40	1げんめ (1じかんめ)
9:40~9:50	やすみじかん
9:50~10:40	2げんめ (2じかんめ)
10:40~10:50	やすみじかん
10:50~11:40	3げんめ (3じかんめ)
11:40~11:50	やすみじかん
11:50~12:40	4げんめ (4じかんめ)
12:40~1:15	きゅうじょく
1:15~1:35	ひるやすみ
1:35~2:25	5げんめ (5じかんめ)
2:25~2:35	やすみじかん
2:35~3:25	6げんめ (6じかんめ)
3:30~3:40	ゆうがかつ
3:40~3:50	そうじ
3:50~	クラブ (ぶかつ)
	げこう

けんこう
かんさつ



★きょうか！★

しょうがっこう (小学校)

Let's learn the kanji and meanings of school subjects.

Alamin natin ang kanji at kahulugan ng mga asignatura.

让我们学习各科目的汉字和意思。

Hãy học chữ Hán (kanji) và ý nghĩa của các môn học.

漢字 (かんじ)	よみかた	意味 (いみ)
国語	こくご	Japanese
算数	さんすう	Mathematics
社会	しゃかい	Social Studies
理科	りか	Science
音楽	おんがく	Music
図工	ずこう	Arts & Crafts
体育	たいいく	P.E
保健	ほけん	Health Education
書写	しょしゃ	Calligraphy
道徳	どうとく	Moral Education
英語 (外国語)	えいご (がいこくご)	English
家庭	かてい	Home Economics
総合	そうごう	Integrated Studies
学活	がっかつ	Class Activities

★きょうか！★

ちゅうがっこう (中学校)

Let's learn the kanji and meanings of school subjects.

Alamin natin ang kanji at kahulugan ng mga asignatura.

让我们学习各科目的汉字和意思。

Hãy học chữ Hán (kanji) và ý nghĩa của các môn học.

漢字 (かんじ)	よみかた	意味 (いみ)
国語	こくご	japanese
数学	すうがく	Mathematics
地理	ちり	Geography
歴史	れきし	History
公民	こうみん	Civics
理科	りか	Science
英語	えいご	English
保健体育	ほけんたいいく	Health & P.E
音楽	おんがく	Music
美術	びじゅつ	Art
道徳	どうとく	Moral Education
技術	ぎじゅつ	Technology
家庭	かてい	Home Economics
総合	そうごう	Integrated Studies
学活	がっかつ	Class Activities

★きょうか2★

しょうがっこう (小学校)

Let's look at the pictures and say the subject names.

Tingnan natin ang mga larawan at sabihin ang pangalan ng asignatura.

让我们看图片，说出学科的名称。

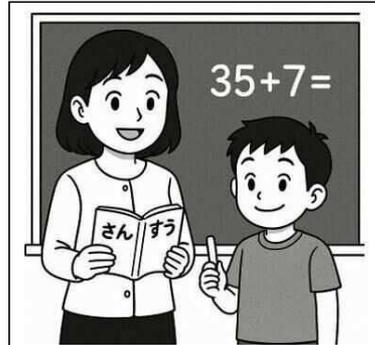
Hãy nhìn tranh và nói tên các môn học.

①



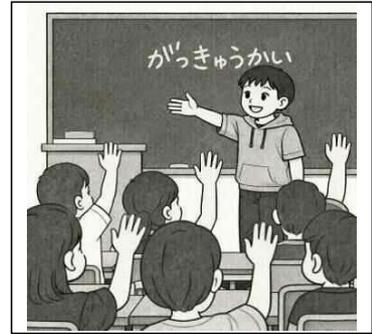
こくご

②



さんすう

③



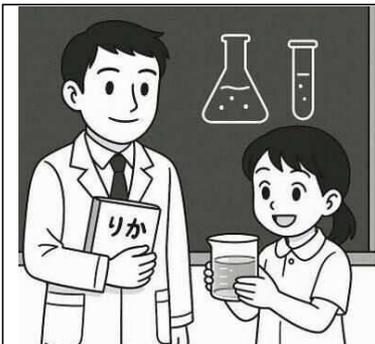
がっかつ

④



しゃかい

⑤



りか

⑥



おんがく

⑦



ずこう

⑧



たいいく

⑨



しょしゃ

⑩



どくしょ

⑪



えいご

⑫



どうとく

⑬ 5年生～



かてい

⑭

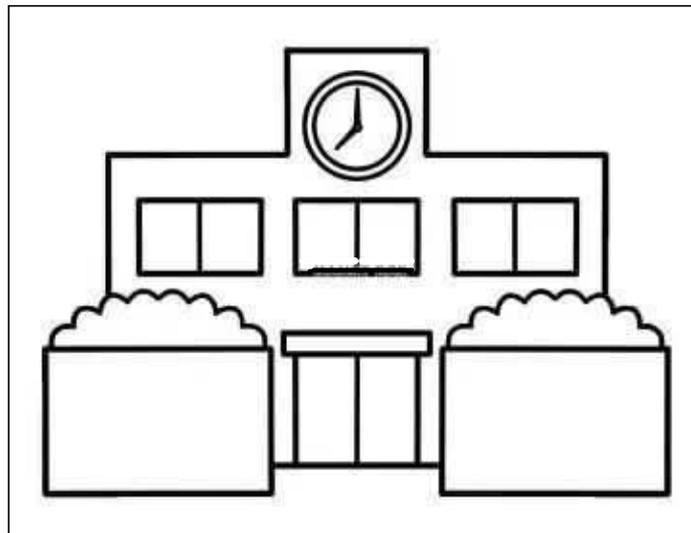


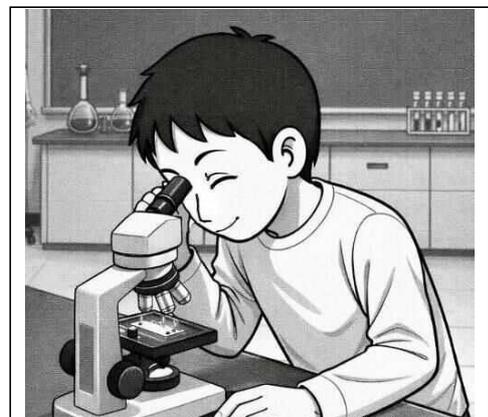
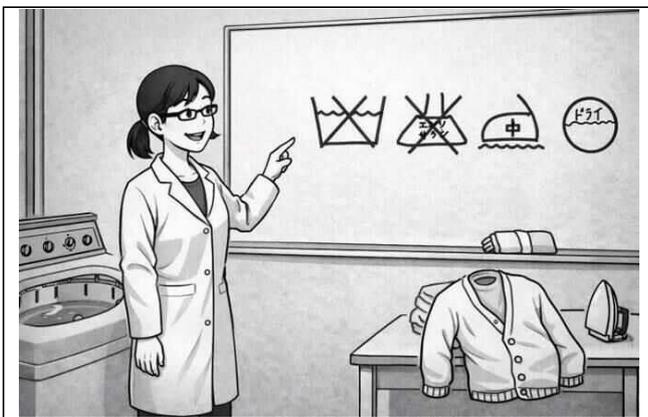
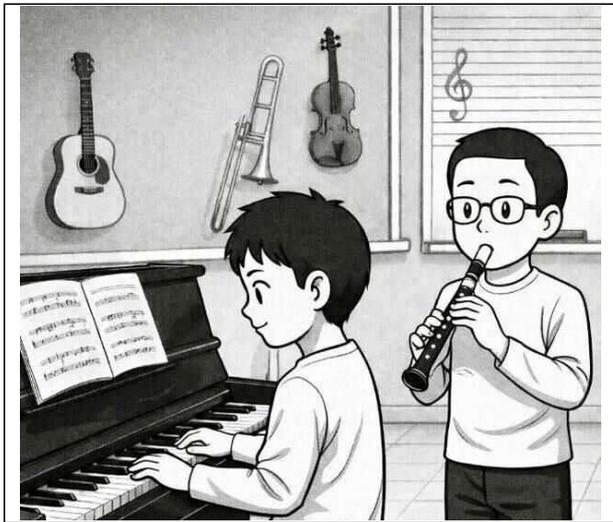
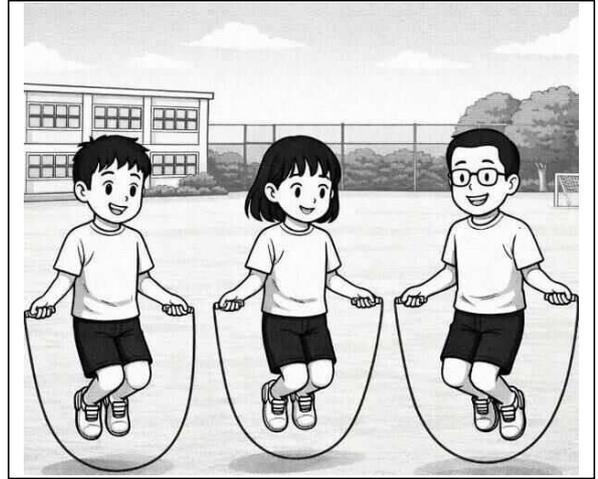
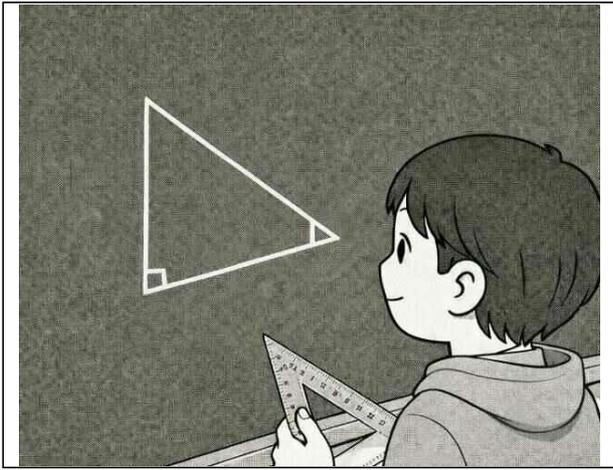
そうごう

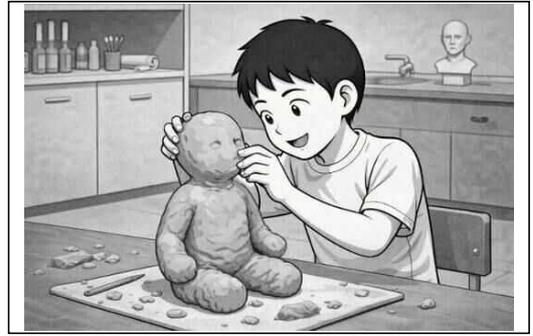
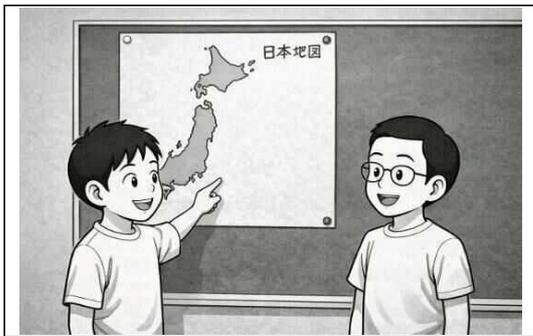
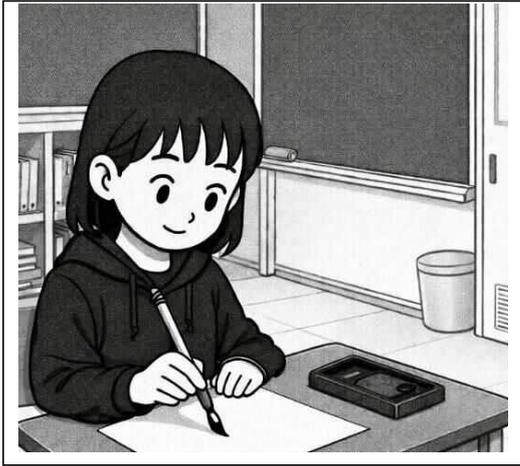
⑮



ほけん







★きょうか2★

ちゅうがっこう (中学校)

Let's look at the pictures and say the subject names.

Tingnan natin ang mga larawan at sabihin ang pangalan ng asignatura.

让我们看图片，说出学科的名称。

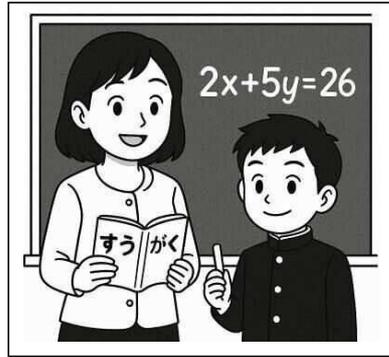
Hãy nhìn tranh và nói tên các môn học.

① 書写も国語です



こくご

②



すうがく

③



りか

④



ちり

⑤



れきし

⑥



こうみん

⑦



おんがく

⑧



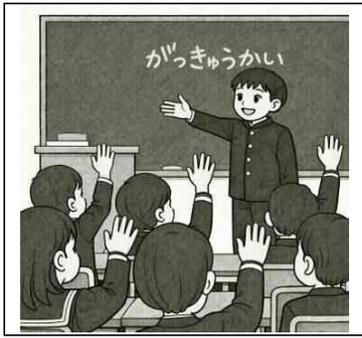
びじゅつ

⑨



ほけんたいいく

⑩



がっかつ

⑪



えいご

⑫



どうとく

⑬



そうごう

⑭

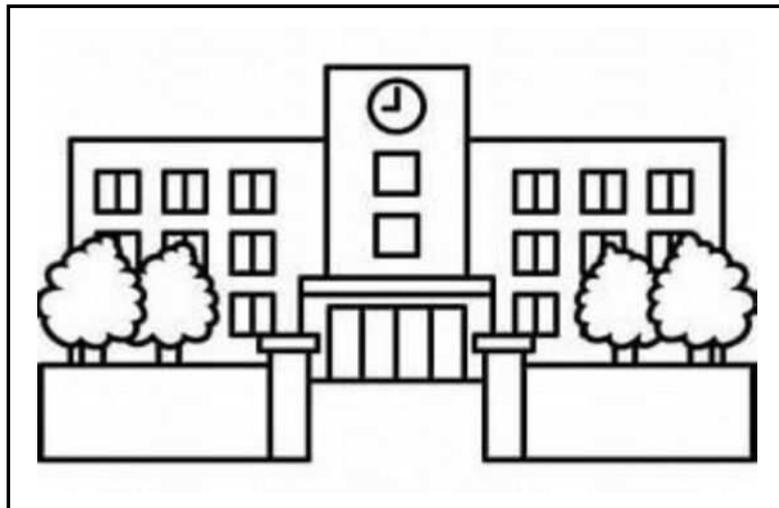


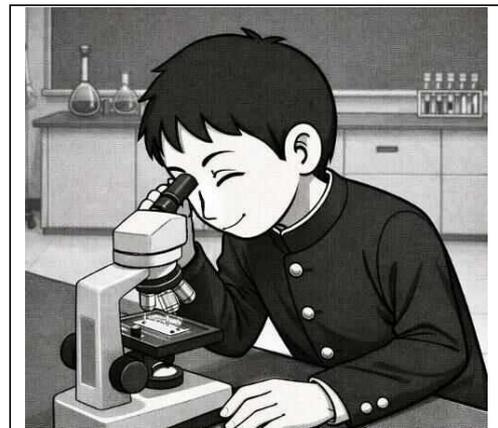
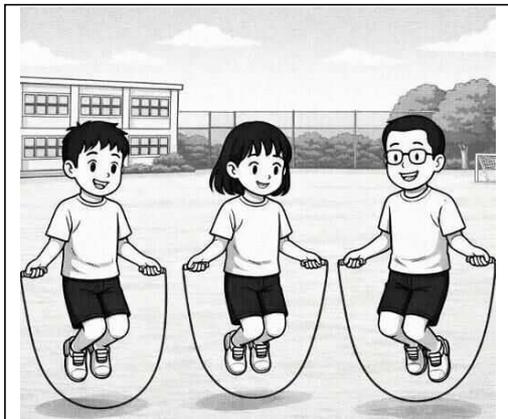
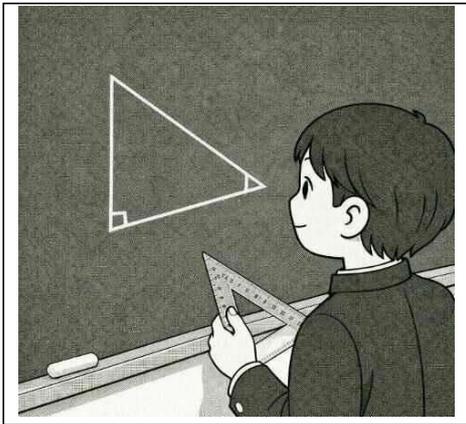
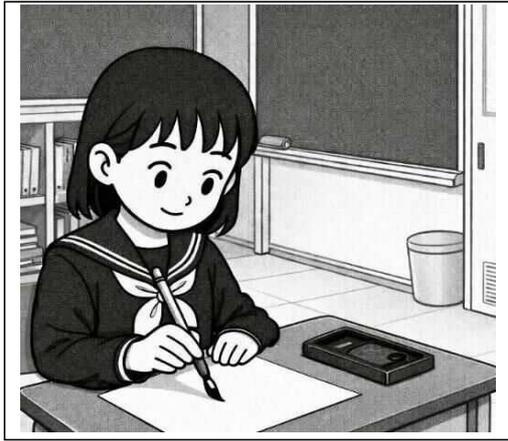
ぎじゅつ

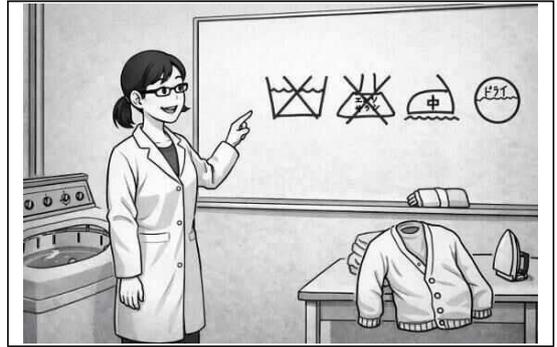
⑮



かてい



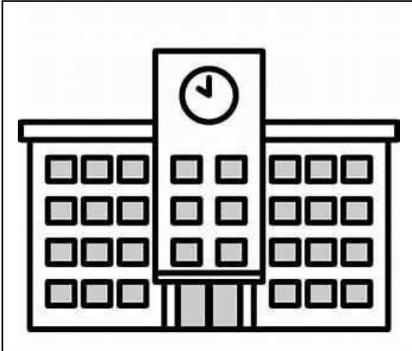




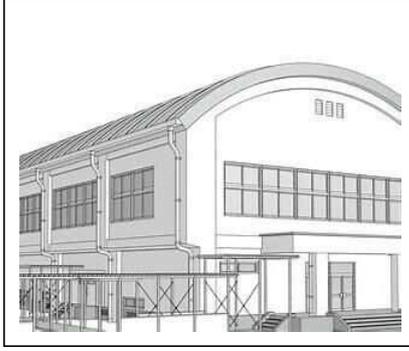
★がっこう★

Let's learn what places there are in the school.
Unawain natin kung anong mga lugar ang mayroon sa paaralan.
让我们了解学校里有哪些地方。
Hãy hiểu trong trường học có những nơi nào.

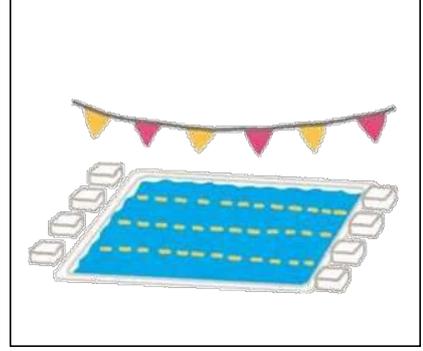
1. 言葉の意味を、子どもと一緒に確認します。



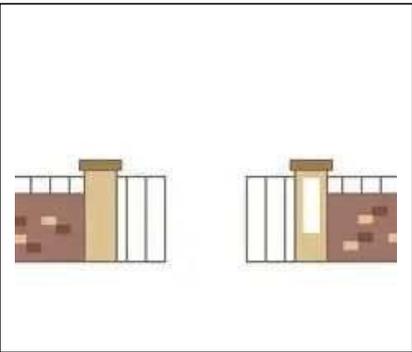
こうしゃ



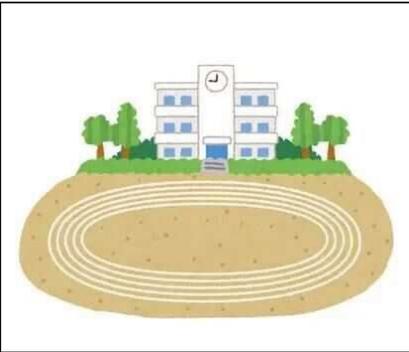
たいいくかん



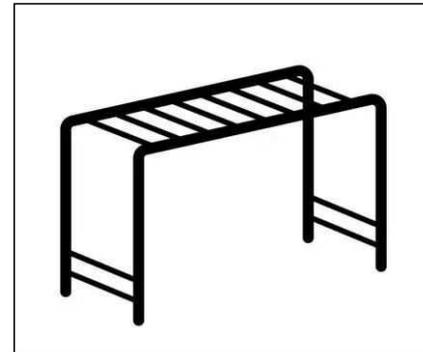
プール



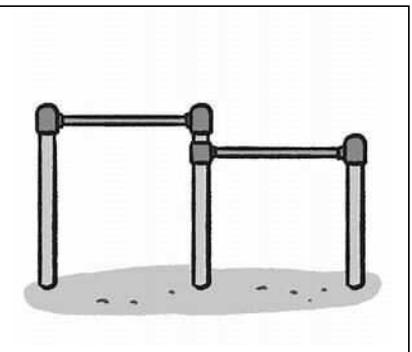
こうもん



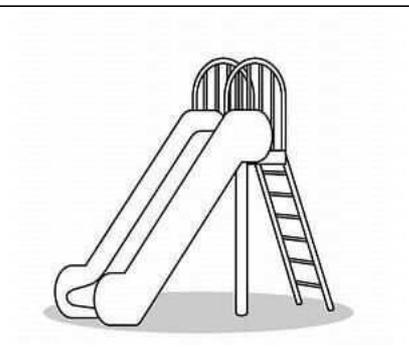
うんどうじょう



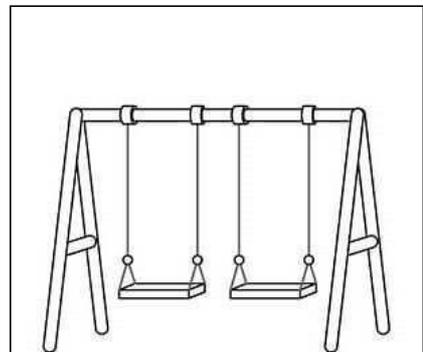
うんてい



てつぼう



すべりだい



ぶらんこ

松阪市 外国人児童生徒のための初期適応支援教室「いっぽ」
サバイバル日本語 学習教材 「はじめの いっぽ (M-Survival)」
2026年3月 初版発行

執筆

佐波 允友 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 長期研修員)

指導

中西 祐司 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 所長)

辻本 泰介 (松阪市教育委員会事務局 学校支援課 人権教育係指導主事)

編集

小筆 邦昭 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター
外国人児童生徒教育コーディネーター)

中川 千明 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

馬場 文子 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

小南 利子 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

大久保 美登里 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

島田 佐有理 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 日本語指導員)

ジルマ エリ 矢崎 (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 母語スタッフ)

中尾 アルマ アンペル (松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 母語スタッフ)

※本教材の著作権は、松阪市子ども支援研究センターに帰属します。

無断での転載・改変・再配付を禁じます。



なまえ

はじめの いっぽ

M-Survival (ワークシート)



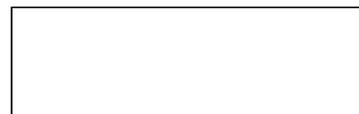
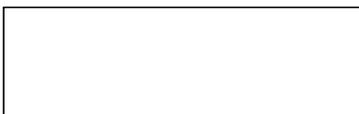
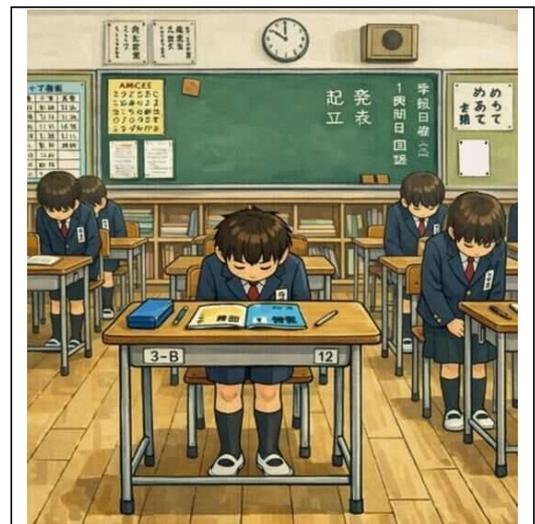
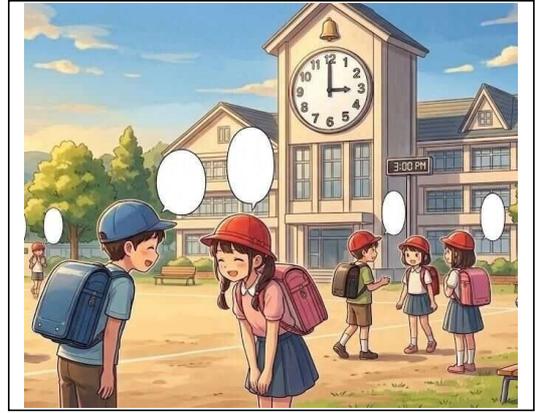
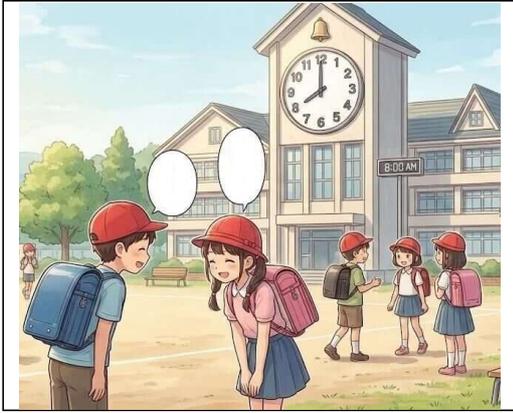
松阪市子ども支援研究センター

外国人児童生徒のための初期適応支援教室「いっぽ」

① あいさつ

ばめんにあう ことばを いきましょう。

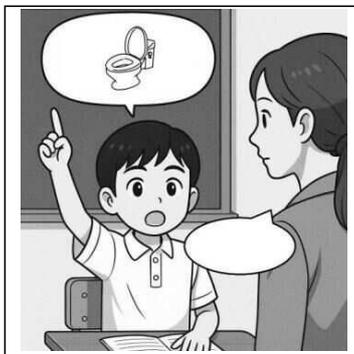
なまえ



② いい・だめ(1)

なまえ

「いい」か「だめ」かを、□に かきましょう



② いい・だめ(2)

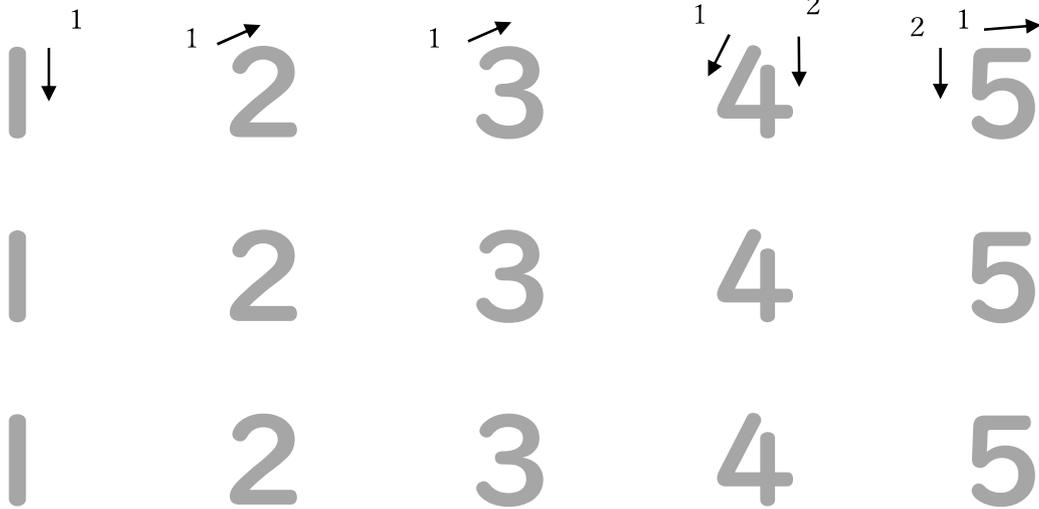
なまえ

「いい」か「だめ」かを、□に かきましょう



③かず（１～５）

１．なぞりましょう。



２．けいさんしましょう。

$2 + 2 = \square$

$5 - 2 = \square$

$1 + 3 = \square$

$5 - 1 = \square$

$2 + 1 = \square$

$3 - 1 = \square$

$3 + 1 = \square$

$2 - 1 = \square$

$1 + 4 = \square$

$4 - 2 = \square$

$3 + 2 = \square$

$3 - 2 = \square$

④もちもの

なまえ

てんと てんを せんで つなぎましょう。



.

.

えんぴつ



.

.

のうと
(ノート)



.

.

ふでばこ



.

.

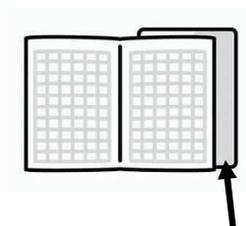
らんどせる
(ランドセル)



.

.

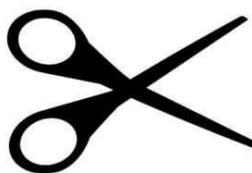
かさ



.

.

じょうぎ



.

.

したじき



.

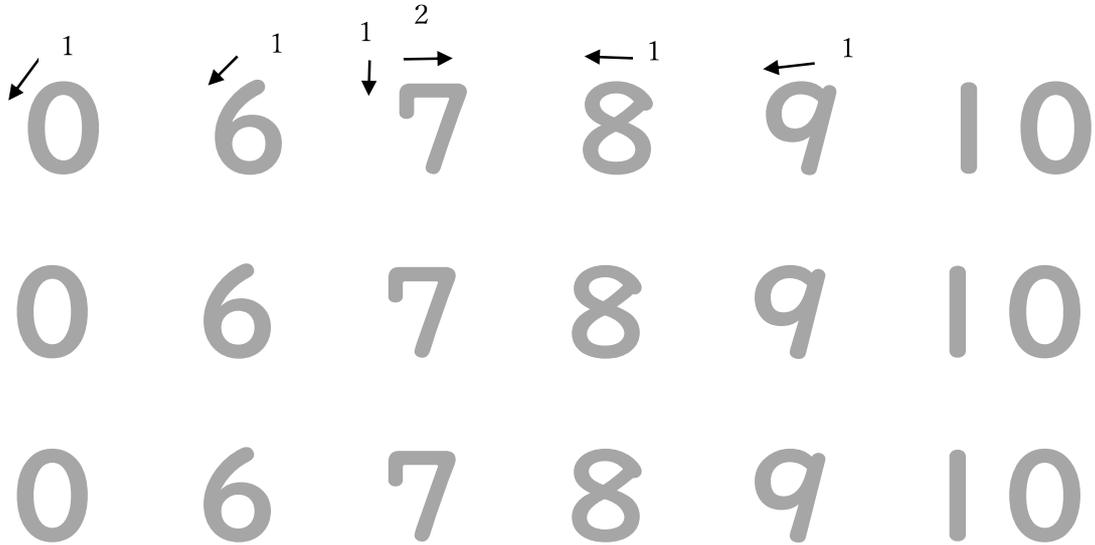
.

はさみ

⑤かず (0、6～10)

なまえ

1. なぞりましょう。



2. □に あう かずを かきましょう。

①

	2		4		6		8		10
--	---	--	---	--	---	--	---	--	----

②

	7			10
--	---	--	--	----

③

	9		7		5
--	---	--	---	--	---

3. けいさんを しましょう。

$10 + 0 = \square$

$7 - 5 = \square$

$3 + 3 = \square$

$8 - 4 = \square$

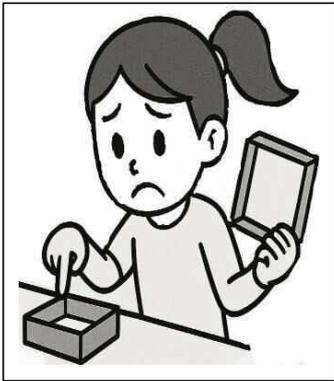
$2 + 8 = \square$

$10 - 3 = \square$

⑥ある・ない

なまえ

1. □に「ある」か「ない」をかきましょう。



2. ふきだしに はいる ことばを かきましょう。



⑦かず (11~19)

なまえ

1. なぞりましょう

11 12 13 14 15
16 17 18 19 20

2. □に すうじを かきましょう。

①

	12		14		16		18	
--	----	--	----	--	----	--	----	--

②

15			18	
----	--	--	----	--

③

19		17			14
----	--	----	--	--	----

3. けいさんを しましょう。

$$4 + 10 = \square \quad 16 - 1 = \square$$

$$15 + 4 = \square \quad 15 - 2 = \square$$

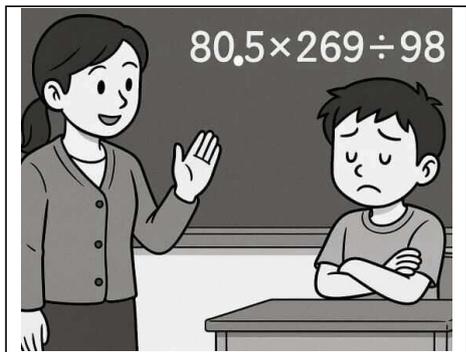
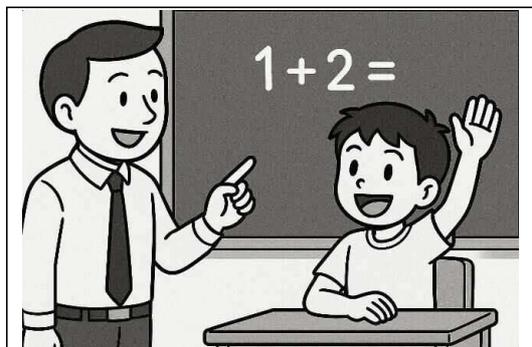
$$9 + 11 = \square \quad 19 - 5 = \square$$

$$1 + 18 = \square \quad 18 - 6 = \square$$

⑧わかる・わからない

1. もじを なぞって かきましょう。

なまえ



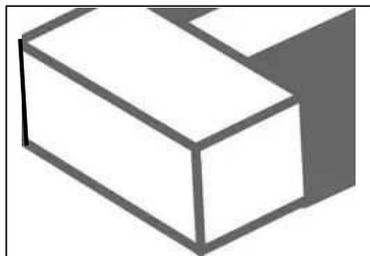
わかる

わからない

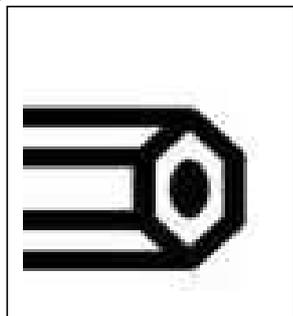
2. えに あう ことばを えらんで せんで つなぎましょう。

わからない ときは 「せんせい わからない」 と いいましょう。

①



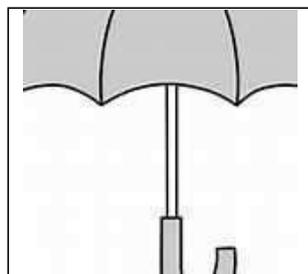
②



③



④



•

•

•

•

•

•

•

•

とけい

けしごむ

かさ

えんぴつ

⑨かず (20、30・・・・90)

1. なぞりましょう

20

30

40

50

60

70

80

90

2. なんえん ですか。すうじを かきましょう。

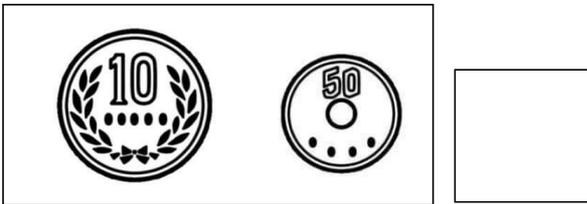
①



②



③



④



3. けいさん しましょう。

$10 + 10 =$

$60 - 20 =$

$50 + 30 =$

$90 - 40 =$

$30 + 40 =$

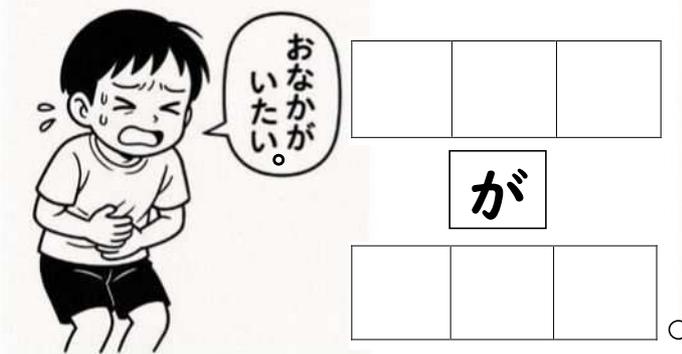
$70 - 30 =$

⑩ いたい (からだ)

なまえ

□に ことばを かきましょう。

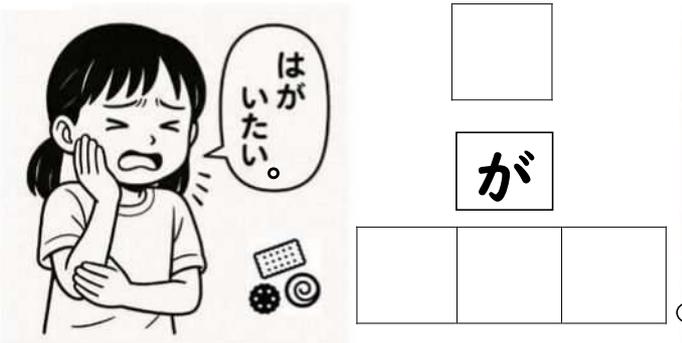
①



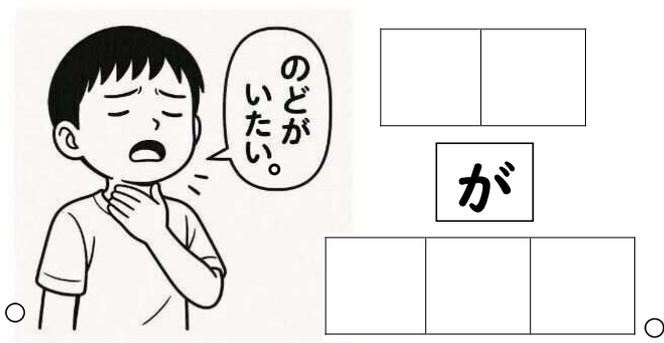
②



③



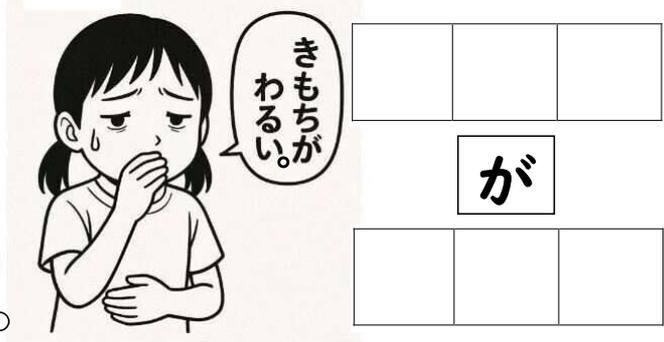
④



⑤



⑥



なまえ

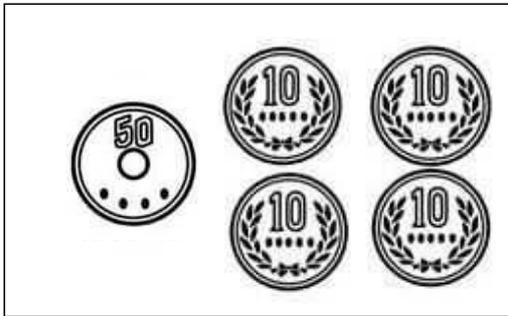
⑪かず (21、22・・・99)

1. なぞりましょう。

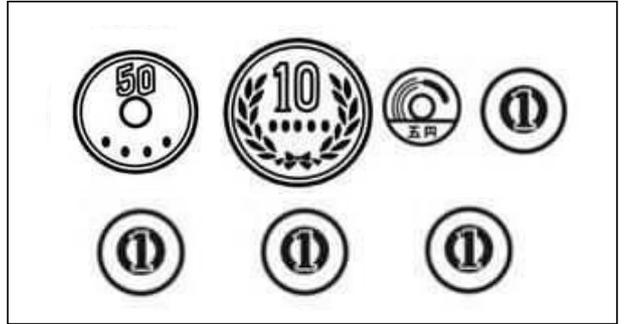
21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

2. なんえん ですか。

①



②



③



④



3. けいさんしましょう

$18 + 41 = \square \quad 37 - 22 = \square$

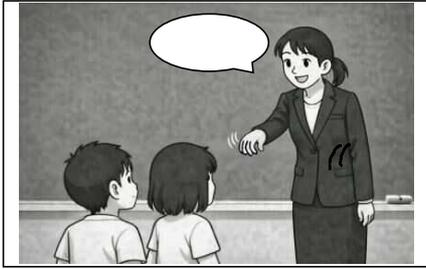
$52 + 32 = \square \quad 65 - 43 = \square$

$38 + 11 = \square \quad 94 - 72 = \square$

⑫ きて・みて・きいて・よんで・かいて

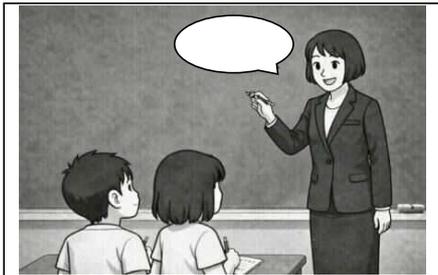
なまえ

えを みて □に ことばを かきましょう。

















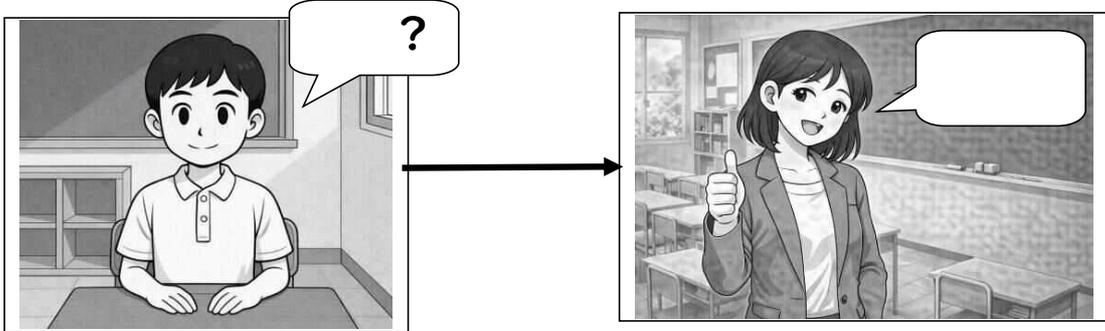


⑬ こう・ちがう・そう

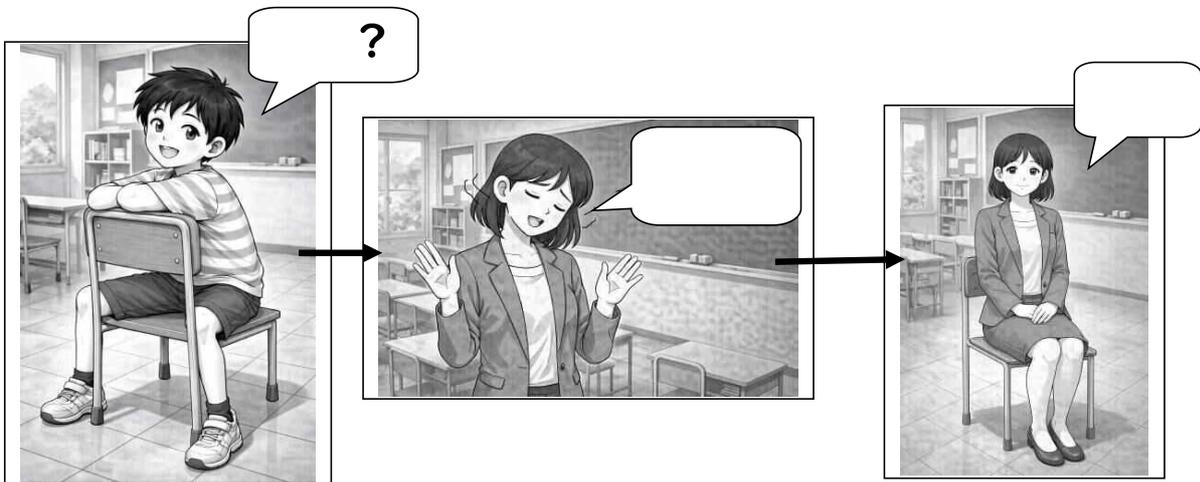
なまえ

「こう」「ちがう」「そう」の ことばを かきましょう。

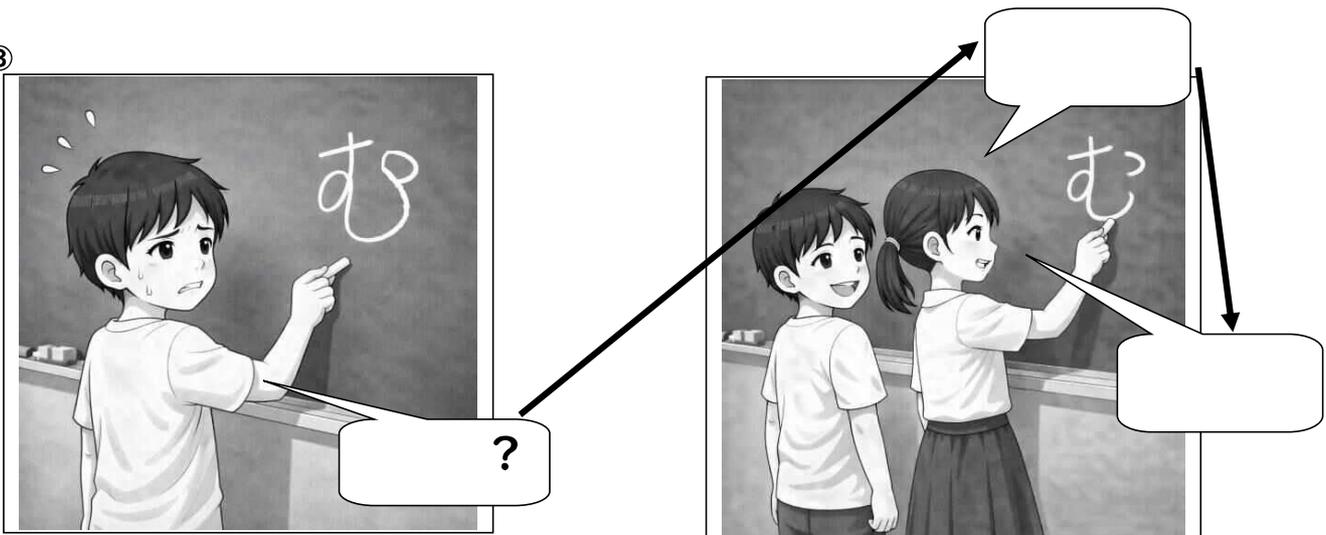
①



②



③



⑭これ、だれの？（わたし）

なまえ

1. えに あう ことばを えらんで せんで つなぎましょう。



だれの これ だれの あれ わたしの わたしの



⑮ ここ・どこ・あそこ

なまえ

1. 「ここ」「あそこ」「どこ」の ことばを かきましょう。



or



or



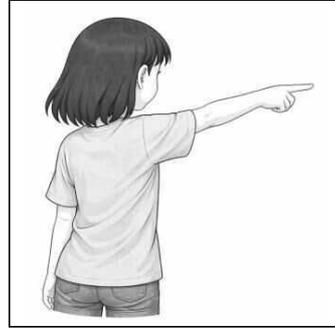
⑩ うえ・した・みぎ・ひだり

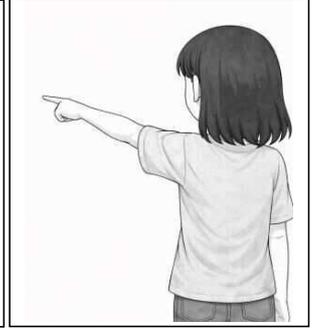
なまえ

1. 「うえ」「した」「みぎ」「ひだり」をかきましょう。

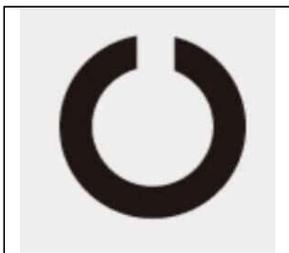


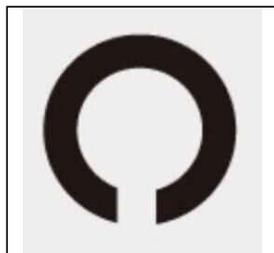












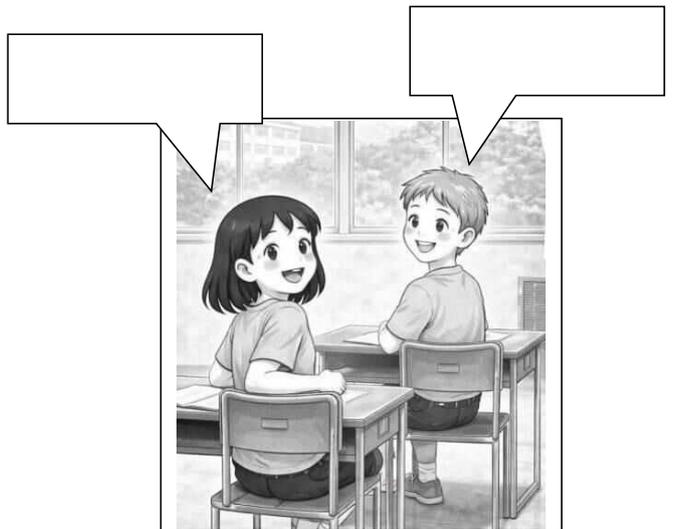
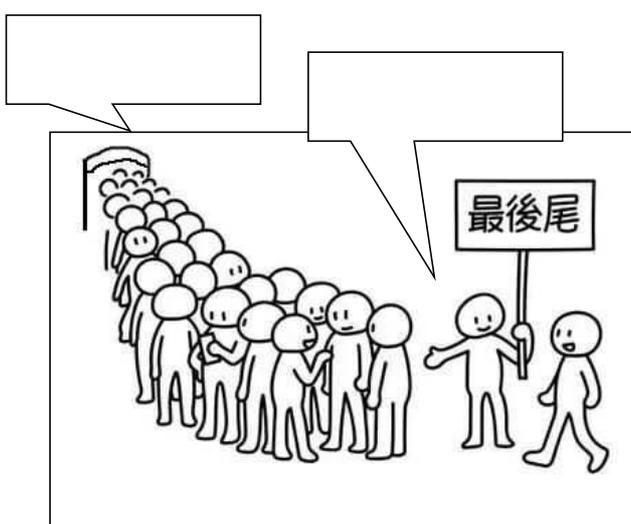
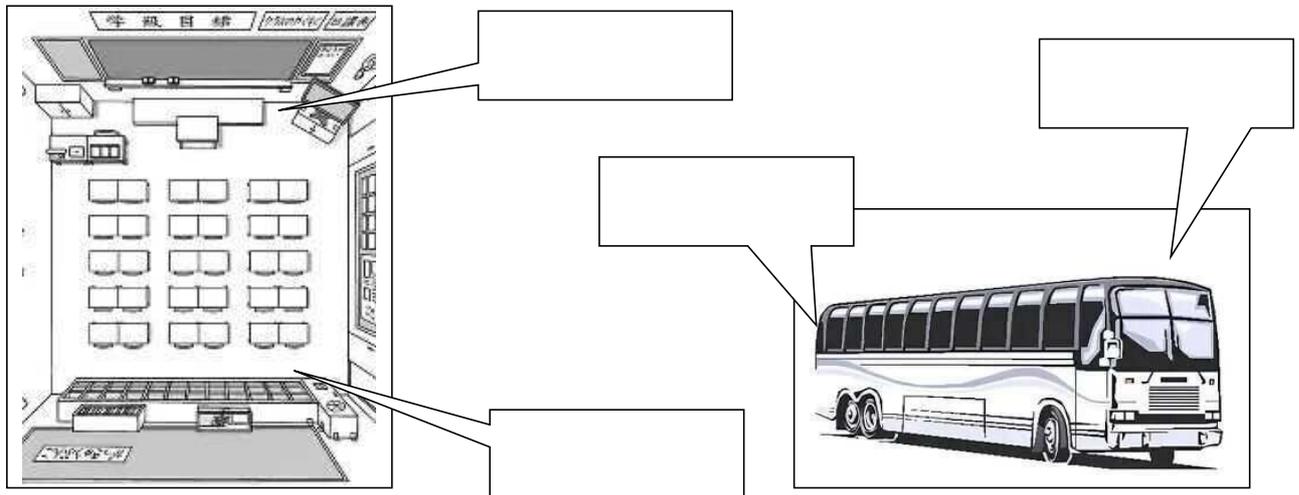
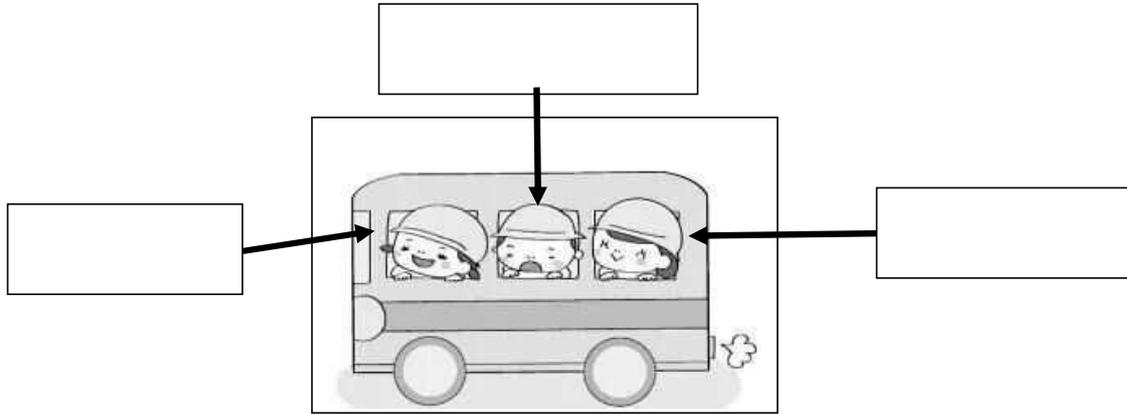




⑰まえ・うしろ・まんなか

なまえ

「まえ」「うしろ」「まんなか」をかきましょう。



⑱かず (100、200・・・900)

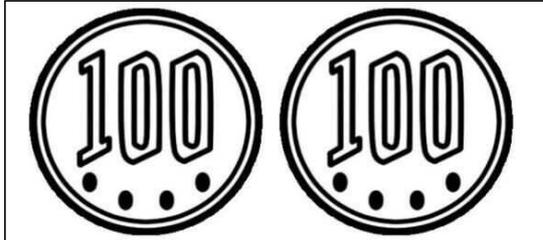
なまえ

1. □に すうじを かきましょう。

①



②



③



④



2. けいさんを しましょう。

$100 + 200 = \square$

$600 - 400 = \square$

$400 + 300 = \square$

$700 - 400 = \square$

$200 + 200 = \square$

$1000 - 200 = \square$

$200 + 700 = \square$

$1000 - 600 = \square$

19 いる・いない

なまえ

「いる」「いない」を かきましょう。

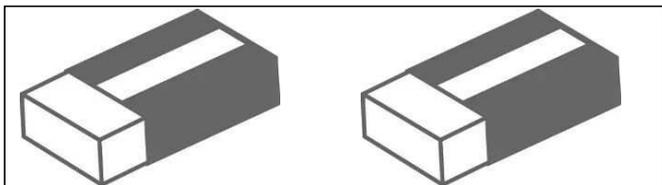


②おなじ・ちがう

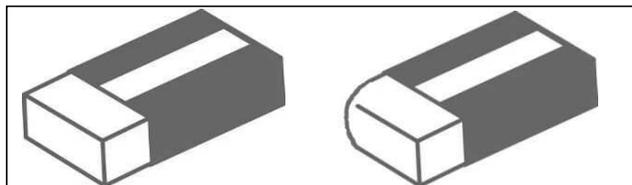
なまえ

1. 「おなじ」「ちがう」を かきましょう。

①

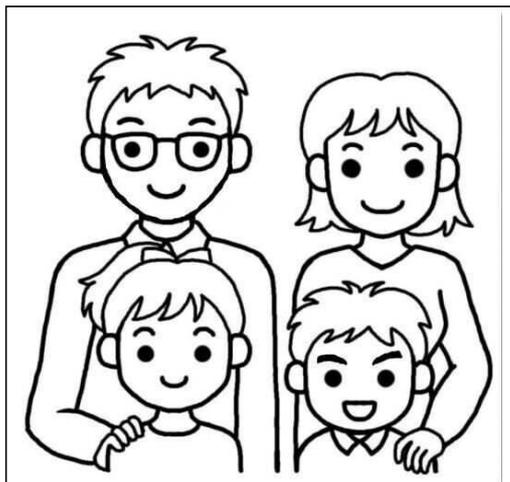
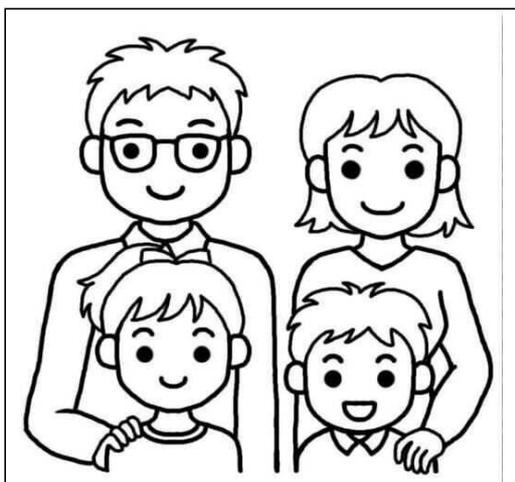


②



2. ちがうところに ○を つけましょう。

①



②



㊦ あいさつ

ばめんにあう ことばを いいましょう。
ボールを ぶつけた



[Empty box for writing]

なまえ

じょうぎを 1ぽん かりた



らくがきを した



[Empty box for writing]

しょくいんしつに はいる



[Empty box for writing]

きゅうしょくを たべる

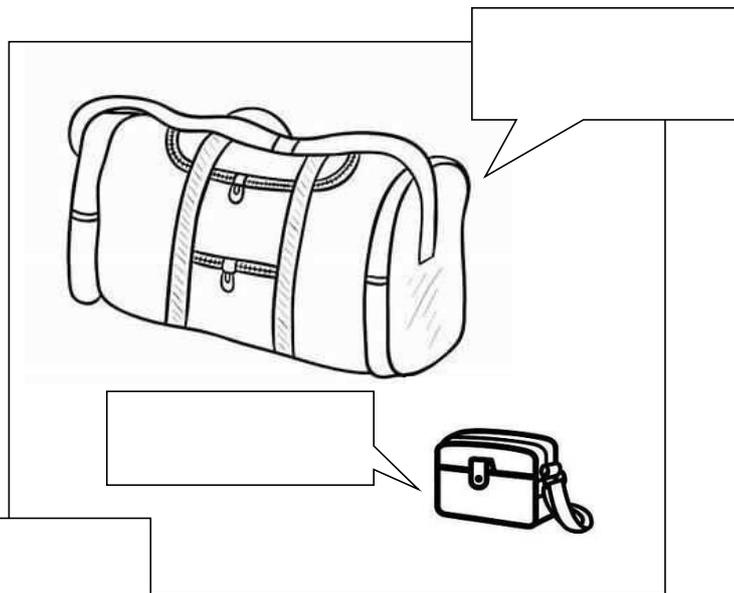
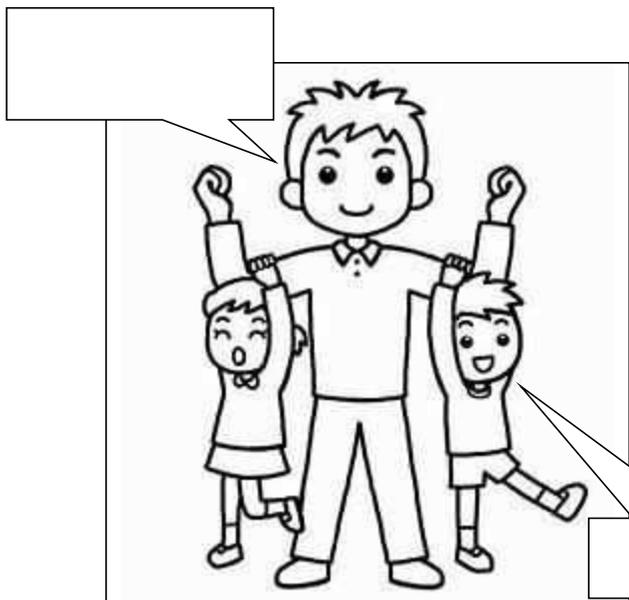
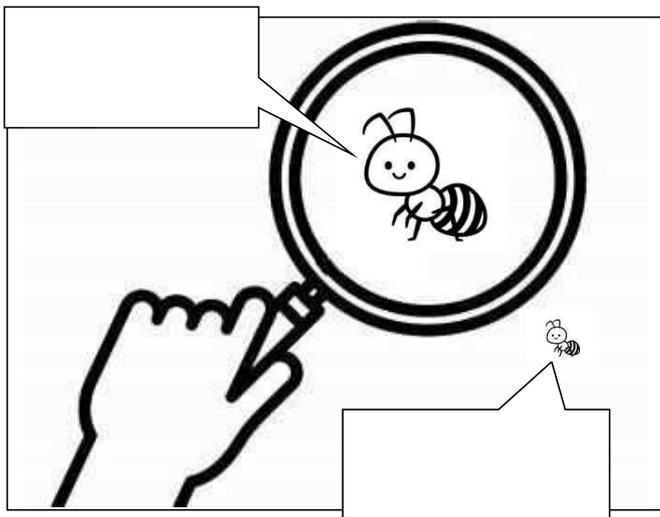
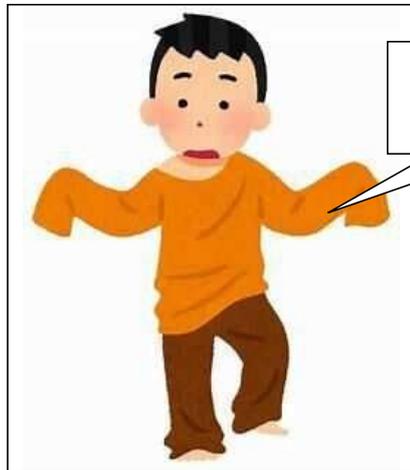
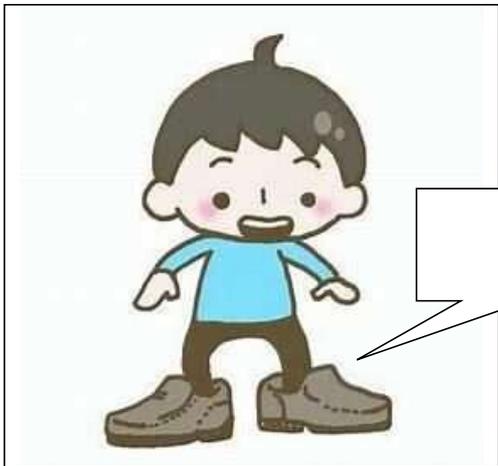


[Empty box for writing]

② おおきい・ちいさい

なまえ

「おおきい」「ちいさい」をかきましょう。



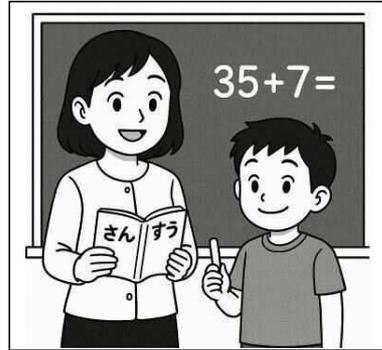
②③ べんきょう

なまえ

①



②



③ 1～2年生



④ 3年生～



⑤ 3年生～



⑥



⑦



⑧



⑨



★きょうか★

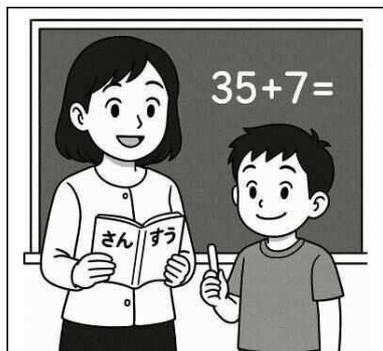
※4～6年生

なまえ

①



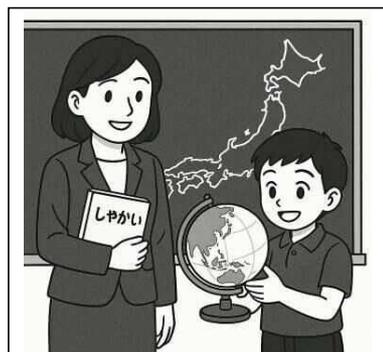
②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



★きょうか★

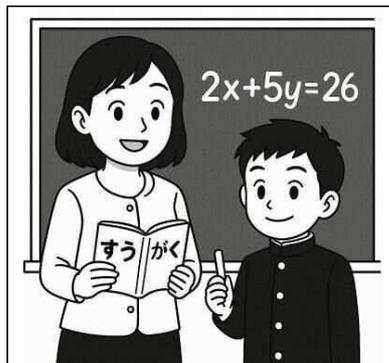
※中学生

なまえ

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



②④ なんにち、なんようび

なまえ

□に ひづけの ことばを かきましょう。

1

ついたち

2

3

4

5

6

7

8

9

10

20

②ようびの ことばを かきましょう。

にち

ようび

ようび

ようび

ようび

ようび

ようび

ど

ようび

②5 きのう・きょう・あした

なまえ

□に ことばを かきましょう。
うすい もじは なぞりましょう。

きょう は、 がつ にち ようび です。

きのう は、 がつ にち ようび です。

あした は、 がつ にち ようび です。

きょう は、 (きょうか) が あります。

きょう は、 (きょうか) が あります。

きのう は、 (きょうか) が ありました。

きのう は、 (きょうか) が ありました。

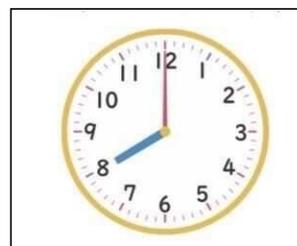
あした は、 (きょうか) が あります。

あした は、 (きょうか) が あります。

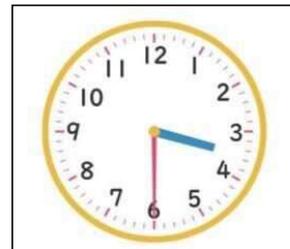
②⑥ なんじ？

なまえ

1. じこくを かきましょう。(「1じ」「2じ」・・・)



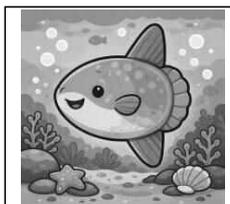
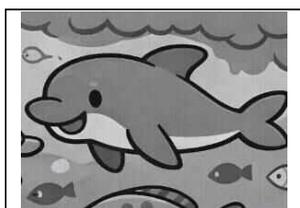
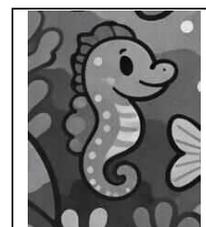
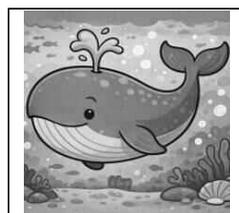
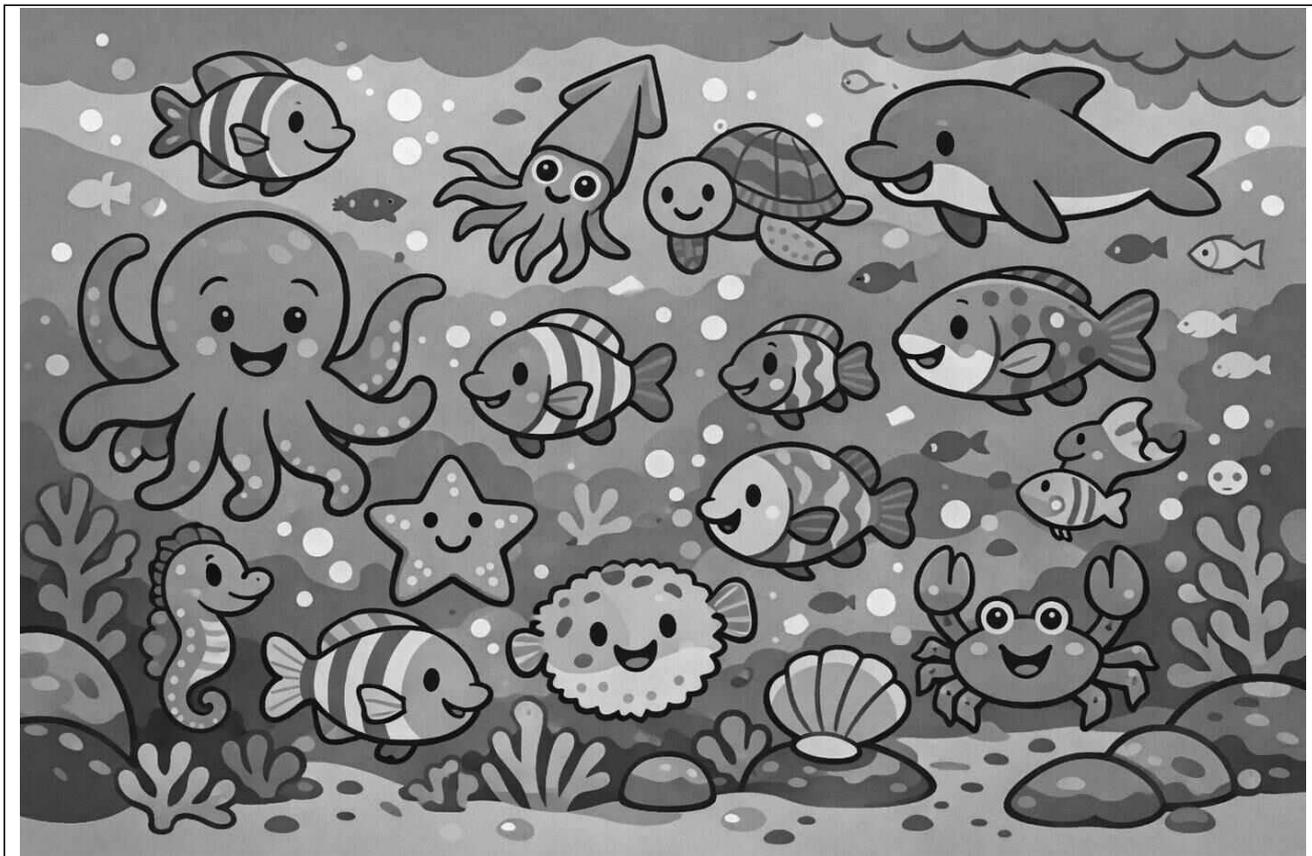
2. じこくを かきましょう。(「1じはん」「2じはん」・・・)



27 いる・いない

なまえ

□に「いる」か「いない」か かきましょう。

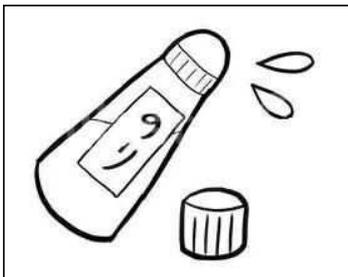


②8 わすれた・かして・ありがとう

なまえ

1. □に ことばを かきましょう。

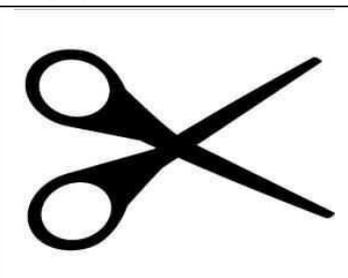
① のり



のり わすれた

のり かして

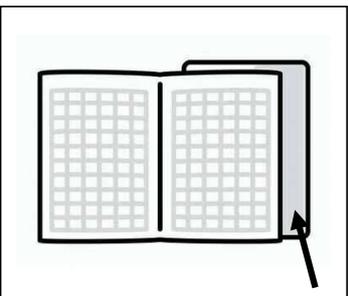
② はさみ



はさみ

はさみ

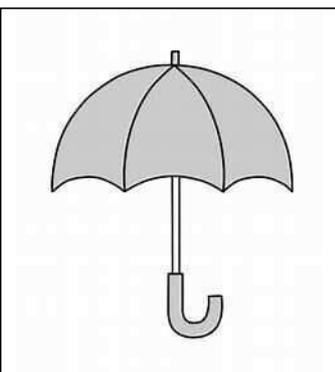
③ したじき



Blank box for writing the word 'したじき'.

Blank box for writing the word 'したじき'.

④ かさ



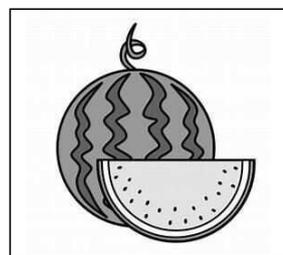
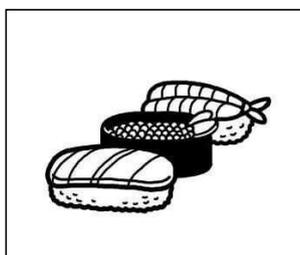
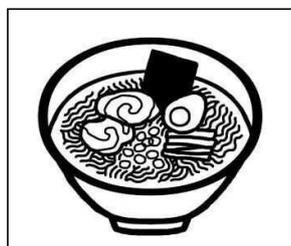
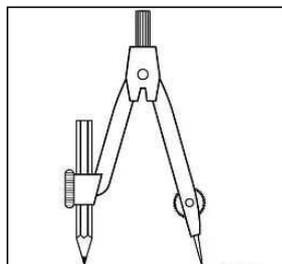
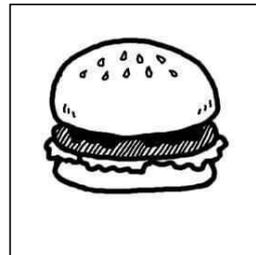
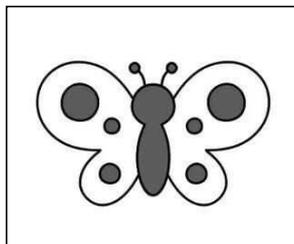
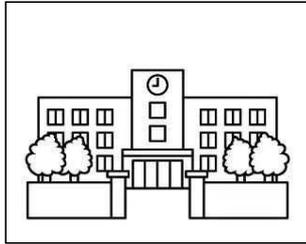
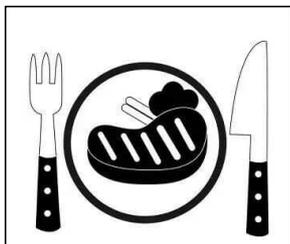
Blank box for writing the word 'かさ'.

Blank box for writing the word 'かさ'.

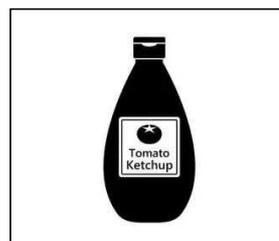
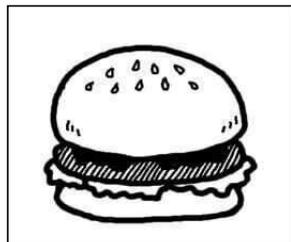
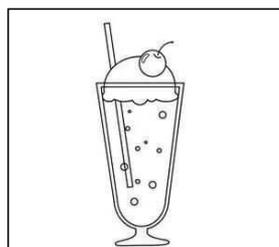
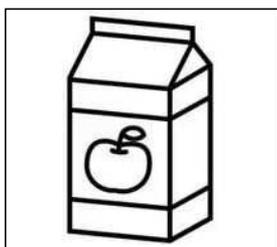
29 食べる・のむ

なまえ

1. 「食べる」か「たべない」をかきましょう。



2. 「のむ」か「のまない」をかきましょう。



松阪市 初期日本語適応教室 いっぽ
サバイバル日本語 学習教材 「はじめの いっぽ (M-Survival) ワークシート」
2026年3月 初版発行

執筆

佐波 允友 (松阪市子ども支援研究センター 長期研修員)

指導

中西 祐司 (松阪市子ども支援研究センター 所長)

辻本 泰介 (松阪市子ども支援研究センター 学校支援課人権学習係指導主事)

編集

小筆 邦昭 (松阪市子ども支援研究センター 外国人児童生徒教育コーディネーター)

中川 千明 (松阪市子ども支援研究センター 日本語指導員)

馬場 文子 (松阪市子ども支援研究センター 日本語指導員)

小南 利子 (松阪市子ども支援研究センター 日本語指導員)

大久保 美登里 (松阪市子ども支援研究センター 日本語指導員)

島田 佐有理 (松阪市子ども支援研究センター 日本語指導員)

※本教材の著作権は、松阪市子ども支援研究センターに帰属します。

無断での転載・改変・再配布を禁じます。

なまえ

はじめのいっぽ M-Survival

画像生成 プロンプト集

課の番号は、小3以下のものを基準としています。

★全体★

●言語について

『「〇〇〇」この日本語を、英語とタガログ語と中国語とベトナム語に直してください。

文体は、小学生の子どもにもわかるものにしてください。』

●気をつけたこと

- ・ChatGPT を活用した。
- ・「右」は「向かって右」のほうが伝わる。
- ・「白黒イラスト」という指示をつける。
- ・まとめの問題は、これまでのイラストを用いる。
- ・連続で画像生成すると、前の画像の影響を受けることがある。余計なものが出てきたら「〇〇を削除」と入力する。それでもできないときは、自力で加筆修正をする。
- ・前回と別のチャットで生成をすると画風が変わってしまう。以前の画像を添付して「この画風で」と言わなければならない。

★表紙

「場所は教室。手前に先生の後ろ姿。子どもたちに授業をしている。席に着いた児童たちが挙手をしている。児童たちはさまざまな国籍の子がいる。挙手は全員、向かって右手。」→（室内が黒板で囲まれてしまった。）→「向かって左側の黒板を削除。窓に変更。先生の横顔がわかるように修正。」（手が三本ある子もいたので、自力で修正しました。）



★裏表紙

「屋外でいろいろな国籍の子どもたちが遊んでいる。ぶらんこ、サッカー、縄跳び。手をつないで走っている子どもたちもいます。」空に鳥を追加。」



①あいさつI

・先生とおはよう

「場所は小学校の教室。時間帯は朝。先生と子どもが「おはようございます」と挨拶をしている。」

・友だちとおはよう

「場所は教室。時間帯は朝。小学生2人が「おはよう」と挨拶をしている。」



・先生とこんにちは

「場所は小学校の廊下。時間帯は昼。先生と子どもが「こんにちは」と挨拶をしている。」 → ランドセルを削除。

・友だちとこんにちは

「場所は小学校の廊下。時間帯は昼。小学生2人（高学年1人と低学年1人）が、「こんにちは」と挨拶をしている。」

・先生とさようなら

「背景は校舎。場所は校門。門の横で先生と子どもがおじぎをしている。子どものセリフはさようなら。子どもはランドセルを

背負う。」



・友だちとさようなら

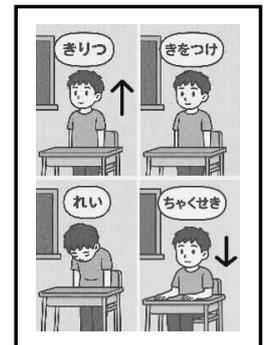
「場所は同じ。ランドセルを背負った男の子と女の子が、にこやかに手を振りあっている。女の子が「さようなら」と言っている。」

・おねがいします

「場所は教室。背景に黒板。教室の前方、黒板の前に教師が立っている。子どもがその先生にノートを手渡して「よろしくおねがいします」と言っている。」(生成後)→「先生がセリフを言っているイラストになっているため、子どもがそのセリフを言うように吹き出しの形を変えてください。他は変えない」

・きりつ

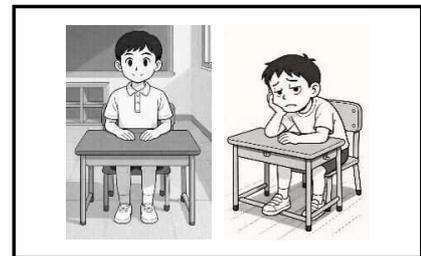
「以下の4つのイラストを、1枚にまとめてください。すべて同じ1人の子ども(小学生)にしてください。一連の流れとしたいので、同じ座席にしてください。①「きりつ」と言われて座席から起立する。②「きをつけ」と言われて姿勢よく立つ。③「れい」と言われて立ったまま一礼する。④「ちやくせき」と言われて着席する。」(「気をつけ」と「礼」のイラストに机がない。)→「上の画像について、「きをつけ」と「れい」のイラストにも机のイラストが欲しい。」→矢印を手書きで記入。



②いい、だめ

・きく姿勢 いい

「小学生が、小学校の教室で、姿勢よく着席しているイラスト。」

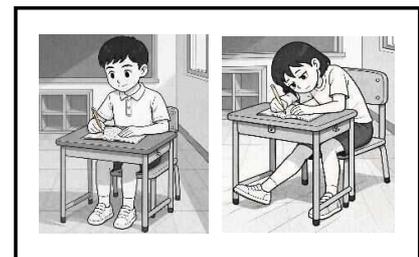


・だめ

「悪い姿勢で座っている小学生一人のイラスト。」

・かく いい

「場所は教室。子どもが背筋を伸ばして着席し、鉛筆でノートに文字を書いている。姿勢よく字を書くという模範イラスト。」



・だめ

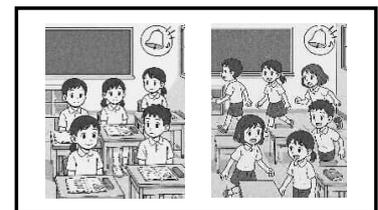
「教室で学習している子ども。足を投げ出して、猫背になっている。」

・チャイム いい

「場所は教室。チャイムが鳴っている。小学生たちは着席している。机には算数の準備がしてある。教科書、ノート、筆箱、三角定規」→(チャイムマークがセリフのようになってしまったので、加筆しました。)

・だめ

「場所は教室。チャイムが鳴っている。小学生たちは立ち歩いている。机には何もなかったり、小説が置いてあったりしている。」→(チャイムマークに加筆しました。)



・トイレ いい

「場所はトイレの入り口。子どもがスリッパをそろえて脱いでいる。他のスリッパもそろっている。スリッパは全部で2足。」

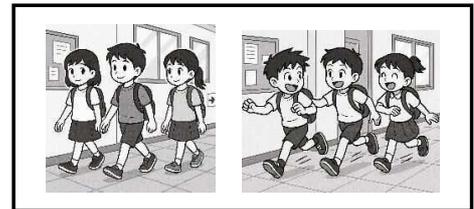


・だめ (生成 AIと相談)

「場所はトイレ。先ほどと同じ場所。男の子が向かって右方向へ体を向けている。向かって右奥の暗い空間へ足を踏み入れている。後ろ姿で、向かって左も、正面(こちら側)も向いていない。暗いところの中へ進む動きを明示。「男の子が右奥へ入っていく後ろ姿」。スリッパは手前に散乱。」→足りない部分(スリッパの数)は加筆。

・ろうか いい

「学校の廊下。子どもたちが右側通行で歩いている。人数は3人。向かって左方向へ歩いている。」

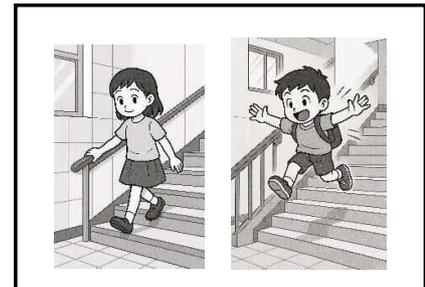


・だめ

「ふざけあいながら、廊下を走っている画像。」

・かいだん いい

「場所は学校の階段。女の子が歩いて下りていく。手すりを持つ。」



・だめ

「場所は学校の階段。男の子が上階からジャンプして下階まで飛び降りているイラスト。」「もっとわかりやすくジャンプさせてください。危険の啓発をしたので、階段の段数を増やしてください。」

・ごみ いい

「場所は教室。ごみをごみ箱にきちんと捨てている子ども。それを見て友だちがにこやかに「いい」と言っている。」「床は一面フローリングに。」



・だめ

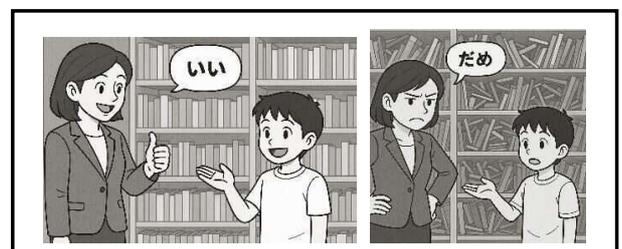
「場所は教室。ごみ箱があるのに、床にごみを捨てている男の子。それを見て、しかめ面で「だめ」という女の子。女の子は男の子と少し離れた位置に立っている。ごみ箱は、男の子の背面に配置。」

・本 いい

「場所は図書室。本が整理整頓されている状態が背景。先生はにこやかに「いい」と言う。子どももにこやかに立っている。男の子は右手の手のひらを上に向けて、本棚を指し示している。先生の左手の形はサムアップ。」

・だめ

「本が整頓されておらず、乱雑に本棚に入っているように修正。先生の表情はしかめ面、左手は腰に。セリフを「だめ」に変える。」



・つくえ いい

「場所は教室。立ち上がって机を雑巾で拭いている子ども。先生がそれを見て「いい。」



・だめ

「場所は教室。休み時間。机の上に座っている子ども。先生がしかめ面で「だめ。」

・うわぐつ いい(だめを先に生成)

「靴を履いて校舎内に入っていた子どもについて、上履きにはい変えているイラストに変更。「だめ」というセリフは「いい」に変更。」

・だめ

「場所は学校の昇降口。男の子が2人。1人は靴を履いたまま廊下へ上がってしまう。

もう1人はその子の後ろから「だめ」と言っている。土足で校舎内に入ってはいけないことをあらかずのもの。」

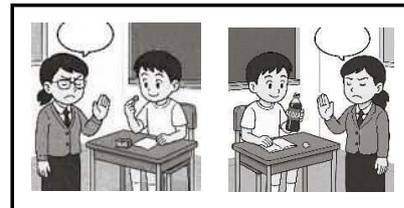


・おかし だめ

「場所は教室。授業中にお菓子を食べている子ども。先生がしかめ面で「だめ」と注意している。」

・ジュース だめ

「上の画像で、お菓子をコーラに変更。」



・トイレに行くとき

※トイレのイラストはフリー素材。

「場所は教室。席について挙手している子ども。先生が近くで見ている。子どもの頭上に吹き出しを書く。」

・アクセサリーだめ

「場所は校門。ランドセルを背負った女の子が歩いてくる。首にはネックレス、耳にはピアスがついている。先生がそれを見て、しかめ面で「だめ」と言っている。」



③かず1~5

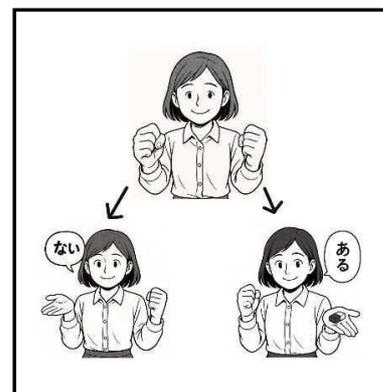
※魚はフリー素材

④もちもの

※すべてフリー素材

⑤かず6~10,0

※③と同じもの



⑥ある・ない

・両手を握っている画像

「小学校の先生。両手の拳を前に出している。柔らかな表情。」

・「ない」の画像

「向かって左手を開きます。手のひらは上向きにしてください。向かって右手は拳です。吹き出しに「ない」というセリフを入れてください」

・「ある」の画像

「上の画像の、左右の手の形を入れ替えたバージョンが欲しいです。セリフは「ある」にしてください」（画像生成後）→「その画像で、手のひらの上に消しゴムを乗せてください」

・ジュースある

「机の上にコーラが入ったコップ（グラス）、それを見て両手を挙げて喜んでいる男の子。」

・ない

「机の上に空のコップ。男の子ががっかりしている。」



・お菓子ある

「机の上に、まんじゅうがぎっしり詰まった箱。女の子が蓋を持って喜んでいる。」

・ない

「机の上に、空の箱。女の子が箱の中を指さし、悲しそうな表情をしている。」

・本ある？

「先生が、席に着いた子どもたちに話しかけている。子どもは2人。女の子はにこやかに手に持った本を先生に見せている。男の子は悲しそうな表情をしている。」



・傘ある？

「女の子が、閉じた傘を両手に1本ずつ持ち、男の子2人に話しかけている。男の子Aは傘を持っておらず、悲しそうな表情。男の子Bは傘をさしてにこにこしている。」



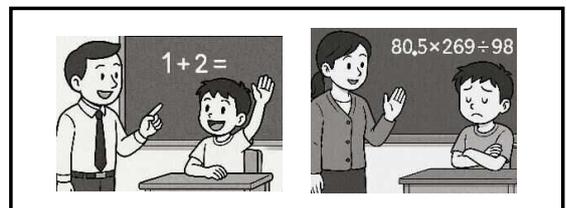
⑦かず11~19

※フリー素材

⑧わかる・わからない

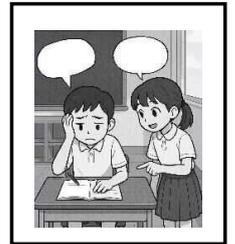
・算数わかる

「場所は教室。黒板には $1+2=$ と書いてある。先生が黒板のところに立っていて、着席している子どもが元気に挙手している。」



・算数わからない

「場所は教室。黒板には $80.5 \times 269 \div 98 =$ と書いてある。先生が黒板の前に立っていて、着席している子どもは困っている。画面左に先生、右に子ども。」



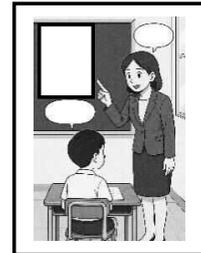
・友だちに教えてもらう

「場所は教室。小学生の男の子と女の子が一人ずついる。男の子は座って算数の問題を解いているが、苦労している。女の子が教えてあげようと近くに来て、「わかる?」と聞いている。」

・机と三重県

※机と三重県はフリー素材。

「黒板の前で、黒板に書いた問題を子どもに見せている先生。先生のセリフは「わかる?」
子どもは着席して、黒板を見ている。」



・勉強わかる?

「時計の問題を出している先生。1人の子どもはわかり、もう1人はわからない。」

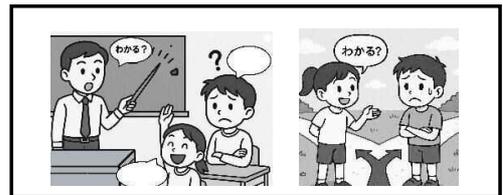
・道わかる?

「場面は屋外。背景は分かれ道。女の子が「わかる?」と聞いている。男の子は困った顔をしている。」

※右ページはフリー素材

⑨かず20, 30...90

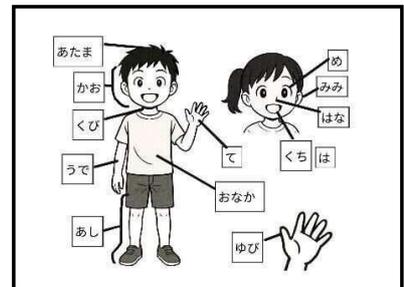
※フリー素材



⑩いたい

・からだ

「小学生の男の子。明るい表情。全身がわかるもの。前を向いて立っている。」
(「男の子」を「女の子」に変えてもう一枚作りました。)



・お腹が痛い

「お腹をおさえて痛がっている子ども。吹き出しには「おなかがいい。」というセリフを入れる」

・頭が痛い

「頭をおさえて痛がっている子ども。吹き出しには「あたまがいい。」
というセリフを入れる」



・歯が痛い

「頬をおさえて痛がっている子ども。女の子。吹き出しには「はがいい。」というセリフを入れる」

・喉が痛い

「喉をさすって痛がっている子ども。吹き出しには「のどがいたい。」というセリフを入れる」



・目が痛い

「目頭をおさえて痛がっている子ども。吹き出しには「めがいたい。」というセリフをいれる」

・気持ちが悪い

「気分が悪そうな子ども。女の子。吹き出しには「きもちがわるい」というセリフを入れる」



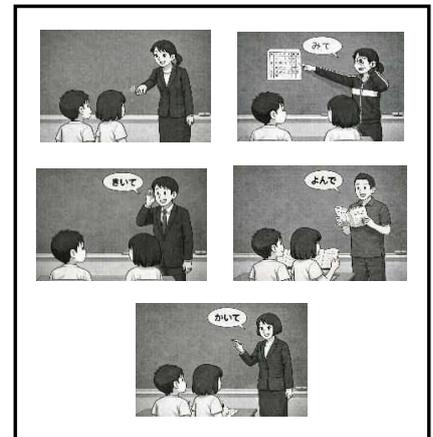
①かず(21, 22・・・)

※すべてフリー素材

②きて・みて・きいて・よんで・かいて

・きて

「場所は教室。黒板の前に女性教諭。服装はスーツ。向かって左手で手招きの形をしており、セリフは「きて」。生徒は先生のほうへ歩いていこうとしている。」



・みて

「場所は教室。黒板にカレンダーが貼ってある。先生が向かって左手でそのカレンダーを指さしている。向かって右手で望遠鏡の形を作り、顔の前に。セリフは「みて」。子どもは着席して黒板を見ている。」

(カレンダーの曜日が正しくならなかったため手書きしました。)

・きいて

「場所は教室。黒板の前に男性教諭。服装はスーツ。耳の横に手を添えて「きいて」と言っている。生徒は先生のほうを見ている。」

・よんで

「場所は教室。黒板の前に男性教諭。髪型はソフトモヒカン。服装はポロシャツ。こくごの教科書を両手で持って読むポーズ。「よんで」と言っている。生徒は席に着いている。教科書を持って音読している。」

・かいて

「場所は教室。黒板の前に女性教諭。髪型はボブ。服装はスーツ。鉛筆を持って、何かを書くポーズ。「かいて」と言っている。生徒は席に着いている。鉛筆を持って、ノートに文字を書いている。」

練習問題

・きて

「場所は公園。小学生の男の子2人。1人が手招きしていて、もう1人が走って近づいている」

「かばんは削除。」

・きいて2

「場所は室内。女の子が男の子に、ヘッドホンを渡している。」

・よんで2

「場所はリビング。子どもがお母さんに絵本を渡している。」

・かいて2

「サイン会で、アイドルに色紙を差し出している女の子。」



・みて2

「100点のテストをお父さんに見せている子ども。」

⑬こう・ちがう・そう

・そう

「女性の先生がにっこり笑って「そう」と言って肯定するイラスト。手の形はサムアップに。」

・ちがう

「女性の先生が、首を横に振っているイラスト。セリフは「ちがう」。」

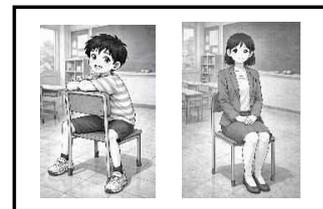


・こう?

「椅子に後ろ向きに座っている子どものイラスト。」「子どもの足が椅子の足にあたらないように、子どもの足幅を開く。」

・こう

「上の画像と同じタイプの椅子に、女性の先生がきちんと座っているイラスト。」



・教科書こう?ちがう

「(先に下の画像を作ったため、)上の画像を修正。教科書の向きを上下さかさまにする。」

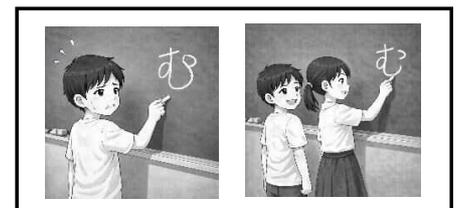
・教科書こう?そう

「子どもと先生の会話。場所は教室。子どもは「こくご」の教科書を持って音読しようとしている。」→(黒板に数式が出てしまった。)→「黒板の数式を削除。」



・ひらがなこう?

「黒板に平仮名を書いている子ども。黒板の文字は「む」。表情は困っている。」
(修正を手書きでおこないました。)



・ちがう、こう

「(上の画像を提示し、)女の子がこの男の子の隣に立ち、上手に「む」と書いているイラスト。男の子の表情を明るく。」

⑭これ、だれの？(わたし)

・わたし(フリー素材)

・これ

「先生が教卓に立ち、向かって左手に本を持っている。右手でその本を指さし、「これ」と言っている。」



・だれの?

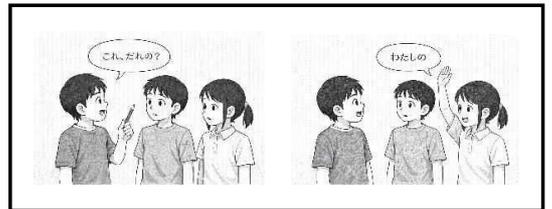
「場所は教室。先生が向かって左手に本を持っている。生徒に本の持ち主を尋ねている。先生のセリフは「だれの?」。」

・わたしの

「上の画像で、男子生徒に挙手させてください。「わたしの」というセリフを追加。先生のセリフは削除。」

・これ、だれの?

「子どもが3人並んでいる。一人の男の子が鉛筆を持ってほかの子たちに「これ、だれの?」と話しかけている。」



・わたしの

「女の子が挙手し、「わたしの」と言っている。「これ、だれの?」というセリフは削除。他は変えない。」

・あれ

「場所は教室。後ろのロッカーに水筒が一つだけ置いてある。先生がその水筒を指さして、教卓から「あれ」と言っている。」

・だれの?

「(上の「だれの?」の画像を提示して、)この画像に上の画像の水筒とロッカーを追加。それ以外は変えない。」

・わたしの

「(上の画像を提示し、)今座っている男子生徒が挙手し、「わたしの」と言う。」



・ぼうし誰の?

「場所は運動場。子どもたちは帽子を被っている。一人だけ被っていない。遠くに帽子がひとつ落ちている。帽子を被った女の子が「あれ、だれの?」と言っている。」「向かって左に女の子、右に男の子たちが来るように配置。」「帽子を被っていない男の子は挙手。女の子は帽子を指さすようにする。」(女の子の指の形を変更したら他が崩れてしまったため、女の子の部分だけ切り取り、前段階の画像と切り貼りしました。)



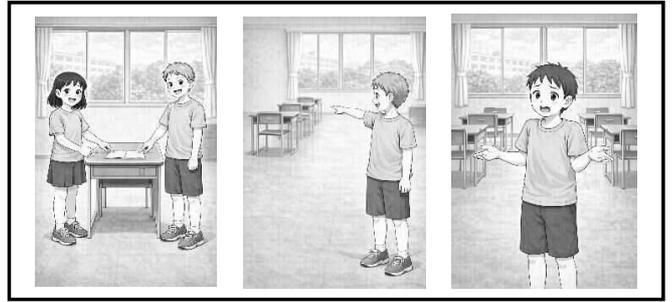
・筆箱誰の?

「場所は教室。先生が、子どもたちに誰の筆箱かを尋ねている場面。先生は筆箱を持っている。生徒の一人が挙手して立ち上がっている。他の生徒は着席している。」

⑮ここ・どこ・あそこ

・ここ

「場所は教室。子どもが机の横に立って、机を指さしている。」



・あそこ

「遠くの机を指さしている。子どもは1人。」

・どこ？

「自分席がわからず、困っている子どものイラスト。両手のひらは上向き。」

・トイレどこ？

「上の画像の背景を消す。」



・ここ

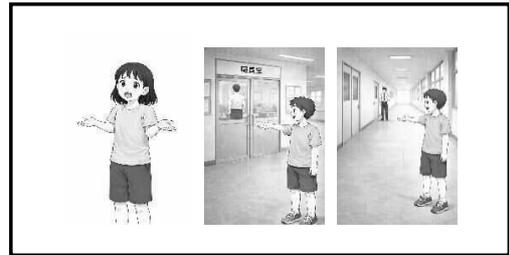
「男の子が校内トイレの前に立ち、ここがトイレだと示しているイラスト。」

・あそこ

「男の子が少し遠くの校内トイレの入り口を指さし、あそこがトイレだと示しているイラスト。」

・先生どこ？

「(トイレどこ?のイラストを提示し、)女の子のイラストも作ってください。」



・ここ

「職員室を指ししめす男の子のイラスト。手のひらは上向き。」「室内に先生を追加。先生の背中が見えているように。」

・あそこ

「場所は廊下。遠くにいる先生を、男の子が指さすようにする。」「先生を向かって左に少し移動。」「男の子の手の形を変更。手のひらを上に向ける。」

・本はどこに置く？

「積み上げた本を抱えている男の子。女の子が机を指さして指し示している。」

・かばんどこ？

「場所は教室。かばんを探している女の子に、友だちがあそこにあるよと教えているイラスト。」「女の子が持っているかばんは削除。」



・どこに隠れた？

「校庭でかくれんぼをしている子どもたち。男の子が友だちを探している。木の後ろから女の子が顔をのぞかせている。」

「男の子は前方を見ている。右手を額に当てて、探しているポーズ。男の子の口を少し開ける。」

・待ち合わせでどこ？

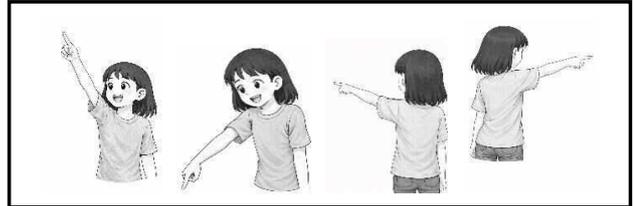
「場所は街中。スマホで電話をかけているセーラー服の女の子。顔は少し困っている。
遠くに、スマホで電話を掛けながら手を振っている女の子。」



⑩うえ・した・みぎ・ひだり

・うえ

「手を伸ばして、上を指さしている女の子。背景なし。」



・した

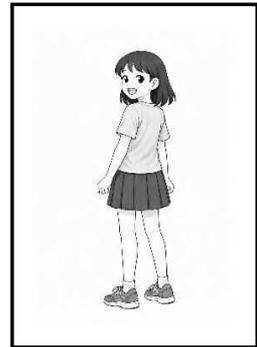
「手を伸ばして、下を指さしている女の子。」

・ひだり

「手を伸ばして、向かって右方向を指さすようにする。」「女の子を後ろ姿にする。」

・みぎ

「手を伸ばして、向かって左方向を指さすようにする。」「女の子を後ろ姿にする。」



・全身

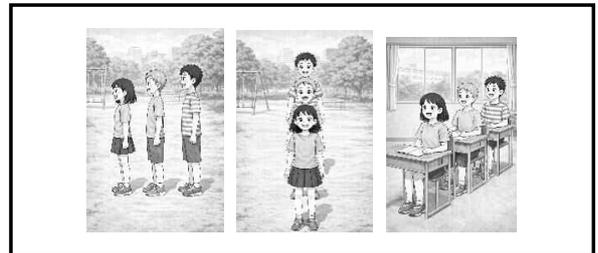
「直立、笑顔、全身のイラスト。後ろ姿。少し振り返らせる。」

※視力検査はフリー素材

⑪まえ・うしろ・まんなか

・一列に並ぶ(前から)

「3人の子どもが、縦1列に並んでいるイラスト。場所は公園。」



・一列に並ぶ(横から)

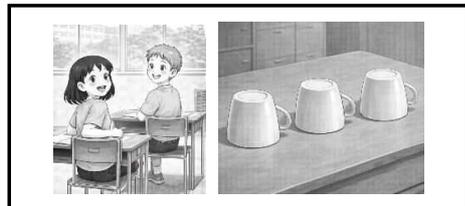
「上の画像を、向かった左向きにしてください。並び方の見本にします。」「子どもとこどもの間隔を、人が1人は入れるくらい空ける。」

・一列に座る

「同じ構図で、場所は教室。席に着いた状態にしたい。」「黒板は子どもの背面に。」「子どもの横は窓に。」

・座っているのを後ろから

「子どもを2人に変更。前の子は後ろを振り返っている。」



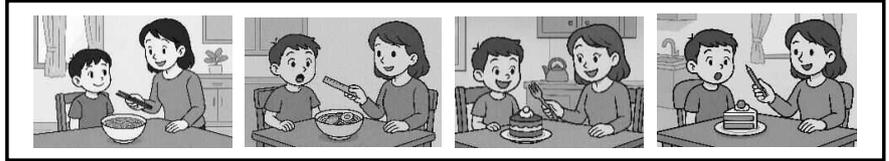
・コップ3つ

「机の上に、3つのカップが伏せられた状態で横並びに置いてあるイラスト。」

※残りはフリー素材

⑱かず100,200・・・

※フリー素材



⑲いる・いない

・ラーメンのいる

「食卓。男の子が席に着いている。机にはラーメン。お母さんが箸を差し出している。」

・いない

「上の画像を修正。お母さんが差し出しているものを、定規に変更。男の子の表情を、驚きに変更。」

・ケーキのいる

「上の画像を修正。ラーメンをケーキに修正。子どもを笑顔に修正。お母さんが差し出しているものをフォークに修正。」

・いない

「上の画像を修正。お母さんが差し出しているものを鉛筆に修正。子どもの表情を驚きに修正。」

・こぼしたときのいない

「上の画像を修正。背景は教室。机には倒れたコップ。水がこぼれている。

お母さんを女の子に変更。その女の子は立っている。差し出しているものをものさしに変更。」

・いる

「女の子が差し出しているものをタオルに変更。」

・花壇でいる

「場所は花壇。男の子に女の子がジョウロを渡している。女の子のセリフは「いる？」。」

・いない

「上の画像を修正。女の子が差し出しているものをサッカーボールに変更。男の子は困った表情で腕組をしている。」

・明日の用意

「場所はリビング。子どもがランドセルを机の上に置いている。蓋は閉まっている。子どもの表情はにこやかに。」

⑳おなじ・ちがう

※フリー素材と、これまでに使った画像に加筆したものを使用。

㉑あいさつ2

・先生とこんばんは

「場所はコンビニの入り口を出たところ。時間帯は夜。先生と子どもが「こんばんは」と挨拶をしている。ランドセル不要。」



・地域の人とこんばんは

「場所はコンビニの入り口を出たところ。時間帯は夜。小学生1人と大人1人が「こんばんは」と挨拶をしている。低学年児童の後ろには母親がいる。ランドセルは不要。」



・先生にお礼(生成 AI に依頼した)

「場所は教室。先生が子どもにノートを返している場面。子どもは両手でノートを受け取りながら、「ありがとうございます」と言っている。背景には黒板。子どもの表情は明るい。」



・友だちにお礼(生成 AI に依頼した)

「友だちに文房具(えんぴつ)を貸してもらって「ありがとう」を言う場面。子ども A が鉛筆を差し出す。B が嬉しそうに「ありがとう」」



・先生に謝る

「場所は教室。割った窓のそばに子ども。先生に謝っている。先生の表情は険しい。子どものセリフは「ごめんなさい」」

・友だちに謝る(生成 AI にプロンプト作成を依頼した)

「白黒の漫画風イラスト。図工の教室。子ども A が絵の具の筆を持っていて、誤って子ども B の服に絵の具が少し飛んでしまった場面。子ども A は申し訳なさそうに頭を下げて「ごめんなさい」と言っている。子ども B は驚いた表情。背景には図工室の机、パレット、画用紙などがある。」→(絵の具を飛ばされたほうが「ごめんなさい」というイラストになった。)→「筆を持っている子が「ごめんなさい」と言うようにしてください。」

・いただきます

「場所は教室。子どもが席についている。机に給食が置いてある。お盆の上に、ご飯の入った器、ハンバーグの乗った皿、スープの入った器、牛乳パック、箸がある。子どもは手を胸の前で合わせて「いただきます」と言っている」

・ごちそうさま

「上の画像を修正。セリフを「ごちそうさま」に変える。お盆の上に載っているお皿と器の形や大きさは変えないが、空の器と空の皿にする。」



・失礼します

「職員室に「失礼します」と言って子どもが入ろうとするイラスト」→(先生が子どもに「失礼します」と言っている画像になった)→「先生と子どもの位置関係が逆」→(ノートを持って職員室に入ろうとする子どものイラストになった)→「子どもがドアに手をかけて、開けながら室内に「失礼します」と声をかけている図にしてください。ランドセルは削除。」

・失礼しました

「子どもが「失礼しました」と言って職員室から帰っていくイラスト。先生も描き、見送る構図で。」→(子どもが後ろ歩きをしている図、先生が「失礼しました」



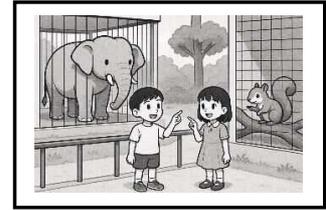
と言っている図になった) →「子どもの足をそろえる。セリフが先生から出ているので、子どもから出してください。」

②おおい・ちいさい

・動物園

「白黒イラストの生成。場所は動物園。ゾウとリスが別の檻にいる。小学生の男の子と女の子が一人ずついる。男の子がゾウ、女の子がリスを指さしている。」

→ (檻がきちんと描かれなかったため、加筆しました。)



※他はフリー素材

③べんきょう

・国語

「場所は教室。背景は黒板。眼鏡をかけた男性教諭。先生は、「こくご」の教科書を持っている。黒板には「あいうえお」と縦書きで書いてある。」「先生の隣に、「こくご」の教科書を持った男の子を追加。」

・算数

「先生を女性に変更。さんすうの教科書を持っている。黒板には $35+7=$ と横書きで書いてある。先生の隣にはチョークを一本持った男の子がいる。」

・生活

「場所は花壇。花壇にはチューリップが咲いている。麦わら帽子を被った女性の先生が立っている。帽子を被った女の子が、チューリップの観察をしている。女の子の手に、「せいかつ」と書いてある教科書を持たせる。」

・社会

「場所は教室。黒板には日本地図がかいてある。スーツを着た女性の先生が「しゃかい」と書いてある教科書を持っている。隣には、地球儀を持った男の子。」
「先生に眼鏡をかける。」

・理科

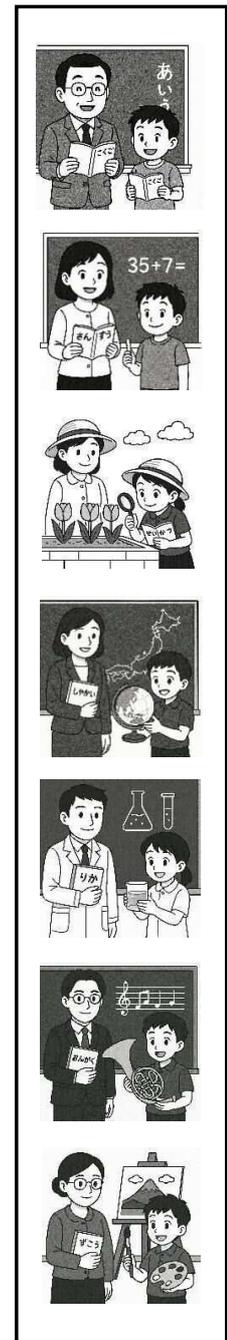
「場所は教室。背景に黒板。白衣を着た若い男性の先生。先生は「りか」の教科書を持っている。黒板にはフラスコと試験管の絵が描いてある。隣には、ビーカーを持った女の子。」

・音楽

「場所は音楽室。背景に黒板。髪型がセンターパートの男性教諭。先生は「おんがく」の教科書を持っている。黒板には楽譜が書いてある。隣にはホルンを持った子ども。」

・図工

「場所は図工室。背景にイーゼル。イーゼルには山の絵がかいてある。髪型がシニヨンの



女性教諭。先生は「ずこう」の教科書を持っている。隣には、筆とパレットを持った子ども。」

・体育

「場所は運動場。背景にサッカーゴール。髪型がショートの女性教諭。先生の服装はジャージ。先生は「たいいく」の教科書を持っている。隣には、サッカーボールを持った子ども。」

・書写

「場所は教室。背景に黒板。若い女性の先生。髪型はボブ。持っている教科書には「しよしゃ」と書いてください。黒板には「つり」と書いた白い紙を貼ってください。子どもが持っているものは、習字用の筆に変更。」

・読書

「場所は図書室。背景は本棚。髪型がポニーテールの女性教諭。先生は白い本を持っている。隣には、絵本を持った子ども。」

・英語

「(算数のイラストを提示して、)先生を外国人に変更。教科書には「えいご」と書く。女の子がフィリピンとアメリカの国旗を持っている。子どもの服装は半そでパーカー。黒板にはアルファベットが書いてある。」(アルファベットが微妙に間違っていたため、手書き修正。)

・道徳

「場所は教室。背景は黒板。ポロシャツを着ている女性の先生。先生は「どうとく」と書かれた教科書を持っている。隣にはハート形を抱えた子ども。子どもの服装はパーカー。黒板には握手している手の絵が描かれている。」

・保健

「場所は教室。先生は養護教諭。黒板には赤ちゃんの絵が描いてある。子どもは赤ちゃんの写真を持っている。先生の本には「ほけん」と書いてある。」

・総合

「背景は日本のお城。髪型がポニーテールの女性教諭。眼鏡はかけていない。先生は「そうごう」と書いてあるバインダーを持っている。隣には、帽子を被ってバインダーを持った子ども。」

・学活

「場所は教室。子どもが黒板の前に立ち、席に座っているクラスメイトに挙手を促しているイラスト。黒板に「がっきゅうかい」と書いてください。」

★練習問題★

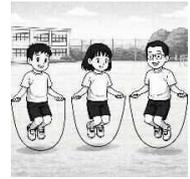
・算数

「(中学校のものを提示して、)服装をパーカーに変更。」



・体育縄跳び

「場所は運動場。子どもたち3人が縄跳びをしている。服装は白のTシャツと、黒のハーフパンツ。」



・音楽

「場所は音楽室。ピアノを弾いている子ども。リコーダーを吹いている子ども。」



・国語

「場所は教室。子どもが席に着いて、漢字の書き取りをノートにしている。」



・図工絵画

「場所は図工室。小学生の子どもたちが絵の具と筆を使って、絵を描いている。」



・理科

「場所は理科室。顕微鏡をのぞいている子ども。」



・書写

「場所は教室。子どもが席に着いて、筆を持ち、机の上に置いた白紙に文字を書こうとしている。机上には硯を置く。服装は、黒いパーカー。」



・体育鉄棒

「場所は運動場。鉄棒をする女の子。ジャージを着た先生が立っている。先生は、女の子のほうを向いて立っている。」



・社会

「黒板に貼ってある日本地図を指さす子どもと、隣で笑顔の子ども。」



・図工粘土

「場所は図工室。席に着いて、粘土で大きい人形を作っている子ども。」



・英語英会話

「子ども二人が会話をしているイラスト。場所は教室。セリフは「How are you?」」



・音楽合唱

「場所は教室。子どもたちが歌を歌っている。服装は全員が私服。パーカー、トレーナー、長袖Tシャツ、ジャージ。」



㊤なんにち・なんようび

※なし

⑳きのう・きょう・あした

※㉓の画像を使用

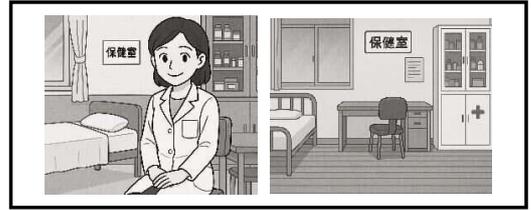
㉔なんじ?

※すべてフリー素材

㉕いる・いない

・保健室いる

「場所は保健室。保健室の先生が椅子に座り、こちらを向いて微笑んでいるように。」



・いない

「誰もいない保健室の白黒イラスト。」

・友だちいる

「友だちの家の呼び鈴を押す男の子。ドアから女の子が出てくる。女の子は向かって右手を挙げている。背景は「家」とわかるように壁・窓・屋根を描く。」

「文字は削除。女の子の表情をにこやかに。」



・いない

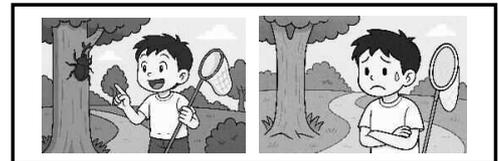
「上の画像から、女の子を削除。ドアを閉める。男の子の表情を不安そうにする。」

・虫いる

「場所は公園。気にカブトムシ。虫取り網を持った男の子がカブトムシを見て嬉しそうな表情をしている。」

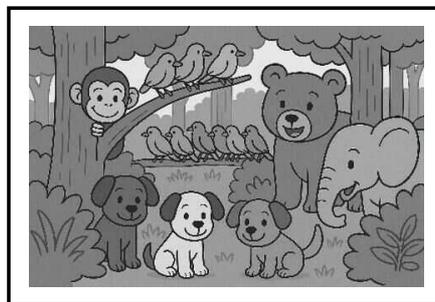
・いない

「上の画像からカブトムシを削除。男の子の表情を悲しそうに。」



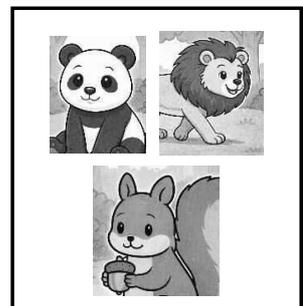
・動物さがし

「場所は森。以下の動物を一匹ずつ入れてください。猿(木の後ろから顔を出す)、犬(草陰から顔を出す)、鳥(木の枝にちょこんと止まる)、熊(木の間からのぞく)、ゾウ(茂みの後ろから姿をのぞかせる)。鳥は色ちがいで4羽ほしい。犬は色違いで3匹。表情は笑顔で。」



・他の動物

「背景は森で、〇〇のイラストを生成」



㉖わすれた・かして・ありがとう

・けしごむ忘れた

「場所は教室。席に着いて、筆箱を開けている男の子。困った表情。」

・ハンカチ忘れた
「水道の前で、困った表情の女の子。」



・けしごむ貸して
「(けしごむ忘れたの画像を提示して、)この男の子が、隣の席の子に、消しゴムを貸してもらおうイラスト。」「隣の子の消しゴムを指さしている様子に変更。二人は見つめあっている。」

・定規貸して
「(下の、定規忘れたの女の子イラストを提示して、)この女の子が、隣の席の子の机にある定規を指さしているイラスト。2人は見つめあっている。」

・けしごむありがとう
「消しゴムを貸してもらえて、笑顔になっているイラスト。」

・定規忘れた
「席に着いて、机上の用紙を見て困っている女の子。用紙には四角形がかいてある。」(?cmと手書きしました。)

・定規ありがとう
「定規を貸してもらえて、笑顔になっているイラスト。」

※他はフリー素材

㊹たべる・のおむ

・ハンバーガー
「ハンバーガーを嬉しそうに食べる男の子のイラスト。」

・バナナの皮
「バナナの皮をつまんでいる女の子。もう一方の手には何も持たない。」



・食べる?食べる
「女の子が男の子にショートケーキを渡す。ショートケーキは皿に乗っている。女の子は「たべる?」と聞いている。場所はキッチン。女の子が向かって左側。」「男の子の表情をにこやかに。男の子は何も持たない。男の子のセリフは「たべる。」」

・食べる?食べない
「上の画像について、女の子が持っているものを納豆に。男の子は首を横に振っている。男の子のセリフは「たべない」に変更。」

・水
「水を飲む女の子のイラスト。」



・ケチャップ

「ケチャップの入った容器を持った男の子のイラスト。」

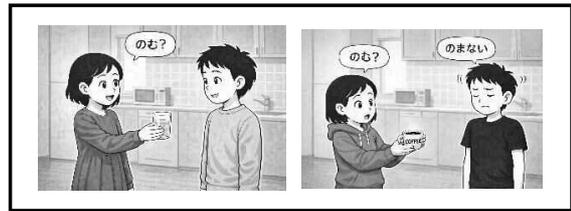


・飲む?飲む

「女の子が男の子に水の入ったコップを渡す。女の子は「のむ?」と聞いている。場所はキッチン。女の子の服装は長袖ワンピース。男の子はトレーナー。女の子が左側。」「男の子は何も持たない。女の子のセリフは「のむ?」、男の子のセリフは「のむ」。」

・飲む?飲まない

「上の画像で、女の子が持っているものをコーヒーに変更。女の子のセリフは「のむ?」、男の子のセリフは「のまない」に変更。男の子は首を横に振っている。」



※他はフリー素材

付録1 松阪

※すべてフリー素材

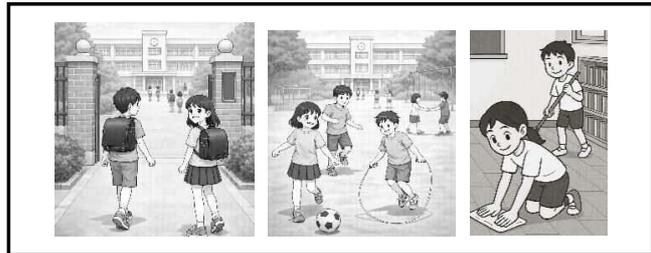
付録2 小学校の一日

・登校

「小学生が校門から学校に登校するイラスト。」

・休み時間

「校庭で遊ぶ子どもたち。ランドセルは不要。」



掃除

「場所は教室。子どもたちが掃除をしているイラスト。箒を使って床を掃いている子と、雑巾で床を拭いている子。」

・下校

「子どもたちが下校していくイラスト。校門から出ていくように。」「画面手前を向いて、背景に校舎を描く。」

※他はフリー素材と、これまでの画像を使用

付録3 教科

※なし

付録4 学校

※すべてフリー素材



★小4以上

付録2 中学校の一日

・登校

「中学生が自転車で登校しているイラスト。校門に入っていく。男子は学生服、女子はセーラー服。自転車用ヘルメットを被っている。2人で笑いあっているようにする。」→(校門から出てくる図になってしまった)→「画面奥に向かっていく構図に変更。自転車から降りて、押して歩く姿にする。」→(少し変になったので、下半分をカットしました。)

・授業

「中学生が教室で数学の授業を受けている。」



・給食

「中学生が教室で給食を食べている。食事は全員同じ。ご飯を盛った皿、牛乳パック、ハンバーグとサラダの乗った皿。」

・休み時間

「中学生が教室で談笑しているイラスト。」「トランプをしているイラストに変更。」

・掃除

「中学生が教室の掃除をしているイラスト。」

・部活

「中学生が、ジャージでバドミントンをしている。場所は体育館。」

・下校

「(登校のイラストを提示して、)校門から出ていくように修正。画面手前に向かってくる。」



付録4 教科2

・小学校家庭

「場所は教室。背景は黒板。黒板には、火にかけた鍋のイラスト。先生が持っている本には「かてい」と書いてある。先生はエプロン姿。隣には、ボウルとお玉を持った子どもに変更。子どもは、Tシャツの上にエプロンを着用している。」

・小学校家庭(練習問題)

「家庭科の先生が、選択の仕方について教えているところ。

(旧イラストを提示し、このイラストを、上の画像と同じタッチで描くように指示しました。)

「白衣を着た家庭科の先生。先生の後ろには洗濯機。教室前にはホワイトボードがあり、洗濯記号が並んでいる。机には服が置いてある。」



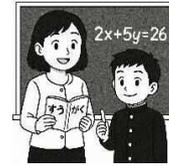
・中学国語

「(小学校の画像を提示し(以下「小」とする)、)服装を学ランに変更。」



・数学

「(小)教科書に書いてある文字を「すうがく」に変更。子どもの服装は学生服。黒板の文字を $2x+5y=26$ に変更。」



・中学理科

「(小)子どもの服装をセーラー服に変更。」



・地理

「(小)先生の本に書いてある字を「ちり」に変更。子どもの服装を学ランに変更。あとは変えない。」



・歴史

「上の画像を修正。先生の本に書いてある字を「れきし」に変更。子どもが持っているものをハニワに変更。黒板にかいてあるものを聖徳太子に変更。」



・公民

「上の画像を修正。先生の本に書いてある文字を「こうみん」に変更。黒板には国会議事堂が描いてある。子どもを女子に変更。子どもの服装はセーラー服。子どもが持っているものを「権利」と書いた紙に変更。」



・中学音楽

「(小)子どもの服装を学ランに。」



・美術

「(小)子どもの服装を学ランに。教科書の文字を「びじゅつ」に変更。」



・保健体育

「(小)子どもの等身を先生に合わせる。」



・中学学活

「(小)子どもたちの服装を、学生服にしてください。」



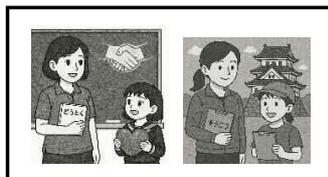
・中学英語

「(小)女の子の服装をセーラー服に変更。」



・中学道徳

「(小)子どもの服装をセーラー服に変更。」



・中学総合

「(小)子どもの等身を先生に合わせる。」

・技術

「(英語の画像を提示して、)先生をジャージの男性に。髪型はベリーショート。本には「ぎじゅつ」と書く。子どももジャージ。子どもの手にはプラスドライバー。黒板には、金づちで木材に釘を打ち付けているイラスト。」



・中学家庭

「(小)子どもの服装を変更。セーラー服の上にエプロンを着ている。」

★練習問題★

※ここにはないものは小3以下と同じイラストを使用。

・書写

「(小)服装を学生服に変更。」



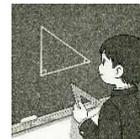
・音楽合奏

「(小)服装を学生服に変更。」



・数学

「場所は教室。子どもが黒板に三角形を描き、書き終わった三角形を見ている図。手には三角定規を持っている。」



・中学国語

「(小)服装を学生服に変更。」



・中学理科

「(小)服装を学生服に変更。」



・地理

「(小)服装を学生服に変更。」



・中学音楽合唱

「(小)服装を学生服に変更。」



・美術工作

「(小)服装をカッターシャツに変更。」



・中学英語英会話

「子ども二人が会話をしているイラスト。場所は教室。セリフは「How are you?」服装は全員学生服。」



【研究協力】

外国人児童生徒のための初期適応支援教室「いっぽ」

【松阪市子ども支援研究センター】

中西 祐司	脇 清人	川西 雅之
河合 春樹	刀根 曜	廣瀬 有一
辻本 泰介	森口 真嗣	青木 駿介
沖林 恵美子	小筆 邦昭	野呂 郁子
田口 寛人	早川 尚子	佐波 允友
河田 麻佑		

【指導者】

中西 祐司 刀根 曜

【執筆者】

佐波 允友

研究集録 第149集

発行	令和8年(2026年)3月
発行所	松阪市子ども支援研究センター 松阪市川井町690番地1
TEL	0598-26-1900
FAX	0598-26-1901